

339-690



1200501397258

339

690

×
複写



始



第二十七回

昭和十七年版

電氣年鑑

東京
合資會社 電氣之女社發行



マツダランプ



339

690



各種電線 電纜

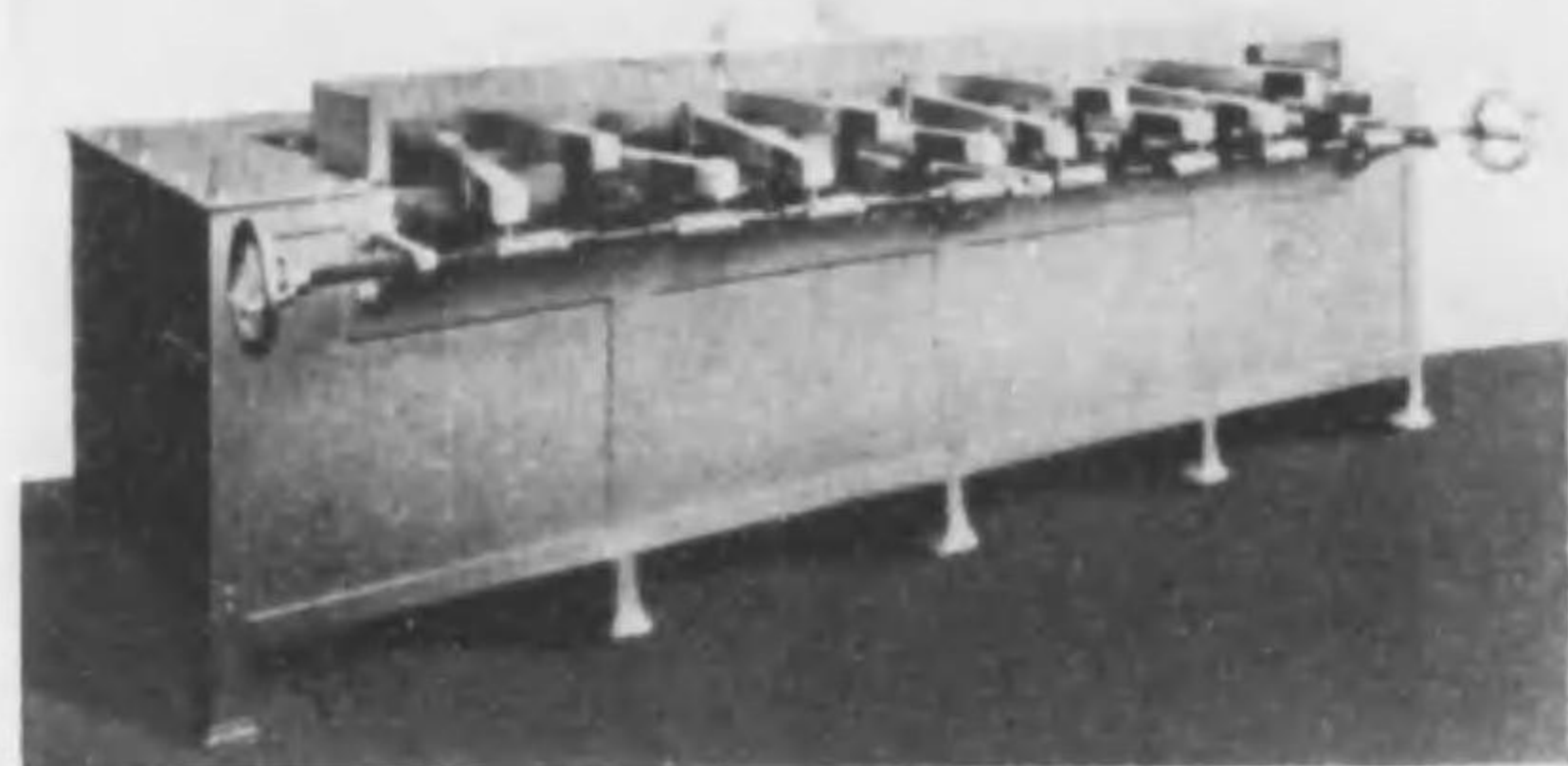
藤倉電線株式會社

本 店 東京市深川區平久町一丁目
 販 賣 店 大阪市西區新町通四丁目
 出 張 所 福岡市上洲崎町
 名古屋市中區南大津町一丁目
 京 城 府 黄 金 町 一 丁 目
 天 津 山 口 街 一 番 地
 上 海 四 川 路 一 八 五 號
 三 井 物 産 株 式 會 社

代理店



ライトバス電氣爐 高速度鋼熱處理用



姉妹品

オリオン流氣式電氣爐

クロマイザー(硬質クロムめつき装置)

シンセレン整流器

富士電爐工業株式會社

東京市豊島區高田南町一ノ一九五

電話牛込(34)1530・1753・2586・7233番

大阪營業所 大阪市此花區上福島南一丁目

電話 福 島 (45) 4 2 0 6 番

昭和十七年電氣年鑑

電線 電纜



創業 明治四十五年
資本金 五百萬圓

營業要目

裸銅線、電車線
平角鋼線、平角鋼條
各種工ナメル鋼線
各種絕緣電線、電纜



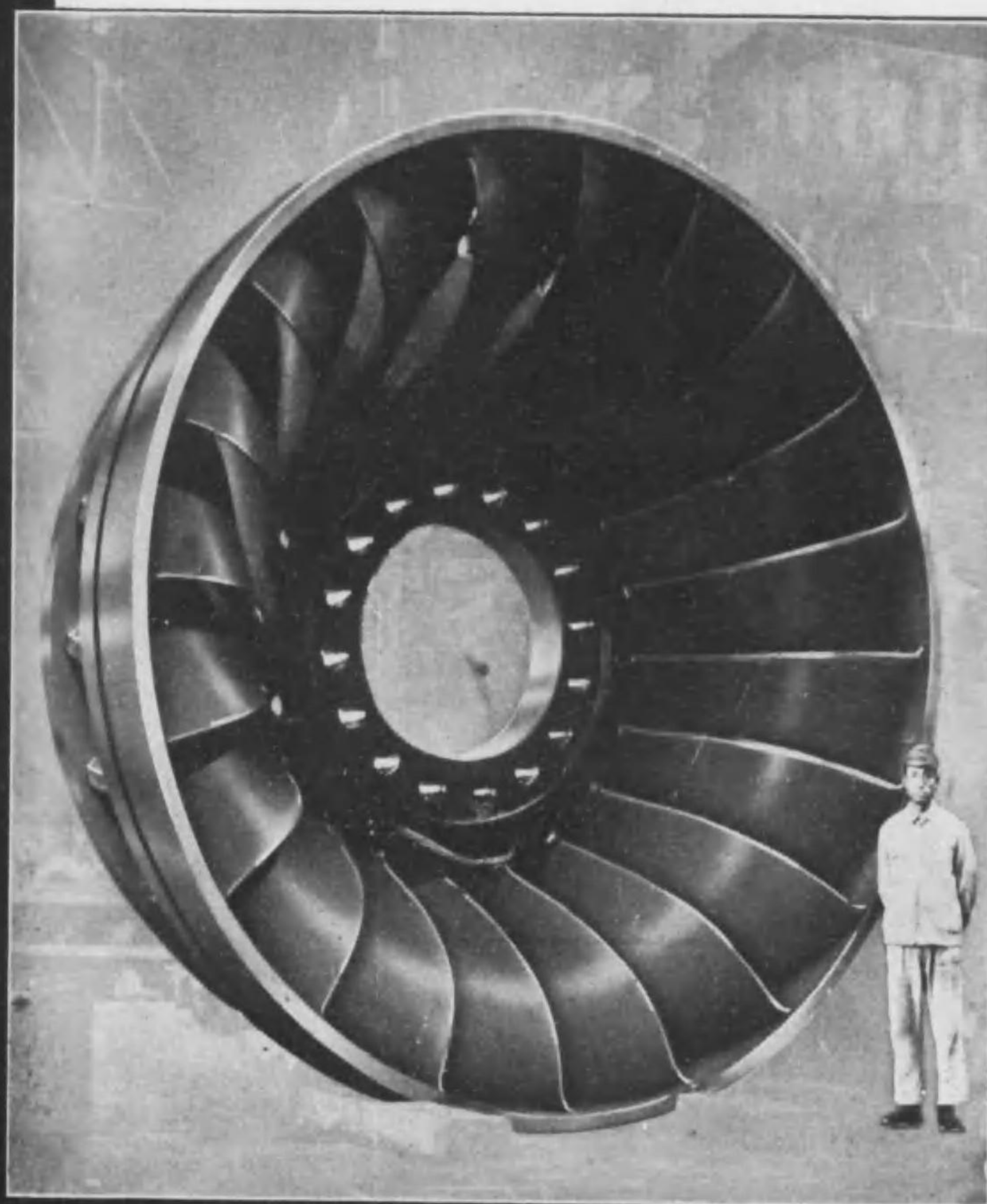
東京製線株式會社

本社 東京・丸の内五場 川崎市 出張所 大阪市北区絹笠町

特五

昭和十七年電氣年鑑

世界最大 150,000 馬力水車



株式會社 電業社原動機製造所

特四

YEW

營業課目概要

携帶用及配電盤用電氣計器・抵抗器
 標準用精密電氣測定器・電位差計
 ブリッジ・オシログラフ・電氣式回轉計
 記録計器・電氣溫度計・CO₂レコーダー
 電氣式流量計・各種自動調節計器
 航空計器・高周波測定裝置及器具

株式會社 横河電機製作所

東京府下武蔵野町吉祥寺三千番地

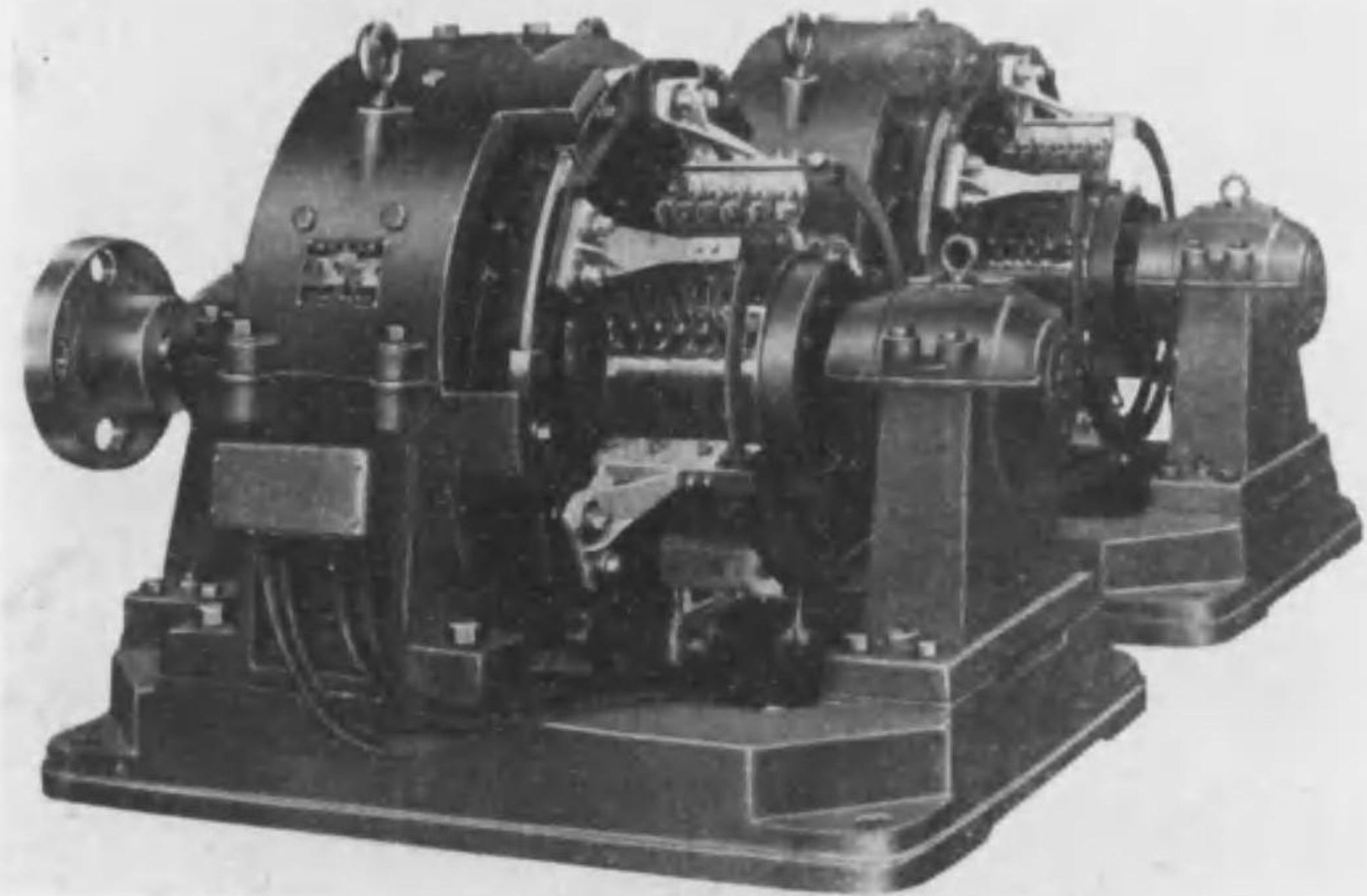
受電略號 トウケウキチゼウジ ヨコガワデンキ

東京營業所 東京市麹町區丸ノ内一丁目二番地

出張所 名古屋・大阪・釜・門司・奉天

最古の歴史 最新の技術

黒崎の直流電機



直流分巻電動機 200HP, 220V, 900~1,500 r. p. m.

製品概目
 交流エンジン直結發電機
 直流發電機及電動機
 各種配電盤並器具
 電氣動力計
 回轉變流器

株式會社 黒崎製作所

社長 黒崎元三

大阪市西淀川區野里町六〇六番地

電話福島 (45)

(七	七	〇	番
三	九	二	八
三	九	二	八
七	一	三	八

出張所 東京市芝區田村町二ノ一 内田ビル五階
 電話銀座 (57) 五 四 三 三 番

佐藤式各種特許防水プルスイッチ

(型錄贈呈)

在庫豊富

營業品目

電氣用碍子
配電盤器具
照明器具
電線、電機
工事材料一式
工ブラック
ゴムテーパー
瓦スチール
笠金代用塗料
ダイヤルツク
コレクター
絶縁コンパウンド
銅、真鍮加工品
各種金物
各種絶縁材料
各種絶縁材料
ベークライト成型品

燈火管制ニハ完全ナ
佐藤式特許品ヲオ獎メシマス



「絶対防水」
磁器防水プルスイッチ
Cat. No. 41, 5A



磁器防水プルスイッチ
片切ヒューズ入
Cat. No. 40, 5A



ソレ敵機空襲！
直ぐ消せ外燈！

製造元



佐藤電機製作所

大阪市北區信保町一丁目三十三番地
電話堀川(35) 2458 番 振替大阪 92816 番

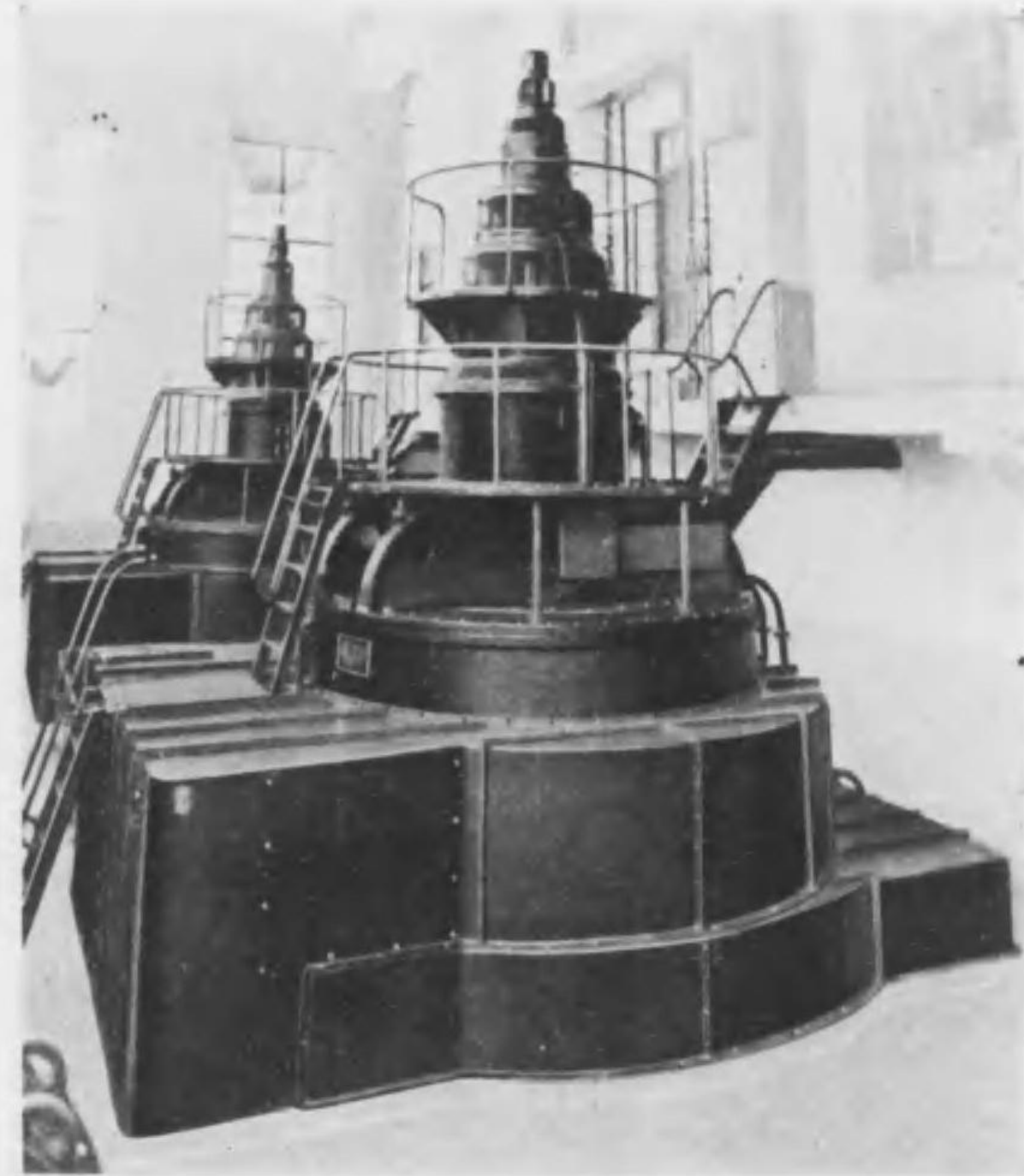
總代理店



大丸電氣商會

大阪市北區老松町二丁目三十九番地
電話北(36) 2147 番

水力發電所諸機械一式



☐ 發電機、電動機、回轉變流機、變壓機、配電盤
其他電燈電力諸機械一式。

株式會社明電舎代理店

東京市日本橋區吳服橋二丁目

株式會社 守谷商會

支店出張所 大 名 小 澁 高 金 仙 札 京 新 北 新 廣 新
所在地 古 阪 屋 倉 北 雄 澤 臺 幌 城 京 京 湯 島 濱



東海電線株式會社

三重縣四日市市濱田四、二〇五番地

電話 五五二番
五六九番

如何ナル御使用先ノ自動化ニテモ設計等御相談ニ應ジマス

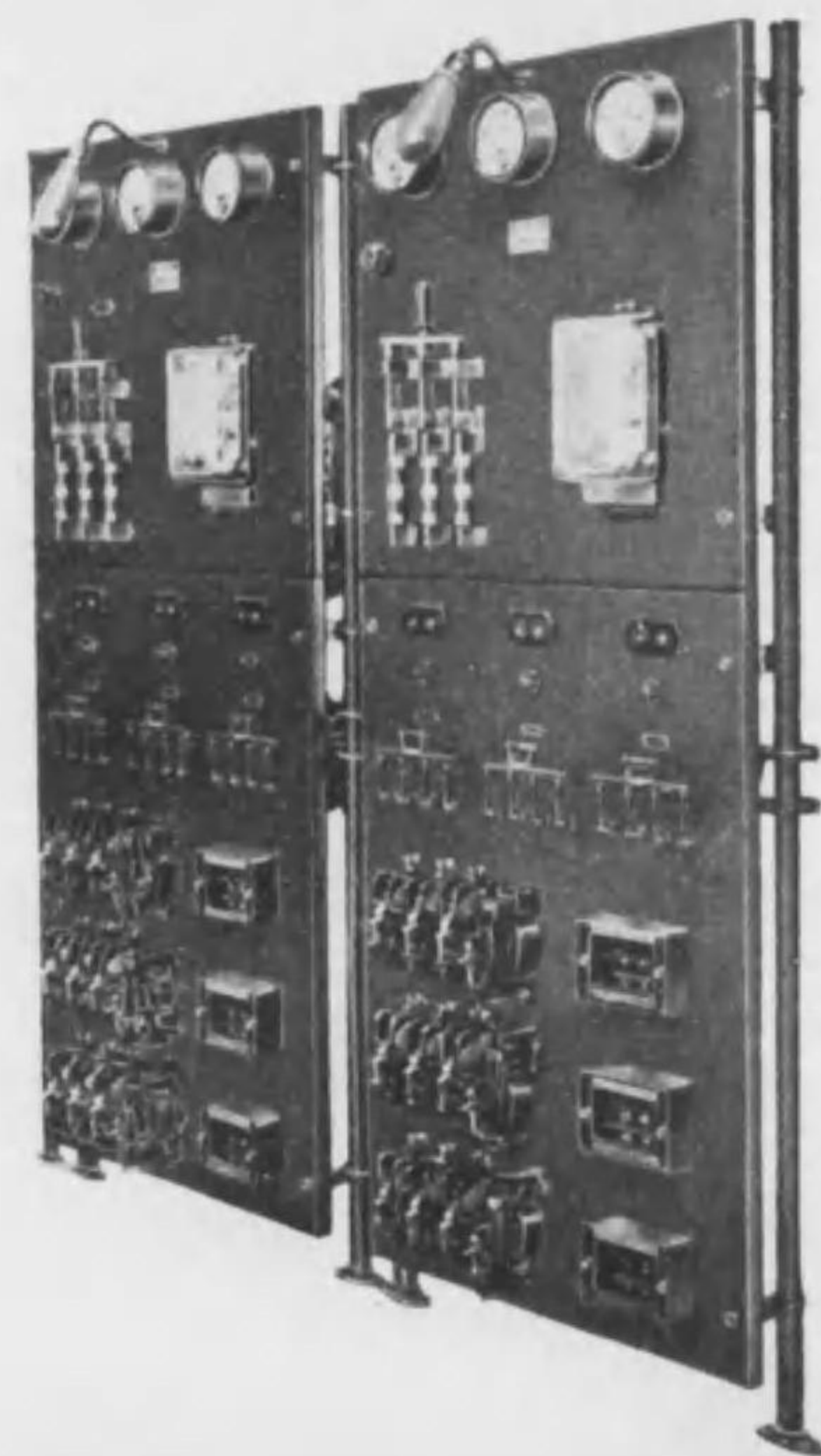
各種自動裝置並ニ

自動配電盤と高低圧配電盤

主要製品概目

- 自動配電盤 } 設計製作
- 自動制御裝置 }
- 泰東式電磁配電函
- 泰東式手動全密閉型油入開閉器
- 泰東式特許押卸型連斷配電函
- 泰東式小型油入開閉器
- 泰東式押卸開閉器
- 各種繼電器・保安裝置

(型錄進呈)



泰東電機工業株式會社

營業所 東京・京橋・木挽町(昭和通)新京橋南際
電話 京橋(56)代表 7157・7158・7159・7150
工場 東京・蒲田・原町・電話 蒲田 4116

遞信局
鐵道局
各電氣會社
指定工場



大阪電具株式會社

營業品目

BS型屋內線用スリ
電配電線用スリ
送電線各種用スリ
亞鉛線各種用スリ
スリ各種用スリ
各種電氣用品製造

大阪市東淀川區田川通二丁目十三番地

電話北二七七四・五四六八番

振替大阪二九二四八番

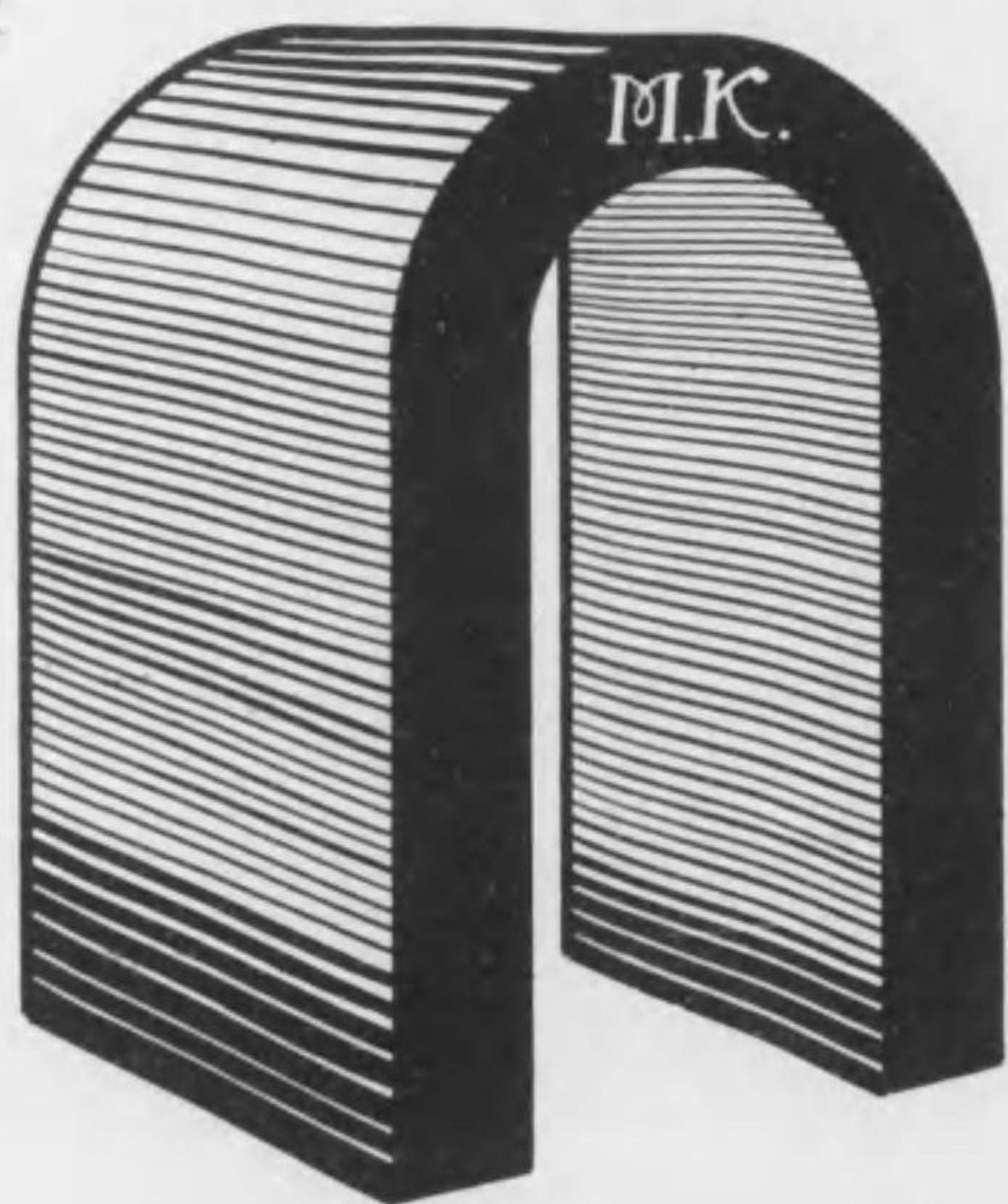
第一工場 大阪市東淀川區田川通二丁目十三番地

第二工場 大阪市東淀川區三津屋中通二丁目七番地



其他用發電機·精密計器·航空計器

MKマグネット



帝國大學工學部教授
三島徳七博士發明
三菱製鋼株式會社製造

日東商事工業株式會社

東京市日本橋區江戸橋三丁目五番地
電話日本橋(24) 0223・1771番
振替口座東京 36402番

積算電力計 精密級指示計器 記錄計器 計器用變成器
 絶縁抵抗試験器 其他電氣測定器具 指示及記錄式流量計 軍需品 銅合金鑄物
 グエンチューリー管式分流型量水器 ウォルトマン式量水器



株式 蘆田工業所
 會社

本社及大仁工場 大阪市西淀川區大仁西一丁目

電話福島(45) 三〇五五・三〇五七
 三〇五六・三〇五九
 振替口座大阪二八九一三番
 千里丘工場 大阪府三島郡味舌村字坪井
 電話吹田(32) 四一九・六四三番
 九一九・九九四番
 鑄物工場 大阪市東淀川區堀上通一丁目
 電話北(36) 六八二一番
 東京支店 東京市麴町區丸ノ内二丁目十番地
 電話丸ノ内(三) 九五六番
 九州支店 福岡市平尾向田六番
 電話西(2) 二一八六番

金屬製品 其他

銅及銅合金
 アルミニウム及
 アルミニウム合金
 マグネシウム合金
 オイルレスベアリング
 板、條、帶板、管、棒
 押出型材、鋸、鍛造品
 鑄物、ダイカスト

工場 日光電氣精製所
 横濱電線製造所
 九州電線製造所
 大阪伸銅所
 大池製銅所

研究所 財団法人古河理化研究所

△古河電氣工業株式會社

本店 東京市麴町區丸ノ内二ノ八

電線電纜電池其他

裸電線、紙絶縁電線、ゴム絶縁電線
 被覆電線、海底電線、電線電纜附屬品
 電氣用金屬材料、絶縁材料、通信用機器
 鉛蓄電池、空氣ソーダ電池

營業所

電池課 東京市日本橋區室町二ノ八
 大阪 名古屋
 門司 京
 臺北 大連
 上海 天津
 奉天 札幌
 北支店



高度精密機器
精密木工品



尼崎市金樂寺草田一
電話 尼崎 2603・2954

旭金屬工業株式會社

PAT. 旭 OMK 點火栓
PAT. 旭 A 型ケーブルハンガー
總代理店



旭工業株式會社
旭金屬工業株式會社
旭電機器株式會社
旭特殊電工管株式會社
總代理店



大阪市南區橫堀七丁目二〇番地
電話 船場 (83) 2695・3521・1167・1168

株式會社 岡地商店



電信電話架線用亞鉛鍍金物
鐵塔・鐵柱・構・電氣架線用材
PAT. 旭 A 型ケーブルリングハンガー



大阪市港區天保町一二二
電話 築港 (55) 1654・1655

旭工業株式會社



通信用機器
旭 OMK 點火栓



尼崎市西長洲西ノロ一三
電話 尼崎 2898

旭電機器株式會社



逓信省型電信電話地下線用
多孔混凝土管・旭特許型製品
特別高壓地下電纜用トラフ
各種セメント製品



工場 東海道線篠原驛前
電話 江頭 38

旭特殊電工管株式會社



住友電氣工業株式會社

製品種目

裸被 覆電 線線
 海各丹 種底附屬 線線
銅線絕緣可撻紐線・鉛線紙絕緣ケール・アル
 不燒絕緣線卷線・カムプリンクケール

新品製

OF式靜電蓄電器
 特殊耐油電線
(航空機及自動車用特殊電線)
 車ガタロイ
(切削工用超硬質合金)

大阪市此花区恩島南之六拾番地

代理店

大金台新奉哈
 連澤北天寄

賣店

東京札幌仙台
 神戶岡崎
 名古屋
 大阪
 京都
 長崎
 舞鶴
 上野
 福岡
 佐世
 北九州

電氣之友社編纂



昭和十七年電氣年鑑



合資會社 電氣之友社發行

日立進相用靜電蓄電器



配電線の力率改善用として優秀な技術に依り製作された日立靜電蓄電器は
 電力損失僅少 据付簡易
 分割設置可能 増設移轉容易
 維持費僅少 騒音皆無
 等の特徴を有し50KVA以上各種製作して居ます

 **日立製作所**
 東京 丸の内

——目科業營要主——

- 一、手働及自動式電話機
- 一、手働及自動式交換機
- 一、無線電話装置
- 一、放送無線電話装置
- 一、放聲電話装置
- 一、列車又ハ負荷指令電話装置
- 一、相互送信選出信號電話装置
- 一、N E式寫真電送装置
- 一、搬送式電話装置
- 一、遠方制御監視装置
- 一、電話線用裝荷線輪
- 一、長距離電話線用中繼裝置
- 一、通信用各種高級試驗裝置
- 一、ニデカタイムレコーダ
- 一、絶緣抵抗測定器
- 一、其他各種試驗器類
- 一、電話電燈信號工事設計並請負



日本電氣株式會社

本社 東京市芝區三田四國町二

電話三田(45) 四四〇一〇〇
 四四二〇一〇
 四四二一〇〇
 四四二二〇〇
 四四二三〇〇

支店 大阪市東區北濱四丁目十六番地

電話北濱(23) 九〇四(四)

玉川向工場 川崎市下沼部玉川向一七五三番地

電話田園調布 四二〇二(一〇)

出張所

臺北市本町四丁目五番地
 電話 四四〇八・七八七八番

北京市東單大平宜胡同二五號
 電話東二五二五・六三六二番

天津日本租界福島街三六號
 電話 二〇二〇・六番

奉天、大連、新京、哈爾濱各滿洲
 通信機株式會社

札幌、仙臺、橫須賀、名古屋、神

戶、吳、福岡、京城、上海各株式

會社住友本社販賣店

佐世保、長崎各住友金屬工業株式

會社出張所

ニテフの抵抗器

ニテフの抵抗器には焼けない、錆びない、折れない
自家製のオーレンクリッドを使用しております。



日本グリッド製作所

本社及工場 大阪市東淀川区本庄東通五丁目九番地 電話豊崎(37)二六九五番
東京出張所 東京市芝区新橋四丁目四番地 電話芝(43)二一三〇番

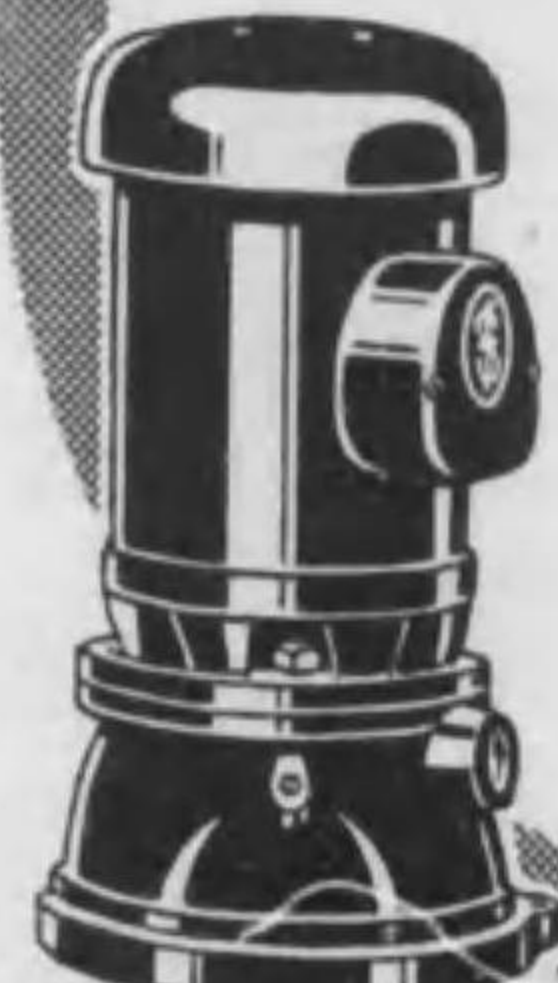
富士の製品



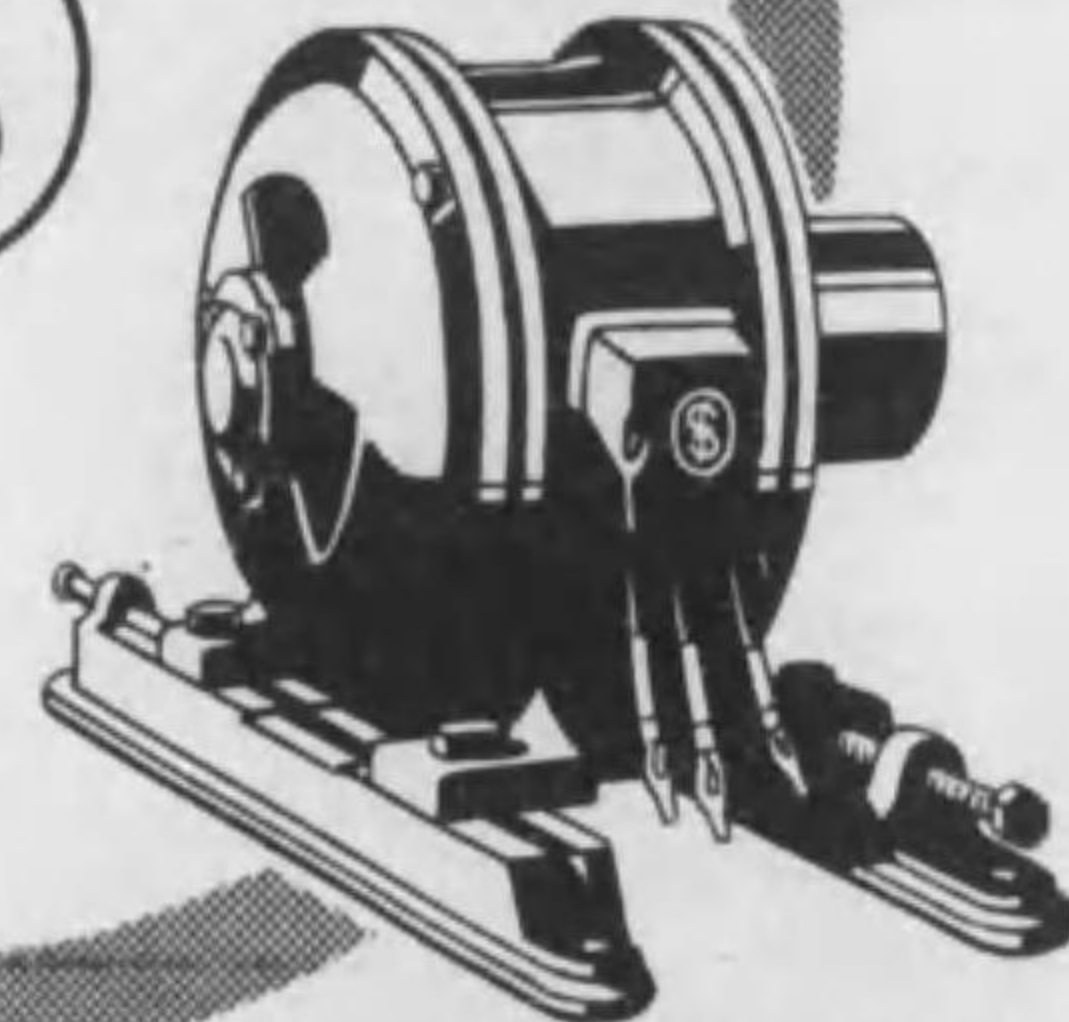
富士型壁掛電話機



富士型卓上電話機



富士オイルポンプ120w50~50C



富士モートル

★富士製品の特徴 体裁美麗 性能優秀
故障絶無 納期迅速

富士電機製造株式会社 型録
富士通信機製造株式会社 贈呈

東京・丸の内

共同電氣株式會社

東京市蒲田區古市町一七四番地
電話蒲田2967・3550・3743・5227・5794番



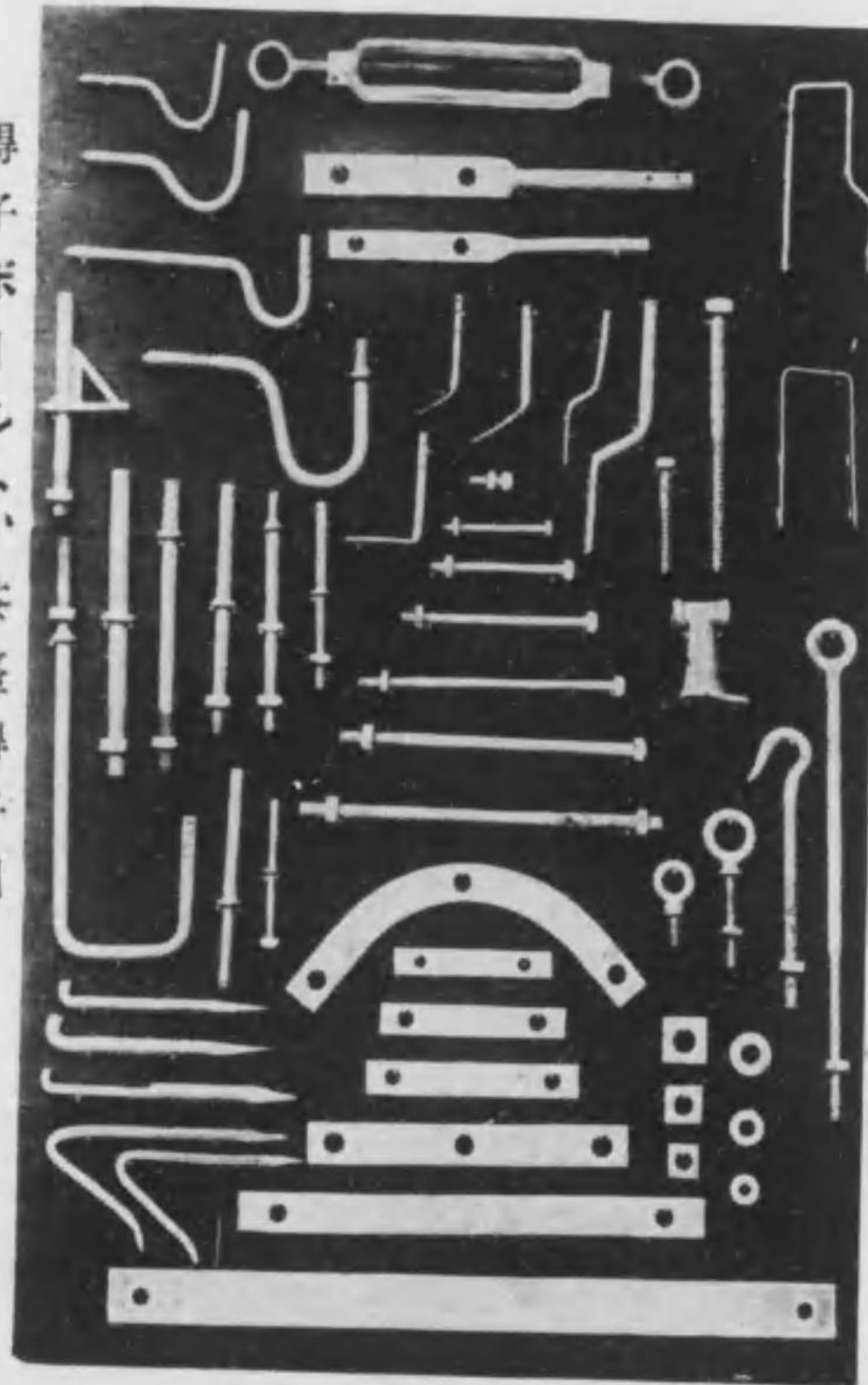
營業品目

電氣計器及測定器
風 信 儀
航空機用點火栓



年七十二治明業創

電氣架線用
亞鉛鍍金物 製造



碍子ポールト、茶臺碍子用
ストラツプ及ポールト
アームポールト、アームタイ
アングル腕金……其他

所工鐵江永

株式會社



大 阪 市 港 區 九 條 南 通 二 丁 目
電 話 西 六 一 八 八 一 番
振 替 口 座 大 阪 九 四 一 番
亞 鉛 鍍 金 工 場
大 阪 市 港 區 榮 一 丁 目 八 番 地
電 話 西 五 四 五 九 番

國策セードホルダー

各種金屬拔押物一式
輸出向電氣器具

—☆—☆—

製品製造

キヤッチホルダー
ナイフスイッチ
自轉車用ランプ
懐中電燈ケース

京都金屬工業株式會社

本社及工場

京都市右京區鳴瀧宅間町

京都營業所

京都市堀川御池
電話西陣五八四八・一五二一番

大阪營業所

大阪市西區立賣堀北通七丁目
電話新生一五九五・二〇五二・一五三二
電話新町三四四六・四五五八・五一三六

主要製品

- ◇フェノールレジン積層板・管・棒成型品
- ◇耐熱電氣絶縁板アスベストランバー
- ◇電氣絶縁用混和物・塗料



利昌工業株式會社

取締役社長 利倉 駒 二郎

本社工場 大阪市西淀川區大仁西二丁目

電話福島(45)三六六〇・三六六一
七六六四・二〇二八番

塚口工場 兵庫縣川邊郡園田村上坂部

電話伊丹一〇二二番

昭和十七年電

本邦電氣界

- 電燈、電力……………一
- 電氣鐵道、軌道……………五
- 電機製造工業……………七
- 電氣通信事業……………八
- 特許及新案……………九
- 學界、業界の會合と人事……………一〇
- 電氣關係法令……………一一
- 南方共榮團の電氣事業……………一二
- 統制法令……………一三
- 電氣用品販賣價格……………一四
- 電氣事業一覽……………一五
- 目次 (五十番別)……………一六
- 電燈電力電氣鐵道……………一七
- 電信電話會社一覽……………一八

(昭和十七年十月刊行)

氣年鑑要目

電氣商工業一覽 (會社工場商店)

- 電氣化學工業……………一五
- 電氣利用組合……………一六
- 目次……………一七
- 京濱(東京、神奈川)……………一八
- 京阪神(京都、大阪、兵庫)……………二五
- 地方……………三六
- 樺太、臺灣、朝鮮、滿洲、中華民國……………四〇

電氣關係一覽

- 官廳電氣に關する職員一覽……………一
- 電氣に關する各學校一覽……………一五
- 電氣に關する學會、協會、試驗所、研究所一覽……………一六
- 放送協會一覽……………一七
- 電氣に關する統制會、組合一覽……………一八
- 科學博物館一覽……………一九
- 電氣雜誌及新聞一覽……………二〇

次 目 告 廣

(ア) 安増電熱工業所	四二
安藤電氣株式會社	一〇
赤見製作所	四七
麻布電機工業所	五〇
朝日電機製作所	四一
旭金屬工業株式會社	特一六
旭工業株式會社	特一七
旭電機器株式會社	特一七
旭特殊電工株式會社	特一七
藤田工業所	特二四
安治亞鉛鐵工株式會社	三
(イ) 伊東電機製作所	元
乾電氣商會	特二六
今中工場	特二七
岩崎通信機株式會社	特二八
(ウ) 宇賀神電機製作所	三三
(オ) 小穴製作所	四〇
小野三商店	三五
大阪電用品製作所	三六
大阪陶業株式會社	三二
大阪變壓器株式會社	八
大崎電氣工業株式會社	特二六
大阪電具株式會社	特二二
岡地商店	特二六
神電氣株式會社	特二〇
(カ) 金田電機株式會社	二
龜山商店	商工日次
(キ) 共同電氣株式會社	特三
京都金屬工業株式會社	特二〇
協立興業社	五〇
(ク) 黒崎製作所	特六
黒崎電機製作所	特三
桑野製作所	三五
(コ) 國光電機株式會社	三
(カ) 佐藤電機製作所	特九
酒井鐵工所	特九
櫻田機械製造所	特九
山光社	特九
(シ) 敷島電機製作所	三六
昭和カーボン工業株式會社	三
昭和電線電機株式會社	二九
城東製作所	三三
白川電機製作所	三
新星電機製作所	本邦電氣協會誌
新谷商會	六
品川製作所	商工誌
(ス) 菅原電氣株式會社	表紙ノ三
鈴木セード製造所	三七
住友電氣工業株式會社	特一八
(セ) 精電會	三三
石産精工神戸電機製作所	特三六
(タ) 田村一商店	三六
大東電氣機械製造株式會社	特一六
大日電線株式會社	特一
大丸電機商會	特九
大有社電機製作所	二四
泰東電機工業株式會社	特一〇
田中電機製作所	特二七
高橋電機製作所	特二
高岳製作所	二
高柳電氣工業所	一八
大同電機工業所	特二七
(チ) ナトセ電機株式會社	三三
千代田コンダクト商會	三三
千代田商會	三三
長陵電機製作所	七
(ツ) 津田電線株式會社	特二五
(テ) 帝國カーボン株式會社	三
帝國電氣株式會社	三
帝國電線製造所	一五
寺岡製作所	特三一
電業社原動機製造所	特三
電友社	特四
電氣之友社	七四
天満電線工場	三六
(ト) 鳥羽電熱器製作所	特二六
東海電機製造株式會社	電氣商工原表
東海電線株式會社	特二

廣告目次

凡 例

本邦電氣界は昭和十六年一月より昭和十七年五月までに於ける本邦電氣界に起れる主要事項を電氣之友誌上より抄録又は更に調査せるもの、電燈電力、電氣鐵道、電氣機械器具製造工業、特許及實用新案、電氣通信事業、學事、會合、人事、及法令 其他昭和十六年—十七年に於ける電氣界の大勢を知るべき一切の事項を網羅す。但し國家總動員法の發令に依り電氣化學工業は勿論、發電所出力、電氣機器の性能個數等的確なる數字を明記し得ざるものに在りては之を削除せり。又官廳用電氣、家用電氣、各種統計表等は全部之を削除する事と爲せり、幸に諒とされ度し。

電氣事業一覽 は昭和十七年五月末日迄の回答に依れるものなり、原稿締切迄に回答を得ざりし一小部分は遺憾ながら前年度電氣年鑑に依れり。變革甚しきものは最近の調査に依り之を掲載せり。

電氣商工業一覽 は内地を初め、滿洲、中華民國に亘りて照會調査し、東京市内は更に一々精査をなし、配列は府縣毎に五十音とせり。

電氣に關する官廳職員、學校、學會、協會並統制會、組合、試驗所、研究所其他の各一覽 は昭和十七年六月末日現在調査せり。

昭和十七年七月末日印刷中に於ける移動及變動は翌年の電氣年鑑にて之を訂正すべし。

本書は最も精確を期せるも中には誤記脱漏あるやも計り難し、御氣付の點は御一報を冀ふ。

昭和十七年十月

廣告目次

東京太田電機株式會社	特三
東京高周波電氣株式會社	南方電氣
東京芝浦電氣株式會社	表紙ノ一
東京製線株式會社	特五
東京特殊電線製造株式會社	二
東京特殊電線株式會社	三
東京變壓器株式會社	特三
東京電氣株式會社	特三
東京電機製造株式會社	一四
東光製作所	一七
東西電球株式會社	一六
東洋計器電機株式會社	一六
東洋コムバンド株式會社	特四
東洋フアイバー株式會社	特四
(ナ) 中島電機製作所	特四
永江鐵工所	特三
永森電機製作所	一三
浪花電機協會	二
(ニ) 西伊工業所	特四
新田商店	一五
日進目黒製作所	一六
日都電機製作所	一〇
日東商事工業株式會社	特三
日本起重機製作所	商工目次
日本金屬工業株式會社	二
日本ダグッド製作所	特三
日本興業銀行	一
日本照明電氣株式會社	一〇
日本真空精機株式會社	一七
日本電氣株式會社	電氣年鑑本扉裏
日本蓄電池株式會社	特三
日本電子化學研究所	一〇
日本電線株式會社	電氣事業一覽扉
日本電機工業株式會社	一〇
日電興業株式會社	一六
日本特殊鋼株式會社	三
日新電機株式會社	一〇
(ハ) 早川電機蓄電池製作所	三
(ヒ) 日立製作所	特九
平野電氣電話商店	一〇
(フ) 富士産業株式會社	三
富士電機製造株式會社	富士通信機
富士電機工業株式會社	特三
藤倉電線株式會社	特二
古河電氣工業株式會社	特二
(ホ) 北光電機研究所	商工目次
(マ) 松下金屬株式會社	特六
松重電機商店	元
丸屋商店	本邦電氣界扉
(ミ) ミツワパイプ製作所	一〇
三國電氣株式會社	一〇
三菱重工業株式會社	表紙ノ四
三菱電機株式會社	特六
宮木電機製作所	特三
(メ) 明電舎	表紙ノ二
(モ) 森電機株式會社	特三
守谷商會	特八
森廣商店	特六
(ヤ) 展井乾電池株式會社	官廳職員扉裏
安田銀行	一〇
柳元電氣工業所	一〇
山田三立社	九
山中電機株式會社	一〇
大和工業所	一〇
(ヨ) 横河電機製作所	特七
(リ) 利昌工業株式會社	特三
理研真空工業株式會社	一〇

資本金 壹億五千萬圓
積立金 八千四百萬圓



株式會社 安田銀行

本店 東京市麴町區大手町

本邦電氣界

(自昭和十七年五月
至昭和十六年五月)

最新刊圖書案内

- | | | |
|--------------------------|----------------------|-------------------------|
| 工学博士 尾本義一 共著
工学士 本城 巖 | 電氣工學術語解説 | ¥1.80
送料.25 |
| 東京工業大学教授
理学博士 山本 勇著 | 改訂 最新電氣磁氣學
増補 | ¥3.50
送料.25 |
| 東京工業大学教授
理学博士 山本 勇著 | 直流 電氣機械實驗法(改訂)
支流 | ¥2.50
送料.25 |
| 元濱松高等工業學校教授
中 島 友 正著 | 増補 新編實用電氣磁氣 | ¥1.80
送料.25 |
| 同 | 新編 實用電氣機械(前)
(後) | ¥2.00
¥1.90
送料.25 |
| 明治専門學校教授
窪 住 巖 三 著 | 火力發電所 | ¥2.80
送料.30 |
| 安田工業學校教授
佐々木 竹松著 | 最新 電氣及磁氣測定
實用 | ¥2.00
送料.25 |
| 東京工業大学教授
理学博士 武井 武著 | 電氣化學工業 | ¥1.40
送料.25 |
| 北海道帝國大學教授
工学博士 島山 四男著 | 高壓電氣工學原論 | ¥1.30
送料.25 |
| 理学博士 山本 勇 共著
工学士 關 英男 | 最新 無線工學 | ¥2.00
送料.25 |
| 電氣之友社編纂 | 電氣工事人便覽 | ¥.35
送料.10 |
| 九州帝國大學教授
工学博士 森 兵吾著 | 交流理論 | ¥2.50
送料.25 |
| 日本電氣事業史編纂會 | 日本電氣事業史 | ¥3.00
送料.30 |

東京市京橋區銀座八丁目一番地(銀座大通り電友ビル)

發行所 合資 電氣之友社 御申越次第
會社 目錄進呈

振替東京二二〇三番・電話銀座二五二五番

本邦電氣界

(昭和十六年一月二十日)

昭和十六年十二月八日、長く、對米英宣戰の大詔は渡せられ、大東亞戰に於ける皇軍の赫赫たる大戦果は正に世界史に大なる一線を劃する事となつた。

此の意味に於て昭和十六年は實に容易ならぬ年で電氣事業の前途殊に南方共榮圈の電氣事業の開發を負擔する事となつたので、今後新構想の下に勇躍活動すべき分野が展開した事は大なる收獲と言はねばならぬ。

今昭和十六年中の本邦の電氣供給事業界を顧みるに、先づ發送電事業の日本發送電會社への統合は東北振興電力會社の併合によつて愈々確實化された。即ち東北振興電力は昭和十六年九月二十五日政府の命令に従ひ日本發送電に合併契約を締結し、同年十一月二十七日合併に關する準備を完了し、十二月一日解散式を行ひ、茲に東北振興なる特殊使命を有する同社は全く姿を消す事となつた。

日本發送電會社は之と各配電會社の發電所第二次出資とに依り昭和十六年下期決算時には總資本金一、四三、四、〇六九、二五〇圓となり、我國最大の株式會社として君臨することになつた、而して業績も遂次改善せられて下期には年六%の配當をなし得るに至つた。

然も電力建設工事は時局下一日も忽にし得ぬため同社は資材、勞力、資金の獲得難を克服しつゝ、進捗しており、送電線に就ては我國最初の三二〇

第一篇 電燈電力

KVの送電線が各方面注目目の中に朝鮮水力電氣會社(舊長津江水電)に依つて同社慶川江發電所と興南發電所との間に完成せられ好成绩を以て試験を完了したのは六月であつた。此は豐水發電所の一〇〇KV A發電機と共に、我國科學技術の進歩を遺憾なく具現したもので我國電氣人の大なる誇りとして特筆に値する所である。

配電事業に就ては政府は配電統制令により昭和十七年三月迄に機轉の大變革を行ひ、新に全國に九個の配電會社設立を爲す事となり、之に先だち、日本海電氣(資本金五〇、〇〇〇、〇〇〇圓)其他十一社は昭和十六年七月北陸地方の自主的合併に成功した。新會社たる北陸合同電氣は資本金八七、〇〇〇、〇〇〇圓、内拂込七〇、〇〇〇、〇〇〇圓で、富山市に本社を置くものであり、後に北陸配電會社の母體を爲すものであつた。又中國合同電氣と山陽中央水力とは五月一日合流して山陽配電株式會社となり、中國配電會社育成の礎石となつた。

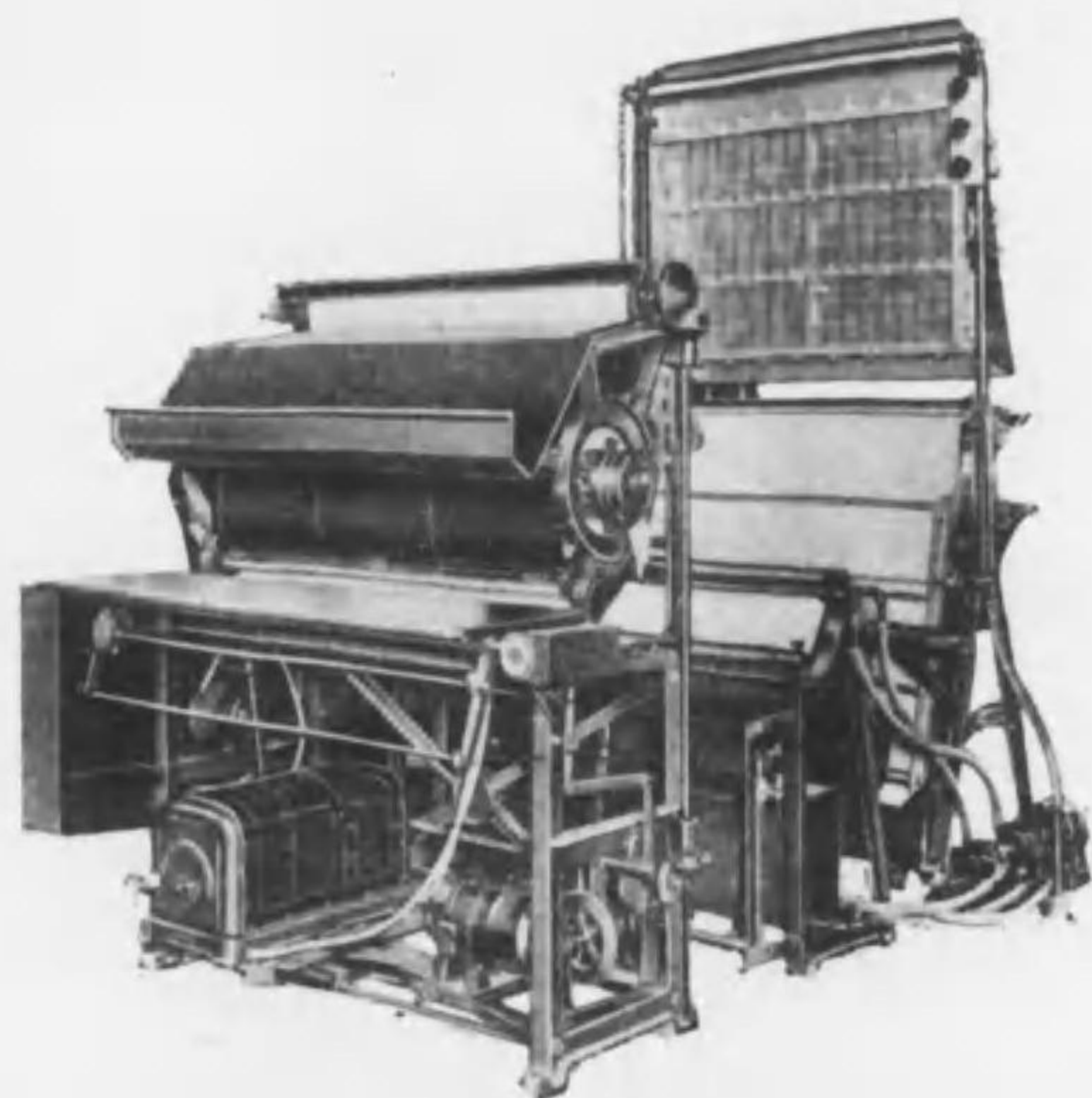
此外にも配電大統合の前奏曲を爲したものは頗る多く、例へば河津川水力伊東水力、伊豆水力及び狩野川水力は合同して伊豆合同電氣となり、大日本電力は道南電氣及び廣尾電氣を、又日高電氣は北海電氣を夫々併せた如きは即ち夫である。又外地に於ては京城電氣は金剛山電氣を合併して居る。

斯くて總動員法による配電統制令は、昭和十六年八月二十九日勅令第八三二號として公布せられ、十七年四月一日迄に全國を九地區に分ち、北海道(資本金六五、〇〇〇、〇〇〇圓)、東北(資本金一六四、七〇〇、〇〇〇圓)、關東(資本金八〇五、〇〇〇、〇〇〇圓)、中部(資本金二〇〇、〇〇〇、〇〇〇圓)、北陸(資本金一三八、〇〇〇、〇〇〇圓)、關西(資本金五六〇、〇〇〇、〇〇〇圓)、中國(資本金一七〇、〇〇〇、〇〇〇圓)、四國(資本金五八、五〇〇、〇〇〇圓)、九州(資本金二三〇、〇〇〇、〇〇〇圓)の各配電會社の設立をし、茲に第一次統合として東京電燈其他多數の配電事業會社は昭和十七年四月一日を期して國策に順應して發展的解消の下に新しき九つの配電會社に夫々統合

登録商標



丸星青寫眞機械



營業品目

各種青寫眞機械 正姿立型健康製圖機
 青寫眞感光紙 セイソ青寫眞感光劑
 ポシタイプ陽畫感光紙 製圖用紙並ニ透寫紙
 設計用品・青寫眞用品

丸星商店

本店 東京市赤坂區田町七ノ二
 電話赤坂(48)1834・1344・3251
 支店 大阪市西區本町通一ノ六一
 電話西 1523・1375

せられ、第二次第三次の統合も昭和十七年度に於て行はるゝ事となつてゐるから昭和十八年三月末日迄には全國の總ての配電會社は全くその姿を消して

前記九配電會社に統合を完了さるゝこととなつた。

第一篇 電氣鐵道軌道

昭和十六年中に於ける交通事業に大變革を來したものは帝都交通の整調である。即ち政府は昭和十六年の議會を通過した帝都高速度交通營團法の施行と共に、帝都の交通調整に着手すべく先づ七月四日帝都高速度交通營團を設立し、次いで昭和十三年制定にかゝる陸上交通事業調整法第二條に基づき、舊市内に於ける地下高速度交通事業の帝都高速度交通營團への譲渡並に舊市内陸交通事業の東京市への統合の各命令を七月十五日附を以て發令した。これによつて帝都高速度交通營團に譲渡せらるべきものは、東京地下鐵道及び既成未成線(一五・二km)、東京高速度鐵道既成及び未成線(一六・九km)、京濱地下鐵道未成線(五・二km)、東京市未成線(五〇・九km)、合計八八・二kmであつて、東京市に統合せらるべきものは、城東電車(一一・二km)、王子電車(一六・五km)、西武新宿線(七・五km)の外、青バス、黄バス、王子バス、城東乗合を合せ二二・三・七kmに及ぶものである。この統合後、東京市の有する營業路面電車は二一・七八km、バスは四二・八二kmとなる筈である。これによつて帝都の交通は省線を除くと、路面、地下各單一營團によつて統制せられることになり、帝都交通の合理化は茲に實現せられるのである。顧みれば我帝都の交通機關は永年に亘り何等統制改善を見ることなく、市民懸望的となり、市當局は勿論政府に於てもこれが調整を計劃せられたる

第三篇 電機製造工業

世界戦史にその類を見ざる大戦果を擧げた此次皇軍の大戦果に依り廣袤數千軒に亘る廣大なる地域が大東亞共榮園として我國の指導下に立つ事となつ

こと數回に及んで居るが、未だ其曙光の見るべきものがなかつた。以て如何に本事業の實行困難なるかを知るべきである。然るに今回は時と人と二つながら當を得、茲に市民多年の宿望は實現せられ、國防國策の推進に資する所があつたのである。工業の都市集中に伴ひ、電氣鐵道事業は何れも業績の好轉を見たが、同時に統合による經營の合理化も行はれる所があつた。即ち東京濱濱電氣會社はさきに目黒蒲田電氣と合體したが更に、靜岡電氣、江ノ島電氣を傘下に收め且つ京濱電氣と湖南電氣との併合もこれを東横電氣の一翼とするに至つた。又名古屋鐵道は昭和十六年六月三河鐵道を合併して資本金四二・八、七五〇圓となり、大阪電氣は傍系參宮急行を併せて關西急行電氣と改稱し、鬼怒川水力電氣も亦小田原急行電氣を合併して却つて小田原急行電氣と改稱したことも注目すべきものであつた。これに反し京都電氣は兼營電氣事業を分離して京福電氣を設立しこれに傍系電氣會社を統合することとしたことも統合の一態様である。電氣工事關係に於ては山陽電氣が既に開通せしめた廣畑線の外に網干線の工事に著手し工場地帯への觸手をのばしたと、和歌山鐵道の電化工事の進行中なること等があげられる。

たので、生産力擴充増強は愈々其重要度を加へて來た。就中各種重要産業の原動力をなす電氣機器の増産は其尤たるものであつて、基礎産業としての重

要性は十分に之を認識しなければならぬ。高度國防産業の一として電氣機械器具及び材料製作工業技術の向上は眼望ましく、外國の特許を買ひ外國の設計を模倣した依存主義は既に過去の夢と化し、大東亞戰爭以來敵性特許の無條件取消の輿論は奮然として起り、自主獨任國産品により自給自足の確保を期して、その凡てを國産品により、戦時下の資材不足努力不足等の諸點を克服し、よく日本の技術の一層の發達を來し、よく世界的記録品を擧出せしめてゐることは露目に値する所である。大陸經營の原動力として電氣機器の進出目覺しきものがある。特に特筆すべきは大電力機の製作技術の著しき進歩であるが、之等に就ては許されたる範圍以外はその詳細を公表し得られないのは遺憾である。電機製造業者は限られたる資材と生産力とを最も効果的に利用することを攻究し民間諸團體間に設置せられた電氣規格連絡會に於て電氣機器の規格統一が進められて居るが之が電氣機械統制會の指導的活動と相俟つて我電機器

の生産力増強に役立つてゐる。電機製造業者は何れも重要産業者として夫々其總力を傾倒して居るが、東京芝浦電氣は曩に東邦鋼業を併合したが、續いて六割増資を斷行し、總資本金(二八・二、四〇〇、〇〇〇圓)に於て日立製作所に迫るものあるに至つた。これに對し近年關西に於て電器王國を形成しつゝある松下電器系に於ては十六年五月松下電機機と松下電工とを對等合併せしめて松下電氣工業を創設した外、中島飛行機と東京芝浦電氣との共同經營にかゝる東京中島電氣は十一月下旬其工場を完成せしめ、航空機電氣部品の製作に精進することとなつた。日立製作所亦その廣大なる大規模の擴張工事は嘗てのソ聯五ヶ年計畫に依る事業擴張のそれを想見せしむるものがあり、大東亞共榮園に對する供給に遺憾なからしむるものあるは心強き次第である。

第四篇 電氣通信事業

放送ラジオの普及率は愈々高く、内地に於て聴取者數六、〇〇〇、〇〇〇に近く、十六年二月に於ては全世界對する百分比は三九・三を示した。都市別の需要率を見ると大都市に於ては東京市が第一位であり、八一・七を示し、中小都市に於ては鎌倉市の八九・一を筆頭とし、豊中、市川、川崎等之に次いで居る。

昭和十六年に新に開局せられた放送局は松山(三月)青森、防府、大邱(以上四月)大分(六月)豊原(十二月)等であり、認可済のものには那覇、野付牛、酒田、宇和島、釜石、濱田、新宮等があるが、大陸向けを目的とする一〇〇KWの放送局は福岡に於て建設中であつたが年末に至り資材の關係より一時中止の止むなきに至つた。

去る五月以來東京、横濱、大阪、神戸、福岡、小倉及び八幡の諸都市に於て假放送を行ひ、實施の第一歩を踏み出した。電燈線を利用する搬送式農村電話は多年試験研究に向けられてゐたが、愈

よ實踐に第一歩を踏み出し、十六年三月高知縣に約二一KWに亘る施設を見同縣下は勿論、徳島、高松、宇和島等とも通話可能となつた。これは關西に於ける最初の實用例として注目に値する。續いて七月には靜岡縣及熊本縣下に更に八月には鹿児島縣に施設せられ戦時下資材不足の對策たらしめてゐる。尙通信省に於ては昭和十六年度架設電話機の査定方針を物動計畫に基づき物資の不足を見越し、軍事國防關係、公衆關係、時局産業關係の三部門に局限し六、〇〇〇個に厳選したことも時局柄止むを得ぬ所である。

本邦電氣界

第五篇 特許及新案

第一章 電氣工業關係の特許及新案趨勢

(特許局報告審判官 東條喜一氏稿に據る)
我國の發明界も一般工業界と同じく、今日迄の所謂外國殊にドイツ、アメリカに引つられて發達して來たと云つても過言ではあるまい。併し大東亞戰爭下技術的領土の狀態に入つた以上我國の發明家は、發明の方面にも大和魂を發揮して、眞に我國獨特の發明の發達に奮勵努力發明界に於ても越々たる成果を擧げねばならぬ。大東亞戰爭の我國の發明界に及ぼす影響は、これから益々著しくなる事と思ふ。

さて昭和十六年に於ける我國の發明界を概観するに先づ目につくのは、特許の總出願件数が前年よりも極めて僅ではあるが增加して特許局開設以來の最高記録を示した事である。而して之を工業別に見るに最近十數年間増加を重ねて來た化學工業の出願件数も少しく減少し、又數年來漸増の傾向を示した電氣工業の出願件数も幾分減少したのに對し、機械工業の出願件数は前年に引續き可なりに増加してゐる。但し總特許件数は幾分減少した。又實用新案に於ては總登錄出願件数は前年に引續き可なりに増加し、總登錄

件数も亦可なりに増加して特許局開設以來の新記録を作つた。國際情勢は昭和十四年以來諸外國の統計が未著の爲その趨勢を明にする事は出來ない。

(一) 數より見たる我國の發明界

(一) 出願件数並に特許及び登録件数
最近數年間の特許局に於ける特許及實用新案の總出願件数及總許可件数を示すと第一表の様になる。而して昭和十一年に於ては特許及實用新案の出願件数を合算した數は特許局開設以來の最高記録を示したので、昭和十一年の件数を一〇〇として指數を算出した。

又特許局では特許及登録實用新案を機械、化學及電氣の三工業に分けてゐるが、電氣工業に關して第一表に相當するものを第二表に示した。

(二) 電氣工業發明界に於ける傾向
特許局では特許發明及登録實用新案を二〇七類に分けてゐるが、その中で電氣工業は一八七類から二〇七類までの二一類である。但しその分類は大正十年の制定に係り、現在の電氣工業界の實情に即してゐない事をお断りして置く。

そこで電氣工業界に於る趨勢を窺ふ爲に、昭和十五年に於て出願件数の多

昭和十二年
昭和十三年
昭和十四年
昭和十五年
昭和十六年

第一表 總數統計 (但し昭和十一年の指數を一〇〇とす)

年 度	特 許		實 用 新 案		特 許 實 用 新 案	
	出願數	特許數	出願數	特許數	出願數	特許數
昭和十二年	17,361	9,494	6,642	3,810	10,504	5,624
昭和十三年	18,121	9,843	3,810	2,133	11,954	5,757
昭和十四年	18,340	9,913	3,015	1,833	11,328	5,590
昭和十五年	19,827	10,716	1,829	1,000	12,546	6,590
昭和十六年	19,997	10,866	1,236	1,111	12,057	6,701

第二表 電氣工業關係統計 (但し昭和十一年の指數を一〇〇とす)

昭和十二年
昭和十三年
昭和十四年
昭和十五年
昭和十六年

年 度	特 許		實 用 新 案		特 許 實 用 新 案	
	出願數	特許數	出願數	特許數	出願數	特許數
昭和十二年	11,977	6,251	3,238	1,711	5,029	2,422
昭和十三年	11,010	6,110	3,122	1,672	4,794	2,344
昭和十四年	11,113	6,086	3,141	1,611	4,752	2,272
昭和十五年	11,302	6,134	2,161	1,101	3,265	1,202
昭和十六年	11,102	6,101	1,824	1,029	2,853	1,129

かつた類を第五位まで示すと第三表及第四表の通りであつて、大體に於て前年と同様である。

第三表 昭和十五年に於て特許出願數の多かつた類

順 位	類 別	件 數
一	高周波電氣通信	五五五
二	電信及電話(有線)	三三六
三	送電及び配電	三三六
四	電氣的及び磁氣的測定	三三六
五	變電	一九五

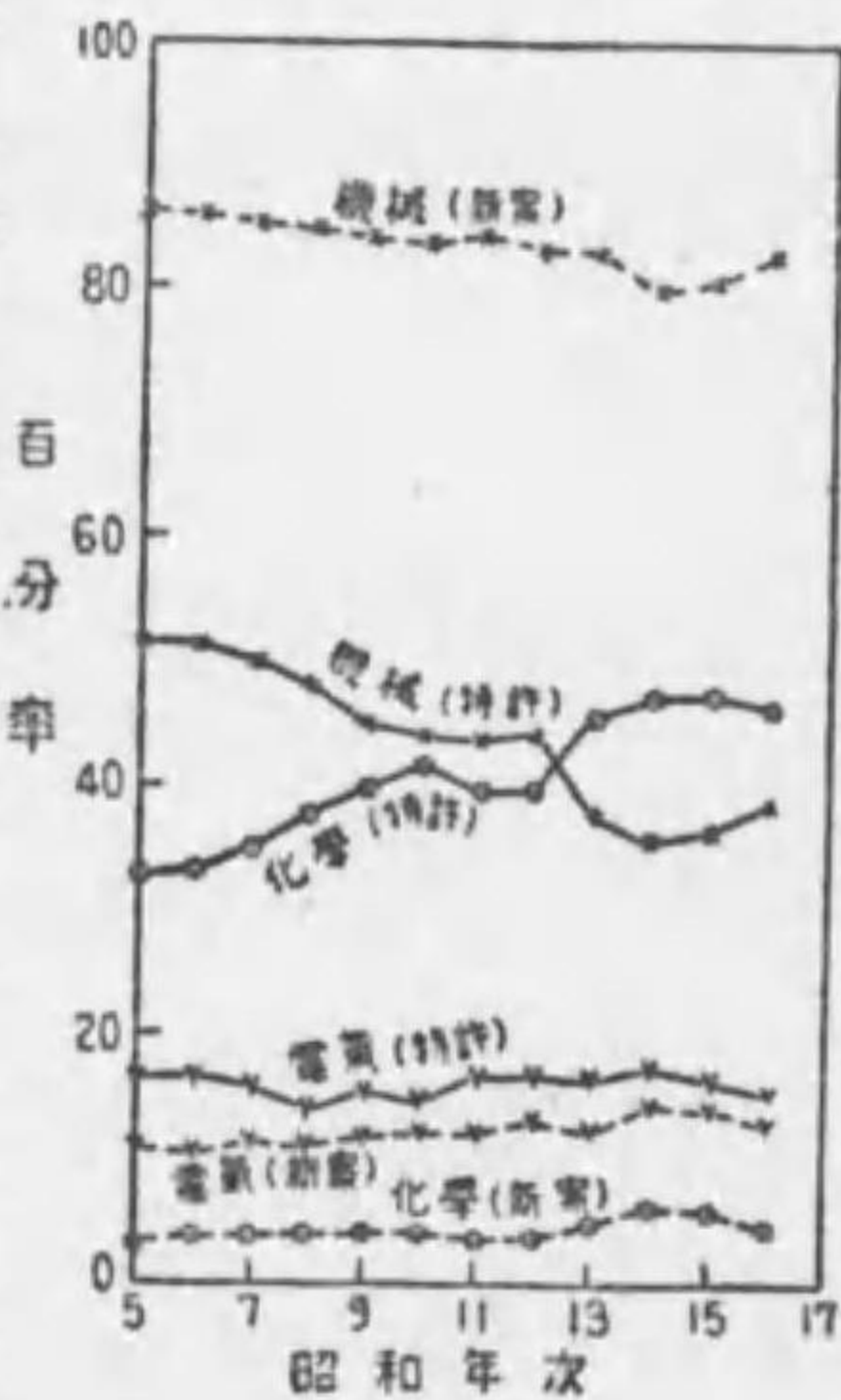
第四表 昭和十五年に於て實用新案登録出願の多かつた類

順 位	類 別	件 數
一	電 燈	七三六
二	電氣開閉器	四六三
三	送電及び配電	四二二
四	高周波電氣通信	三九三
五	電氣傳導	三〇九

(三) 我國發明界に於ける工業別出願率

數字に現はれた所から見て、我國の發明界に於て機械、化學及電氣の各工業が毎年の出願中如何なる割合を占めてゐるかを第一圖に示した。實用新案ではさほど顯著な傾向は見えないが、特許ではこの圖からも判る様に我國の發明界も一般工業界と同じく、最初は機械工業の出願率が高かつたが、その

後化學工業の出願率が益々頭し電氣工業の出願率は略一定である。そして近年



化學工業の躍進目覚しく、機械工業に代つて第一位を占めてゐる事は時代の姿を映してゐるものと云へる。

(四) 特許權及實用新案權の現在數

特許局開設以來特許された發明は十五萬に近く、又登録された實用新案は第五表 特許權及實用新案の權利數 (昭和十六年末)

本邦電氣界

第五篇 特許及新案

三十一萬を超えたが、法定の存続期間の途中で消滅するものが多く、昭和十六年末現在に於ける權利数は第五表に示した通りである。茲に外國人と云ふのは權利者が外國人である件数であつて、外國人の發明を本邦人が譲り受けて特許又は登録を受けたものは内地人として計算してある。

第六篇 學會業界の會合と人事

第一章 學會及業界の諸會合

昭和十六年の學事及び會合は一月二十五日の電氣學會及び照明學會定時總會を以て幕は開かれ、電氣學會は瀧藤泰二教授を、又照明學會は福田豐氏を夫々會長に推し、何れも新説の意氣を以て精進することとなつた。

恒例の三學會聯合大會は四月上旬東京市に於て開催更に九月上旬仙臺に於て秋季大會を開く筈であつたが時局の緊迫と共にこれを取止め、各支部に於て別々に開催するの止むなきこととなつた。従つて東京市に於ては秋季にも學術研究の報告が行はれた譯である。

次に科學測器に關する物理、電氣、機械等各分野に亘る緊密なる連絡を圖るため科學測器學會が陸軍中將多田禮吉博士を會長として發足し、其機關雜誌として科學測器が一月二十六日に始めて發表せられ、爾後有益なる資料を新學會に提供しつゝある。

全國主要の電氣關係専門學校に於ては時局下技術者不足対策として收容人員の増高を圖りつゝあつたが、札幌電氣事業協和會に於ては去る四月一日より財團法人札幌高等電氣學校を設立し其急に應ずることとなつたことは同慶に堪えない。

大學程度に於ては東京帝國大學に於て第二工學部の開設が具體化せられ、昭和十七年度より學生の入學を許す筈であつて、これ亦技術者陣の増強を意味するものとして衷心より祝意を表する次第である。

最後に電氣試驗所創立五十周年祝賀會に就て一言する。逕信省電氣試驗所が開設せられて以來昭和十六年を以て滿五十年に達するので、去る十一月十五日同所に於て記念式典をあげ、同十七日にはこれが記念講演會を行ふ所が

あつたが、同所の輝かしき業績は五十年の歴史を以て更に由緒をあたへられたこととなり、今後の研究に一層の力強さをあたへたものと觀てよい。

第二章 電氣界人事

官廳人事は時局の急迫化と共に愈々頻繁を加へた觀がある。

先づ逕信省關係に於ては、逕信大臣は村田省藏氏より寺島健氏に引繼がれ、逕信次官は山田龍雄氏に代つて手島榮氏榮轉し、更に電氣廳長官は田村謙治郎氏より藤井崇治氏に、工務局長は荒川大太郎氏より松前重義博士に、電氣試驗所長は密田良太郎博士より堀岡正家博士にと夫々パトンは渡され茲一年の間に高層人事は殆ど面目一新の感があつた。其他の重要人事をあげると、

- 電氣試驗所第三部長 山内 二郎、電氣試驗所第一部長 沼倉 三郎
- 仙臺逕信局長 鈴木 恭一、大阪逕信局長 有田 喜一
- 郵務局長 遠藤 俊一
- 鐵道省に於ては八田嘉明氏が鐵道大臣に就任せられるや、鈴木次官以下多數局長の勇退を見たが、電氣關係者の異動は殆どなかつたといつてよからう。
- 又文部省關係に於ても極めて少く、次の諸氏を見出すのみである。
- 文部省督學官 清水 勤二、多賀高工校長 早川 富正
- 東京工大教授 森田 清、京城帝大教授 安宅彦三郎
- 濱松高工教授(兼) 篠原 登、東北帝大教授(兼) 仁科 存
- 東京工大教授 鈴木 松雄、大阪帝大教授 岡田 實
- 藤原工大教授 谷村豐太郎、旅順工科大学長 安達 禎
- 東京帝大工學部長 内田 祥三、名古屋帝大教授 金原 淳
- 電氣供給事業關係の主なる人事を辿ると

東京電燈取締役 淺野八郎、佐藤健徳、佐藤雄雄、進藤武左衛門、高井亮太郎、新田宗雄、宮原信英(十一月退任)岩佐剛一

大日本電力取締役 水野吉太郎、水野浩二、小田部毅

富士電力社長 素木 晃治、富士電力常務取締役 田澤 元夫

山陽配電社長(兼)會長牛尾 健治、東邦電力副社長 清水 收吉

東邦電力専務取締役 田邊九萬三、西山 信一

臺灣電力社長 増田 次郎、朝鮮鴨綠江水電社長 久保田 豊

九州電氣社長 坂内 義雄

京都電燈社長 田邊 隆二、副社長 石川芳次郎

伊豆合同電氣社長 水野 隆一

又電氣鐵道關係に於ける主要人事は次の如きものがある。

京都高速交通營團總裁 原邦造、東武鐵道社長 根津藤太郎

東武鐵道會長 八田嘉明(後辭任)、小田原急行社長 五島 慶太

京濱電鐵社長 五島 慶太、京都市電氣局長 森 義信

東横電鐵取締役 小林清雄、鈴木幸七、尾川武夫、立花榮吉、三宮四郎

電機製造關係の主なる人事は次の通りである。

東京芝浦電氣取締役 風岡憲一郎、古市龍雄、服部勝雄

東京中島電氣社長 新開 廣作、芝浦製作所専務取締役島村 一郎

日立製作所専務取締役馬場 桑夫、理研重工業社長 吉見 勝一

日本電氣常務取締役 丹羽保次郎、同會長 古田俊之助

三菱電機會長 川井 源八、同社長 宮崎 駒吉

東海電機會長 寒川 恒貞、同社長 寒川恒一郎

臺灣通信工業社長 中上 豐吉、日本電氣計器會長 島津常三郎

昭和十六年に於て電氣に關係する研究によつて工學博士又は理學博士の學位を受けた人々の氏名並に其論文題目をあげると次の通りである。是等諸氏は益々研究を積まれ邦家の重責に任せらるゝは慶祝に堪へない。

小泉 四郎(早大助教授) 傳送多端子回路網に關する研究並に演算子觸析に關する二三の寄與(早大)

原田 常雄(東京芝浦電氣技師) 放電燈の研究(東大)

岡田 實(電氣試驗所技師) 航空機無線機動方式に關する研究(東大)

本邦電氣界

第六篇 學會業界の會合と人事

熊澤 尙文(九大助教授) 或種の陰波型電流波の一取扱に就て(九大)

田中 正道(東京芝浦電氣技師) 電子衝擊を受けたる金屬の殘效果に就て(東大理學部)

米田 麟吉(商工省中央度量衡研究所) 電氣抵抗オームの絕對測定(東大理學部)

佐藤 一郎(電氣試驗所技師) 整流回路特に其交流側高周波に關する理論的研究(東大)

平山 晃(九大助教授) 殘響(九大)

宮田 聰(理研) アルミニウム陽極の特性(東大)

森元 吉(日立製作所技師) 回轉電氣機械の温度上昇に關する數學的並に實驗的研究(北大)

前田 憲一(電氣試驗所技師) 電離層並に近距離短波傳播に關する研究(京大)

山田 貞吉(電氣試驗所技師) 絶縁用礦油の劣化現象並に劣化防止機構に關する研究(京大)

昭和十六年に於て逝去せられた電氣界の名士を想起する儘に列記すと次の如き多數に上つて居る。

渡邊孝、川崎榮助、堀内秀太郎、莊田平泰、大野清三郎、黒田三郎、廣瀬

亞夫、松葉恭助、林實藏、杉浦龍太郎、室川義勝、佐藤吉兵衛、高橋猪之助

田村謙治郎、小澤清作、樺山資英、田中榮八郎、廣瀬爲久、古川阪次郎、森

藤、百溪深、石川弘三、西山巖、山脇延吉、加藤森男、立谷直、岩垂邦彦

宮本武之輔

第七篇 電氣關係法令

第一章 主なる電氣關係法令

昭和十六年中に於ては（國家總動員法中改正の件）を始めとし、法令の公布頗る多きを見たが、その中電氣關係の主なるものを擧ぐれば次の如くである。

- 日本發送電株式會社法中改正の件
法律第五十三號
昭和十六年三月六日
- 帝都高速度交通營團法
法律第五十一號
昭和十六年三月六日
- 國家總動員法中改正の件
法律第十九號
昭和十六年三月一日
- 日本發送電株式會社法中改正法律施行期日の件
勅令第四百八十四號
昭和十六年四月二十二日
- 法律第五十三號 昭和十六年四月二十五日より之を施行す
電力管理法施行令中改正の件
勅令第八十五號
昭和十六年四月二十二日
- 配電統制令
勅令第八百三十二號
昭和十六年八月二十九日公布施行
- 配電統制令施行規則

- 逓信・司法省令第一號
昭和十六年八月二十九日施行
- 會社所有株式評價臨時措置令勅令
第八百三十三號
昭和十六年八月二十九日
- 配電統制令第四十五條の規定に依る鐵道抵當及軌道抵當取扱に關する件
鐵道省令第十四號
昭和十六年九月五日公布施行
- 會社經理統制令中改正の件
勅令第八百五十九號
昭和十六年九月十六日
- 會社經理統制令施行規則中改正の件
關令第二十一號
昭和十六年九月十七日
- 統制團體登記取扱手續
司法省令第七十九號
昭和十六年九月二十五日
- 電力消費規正關係告示
逓信省告示第二千二百九號
昭和十六年十一月一日
- 電力調整令第三條の規定に依る電力の消費の制限に關する件
逓信省告示第二千三百四號
昭和十六年十一月二十日
- 昭和十五年二月逓信省告示第三百二十號中改正の件
逓信省告示第二千三百五號
昭和十六年十一月二十日

重要産業團體令に關する關令及告示

- 關令第一一十六號
昭和十六年十月三十日
- 鐵鋼統制會定款
商工省告示第八十三號
昭和十六年十一月二十一日
- 電氣廳官制中改正の件
勅令第七十五號
昭和十六年十二月十日
- 電氣試驗所管制中改正の件
勅令第七十八號
昭和十六年十二月十日
- 昭和十四年十二月逓信省告示第三千六百八十五號中改正の件
逓信省告示第二千四百十八號
昭和十六年十二月十一日
- 昭和十四年十二月逓信省告示第三千七百八十六號中改正の件
逓信省告示第二千四百十九號
昭和十六年十二月十一日
- 許可認可等行政事務處理簡便令
勅令第九百六十七號
昭和十六年十一月十四日
- 電力調整令施行規則中改正の件
逓信省令第三號
昭和十七年一月十日
- 許可認可等行政事務處理簡便令施行規則に關する件
逓信省令第四號
昭和十七年一月十日
- 電氣機械統制會定款
商工省告示第十九號
昭和十七年一月十三日

本邦電氣界 第七篇 電氣關係法令

會社經理統制令中改正の件

- 勅令第一千二百三十四號
昭和十六年十二月二十六日
- 會社經理統制令施行規則中改正の件
關令第三十號
昭和十六年十二月二十七日
- 鐵鋼需給統制規則中改正の件
商工省令第一號
昭和十七年一月九日
- 特殊鋼需給統制規則
商工省令第二號
昭和十七年一月九日
- 工場事業場管理令施行規則
商工省令第三號
昭和十七年一月十日
- 電氣瓦斯税法
法律第五十八號
昭和十七年二月二十一日
- 電氣瓦斯税法施行規則
勅令第六十五號
昭和十七年三月十三日
- 電力調整令第三條の規定に依る電力消費に關する件
逓信省告示第四百十號
昭和十七年三月十四日

第二章 法規に依る發表

配電統制令に依る第一次統合事業者及びその聯合方法に就き電氣廳より左の如く發表せられた。
第一次統合事業者名及び統合方法

配電統制令に依る第一次統合事業者及び其の統合方法に就き電氣廳より右の如く發表せられたり。

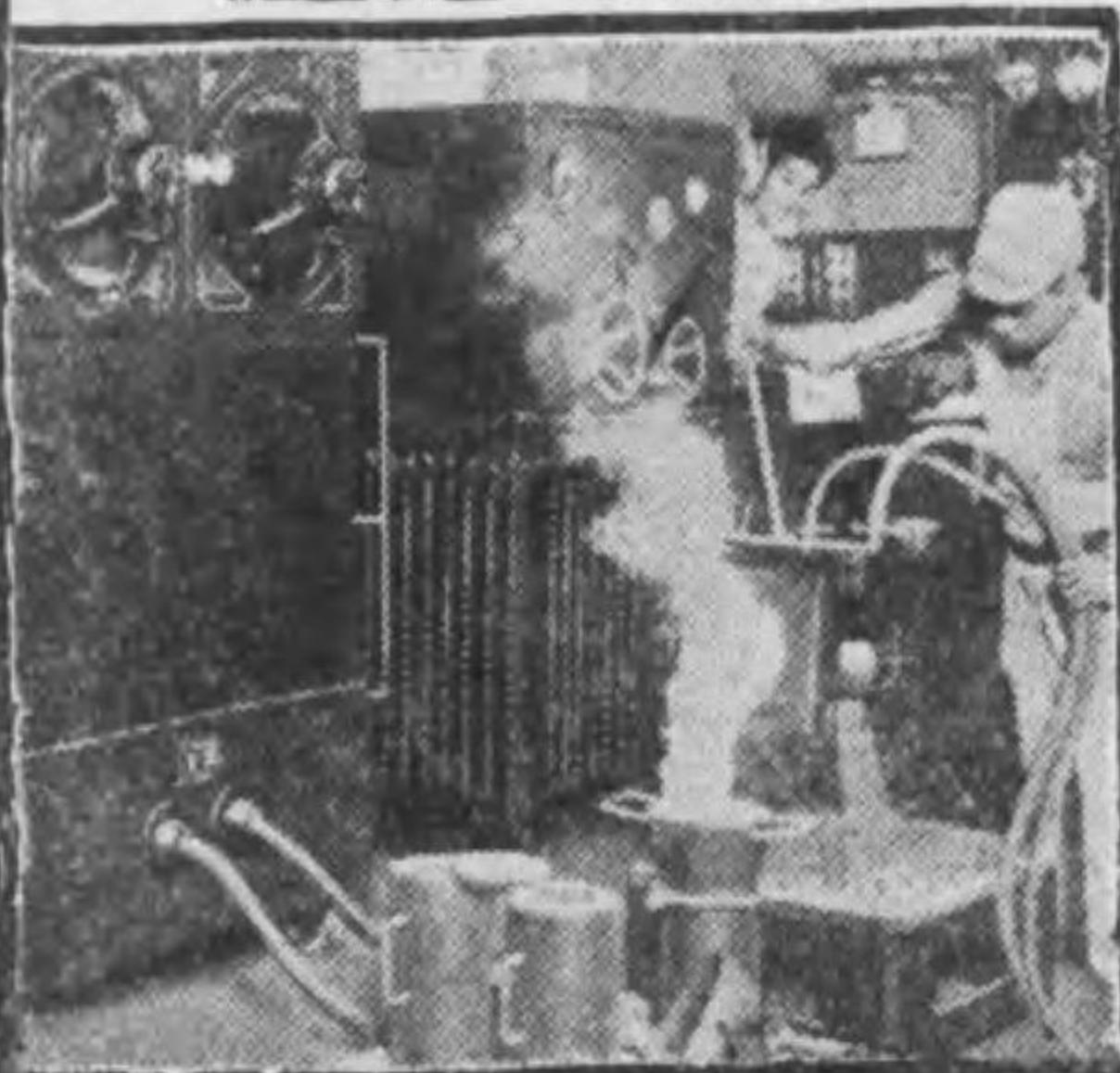
九州地區(四事業)				四國地區(五事業)				中國地區(四事業)												
九州	東本	日本	九州	四國	土佐	東邦	伊豫	高知	山陽	山陽	山口	關西	關西	關西	關西	南海	南海	南海	南海	
電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力
指	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資

關東地區(十一事業)											東北地區(十三事業)				北海道地區(四事業)										
東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京	青森	宮城	仙臺	新瀉	北越	東北	中北	東北	中北	東北	北海	北海	北海	北海	
電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力
出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資

關西地區(十四事業)											北陸地區(四事業)				中部地區(十一事業)										
大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	北陸	北陸	北陸	北陸	中部	中部	中部	中部	中部	中部	中部	中部	中部	中部	中部
電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力
出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資	資

高周波電氣爐

最短納期 - 調整最滑 - 性能最秀 - 技術最新 - 経歴最古



本機の主なる用途

各種合金の製造、特殊鋼類の製造、工其類の焼入、鑄鋼の焼入と焼入、タンダステン、白金、イリチウム等高温合金の焼入、鋼球の熱処理、クランクシャフトの焼入、鋼管のバット溶接、高純度光学ガラスの製造、石英硝子の製造及加工、真空中の熱処理又は熔解、合金鋼製造、鋼物、食料品、醫科材料等の製造、溶料乾燥等。

型録進呈

東京高周波電氣爐株式会社
 東京都田代町四丁目九番五号
 電話 田代(代表) 四七四九・五六七八

南方共榮圏の電氣事業

泰國の電氣事業

泰國は土地概ね平坦で自然が包蔵する電力資源は割合に貧弱である。現在政府の經營で發電計畫を樹てゐるカンチャナブリの水力開發地點の外には殆んど取立て、言ふべきものがない。火力發電の電源に就ても同國には石炭埋藏量は僅に地方的消費を充すに過ぎず石炭の供給難のため火力發電は困難であり、石油の産出がないので従來の發電も粗製や木材等に俟つた有様であつた。泰國に於ける工業用動力の需要は極めて少く、現在の電氣事業は主として電燈事業と云ふ状態である。

一、電氣事業の沿革

西曆一八九〇年代に丁抹人が盤谷市に於て電氣供給事業を開始したのが泰國に於ける電氣事業の嚆矢である。其後一九二七年にこの資本金七十萬磅の電力會社と資本金六十二萬五千鎊のシャム電車會社と合同してシャム電氣會社が創立せられたのが今日のシャムエレクトリックコーポレーションで同國第一の大電力會社である。

更にこの會社の外に一九一一年に盤谷市の北部サームセンのチャオプラヤ河岸に官營發電所が設けられ一九一五年より發電を開始してゐる。其他各地方の小都市にも約四十七ヶ所に小發電所が建設せられてゐるが、何れも規模小なるものである。

二、電氣事業の現況

電氣事業の主要なるものとしては盤谷市官營電氣事業とタイエレクトリックコーポレーションとであつて前者は盤谷市の北部並に官營事業に電氣を供給してゐる。後者は同市の中心たる南部及び河向ふのドンブク市に電燈用電

力を供給する外併せて同市の電車經營も行ひ電氣器具の販賣をも兼ねてゐる。投下資本は二二、五六三、二〇〇鎊で特許期限が一九五〇年迄となつてゐる。同社の發電の動力資源は専ら木材や粗製炭きに依存し、石炭も石油も使用しない。發電機は七八〇〇キロワット二基と二五〇〇キロワット一基とがある。盤谷市は人口約六十萬の大都會であるが、その他には國內に大都市なく、市と稱するも人口數萬程度のもので官營工場や自家用發電事業も容量の大なるものにて五〇〇KW以下の小發電所に過ぎず、國內の全發電容量を合計しても三〇、〇〇〇KWを出でない程度である。總發電力は現在約四萬KWであるが其發電力の八〇%は盤谷市に於て消費されてゐる。

現在各都市に於て群小の發電をなしてゐる程度であるから送電線は餘りない。官營發電所よりセメント工場送約二軒一、〇〇〇V送電線の外には目下計畫中のカンチャナブリ發電所が完成すれば約四〇〇〇軒の送電線が出来た事になつてゐる。

全國の電燈數及び電動機取付數は未だ統計の確かなるものがないが、一年間の輸入量より推定すれば大體電燈數一、四〇〇、〇〇〇燈、電動機數二、〇〇〇臺と云ふ所であらう。

三、電氣鐵道事業

鐵道省經營に依る盤谷バクナム間一八軒、盤谷市内泰電氣會社線約一〇〇軒、鐵道省は電氣機關車二一臺、泰電氣會社は單車約六〇臺を有してゐる。

四、電氣通信事業

泰に於ては明治十六年郵便通信局制度を創設して以來電氣通信事業は總て國營となつてゐる。電信は明治八年陸軍省が盤谷バクナム間に約一五軒の電信線を架設したのが嚆矢で明治十六年以來一般公衆用に利用せらるるに至つた。現在電信取扱局は直轄局、鐵道附屬局及特殊私設局を合せ約七〇〇局で

その普及率はマレー、フィリッピン等よりも劣つてゐる。使用機器もモートルス又は音響機が大部分でまだ幼稚な状態である。

電信線路の延長は約一、〇〇〇軒であるが約半年に亘る雨期の爲不通となることが多い。

電話交換業務が開始せられたのは明治十九年であるがその發達は極めて緩慢で現在盤谷に加入者約四、〇〇〇名、チェンマイ約二、〇〇〇名、その他の都市に若干の加入者を有するに過ぎない。現在對内無線局は盤谷外五局あり、それから海岸局は五局あるが、一般公衆通信を取扱ふものはバンコック、コーシーチヤンの二局あるのみである。又對外有線電信は佛印、ビルマ、マレーに通ずる陸上線有するのみで海底線は皆無である。放送は昭和二年開始、國營であり、施設としてはサラデーンに一〇キロの中波、バンコックに二、五キロの短波がある。聴取者は二九、五六四（一九三八年末現在）である。

東印度諸島の電氣事業

東印度群島は赤道を挟み北緯六度、南緯十度の間に散在し島嶼は概して小なる爲め海洋上の氣流の影響を受ける事が多くアジア大陸と濠洲との中間に位置する爲め典型的な季節風地帯であり、一年間の降雨量は東季節風の乾季と西季節風の雨季とに分れ乾季には概して雨量が少い。大體に於て此の群島では各島嶼に相當高度の山脈が縱走する爲め各地に勾配が見られ又雨量も平地に比較して多量なるを常とするもボルネオを除き何れも島嶼の幅員が狭いため山地より流れ出づる河川の水量は一年を通じて平均することなく雨季には相當多量なるも乾季には渇水を見る事が多い。故に水力發電を行ふ場合には乾季に備へて相當大規模の貯水設備を行ふか或は補助機關として汽力發電所を設ける必要がある。以下同方面に於ける電氣事業の概況を紹介する事とする。

一、電力資源

(1) 石炭 東印度諸島に於ける發電は主として水力利用であるが、この外石炭、重油、木材或は甘蔗の搾糖済のもの等を燃料とする火力發電も行は

南方電氣事業

東印度諸島の電氣事業

れてゐる。元來東印度の石炭は主として船舶用に使用されるもので良質石炭は殆んど濠洲及び南阿よりの輸入に俟つもので、主として工業用或はガス炭製造用に使用されてゐる。

(2) 石油 鑛油の發電用として使用せらるるものに關しては之を窺知する資料に乏しいが、東印度の石油は大體入割前後が輸出され、その残り二割が領内で各種の目的に使用されてゐる。パタヴィアに於ける石油の小賣値は一罐當り二、二五五盾、一立當り〇、二二盾となつてゐる。

(3) 水力資源 包蔵水力に關しては大體左の如く見積られてゐる。

瓜哇	六〇〇、〇〇〇馬力
スマタラ	二、〇〇〇、〇〇〇馬力
ボルネオ	二、〇〇〇、〇〇〇馬力
セルベス	一、〇〇〇、〇〇〇馬力
其他	一、〇〇〇、〇〇〇馬力
計	六、六〇〇、〇〇〇馬力

二、發電所の設備概要

(1) 水力發電所

西部瓜哇 西部瓜哇に於ける大規模な發電並に送電は西部瓜哇及びバンドン高原の二系統に大別されてゐる。西部瓜哇系統はワブルグ並にクラチャックの水力發電所を有してゐる。ワブルグ水力發電所はバイテンゾルフ南方五軒チバダクの近くチヤチ河に臨み約五、五〇〇KWの發電機二臺を有し、又クラチャック水力發電所はバイテンゾルフ西方約二〇軒チンテン河に面し前者と同じく五、五〇〇KWの發電機二臺を設けて居り兩者併せて約二、〇〇〇KWの發電能力を有してゐる。此の兩發電所よりの送電はバイテンゾルフに於て連結され、パタヴィア、バイテンゾルフ及びスカブミの諸都市に七〇〇KVの高壓送電線を以て送電され、パタヴィアでは更にウエルトフレードンの官營火力發電所に連繫されてゐる。ウエルトフレードン火力發電所は三臺のスターム、ターピンを有し總出力は七、五〇〇KWであるが之は右水力發電所の補助用或は乾季渇水期に於ける補助發電所として使用されるものである。

以上の電力は國有鐵道の電化路線並に工場港灣等に直接供給される外近郊の民間會社に供給され民間配電會社より需用家に供給されてゐる。この系統の消費者に對する供給量は年約八〇、〇〇〇、〇〇〇KWHに及んでゐるがその中の最大の需用者はバイテングルフに在るグット・イヤールのゴム工場で約七、〇〇〇、〇〇〇KWHを消費してゐる。

次にバンドン高原系統には二群の水力發電所系統がある。即ちバンドン北方のベンコック並にダゴ及びバンドン南方プレングアン及びラマジャンに於ける水力發電所である。ラマジャンの水力發電所は六、四〇〇KW容量の水車タービン三臺、プレングアン水力發電所は一、〇五〇KWの發電機三臺を有する。ベンコック水力發電所は一、〇五〇KW單位の發電機三臺及びダゴ水力發電所は七〇〇KW單位の發電機一臺を有し、結局バンドン高原系統の發電設備容量は二六、二〇〇KWとなる。尙此系統には八八、五〇〇萬立方メートル、一、五〇〇萬立方メートルの貯水池を有してゐるが此の貯水池は乾季の渇水期に備へたものである。此等の發電所よりの供給は一九二〇年に經營を開始したものでその一年間の供給電力量は六五、〇〇〇、〇〇〇KWHに及び最大の工業需用者はバダランの製紙工場である。

西部瓜哇に於ては電力需用は益々増加する現状にあり、タシクマラヤ及びクラワンの諸地方へも官營送電網の普及を計り最小容量一〇、〇〇〇KWの水力發電所増設も計畫せられ又チエリボ市に電氣供給をなす爲めに官營水力發電所建設の計畫も進められてゐる。

中部瓜哇及び王領自治地 チュロック水力發電所が代表的なものでトンタノ河を利用し容量四、八〇〇KW發電機三臺を有す、これは數ヶ所の火力發電所と連繫し配電網を通じてスマラン州及びケド州の一部及びジョクジャカルタ並にストラカルタの王領自治政府に供給してゐる。此の系統は更にバンジャラ河に沿ふケトルゲルに三、五〇〇KWの發電機二臺を有する水力發電所の建設を完成しバニユマス州並にケド州の一部に供給してゐる。中部瓜哇に於ける民間水力發電所の發電量は年約六〇、〇〇〇、〇〇〇KWHで、大して見るべきものはない。

東部瓜哇 マデイウンに官營の水力發電所がある、チアトウル水系を利用するギリランガンのマデイウンのデイーゼル發電所で總容量二、五〇〇KWの

出力を有し高壓送電線に依りマデイウンのデイーゼル發電所に連繫されてゐる。此は一九一七年運轉開始され、マデイウンの市營電氣事業に供給されてゐる。

民營の主なる水力發電所はケデイリ州内のコント河岸にあるメンダラン及びシマンに所在するもので前者は五、六〇〇KW發電機四臺、後者は三、六〇〇KW發電機二臺の設備を有す。此の發電所より七五〇KV及び三〇〇KVの高壓送電線に依りストラバヤ、マラン及びケデイリの諸州に送られてゐる。此間ストラバヤのスマンビル火力發電所とマランの火力發電所と連繫されてゐるがその總發電量は年約九〇、〇〇〇、〇〇〇KWHである。

其他の地方 瓜哇以外の島嶼所謂外領地方の電力資源は相當にあるもまだ開發せらるゝに至らず、その電氣供給事業は部分的で水力發電の適地が分散してゐるため、今迄は火力發電所に一小部分の配電が行はれてゐた。瓜哇以外の所謂外領地に於ては、スマトラ島に官營水力發電所が、一つあるだけである。

即ちベンクレーンの發電所でテス湖より流出するケタウン河を利用したもので容量七五〇KW發電機二臺を有しタンバン、サワの官營金銀嶺山及びレジャン、レボンの民營金銀嶺山に供給してゐる。その他の水力發電所は規模小にして特記するに足るものがない。

官營水力發電所 官營の水力發電所は瓜哇に九、スマトラに一つある。現在の發電容量は瓜哇七三、三五〇馬力、スマトラ二、〇〇〇馬力、計七五、三五〇馬力であるが、現在の發電所設備完了後には東印度の全域では二二〇、〇〇〇馬力となる。その他瓜哇では目下建設中の容量一四、〇〇〇馬力のもの一あるので完成後の官營水力發電所の容量は一三四、〇五〇馬力となる譯である。

三、電氣通信事業

東印度諸島に初めて電信が架設せられたのは安政三年（一九五六年）の事でバタビヤ、フィデングル間の電信を以て嚆矢とする。次で明治九年蘭印電信法が制定せられ蘭印政府直營となつたが國內電信事業の一部は鐵道會社及び石油會社の經營に委任せられてゐる。

比律賓の電氣事業

一、比律賓の電氣事業沿革

大小二千有餘の島嶼より成る比律賓に於ては電氣事業の大部分はルソン島にありと云ふも過言ではない。而もルソンに於てはマニラ電氣會社が殆んど獨占的地位を占めてゐるが、其他の諸島に約二百有餘の小地方電燈會社があり、又工場嶺山用の小規模な自家用發電設備も相當に存在してゐる。

(1) マニラ電氣會社 投下資本二六〇〇萬弗、電燈事業、發電所經營市街電車及びバス運輸事業を經營してゐる。マニラ電氣會社はマニラ郊外鐵道及びユニオン、トラック會社は比律賓に於て、一九一九年にマニラ電氣會社が設立せられる迄の電氣會社であつた。一九二一年に此等三會社の資產はマニラ電氣會社に譲渡され一九二七年には電燈動力の供給を地方に迄擴張し多數の自家用發電所を買収した。一九三一年五月には同社のポトカンの水力發電所は完成し供給を開始したが此發電所は容量一七、〇〇〇KWであつて電壓は一〇、〇〇〇V、直長は五十五哩の送電線によつてマニラ市に連繫された。同社の汽力發電所は二九、五〇〇KWの容量を有しその經營に係る發電所は一八箇所でルソン全土に散在し水、火力發電所の總容量は四八、〇〇〇KWである。同社はマニラに火力發電所を經營してゐる外に各所に小規模の發電所を有し三十九の屋外發電所を有してゐる。尙交通部は公共事業の他の諸部門の發展に伴ひ一九〇六年には車輛約五十五臺の路面電車を有してゐたが現在ではバス百七十九臺、電車車輛一〇九臺を運轉してゐる。

(2) 國營動力會社 ラグナ州ラムパンのカリラヤ河に二四、〇〇〇KWの容量を有する發電所を建設中であるが、マニラ電氣會社は現在容量一七、〇〇〇KWの水力發電所と容量二九〇〇〇KWの火力發電所を有してゐるがマニラ市に於ける工業用及び家庭用の需用増加のため之を購はるが爲め之を購入電力の確保を企圖せるものである。

二、主要發電所

發電所の總数は大體三〇〇と推定されてゐるが今その主要なるものを擧ぐ

ジャバ島は蘭印の政治、經濟、文化の中心であつて電話の普及發達も極めて良好で歐米に比し左程の遜色はないがその他の諸島に於ては殆んど通信施設として見るべきものがない。僅に沿岸都市に小電力無線設備を持ち國內電信連絡を維持してゐるに過ぎない。

電信事業は、政府直營のもの鐵道會社、及び石油會社の私營のものがある。ジャバ島に於ては電信網が普及し、ジャバ島からスマトラ、ボルネオ、セレス、パリー等の主要諸島へは海底電線がある。モルトカ島、バプア島其他の島嶼には無線連絡があり、ジャバ島以外には有線電信施設として見るべきものなく凡て無線電信を利用してゐる。

電信局数は一、〇七四局、有線電信回線は二〇〇回線、(海底線二八二軒)無線電信局數五七局、無線連絡は一五五回線である。

電話は政府經營であるが電信事業と同じく鐵道會社及石油會社に私設を許しその一部を公衆通信に共用せしめてゐる。政府經營の交換局數は三三九局(昭和十四年)でその中自動局は一局あるのみである。主要都市の加入者はバンドン約三、三〇〇、バタビヤ約八、二五〇、ストラバヤ約五、八〇〇スマラン約二、〇〇〇等(昭和十五年)である。

東印度諸島相互間の連絡は無線に依存し、固定局數はバンドン、メダン、バレンバン、パルクババン、タラカン、マカッサル、メナド其他の五〇餘(昭和十五年)で使用機の大部分は電信電話兩用機である。海岸局はバンドン、バタビヤ、マカッサル、メダン、ストラバヤ外十箇所に官設局があり、私設局はKPM汽船會社のもの僅に一つあるのみである。現在政府經營の航空無線局は一局あり、無線電話局所在地は無線電信固定局と同様である。

對外電氣通信としては對外海底線連絡は總べてケーブル、アンドワイアレス會社の施設であり、對外無線電信連絡は總べてバタビヤ局がバンドン送信所及びランチャエテク受信所を操縦して取扱つてゐる。

東印度に於ける放送事業は昭和九年に設立せられた蘭印ラジオ放送會社(NIRROM)が大半年の放送局を經營して居り其外に主要都市にはクラブ組織の私設放送局がある。

南方電氣事業

東印度諸島の電氣事業

比律賓の電氣事業

れば次の如くである。

(1) ルソン島 にはマニラ電気會社の(イ)マニラ汽力發電所があり、タービン發電機四五〇〇KW二基、三、〇〇〇KW二基、一、〇〇〇KW二基、一、五〇〇KW一基何れも三相交流六〇サイクルで使用されてゐる、同じくある。他に直流六〇〇KW一基は電車用として使用されてゐる、同じく(ロ)ポトカン水力發電所はマニラより五哩離れたポトカンにあつて發電所はポトカン川とダリチナン川との合流地帯にある、落差六四七呎、海抜一、〇〇〇呎の高さにある、水車發電機は一萬馬力毎分回轉數七二〇反動水車直結で八、〇〇〇KWの發電機二基あり、此はマニラ市に送電され他方一、二〇〇馬力毎分回轉數七二〇回轉式水車直結の一、〇〇〇KW發電機一基あり此電力はマニラ近傍の村落に供給してゐる總出力は一七、〇〇〇KWである。

(ハ)カリラヤ水力發電所國營動力會社をしてラグラナムパンのカリラヤ河に水力發電所工事を起せるもので、貯水池の面積一六一萬平方米、貯水量七、八〇〇萬立方メートル、機械材料はタービン一萬二、五〇〇馬力三基、發電機三基一萬八、〇〇〇馬力、變壓器八臺送電用鋼線八六萬呎鐵塔三三六ヶ所分等が購入契約が成立し一九四二年一月一日送電開始の豫定である。

(ニ)デイゼル發電所 出力七〇乃至一〇〇KWの小容量のマニラ電気會社の經營にかゝるデイゼル發電所が十八箇所ある、其他自家用發電が約二千KWである。

(2) バナイ島 イロイロに地方電燈會社經營の石炭使用の火力發電所約一、〇〇〇KWと自家用發電所がある。

(3) セブ島 セブに地方電燈會社經營の石炭使用の火力發電所約一、〇〇〇KWあり、その他に容量約六〇〇KWの自家用汽力發電所がある。

(4) ミンダナオ島 ダバオに地方電燈會社經營の石炭使用の火力發電所一、〇〇〇KW及び自家用デイゼル發電所約一、〇〇〇KWがある。

(5) 其他 其他の都市に於けるデイゼル發電所出力約五〇〇KWである。

比律賓に於ける發電力は一九三八年に就ては大體五〇、〇〇〇KWであつた。その後の建設中のものを入れば現在七〇、〇〇〇乃至八〇、〇〇〇KW

と推定せられてゐる。

三、電力資源

(1) 石炭 石炭は比律賓科學局の概算によると石炭の埋藏區域延長は五百平方マイルに亘り、豫定炭量は六千五百萬噸に達するといはれてゐるが一九一八年に國立石炭會社が設立せられ現在兼業會社を合して三十四社が採掘に當つてゐるが、年産額僅か二、三萬噸に過ぎずして國內消費量すら十分に賅ひ得ないのであつて、動力用或は燃料用として年々二十萬噸以上の石炭を主として日本より輸入してゐる状態である。元來比島の石炭は工業用として品質も他國品に劣り使用に堪へないと云はれてゐる。

(2) 石油 石油埋藏量を推定する事は不可能であるが、定説に據れば比律賓には多少の石油はあり得るが大油田は存在しないものと信ぜられてゐる。尙同島の複雑な地質構造は問題に複雑化してゐるので運輸機關建設の困難と相俟つて比島の油田開發は經濟的にも其他にも困難視せられてゐる。

(3) 水力資源 石炭、石油資源は前述の様に豊富とは解し難いから、比律賓の工業化の前提條件として水力資源の開發に重點をおくべきであらう。比律賓は山岳地方が海拔高く、年降雨量も一、七〇〇乃至二、二〇〇浬で季節風の影響があり、西海岸に於ては乾期と雨季とがあつて雨量が一定してゐないといへ、瀑布急流が多いから電力資源は決して乏しくはない。殊にルソン島中部プラカン州のアンガレット、リサル、タヤバス州のレナチン、アグス、カナン等の諸河川の水力利用は有望である。亦ミンダナオ島北部イリガンより三浬の地點にある水源をラナオ湖に發してゐるマリヤ、クリスチナの瀑布は有望である。ミンダナオ島に電氣鐵道建設が計畫されてゐるが、其の動力源としてマリヤ、クリスチナ瀑布の利用が計畫されてゐる。海岸よりの距離は二、三浬の地點にあつて、瀑布の頂上は海拔四六〇・八呎にして、底部は一三五・五呎、落差三百二十五呎である。尙此の瀑布の流量は毎秒最大一、九二二ガロン、毎秒最大二五・〇九九ガロンであつて、利用水力約八萬馬力であると云はれてゐる。

四、電氣通信事業

フィリッピンに於ける電氣通信事業は國內電信事業や小設備の海岸局など

は官營で多額資本を要する對外電信事業、放送事業等は私企業に經營に委ねられてゐる。

國內電信事業は政府事業として郵政局の管理に屬してゐる、電信連絡はルソン、マサル、バナイ、セブ、ミンダナオ等主要島嶼間は海底線に依りその他の島嶼間は無線に依つてゐる。

フィリッピンに於ける國內電話は殆んど總べてフィリッピン長距離電話會社の經營に屬するがダバオ、ザンボンカ等二三の地方には他の小電話會社がある。加入者はマニラの二、四〇〇(昭和十五年末)を基頭にイロイロの一、五〇〇、セブの一、四〇〇等が主なるものでその他は何れも五〇〇以下の小局である。

無線電信方面を見るに海洋局は昭和十六年五月現在で四〇局に及んでゐる航空無線局は昭和十五年五月現在で二九局でアメリカ陸軍三、比島政府航空局一四、汎米航空會社八、イロイロ、ネグロス航空會社三、フィリッピン航空會社一の状態である。

對外電氣通信は有線無線の電信電話を通じて悉く私企業に經營に委ねられてゐる。對外無線電話連絡は昭和八年三月以降開設せられマニラ、香港、大阪、ベルリン、バンドン、サイゴンの五回路があつた。

放送事業は總て私企業に委ねられ、放送事業者は廣告放送の廣告料を主たる財源としてゐる。フィリッピンに於ける放送會社及其放送施設は次の如くである。

- (イ) 極東放送會社マニラ局二五KW一臺、一KW三臺。
- (ロ) ヒーコック百貨店マニラ局一KW一臺、セブ局〇・五KW一臺、海外放送用)
- (ハ) ベック商會マニラ局一KW二臺、〇・五KW一臺。

佛領印度支那の電氣事業

一、電氣事業の沿革

佛印は人口約二千三百萬人、大部分は安南人でフランスの領有以來既に七

南方電氣事業

比律賓の電氣事業

十年を閱するも依然然業多く工業の見るべきものは少い。佛印の電氣供給事業は一八九二年佛人ジョージ、エルムニエが海防に於て許可を得たるに始まり次で東京のヘノイ、交趾支那のシロン東埔寨のブノンベン等にも許可を得且つ水道事業をも兼營するに至つた。其後一九〇二年資本金二千萬法の印度支那電氣株式會社と改め東京地方河内海防に經營を續けた。一方南部に於ては一九〇〇年に西貢に資本金二二五〇萬法を以て印度支那水道電氣株式會社が設立せられ西貢、シロン及びブノンベン等の電氣及び水道事業を經營するに至つたが當初建設の五、〇〇〇キロワットの發電所には不足となり一九二一年資本金二千萬法を以て印度支那電力株式會社を設立シロンに二萬六千キロワットの火力發電所を設立したが後前記印度支那水道電氣株式會社に合併せられた一九二六年には資本金二百萬法を以て殖民地電氣電力會社設立せられヴィンロン、サデック、トラビン等に事業經營せらる。次で一九二八年には資本金百萬法を以て印度支那安南水道電氣株式會社設立せられ安南主要都市エエ、ツラン等に事業經營した。一九二九年には資本金七二〇萬法で印度支那同電氣株式會社設立せられ、ミト、ベントン、パッタパン、シエムレアブアンチエ等に事業經營を開始した。一九三一年には殖民地政府は五百萬法を出資して電氣事業經營に参加、一九四二年東京デルタ地帯電化計畫に着手、一九三六年五月右工事完成した。

二、電氣事業現況

次に現在の電氣事業者は僅かに都府地の電燈、電扇及小動力を主たる供給の對象と爲す程度にして此の儘の事業方針を以てしては既に行詰りの状態である。

主要なる電氣事業者は左の五社とす

- 印度支那電氣株式會社 資本金六千萬法
 - 印度支那水道電氣株式會社 資本金九千五百萬法
 - 印度支那安南水道電氣株式會社 資本金百萬法
 - 殖民地電氣電力株式會社 資本金二百萬法
 - 印度支那同電氣株式會社 資本金七百二十萬法
- 資本金合計一億九千三百二十萬法(一比弗は十法とす)即ち一九三二〇、〇

○比弗にして發電所出力合計七一、四三二キロワットである。又佛印政府は印度支那電氣會社に五百萬法を出資すると共に官營を以て地方の小都市七箇所に合計出力四七〇キロワットの發電所を施設して事業を經營せり。又他の地方十四の小都市に對しては夫々小事業者に依り合計出力一、一五四キロワットの發電所より經營せらる。官營及小事業者の合計資本を約一千萬法と見れば全土の總資本は約二億法即ち二千萬比弗(現在爲替相場にて約二千萬圓)と見るを得べく發電所數六六、出力合計は僅かに七三、〇五五キロワットである。

右の内水力發電所は二箇所、出力合計一四〇キロワットにして水力の開発は全然未着手の状態なり。他は總て火力發電所にして河内の二〇、〇〇〇キロワット、海防の五、〇〇〇キロワット、西貢の三、〇〇〇キロワット、プノンベンの三、五〇〇キロワット右四ヶ所合計六〇、〇〇〇キロワットを除けば他は六〇箇所出力合計二、九一五キロにして平均二一五キロの小發電所のみである。而して汽力は前記河内、海防、西貢のみにして他は主としてホンゲイ炭を利用する石炭瓦斯、又は薪を利用する瓦斯機關によるもの或は重油機關によるもの等である。

次に自家用電氣施設者を見れば發電所數二三出力合計三二、一〇〇キロワットにして其の内主要なるは鴻基(ホンゲイ)、ドントリニュー地方の炭礦會社海防のセメント會社、南定(ナムデン)の紡績會社、ピンベンチユイのマッチ會社等にして出力合計一七、〇〇〇キロワットである。佛印全土の營業用及び自家用電氣を通過すれば、

發電所數 八九箇所
發電力數 一〇五、一五五キロワット

内 水 力

一〇二、七二五
二、四四〇

次に一九三七年年度の發電力量に就いて見れば供給事業用のみにて七四、七四〇、〇〇〇キロワットにして發電設備に對する容量は僅かに一一・七%に過ぎず之れは主として左の二の理由によるものと考へらる。

- (一) 發電設備は殆んど全部同等の豫備設備を有すること。
- (二) 需用の大部分が電燈なること。

即ち一九三七年年度に於ては良質無煙炭(揮發分三乃至十%含有)二百二十六萬五千噸、長煙炭其他(揮發分十乃至四十五%含有)四萬三千噸、合計二百三十萬八千噸にして良質無煙炭の占むる割合は九八%餘なり。三十八年度以降の數字は發表されざるも推定によれば二百三十五萬四千噸との事である。

石炭は印度支那礦産物中の第一位を占むると雖も世界の産炭量より見れば遙かに低位にありて鑛業技術及び生産技術の改良と坑夫の素質改善とに依りて其の生産高は増高する事が出来る。

發電用燃料資源として佛印の石炭は包蔵量、生産量、品質及び價格何れの點點よりするも十分の期待をかけ得べく良質無煙炭は寧ろ化學製品原料として使用せらるべきものである。

石油 一九二七年の調査によれば鑛油資源は相當豊富なるものを包蔵す主たる産地は南部安南のグイン、ハオである。鑛油は重炭酸鹽性にして最近漸くグインハオ鑛油開採株式會社によりて着手せられた。今日に於ては電力資源としてよりも他の動力資源として考慮せらるべきものである。

四、水力資源

佛印に於ける水力調査は一部施行中の模様であるけれども未だ其の實情を窺知するを得ない。

東京地方 紅河本流には大した期待をかけられずと雖も支流、殊に黑河には相當有利なる水力地點がある。

安南地方 安南は所謂安南脊稜山脈以東に位する細長き地方にして老鷓(ラオス)と背合せになれり。而して山脈は千乃至二千五百米位の高さを有し殆んど密林に蔽はる。山地々方の年降水量は大體二千五百乃至三千耗にして山脈の中腹以上に於ては三千耗乃至三千五百耗の豊富なる雨量を示してゐる。

最も多量を示せるホンバ、コンチエームの山岳地方は四千耗以上を示せりこれは安南脊稜山脈が短く臺灣東部に於ける中央山脈の働きを爲せると相似たるものあるが爲めなり。而も山脈の東部は勾配急にして水路式高落差の發電に適すべく反對側即ち老鷓地方に於ては勾配緩なるを以て堰堤式落差發電

南方電氣事業

佛領印度支那の電氣事業

之に反して自家用施設者の同年度の發電量は七八、〇〇〇、〇〇〇キロワットにして發電設備に對する容量率二八%を示してゐる。

三、電力資源

石炭 印度支那に於ける石炭の埋藏量に就ては確たる調査無きを以て豫測するに難しと雖も最近の發表によれば十一億二千五百八十萬噸と發表せらる。右の内現在採掘中のものは主としてトンキン地方のアロン灣附近炭田にして所謂鴻基(ホンゲイ)炭と稱せらるるものである。而してその主なる炭礦業者は左の如し。

會社名	創立年次	資本金
東京炭礦會社	一八八八年	三八、四〇〇、〇〇〇法
ドントリニュー炭礦會社	一九一六年	二八、〇〇〇、〇〇〇法
アロン、ニ、ドンダン炭礦會社	一九二四年	一一〇、〇〇〇、〇〇〇法
パニエ炭礦會社	一九二八年	七五〇、〇〇〇法
合 計		(七五、〇〇〇比弗) 七八、一五〇、〇〇〇法

石炭産出量は左表の通りである。(一九三八年、B.E.I.)
採炭業者別石炭産出量(單位、千噸、一九三七年度)

無煙炭	分類炭	粉炭及混合炭	計
東京炭礦會社	五五七・七	一、〇八〇・一	一、六三七・八
ドントリニュー炭礦會社	三〇八・五	一七五・二	四八三・七
パニエ炭礦會社	九・九	二一・四	三一・四
アロン、ニ、ドンダン炭礦會社	五・一	三六・三	四一・四
其他	二・三	六八・四	七〇・八
小 計	八八三・六	一、三八一・四	二、二六五・〇
結 核	一五・九	二七・一	四三・〇
チユエンカン及フアンメ炭礦會社	八九九・四	一、四〇八・六	二、三〇八・〇
合 計			

に適すべし林相は概して良好にして而も中腹以上には松林の純林多きを見る河川の状況は鐵道線路附近に於ては到つて緩流にして洪水等による被害は渺い様である。

本地方の水力資源は比較的小なれども地點は豊富にあるものと推せらる。

交趾支那地方 本地方は低地多し水力地點に乏しと雖も海岸國境地方及エレフアン山脈は非常なる多雨地方にしてポコールに於ては年雨量最大六千三百六十耗平均五千六百五耗を示す。標高も千五百米を有し小水力地點は豊富なるものと推察す。

老鷓地方 メコン河本流の水力地點の介在する中流以東は泰國との國境河川となり、水力の開発に當りては兩國協力して開發すべきものである。コロン地點の瀑布は往時より注目せられし所に一ヶ所實に數百萬キロを起す事が出来る。

メコン河支流の内佛印側の支流は既に述べたるが如く堰堤式發電に適す。

五、電氣通信事業

電信は原則として佛印政府の經營に屬してゐるが、私企業鐵道會社の電信局は旅客電報に限り取扱ひ尙外に特許會社があつて小部分の電報を取扱つてゐる。佛印政府の經營する電信系統はハノイ、サイゴン、プノン、ベンフノラン等を中心としてゐるが幼稚で小電力の短波裝置を各地に施設し有線の不備を此間固定局間の無線連絡に依つて補つてゐる。

電話は總て政府の經營に屬してゐるがその發達程度低く市内電話は交換局一七一の中自働局僅に三で、サイゴンの如き電話加入者一、八〇〇名、ハノイ一、〇〇〇名、ハイフオン六〇〇名、他は全部五〇〇名以下(昭和十三年末)である。

無線通信は國內に多數の小電力局を設置して固定地間通信を行ひ有線の不備を補つてゐる。船舶無線電信業務は總て政府の經營に係り現在海岸局は九局あり、短波無線裝置を有する海岸局はサイゴン及びミイシオの二局のみである。

國內通信施設の不振に引換へ對外通信施設は早くから發達し、有線無線の

對外運路は一應の形勢を整へてゐる。佛印の放送事業は甚だ振はず、僅にサイゴンに一〇キロの中波一及短波二機を持ち一、〇五〇、六一一六、一一、七八〇Kcを以てカンボヂヤ語、佛語、タイ語、支那語、交趾支那語、安南語、トンキン語、英語、和蘭語及びアメリカ向放送を行つてゐる位のものである。聴取者は一九三九年末にて六、四九三名南洋諸國中でも少い方である。

ビルマの電氣事業

ビルマは農業本位國でラングーン附近を除いては工業の發達は見るべきものがないが土地廣闊、地下の礦物資源に富み、農業林産、牧畜等の資源に對しては未開拓の分野が多い。

一、水力資源

ビルマの母と呼ばれるイラワジ河、遠くビルマ、インド國境に端を發するサルウィン河、ベグー平野を流れるシタタンピリンの兩河等は四時滿々たる水を湛へ北に山を負ひ南に開けたる土地柄丈に北部方面では相當の落差を有し、水力發電の有望なる電源として囑目せられ、全地域には總出力三百萬キロワットに達する水力電源ありと推せられてゐる。軍政部にてはビルマ發電第一期工事として十六年計畫を樹て〇萬キロワットを目標に準備を進めてゐるが、總工費六億一千萬圓餘の豫定で左の四地區に工事を進める事になつてゐる。

一、サルウィン河中流地區、ベグー、トングー、ケルウィンなどを中心に發電豫定地十箇所

二、タウンヂイ河地區、タチー、カロ、タウンヂイなどを中心に九箇所

三、サルウィン河中流地區、南シヤン中央及セントン州四箇所

四、ウエリ河上流地區、北シヤン及びボードウィンを中心とする。

二、電氣通信事業
ビルマに於ける電氣電話及放送事業は僅少の例外を除き官有官營で原則として國務大臣監督の下に郵電部が管掌してゐる。

- (1) 電信 郵電部にて運管する電信線路は殆んど全部が架空線路でケーブルは極めて少い。電信取扱局は昭和十五年三月末現在で郵電部經營三二五局、鐵道部經營三三一局合計六五六局である。
- (2) 無線電信 航空業務を取扱ふ陸上局はラングーン外五局あり、内國電報を取扱ふ無線局は僅に三局で船舶無線業務を取扱ふ海岸局はラングーン及びダイヤモンド島にある。
- (3) 對外電信 ビルマの海外電報は印度中繼となり泰及び雲南方面を除き總べてカルカッタへ送られカルカッタより海底線經由のものはマドラスへ無線經由のものはボンベイへ送られてゐた。
- (4) 電話 ビルマに於ける電話事業は原則とし官有官營であるが、ラングーン及びモールメンの二大都市に於ける市内電話だけは沿革上の理由に依り私營に委ねられてゐる。政府經營の電話交換局は一三五局に達し、市内電話は共電式又は磁石式で自動式のものはない。加入数はラングーン約四、〇〇〇マンダレー約五、〇〇〇、モールメン約二、〇〇〇が主なるもので、總数は約一五、〇〇〇である。尙郵電部は昭和十一年ラングーンに無線電話設備を有しマドラスとの間に直通無線電話連絡を開始しマドラスの中繼に依りカルカッタ、ボンベイ等との間に國際電話業務を運轉して來た。
- (5) 放送 放送事業は政府の經營に屬し郵電部に於てラングーン放送局を設け特定の郵便局をして聴取許可證を交付させてゐる。聴取者は約三、〇〇〇位と推定せられてゐる。

マレーの電氣事業

電氣通信事業

英領マレーの電氣通信事業は各政府の直營で海峽植民地總督の統制の下に行はれてゐた、電信網は有線が主で、對外有線連絡としてはウエスレー地方のプナガ局とバンコッタとの間に直通線有してゐるが、障礙が多く同區間の通信は無線電信連絡に負ふ所が多い、電話はシンガポール市及びジョホール市に於けるものは私營でありオリエンタル電話電氣株式會社が特許を受けて經營してゐる以外は全部各政府の管理に屬し、郵便電信局に依つて運

營せられてゐた。交換局は昭和十三年現在ではシンガポールを除く海峽植民地に二〇、マレー聯邦に一〇八、内自働局三、非聯邦各地に入〇あつた。無線電信は固定局としてはシンガポール、セレーター、ベナン、クアタタン、クアラ、ルンブール、アロール、スター外十數局があり海岸局はシンガポール、ベナン、クアタタン、アロール、スター、クアラ、ルンブール外二局何れも中短波の設備を有し相當整備してゐる。無線電話としてはクアラ、ルンブール無線通信中心にクアタタン及びベナンとの間に連絡があるに過ぎない。對外電氣通信はイギリスが夙に世界政策の實行に當り海底電信網が根本要素なるを認識して世界海底電信網を完成してゐるのでシンガポールに於ても同地を中心として東亞諸國主要地に放射状に伸びてゐるが此等は總てケーブル、アンドワイアレス會社の經營する所である。

放送局はシンガポール、クアラ、ルンブール及びベナンにある。シンガポール放送局は現在二KWの中波一臺、五〇〇Wの短波二臺を持ち印度語、タミール語、アラビヤ語、佛語、和蘭語、タイ語等の放送を行つてゐる。尙東洋に於ける放送の中心局として一〇〇KWの短波放送局建設の計畫あり完成せりとの報もあつたが放送開始には至らなかつた。

クアラ、ルンブール放送局は三〇〇Wの短波一臺を以て支那語マレー語の放送を行つてゐた。ベナン放送局は一KWの短波一臺で英語、支那語、タイ語の放送を行つてゐた。

聴取者数は昭和十五年九月で一九、五〇〇名餘、大部分はシンガポール島にある、同地の聴取者層は歐米人七、〇〇〇、支那人六、〇〇〇、マレー人六、〇〇〇、印度人二、〇〇〇であり、聴取料はシンガポール島十二弗、他の地方は五弗である。

南方電氣事業

ビルマの電氣事業

ヒューズ筒
(包装可熔器)

新 星 電 機 製 作 所

東京市京橋區銀座西三ノ一 カクマサムネビル
電話 京橋 (56) 自 3151 番 至 3156 番
工場 東京市大森區池上本町一七五 電話池上 (05) 309 番

株式會社 日本起重機製作所



主要製品

各種起重機、卷上機、昇降機、輸送機、運搬装置、其他電力許減機

東京市蒲田區糞谷町五丁目一二八五番地

電話(04)9535・9536・9537 電報(04)0586・0950

統制法令

國家總動員法

(昭和十三年五月五日實施)
(關係條項の一部)

第八條 政府ハ戰時ニ際シ、國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ物資ノ生産、修理、配給、運渡其ノ他ノ處分、使用、消費、所持及移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十九條 政府ハ戰時ニ際シ、國家總動員上必要アルトキハ、勅令ノ定ムル所ニ依リ價格、運送賃、保管料、加工賃、修繕料其他ノ財産的給付ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三十一條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ、十年以下ノ懲役又ハ五萬圓以下ノ罰金ニ處ス

一、第八條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

二、第十九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

價格等統制令

(昭和十四年十月二十日實施)

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)ニ於テ南洋群島ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第十九條ノ規定ニ基キ價格、運送賃、保管料、損害保險料、賃賃料、加工賃、修繕料其ノ他ノ財産的給付(以下價格等ト稱ス)ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 價格、運送賃、保管料、損害保險料、賃賃料又ハ加工賃(以下價格運送賃等ト稱ス)ハ昭和十四年九月十八日(以下指定期日ト稱ス)ニ於ケル額ヲ超エテ之ヲ契約シ支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ、但シ開令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ支拂者又ハ受領者ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場

統制法令

國家總動員法

價格等統制令

合及本令施行ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付テハ之ノ限ニ在ラズ

一、注文生産品ノ價格ニ付生産者ガ生産ニ着手シタルモノ

二、其ノ他ノ價格ニ付買主其他ノ支拂者ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ

三、運送賃又ハ加工賃ニ付運送人又ハ加工者ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ

四、保管料損害保險料又ハ賃賃料ニ付支拂者ガ履行遲滞ニ在ルモノ

前項ノ指定期日ニ於ケル額ハ價格運送賃等ノ受領者ニ付テノ額ニ依リ受領者別ニ定マルモノトシ指定期日ニ爲シタル契約アル場合ハ其ノ契約額(同ジ事情ノ下ニ於テ數種ノ契約額アリタルトキハ其ノ最高額)偶々指定期日ニ爲シタル契約ナカリシ場合ハ契約額ヲ爲シタルベキ額トス

價格運送賃等ニ付前項ノ規定ニ依ル額ナキ場合ニ於テハ開令ノ定ムルモノヲ以テ指定期日ニ於ケル額トス但シ開令ノ定ムルモノガ判定困難ナル場合ニ於テ價格等ノ受領者ノ申請アルトキハ行政官廳ニ於テ其ノ額ヲ指示シ其ノ指示額ヲ以テ指定期日ニ於ケル額トス

第三條 商工業業者等ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ開令ノ定ムル所ニ依リ前條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ及其ノ構成員(構成員ガ組合其ノ他之ニ準ズルモノナル場合ハ其ノ構成員ヲモ含ム、以下同ジ)ニ付テハ其ノ額ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

行政官廳必要アリト認ムルトキハ開令ノ定ムル所ニ依リ商工業業者等ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノノ地區内ニ於テ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ニシテ其ノ構成員ニ非ザルモノニ付テモ前項ノ規定ニ依ル額ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル處分アリタル場合ニ於テ第一項ノ規定ニ依ル額ノ變更アリタルトキハ前項ノ額ハ當該變更額ニ變更セラレタルモノトス

第四條 行政官廳ハ指定期日ニ於ケル額(前條第一項若ハ第二項又ハ第二十

條ノ規定ニ依リ看做サルルモノヲ除ク)ガ著シク不當ト認メラルルトキハ
開令ノ定ムル所ニ依リ其ノ額ヲ引下グルコトヲ得但シ其ノ引下實施ノ際現
ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對
シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第四條ノ二 修繕料其ノ他價格運送貨等以外ノ價格等(以下修繕料等ト稱ス)
ニシテ主務大臣ノ指定スルモノハ主務大臣ノ指定スル年月日ニ於ケル額ヲ
超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ開令ノ定ムル所ニ
依リ修繕料等ノ支拂者又ハ受領者ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合及
指定實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ
付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 修繕料等ニ對スル給付ヲ爲ス者ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタル場合
二 修繕料等ニ對スル給付ヲ爲ス者ガ修繕料等ニ對スル給付ニ着手シタル
場合

第四條ノ三 第二條第二項及第三項並ニ第四條ノ規定ニ依リ指定シタル修繕
料等ニ付之ヲ準用ス

第四條ノ四 修繕料等ノ受領者ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ開令ノ定ムル所
ニ依リ修繕料等ノ額ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ他之ニ準
ズルモノ及其ノ構成員ノ給付ニ對シテ修繕料等ハ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契約
シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ開令ノ定ムル所ニ依リ修繕料等ノ
支拂者又ハ受領者ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
行政官廳必要アリト認ムルトキハ修繕料等ノ額ヲ變更シテ前項ノ認可ヲ爲
スコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ認可アリタル場合ニ於テ行政官廳必要アリト認ムルト
キハ同項ノ規定ノ適用ニ付テハ開令ノ定ムル所ニ依リ同項ノ規定スル組合
其ノ他之ニ準ズルモノノ地區内ニ於テ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ニシ
テ其ノ構成員ニ非ザルモノヲ其ノ構成員ト看做スコトヲ得
第一項ノ規定ニ依リ認可又ハ前項ノ規定ニ依リ處分ハ此等ノ處分實施ノ際
現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第四條ノ二但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對
シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第四條ノ二及前條ノ規定ハ第一項ノ修繕料等ニ付テハ之ヲ適用セズ

其ノ他ノ處分アリタルモノヲ除ク)ニシテ支拂者ニ不利ヲ爲ルモノハ其
ノ限度ニ於テ之ヲ價格等ノ額ノ引上ト看做ス

第九條 何等ノ名義ヲ以テスル間ハ第二條第四條ノ二、第四條ノ四、又
ハ第六條乃至第七條ノ規定ニ依リ禁止ヲ免ルル行為ヲ爲スコトヲ得ズ

第十條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ開令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ原
價ニ關シ計算ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條 第一條行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一
條ノ規定ニ依リ生産、販賣、運送、保管、貨貸、損害保險加工若ハ修繕料
等ニ對スル給付ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、販賣
所、倉庫、事務所其他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物
件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分
ヲ示ス證據ヲ携帶セシムベシ

第十二條 本令ハ左ニ掲グル價格ニハ之ヲ適用セズ
一、滿生綿棉花又ハ棉布ノ取引所ニ於ケル賣買取引ノ價格
二、關東州、滿洲及支那以外ノ地ト本令施行地トノ間ニ於ケル輸出入取引
ノ價格及兩地域間ニ於ケル運送ノ運送費

第十三條 本令ハ契約ノ當事者ニシテ營業ヲ目的トシテ當該契約ヲ爲スニ非
ザルモノニハ之ヲ適用セズ但シ當該契約ヲ爲スコトが自己ノ業務ニ屬スル
者ニ付テハ此ノ限ニ非ラズ

第十四條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ開
令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

暴利行爲等取締規定

(昭和十四年十二月二十六日實施)

第一條 何人ト雖モ暴利ヲ得テ物品ノ販賣ヲ爲スコトヲ得ズ
何人ト雖モ主務大臣又ハ地方長官ノ指示アリタル場合其ノ他正當ノ事由ア
ル場合ヲ除クノ外營利ノ目的ヲ以テ又ハ自己ノ業務ニ關シ物品ノ買占又ハ
賣借ヲ爲スコトヲ得ズ

統制法令

暴利行爲等取締規則

第五條 第二條乃至第四條及前條ノ規定ハ有價證券ノ價格及貨貸料、土地及
建物ノ價格其ノ他開令ヲ以テ定ムル價格等ニ付テハ之ヲ適用セズ

第六條 價格等ハ第二條乃至第四條ノ四ノ規定ニ拘ラズ他ノ法令ニ定ムル額
又ハ他ノ法令ニ基ク行政官廳ノ決定、命令、許可、認可其ノ他ノ處分アリ
タル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ價格運送
費等ニ付テハ本令施行後ノ、修繕料等ニ付テハ第四條ノ二ノ規定ニ依リ指
定又ハ第四條ノ四第一項ノ規定ニ依リ認可若ハ同條第三項ノ規定ニ依リ處
分アリタル後ノ處分ハ處分實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第
一項但書各號ノ一又ハ第四條ノ二但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ
影響ヲ及ボスコトナシ

前項ノ他ノ法令ハ開令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條ノ二 前條ノ規定スル場合ヲ除クノ外主務大臣ノ指定スル特殊ノ物ノ
價格等ニ付テハ其ノ受領者ニ於テ開令ノ定ムル所ニ依リ其ノ額ニ付行政官
廳ノ認可ヲ受ケベシ此ノ場合ニ於テハ其ノ物ノ價格等ハ第二條乃至第四條
ノ四ノ規定ニ拘ラズ其ノ認可額ヲ超エテ之ヲ契約シ支拂ヒ又ハ受領スルコ
トヲ得ズ

前項ノ規定ハ前項ノ指定實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一
項但書各號ノ一又ハ第四條ノ二但書各號ノ一ニ該當スルモノニハ之ヲ適用
セズ

第七條 主務大臣ノ指定ニ關シテハ開令ノ定ムル所ニ依リ
第一項ノ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳開令ノ定ムル所ニ依リ
(價格等有價證券ノ價格及貨貸料ヲ除ク以下同ジ)ノ額ヲ指定シタルトキハ
第二條乃至第四條ノ四ノ規定ニ拘ラズ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ
又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ開令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ支拂者又ハ受
領者ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ指定實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ
一又ハ第四條ノ二但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコ
トナシ

第八條 支拂條件、引渡條件其ノ他ノ契約條件ノ變更(第六條ノ規定スル他
ノ法令ニ依リモノ及他ノ法令ニ基ク行政官廳ノ決定、命令、許可、認可、

何人ト雖モ主務大臣又ハ地方長官ノ指示アリタル場合其ノ他正當ノ事由ア
ル場合ヲ除クノ外他ノモノヲ併セ又ハ負擔ヲ附シテ物品ノ販賣ヲ爲スコト
ヲ得ズ

第九條 第二條物品ノ販賣ヲ爲スモノハ其ノ價格及左ノ各號ニ掲グル物品ニ
付テハ其ノ旨ヲ物品ノ見易キ部分ニ記載シ、店頭ニ掲示シ其ノ他容易ニ之
ヲ了知シ得ル方法ヲ以テ表示スベシ但シ主務大臣又ハ地方長官ニ於テ特別
ノ事情アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 價格ニ付價格等統制令第二條ノ適用ヲ受クル物品但シ第二號、第三號
及第五號ニ掲グル物品ヲ除ク

二 價格ニ付價格等統制令第二條ノ適用ヲ受クル物品ニシテ同令施行規則
第三條第一項第二號ニ掲グルモノ

三 價格ニ付價格等統制令第三條第一項ノ規定ニ依リ認可又ハ同條第二項
ノ規定ニ依リ處分アリタル物品

四 價格ニ付價格等統制令第六條第二項ノ規定ニ依リ定メタル法令ニ於テ
又ハ之ニ基キ額ヲ定メ又ハ額ノ處分アリタル物品及同令第七條ノ規定ニ
依リ額ノ指定アリタル物品但シ第五號ニ掲グル物品ヲ除ク

五 價格ニ付價格等統制令第二條第一項但書又ハ同令第七條第一項但書ノ
許可アリタル物品

前項各號ニ掲グル物品ナル旨ヲ表示ハ主務大臣ノ定ムル様式ニ依リ之ヲ
爲スベシ

第十條 主務大臣又ハ地方長官ハ物品ノ販賣ヲ爲ス者ニ對シ第一項ノ表示ニ關シ
必要ナル事項ヲ命ジ又ハ價格ノ届出ヲ命ズルコトアルベシ

第十一條 第三條主務大臣又ハ地方長官ハ物品ノ販賣ヲ爲ス者ニ對シ物品ノ名
稱、銘柄、規格、品質、等級寸法、容量、重量若ハ數量ノ表示又ハ之ニ關
シ必要ナル事項ヲ命ズルコトアルベシ

第十二條 主務大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ物品ノ販賣ヲ
爲ス者ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトアルベシ

第十三條 第五條第一項ノ規定ハ左ニ掲グル場合ニハ之ヲ適用セズ
一 價格ニ付價格等統制令第二條ノ適用ヲ受クル物品又ハ同令第七條ノ規

暴利行為等取締規則

電氣用品價格

- 定ニ依リ額ノ指定アリタル物品ヲ販賣スルトキ
- 二 價格ニ付價格等統制令第六條第二項ノ規定ニ依リ定メタル法令ニ於テ又ハ之ニ基キ額ヲ定メ又ハ額ノ處分アリタル物品ヲ販賣スルトキ
- 第五條ノ二 本則ニ於テ地方長官トアルハ東京府ニ在リテハ東京府知事及警視總監トス
- 第六條 第一條ノ規定ニ違反シタ者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス
 - 一 第二條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依ル表示ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ表示ヲ爲シタル者
 - 二 第二條第三項又ハ第三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者
 - 三 第四條ノ規定ニ依リ報告ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタル者
- 第八條 第八條法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ従業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ前二條ノ違反行為ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦第六條ノ罰金刑ヲ科ス

電氣用品販賣價格

電 動 機

(商工省告示第八六一號)
昭和十五年十二月二十一日

製造業者 販賣價格
販賣業者 販賣價格
(單位一價)

種 別	型 式	極 數	出 力	販賣價格	販賣價格
			馬力	圓	圓
開放型、籠型、低壓	"	"	0.5	86	108
開放型、籠型、低壓	"	"	1	101	121
開放型、籠型、低壓	"	"	1.5	114	137
開放型、籠型、低壓	"	"	2	127	150
開放型、籠型、低壓	"	"	3	140	163
開放型、籠型、低壓	"	"	4	153	176
開放型、籠型、低壓	"	"	5	166	189
開放型、籠型、低壓	"	"	6	179	202
開放型、籠型、低壓	"	"	8	208	231
開放型、籠型、低壓	"	"	10	237	260
開放型、籠型、低壓	"	"	15	306	329
開放型、籠型、低壓	"	"	20	375	398
開放型、籠型、低壓	"	"	30	444	467
開放型、籠型、低壓	"	"	40	513	536
開放型、籠型、低壓	"	"	50	582	605
開放型、籠型、低壓	"	"	75	696	719
開放型、籠型、低壓	"	"	100	810	833
開放型、籠型、低壓	"	"	150	1164	1187
開放型、籠型、低壓	"	"	200	1518	1541
開放型、籠型、低壓	"	"	300	2127	2150
開放型、籠型、低壓	"	"	400	2736	2759
開放型、籠型、低壓	"	"	500	3345	3368
開放型、籠型、低壓	"	"	750	4455	4478
開放型、籠型、低壓	"	"	1000	5565	5588
開放型、籠型、低壓	"	"	1500	8347.5	8370.5
開放型、籠型、低壓	"	"	2000	11130	11153
開放型、籠型、低壓	"	"	3000	16695	16718
開放型、籠型、低壓	"	"	4000	22260	22283
開放型、籠型、低壓	"	"	5000	27825	27848
開放型、籠型、低壓	"	"	7500	41737.5	41760.5
開放型、籠型、低壓	"	"	10000	55650	55673
開放型、籠型、低壓	"	"	15000	83475	83498
開放型、籠型、低壓	"	"	20000	111300	111323
開放型、籠型、低壓	"	"	30000	166950	166973
開放型、籠型、低壓	"	"	40000	222600	222623
開放型、籠型、低壓	"	"	50000	278250	278273
開放型、籠型、低壓	"	"	75000	417375	417398
開放型、籠型、低壓	"	"	100000	556500	556523
開放型、籠型、低壓	"	"	150000	834750	834773
開放型、籠型、低壓	"	"	200000	1113000	1113023
開放型、籠型、低壓	"	"	300000	1669500	1669523
開放型、籠型、低壓	"	"	400000	2226000	2226023
開放型、籠型、低壓	"	"	500000	2782500	2782523
開放型、籠型、低壓	"	"	750000	4173750	4173773
開放型、籠型、低壓	"	"	1000000	5565000	5565023
開放型、籠型、低壓	"	"	1500000	8347500	8347523
開放型、籠型、低壓	"	"	2000000	11130000	11130023
開放型、籠型、低壓	"	"	3000000	16695000	16695023
開放型、籠型、低壓	"	"	4000000	22260000	22260023
開放型、籠型、低壓	"	"	5000000	27825000	27825023
開放型、籠型、低壓	"	"	7500000	41737500	41737523
開放型、籠型、低壓	"	"	10000000	55650000	55650023
開放型、籠型、低壓	"	"	15000000	83475000	83475023
開放型、籠型、低壓	"	"	20000000	111300000	111300023
開放型、籠型、低壓	"	"	30000000	166950000	166950023
開放型、籠型、低壓	"	"	40000000	222600000	222600023
開放型、籠型、低壓	"	"	50000000	278250000	278250023
開放型、籠型、低壓	"	"	75000000	417375000	417375023
開放型、籠型、低壓	"	"	100000000	556500000	556500023
開放型、籠型、低壓	"	"	150000000	834750000	834750023
開放型、籠型、低壓	"	"	200000000	1113000000	1113000023
開放型、籠型、低壓	"	"	300000000	1669500000	1669500023
開放型、籠型、低壓	"	"	400000000	2226000000	2226000023
開放型、籠型、低壓	"	"	500000000	2782500000	2782500023
開放型、籠型、低壓	"	"	750000000	4173750000	4173750023
開放型、籠型、低壓	"	"	1000000000	5565000000	5565000023

電氣用品價格

電 動 機

型 式	極 數	出 力	販賣價格	販賣價格
		馬力	圓	圓
開放型、籠型、低壓	"	0.5	72	94
開放型、籠型、低壓	"	1	84	106
開放型、籠型、低壓	"	1.5	96	118
開放型、籠型、低壓	"	2	108	130
開放型、籠型、低壓	"	3	120	142
開放型、籠型、低壓	"	4	132	154
開放型、籠型、低壓	"	5	144	166
開放型、籠型、低壓	"	6	156	178
開放型、籠型、低壓	"	8	168	190
開放型、籠型、低壓	"	10	180	202
開放型、籠型、低壓	"	15	216	238
開放型、籠型、低壓	"	20	252	274
開放型、籠型、低壓	"	30	324	346
開放型、籠型、低壓	"	40	396	418
開放型、籠型、低壓	"	50	468	490
開放型、籠型、低壓	"	75	564	586
開放型、籠型、低壓	"	100	720	742
開放型、籠型、低壓	"	150	1080	1106
開放型、籠型、低壓	"	200	1440	1470
開放型、籠型、低壓	"	300	2160	2134
開放型、籠型、低壓	"	400	2880	2898
開放型、籠型、低壓	"	500	3600	3662
開放型、籠型、低壓	"	750	5400	5426
開放型、籠型、低壓	"	1000	7200	7190
開放型、籠型、低壓	"	1500	10800	10754
開放型、籠型、低壓	"	2000	14400	14318
開放型、籠型、低壓	"	3000	21600	21282
開放型、籠型、低壓	"	4000	28800	28246
開放型、籠型、低壓	"	5000	36000	35210
開放型、籠型、低壓	"	7500	54000	52174
開放型、籠型、低壓	"	10000	72000	69138
開放型、籠型、低壓	"	15000	108000	104702
開放型、籠型、低壓	"	20000	144000	140266
開放型、籠型、低壓	"	30000	216000	205830
開放型、籠型、低壓	"	40000	288000	271394
開放型、籠型、低壓	"	50000	360000	336958
開放型、籠型、低壓	"	75000	540000	502522
開放型、籠型、低壓	"	100000	720000	668086
開放型、籠型、低壓	"	150000	1080000	1023650
開放型、籠型、低壓	"	200000	1440000	1379214
開放型、籠型、低壓	"	300000	2160000	2034778
開放型、籠型、低壓	"	400000	2880000	2690342
開放型、籠型、低壓	"	500000	3600000	3345906
開放型、籠型、低壓	"	750000	5400000	5001470
開放型、籠型、低壓	"	1000000	7200000	6657034
開放型、籠型、低壓	"	1500000	10800000	10212598
開放型、籠型、低壓	"	2000000	14400000	13768162
開放型、籠型、低壓	"	3000000	21600000	20323726
開放型、籠型、低壓	"	4000000	28800000	26879290
開放型、籠型、低壓	"	5000000	36000000	33434854
開放型、籠型、低壓	"	7500000	54000000	50000418
開放型、籠型、低壓	"	10000000	72000000	66565982
開放型、籠型、低壓	"	15000000	108000000	102121466
開放型、籠型、低壓	"	20000000	144000000	137677050
開放型、籠型、低壓	"	30000000	216000000	203232634
開放型、籠型、低壓	"	40000000	288000000	268788218
開放型、籠型、低壓	"	50000000	360000000	334343802
開放型、籠型、低壓	"	75000000	540000000	500000446
開放型、籠型、低壓	"	100000000	720000000	665656030
開放型、籠型、低壓	"	150000000	1080000000	1021211174
開放型、籠型、低壓	"	200000000	1440000000	1376767018
開放型、籠型、低壓	"	300000000	2160000000	2032322862
開放型、籠型、低壓	"	400000000	2880000000	2687878706
開放型、籠型、低壓	"	500000000	3600000000	3343434550
開放型、籠型、低壓	"	750000000	5400000000	5000000994
開放型、籠型、低壓	"	1000000000	7200000000	6656557038
開放型、籠型、低壓	"	1500000000	10800000000	1021213082
開放型、籠型、低壓	"	2000000000	14400000000	1376768926
開放型、籠型、低壓	"	3000000000	21600000000	2032324770
開放型、籠型、低壓	"	4000000000	28800000000	2687880614
開放型、籠型、低壓	"	5000000000	36000000000	3343436458
開放型、籠型、低壓	"	7500000000	54000000000	5000002902
開放型、籠型、低壓	"	10000000000	72000000000	6656558846
開放型、籠型、低壓	"	15000000000	108000000000	1021214790
開放型、籠型、低壓	"	20000000000	144000000000	1376770634
開放型、籠型、低壓	"	30000000000	216000000000	2032326478
開放型、籠型、低壓	"	40000000000	288000000000	2687882322
開放型、籠型、低壓	"	50000000000	360000000000	3343438166
開放型、籠型、低壓	"	75000000000	540000000000	5000004610
開放型、籠型、低壓	"	100000000000	720000000000	6656560454
開放型、籠型、低壓	"	150000000000	1080000000000	1021216258
開放型、籠型、低壓	"	200000000000	1440000000000	1376772102
開放型、籠型、低壓	"	300000000000	2160000000000	2032327946
開放型、籠型、低壓	"	400000000000	2880000000000	2687883790
開放型、籠型、低壓	"	500000000000	3600000000000	3343439634
開放型、籠型、低壓	"	750000000000	5400000000000	5000006078
開放型、籠型、低壓	"	1000000000000	7200000000000	6656561922
開放型、籠型、低壓	"	1500000000000	10800000000000	1021217776
開放型、籠型、低壓	"	2000000000000	14400000000000	1376773620
開放型、籠型、低壓	"	3000000000000	21600000000000	2032329464
開放型、籠型、低壓	"	4000000000000	28800000000000	2687885308
開放型、籠型、低壓	"	5000000000000	36000000000000	3343441152
開放型、籠型、低壓	"	7500000000000	54000000000000	5000007596
開放型、籠型、低壓	"	10000000000000	72000000000000	6656563340
開放型、籠型、低壓	"	15000000000000	108000000000000	1021219294
開放型、籠型、低壓	"	20000000000000	144000000000000	1376775138
開放型、籠型、低壓	"	30000000000000	216000000000000	2032331082
開放型、籠型、低壓	"	40000000000000	288000000000000	2687886926
開放型、籠型、低壓	"	50000000000000	360000000000000	3343442870
開放型、籠型、低壓	"	75000000000000	540000000000000	5000009314

電動機

防滴型、籠型、低壓	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	220	240	260	280	300	320	340	360	380	400	450	500	550	600	650	700	750	800	850	900	950	1000
閉鎖通風型、籠型、低壓	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	220	240	260	280	300	320	340	360	380	400	450	500	550	600	650	700	750	800	850	900	950	1000
全閉外被通風型、籠型、低壓	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	220	240	260	280	300	320	340	360	380	400	450	500	550	600	650	700	750	800	850	900	950	1000
開放型、巻線型、低壓	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	220	240	260	280	300	320	340	360	380	400	450	500	550	600	650	700	750	800	850	900	950	1000

高放型、巻線型、高壓

100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	220	240	260	280	300	320	340	360	380	400	450	500	550	600	650	700	750	800	850	900	950	1000
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

一、前各表ノ電動機及附屬品ハ一般用標準型ノモノトシ、低壓ニ在リテハ二〇〇ボルト又ハ二二〇ボルト、高壓ニ在リテハ三、〇〇〇ボルト又ハ三、三〇〇ボルトニシテ五〇サイタル又ハ六〇サイタルノ回路ニ使用スルモノトス

二、電動機ノ價格ハ左ノ附屬品附ノ價格トス

プリーリ

ベース又ハレール

籠型七・五馬力以上ノモノ直入起動型ノモノヲ(除ク)ニ在リテハ乾式スターデルタースキツチ

巻線型ノモノニ在リテハ起動抵抗器

プリーリ、ベース、レール又ハ乾式スターデルタースキツチヲ附屬セザル電動機ノ價格ハ前表電動機ノ價格ヨリプリーリ、ベース、レール又ハ乾式スターデルタースキツチノ價格ヲ差引キタル額トス

三、前各表ニ記載ナキ馬力ヲ有スルモノニシテ前各表記載ノ馬力ノ中間ノ馬力ノモノハ最モ近キ上位ノ馬力ノモノ、價格ト最モ近キ下位ノ馬力ノモノ、價格ト最モ近キ上位ノ馬力ノモノ、價格ト最モ近キ下位ノ馬力ノモノニ當該馬力數ト最モ近キ下位ノ馬力數トノ差ヲ以テ除シタルモノノ馬力ノモノ、價格ニ加ヘ算出シタル價格トス但シ錢位未滿ノ端數ハ之ヲ四捨五入スルモノトス

出力ノ單位キキロワットヲ以テ表示スルモノ、價格ハキロワット數ヲ馬力數ニ換算シ前各表ノ馬力數ニ一致スルトキハ其ノ電動機又ハ同附屬品ノ價格ニ依リ、一致セザルトキハ前項ニ依リ算出シタル價格ニ依ルモノトス

四、中古品ハ前各表價格ノ八割トス

五、製造業者販賣價格及販賣業者販賣價格ハ買主ノ最寄離渡價格トス但シ朝鮮、臺灣、樺太、關東州及滿洲向ノモノニ在リテハ買主最寄港本船沖渡價格、支那向ノモノニ在リテハ買主最寄港本船乘渡價格トス

六、製造業者ガ直接需要家ニ販賣スル場合ニ在リテハ販賣業者販賣價格ニ依ルコトヲ得ルモノトス

變壓器 (商工省告示第八三七號 昭和十六年九月十九日)

柱上變壓器 1、單相

種別	容量(キロボルトアンペア)	製造業者最高販賣價格	販賣業者最高販賣價格
一次	100	100	100
	110	110	110
二次	100	100	100
	110	110	110
或ハ	100	100	100
	110	110	110

一次	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	220	240	260	280	300	320	340	360	380	400	450	500	550	600	650	700	750	800	850	900	950	1000
二次	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	220	240	260	280	300	320	340	360	380	400	450	500	550	600	650	700	750	800	850	900	950	1000
或ハ	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	220	240	260	280	300	320	340	360	380	400	450	500	550	600	650	700	750	800	850	900	950	1000

電氣用品價格

電動機・變壓器

電氣用品價格

變壓器

種別	容量(キロボルトアンペア)	製造業者最高販賣價格	販賣業者最高販賣價格
口、三	一次	三、三〇〇	三、三〇〇
	二次	三、三〇〇	三、三〇〇
	或ハ	三、三〇〇	三、三〇〇
	一次	三、三〇〇	三、三〇〇
	二次	三、三〇〇	三、三〇〇
	或ハ	三、三〇〇	三、三〇〇
	一次	三、三〇〇	三、三〇〇
	二次	三、三〇〇	三、三〇〇
	或ハ	三、三〇〇	三、三〇〇
	一次	三、三〇〇	三、三〇〇

種別	容量(キロボルトアンペア)	製造業者最高販賣價格	販賣業者最高販賣價格
口、三	一次	三、三〇〇	三、三〇〇
	二次	三、三〇〇	三、三〇〇
	或ハ	三、三〇〇	三、三〇〇
	一次	三、三〇〇	三、三〇〇
	二次	三、三〇〇	三、三〇〇
	或ハ	三、三〇〇	三、三〇〇
	一次	三、三〇〇	三、三〇〇
	二次	三、三〇〇	三、三〇〇
	或ハ	三、三〇〇	三、三〇〇
	一次	三、三〇〇	三、三〇〇

九

種別	容量(キロボルトアンペア)	製造業者最高販賣價格	販賣業者最高販賣價格
口、三	一次	三、三〇〇	三、三〇〇
	二次	三、三〇〇	三、三〇〇
	或ハ	三、三〇〇	三、三〇〇
	一次	三、三〇〇	三、三〇〇
	二次	三、三〇〇	三、三〇〇
	或ハ	三、三〇〇	三、三〇〇
	一次	三、三〇〇	三、三〇〇
	二次	三、三〇〇	三、三〇〇
	或ハ	三、三〇〇	三、三〇〇
	一次	三、三〇〇	三、三〇〇

種別	容量(キロボルトアンペア)	製造業者最高販賣價格	販賣業者最高販賣價格
口、三	一次	三、三〇〇	三、三〇〇
	二次	三、三〇〇	三、三〇〇
	或ハ	三、三〇〇	三、三〇〇
	一次	三、三〇〇	三、三〇〇
	二次	三、三〇〇	三、三〇〇
	或ハ	三、三〇〇	三、三〇〇
	一次	三、三〇〇	三、三〇〇
	二次	三、三〇〇	三、三〇〇
	或ハ	三、三〇〇	三、三〇〇
	一次	三、三〇〇	三、三〇〇

八

製壓器

一次	100.00	111.00
二次	113.00	125.00
三次	128.00	141.00
四次	145.00	161.00
五次	165.00	183.00
六次	188.00	208.00
七次	214.00	235.00
八次	243.00	264.00
九次	275.00	296.00
十次	310.00	331.00

一、前表柱上變壓器ハ臨時日本標準規格第四九號、電氣協會臨時規格第三一六號又ハ日本電氣工業委員會暫定標準規格第三六七號ノ定ムル所ニ依ルモノニシテ五〇サイクル又ハ六〇サイクルノ一般配電回路ニ使用スルモノトス

二、柱上變壓器ノ價格ハ左記附屬品ヲ含マザルモノトス
イ、油口、塞、喉、油面計、油瓣(バルブ)、油栓(コック)ハ、ハンガー

三、柱上變壓器ニ濕氣防止板ヲ挿入シ販賣スル場合ニ在リテハ柱上變壓器ノ價格ニ濕氣防止板ノ價格ヲ加算スルコトヲ得ルモノトス

四、中古品ノ最高販賣價格ハ前各表價格ノ八割トス

五、製造業者最高販賣價格及販賣業者最高販賣價格ハ買主省線長寄附貨車乘渡價格トス 但シ朝鮮、臺灣、樺太、關東州及滿洲向ノモノニ在リテハ買主省線長港本船沖渡價格、支那及南洋群島向ノモノニ在リテハ買主省線長港本

船乘渡價格トス
六、製造業者ガ需要家ニ直接販賣スル場合ニ在リテハ販賣業者最高販賣價格ニ依ルコトヲ得ルモノトス

電線管(パイプ類)(商工省告示第四五九號) (昭和十六年五月二十四日)

一、製造業者販賣價格

(一) 厚鋼セラコンデットチューブ(肉厚1.8吋)

品名	單位	1吋	1.5吋	2吋	2.5吋	3吋	3.5吋
セラコンデットチューブ(キヤツプ一箇附定尺一〇尺)	一尺	100.00	111.00	125.00	141.00	161.00	183.00
キヤツプリング	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
ノーマルバンド	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
ロツクナツト	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
ブツシンダ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
ブツシユキヤツプ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
サド	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
クリツ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
アースクリツ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
パイプスキャツプ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
セラコンデットチューブ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
型蓋附エルボ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
キヤツプ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
タイピース	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
シヤープバンド	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
テイビス	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
ウエザークヤツプ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
エン	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
ソケットレヂユ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
一方出丸型チヨ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
二方出丸型チヨ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
三方出丸型チヨ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83
四方出丸型チヨ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61	1.83

(一) 薄鋼セラコンデットチューブ(肉厚1.6吋)

品名	單位	1吋	1.5吋	2吋	2.5吋	3吋
タイピース	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61
錫附ニツアル	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61
ユニオン	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61
ウエザークヤツプ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61
エン	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61
パイプキヤツプ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61
ソケットレヂユ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61
一方出丸型チヨ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61
二方出丸型チヨ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61
三方出丸型チヨ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61
四方出丸型チヨ	一個	1.00	1.10	1.25	1.41	1.61

二、製造業者販賣價格ハ買主ノ最寄附貨車乘渡又ハ最寄港本船乘渡價格トス 但シ東京市及大阪市内渡ノ場合ハ買主指定場所渡價格トス

三、卸賣業者販賣價格

(一) 第一區所在卸賣業者販賣價格 本表價格ノ八分上ゲ

(二) 第二區所在卸賣業者販賣價格 本表價格ノ一割上ゲ

(三) 第三區所在卸賣業者販賣價格 本表價格ノ一割一分上ゲ

(四) 第四區所在卸賣業者販賣價格 本表價格ノ一割二分上ゲ

(五) 卸賣業者販賣價格ハ買主指定場所渡價格トス 但シ樺太、朝鮮、臺灣、南洋群島、關東州、滿洲及支那向ノ場合ハ買主ノ船積港最寄附貨車乘渡價格トス

四、小賣業者販賣價格

(一) 第一區所在小賣業者販賣價格 本表價格ノ一割四分上ゲ

電氣用品價格

電線管

電線管・電線

(一) 第二區所在小賣業者販賣價格 本表價格ノ一割六分上ゲ
 (二) 第三區所在小賣業者販賣價格 本表價格ノ一割七分上ゲ
 (三) 第四區所在小賣業者販賣價格 本表價格ノ一割八分上ゲ
 (四) 小賣業者販賣價格ハ賣主店先渡價格トス
 (五) 卸賣業者販賣價格及小賣業者販賣價格ノ第一區、第二區、第三區及第四區ノ区分ハ左記ニ依リ区分スルモノトス
 第一區 靜岡縣 神奈川縣 山梨縣 東京府 千葉縣 埼玉縣
 群馬縣 栃木縣 長野縣 茨城縣 三重縣 愛知縣
 岐阜縣 滋賀縣 奈良縣 和歌山縣 大阪府 京都府
 第二區 鳥取縣 島根縣 廣島縣 山口縣 香川縣 德島縣
 愛媛縣 高知縣 新潟縣 福島縣 石川縣 富山縣
 第三區 宮城縣 岩手縣 秋田縣 山形縣 青森縣 大分縣
 第四區 沖繩縣 北海道 佐賀縣 熊本縣 宮崎縣 鹿児島縣
 鹿兒島縣
 六、包裝費及荷造費ハ賣主ノ負擔トス

普通絶縁電線

(一) 單線 (電工仕様) (單位一軒)

直徑(單位粒)	第一種	第二種	第三種	第四種
0.5	112,000	108,000	104,000	100,000
0.6	128,000	124,000	120,000	116,000
0.7	144,000	140,000	136,000	132,000
0.8	160,000	156,000	152,000	148,000
0.9	176,000	172,000	168,000	164,000
1.0	192,000	188,000	184,000	180,000

(商工省告示第三六五號) 昭和十七年四月四日

サイズ	第一種	第二種	第三種	第四種
0.5	112,000	108,000	104,000	100,000
0.6	128,000	124,000	120,000	116,000
0.7	144,000	140,000	136,000	132,000
0.8	160,000	156,000	152,000	148,000
0.9	176,000	172,000	168,000	164,000
1.0	192,000	188,000	184,000	180,000

(三) 單線 (暫定仕様) (單位一軒)

直徑	第一種	第二種	第三種	第四種
0.5	112,000	108,000	104,000	100,000
0.6	128,000	124,000	120,000	116,000
0.7	144,000	140,000	136,000	132,000
0.8	160,000	156,000	152,000	148,000
0.9	176,000	172,000	168,000	164,000
1.0	192,000	188,000	184,000	180,000

(四) 燃線 (暫定仕様) (單位一軒)

サイズ	第一種	第二種	第三種	第四種
0.5	112,000	108,000	104,000	100,000
0.6	128,000	124,000	120,000	116,000
0.7	144,000	140,000	136,000	132,000
0.8	160,000	156,000	152,000	148,000
0.9	176,000	172,000	168,000	164,000
1.0	192,000	188,000	184,000	180,000

電氣用品價格

電線・配線器具

配線器具

(商工省告示第一五一號) 昭和十六年二月二十六日

品名	製造業者販賣價格	卸賣業者販賣價格	小賣業者販賣價格
ライト製キーソケット	1,050.00	790.00	1,200.00
キーレスソケット	650.00	490.00	700.00
菊型キーソケット	490.00	330.00	440.00
菊型キーレスソケット	330.00	170.00	280.00
ホルダー固着式キーソケット	110.00	70.00	80.00
スワンベイス式キーソケット	110.00	70.00	80.00
キーレスソケット	90.00	50.00	60.00
磁器製キーソケット	110.00	70.00	80.00
キーレスソケット	90.00	50.00	60.00
ラジオソケット	0.30	0.20	0.25
二燈用ソケット	0.30	0.20	0.25
三燈用ソケット	0.30	0.20	0.25
挿入式ト型ソケット	0.30	0.20	0.25
アダプターソケット三A	0.30	0.20	0.25
磁器製耐爆キーソケット	0.60	0.40	0.50

配線器具

Table listing electrical components such as sockets (插座), switches (開閉器), and plugs (プラグ) with their respective prices and specifications.

電球 (商工省告示第二〇一號 (昭和十六年三月十二日) (改正) 商工省告示第一二四號 (昭和十六年十二月二十七日))

(一) 直線織條電球

Table for straight filament bulbs (直線織條電球) listing wattage and prices for different types.

(二) 單コイル織條電球

Table for single coil filament bulbs (單コイル織條電球) listing wattage and prices.

電氣用品價格

Table listing prices for various electrical items including different types of bulbs (電球), fuses (保險絲), and other components.

電球

二〇〇ワット迄	一五〇ワット迄	七五〇ワット迄	二〇〇ワット迄	二五ワット迄	一五〇ワット迄	七五〇ワット迄	二〇〇ワット迄	二五ワット迄	一五〇ワット迄
三・三〇〇	三・四〇〇	三・五〇〇	三・六〇〇	三・七〇〇	三・八〇〇	三・九〇〇	四・〇〇〇	四・一〇〇	四・二〇〇
五・二〇〇	五・三〇〇	五・四〇〇	五・五〇〇	五・六〇〇	五・七〇〇	五・八〇〇	五・九〇〇	六・〇〇〇	六・一〇〇
七・二〇〇	七・三〇〇	七・四〇〇	七・五〇〇	七・六〇〇	七・七〇〇	七・八〇〇	七・九〇〇	八・〇〇〇	八・一〇〇

二〇〇ワット迄	一五〇ワット迄	七五〇ワット迄	二〇〇ワット迄	二五ワット迄	一五〇ワット迄	七五〇ワット迄	二〇〇ワット迄	二五ワット迄	一五〇ワット迄
六・一〇〇	六・二〇〇	六・三〇〇	六・四〇〇	六・五〇〇	六・六〇〇	六・七〇〇	六・八〇〇	六・九〇〇	七・〇〇〇
八・二〇〇	八・三〇〇	八・四〇〇	八・五〇〇	八・六〇〇	八・七〇〇	八・八〇〇	八・九〇〇	九・〇〇〇	九・一〇〇
一一・二〇〇	一一・三〇〇	一一・四〇〇	一一・五〇〇	一一・六〇〇	一一・七〇〇	一一・八〇〇	一一・九〇〇	一二・〇〇〇	一二・一〇〇

七五〇ワット	一、〇〇〇ワット	一、五〇〇ワット	二〇〇ワット迄	二五ワット乃至	七五〇ワット乃至	一五〇ワット	二〇〇ワット	二五ワット	一五〇ワット
三・九六〇	四・四一〇	四・八六〇	五・三一〇	五・七六〇	六・二一〇	六・六六〇	七・一一〇	七・五六〇	八・〇一〇
五・三六〇	五・八一〇	六・二六〇	六・七一〇	七・一六〇	七・六一〇	七・六一〇	八・〇一〇	八・四六〇	八・九一〇
九・三六〇	九・八一〇	一〇・二六〇	一〇・七一〇	一一・一六〇	一二・六一〇	一二・六一〇	一三・〇一〇	一三・四六〇	一三・九一〇

新新新新新	新新新新新	新新新新新	新新新新新	新新新新新	新新新新新	新新新新新	新新新新新	新新新新新	新新新新新
一〇〇ワット	一五〇ワット	二〇〇ワット	二五〇ワット	三〇〇ワット	三〇〇ワット	三〇〇ワット	三〇〇ワット	三〇〇ワット	三〇〇ワット
四・九六〇	五・四一〇	五・八六〇	六・三一〇	六・七六〇	七・二一〇	七・六六〇	八・一一〇	八・五六〇	九・〇一〇
一〇・四一〇	一〇・八六〇	一一・三一〇	一一・七六〇	一二・二一〇	一二・六六〇	一三・一一〇	一三・五六〇	一四・〇一〇	一四・四六〇

電氣用品価格

種別	製造業者価格	卸業者価格	小賣業者価格
正角 一號	二・七〇	二・九〇	三・一〇
正角 二號	二・七〇	二・九〇	三・一〇
正角 三號	二・七〇	二・九〇	三・一〇
平角 一號	一・七五	一・九〇	二・〇五
平角 二號	一・七五	一・九〇	二・〇五
平角 三號	一・七五	一・九〇	二・〇五
平角 四號	一・七五	一・九〇	二・〇五

種別	製造業者価格	卸業者価格	小賣業者価格
大 探見	一・七五	一・九〇	二・〇五
中 探見	一・七五	一・九〇	二・〇五
小 探見	一・七五	一・九〇	二・〇五
大 探見	一・七五	一・九〇	二・〇五

(一) 一般通信用乾電池 (昭和十六年四月二十二日)

(二) 無線通信用乾電池 (昭和十六年四月二十二日)

(三) 燈火用乾電池

一、製造業者販賣価格ハ買主店渡價格トス。

二、卸業者販賣価格ハ買主店先渡價格トシ、包裝費及荷造費ヲ含マザルモノトス。但シ買主所在市町村内ノ買主ニ販賣スル場合ニ在リテハ買主店先渡價格トス。

三、小賣業者販賣価格ハ買主店先渡トシ、包裝費及ビ荷造費ヲ含マザルモノトス。但シ一般通信用乾電池及ビ無線通信用乾電池ヲ買主所在市町村内ノ買主ニ販賣スル場合ニ在リテハ買主店先渡價格トス。

照明器具

(商工省告示第二一七號) 昭和十七年二月二十八日

(一) 硝子製グロブ

Table with columns for item number, specifications, price, and manufacturer's price. Includes items like '硝子製グロブ' and '耐火用グロブ'.

(二) シェード

Table with columns for item number, specifications, price, and manufacturer's price. Includes items like '硝子製シェード' and 'ピーンシェード'.

電気用品価格

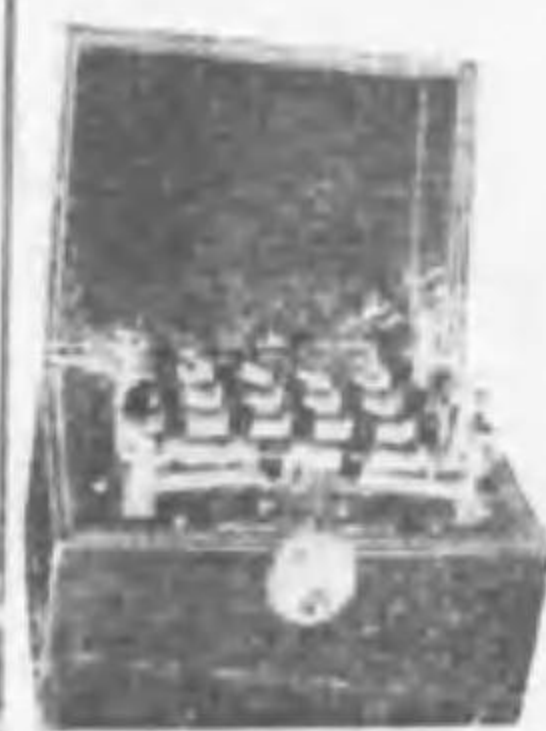
照明器具

Table with columns for item number, specifications, price, and manufacturer's price. Includes items like '硝子製グロブ', '特殊シェード', and '石油ランプ用障笠シェード'.

Table with columns for item number, specifications, price, and manufacturer's price. Includes items like '硝子製グロブ', '硝子製シェード', and '木製紙貼シェード'.

DEK

大同の各種製品



BR-35型
校正用電圧計



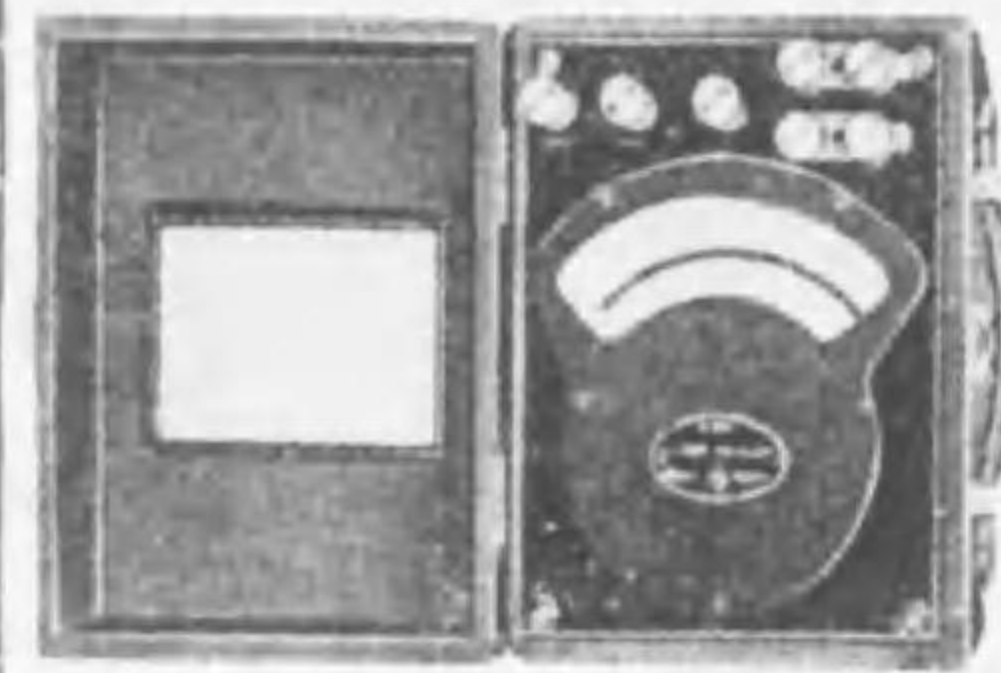
BR-2600型
電圧計



埋込型小型電圧計器



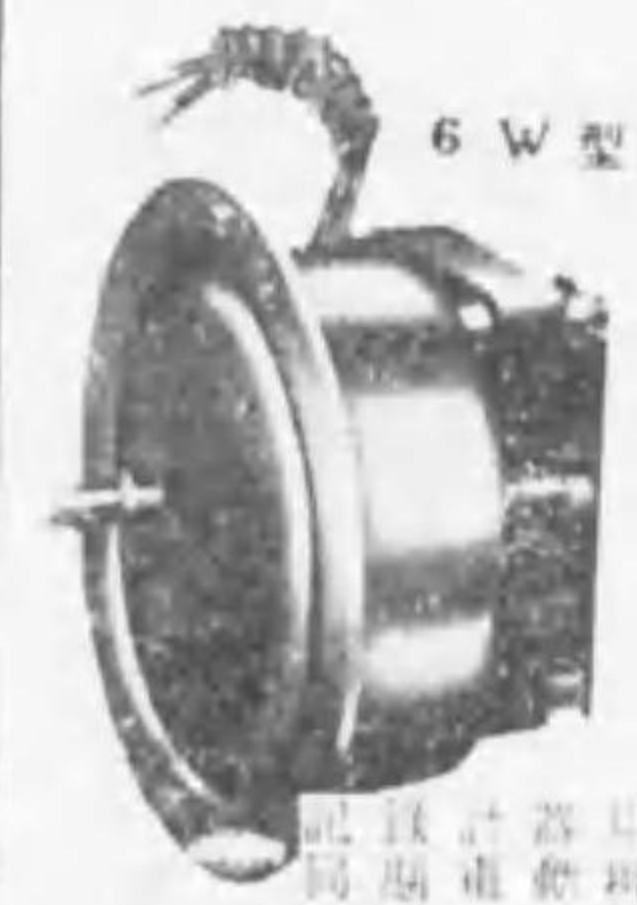
I.T-6型
高電圧線抵抗試験器



DPA型
交流電圧計



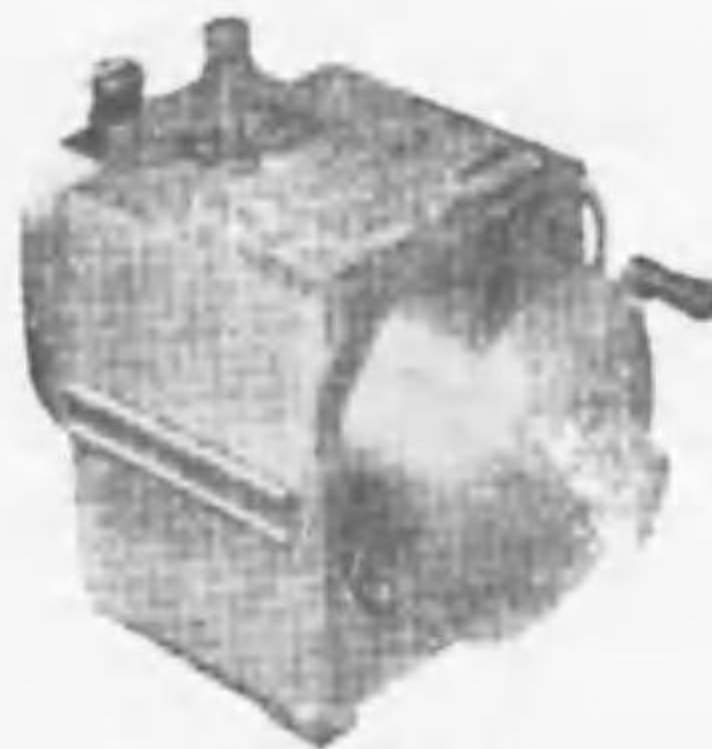
E-2型
標準用接地抵抗試験器



6W型
電圧計



BR-2601型
測定範囲 0.0001 - 110
電圧計



I.T-2型
高電圧線抵抗試験器

大同電機工業所

営業所 大阪市北區中ノ島二丁目五番地 電話北濱386番
本社 大阪市住吉區天王寺町三三九六ノ一六 電話天王寺8227番

照明器具

101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120
101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120
101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120

一、製造業者最高販賣價格及卸賣業者最高販賣價格ハ買主先渡價格トシ朝鮮
 臺灣、樺太、關東州、南洋群島、滿州又支那同ノ場合ニ於テハ賣主最寄港
 船側渡價格トス但シ買主ノ指圖ニ依リ普通便ニ依ラズシテ運送スル場合ハ
 之ニ要シタル運賃ト普通便ニ依ル運賃トノ差額ハ買主負擔トス
 一、小賣業者最高販賣價格ハ賣主店先渡價格トス
 一、東京市內及大阪市内ノ賣主ガ東京市內又ハ大阪市内ノ買主ニ販賣スル場
 合ニ於テハ一四ノ規定ニ拘ラズ賣主店先渡價格トシ硝子製グロップ、硝子
 製シエード(ビーシエードヲ除ク)及硝子製加工シエードニ在リテハ前
 各表價格ノ二割五分下ゲトシ其ノ他ノモノニ在リテハ五分下ゲトス此ノ場
 合包裝費及荷造費ハ二〇ノ規定ニ拘ラズ買主負擔トス
 一、北海道、山口縣、福岡縣、佐賀縣、長崎縣、熊本縣、大分縣、宮崎縣、
 鹿児島縣及沖繩縣以外ノ各府縣ヨリ之等ノ道縣ノ買主ニ販賣スル場合又ハ
 之等ノ道縣内ニ於テ販賣スル場合ハ硝子製グロップ、硝子製シエード及硝
 子製加工シエードニ在リテハ前各表價格ノ一割五分上ゲ、其ノ他ノモノニ
 在リテハ五分上ゲトス
 一、硬質磁器製繪入シエード、耐爆安全燈及耐爆安全燈用ジョイントボツク
 ス、閃光球、照明用ブリズム硝子板及放電燈用器具ノ販賣價格ハ一六及一
 七ノ規定ニ拘ラズ前各表價格ニ依ルモノトス
 一、製造業者ガ小賣業者ニ直接販賣スル場合ノ價格ハ卸賣業者最高販賣價格
 ニ依リ製造業者又ハ卸賣業者ガ買主者ニ直接販賣スル場合ノ價格ハ小賣業
 者最高販賣價格ニ依ルモノトス
 一、包裝費及荷造費ハ賣主負擔トス
 一、前各表價格中閃光球照明用ナトリウム燈用發光管及照明用水銀燈用發光
 管ノ價格ハ物品稅ヲ含ムモノトシ物品稅ヲ課セラレザル場合ノ販賣價格ハ
 本表價格ヨリ該物場稅額ヲ差引キタル額トス其ノ他ノモノノ價格ハ物品稅
 ヲ加算シ得ルモノトス
 一、本告示前ニ製造シタルブラケット器具、吊下照明器具、シーリングライ
 ト、ブラケット、片面燈、門柱燈及屋外用懸垂型照明器具ニシテ日本照明
 器具業組合協議會ノ定ムル證書ヲ貼リタルモノニ付テハ昭和十七年十二月
 末日迄前各表價格ハ之ヲ適用セズ

DEK

大同の各種製品

昭和十七年電氣年鑑



BR-35型
検型普通電圧計



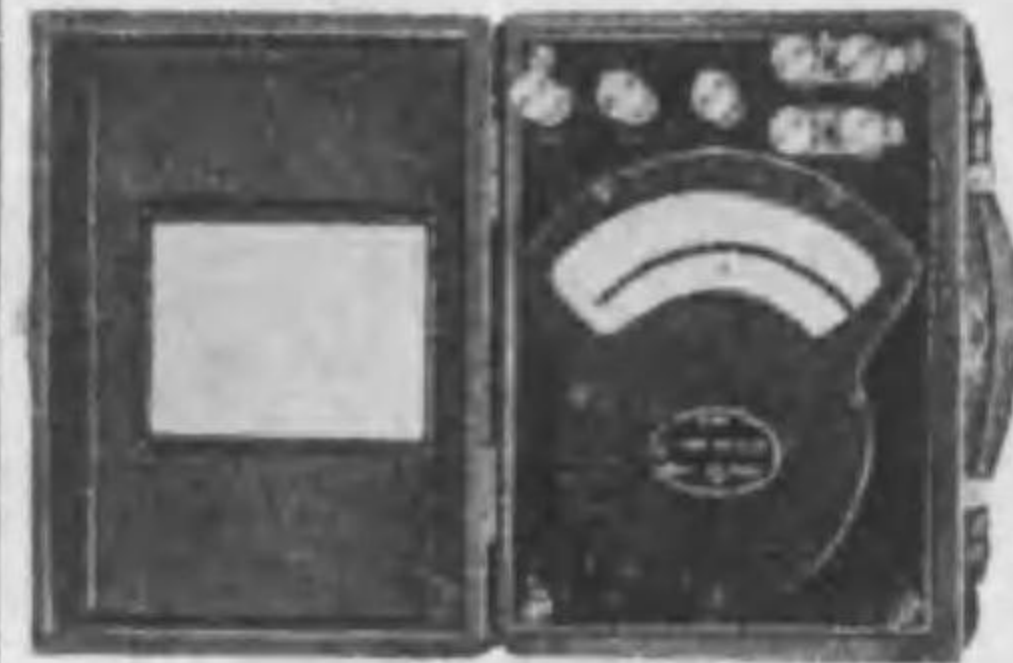
BR-2600型
組式検器



埋込型小型電氣計器



I.T-6型
高圧絶縁抵抗試験器



DPA型 変直兩用精密電流計



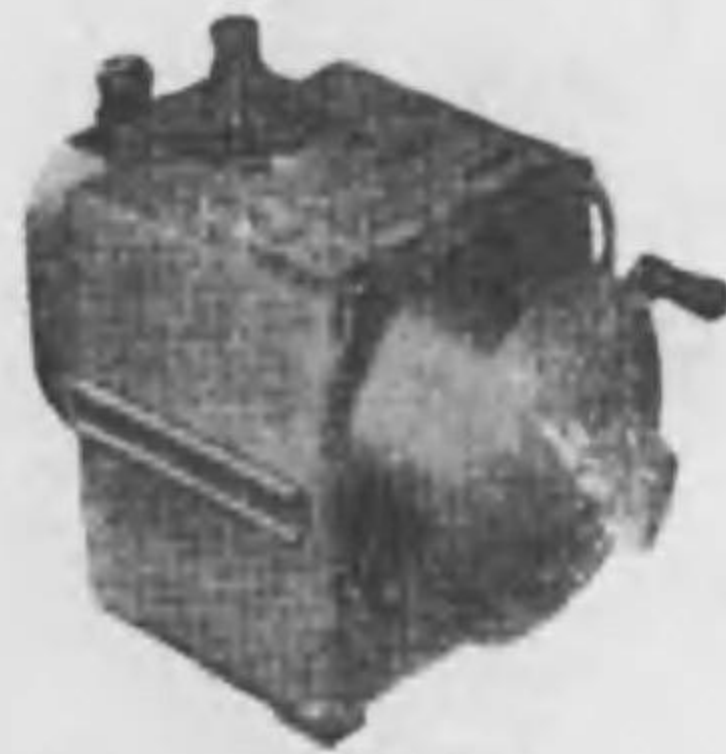
E-2型携帯用接地抵抗試験器



6W型
記録計器用
同期電動機



BR-2601型
携帯用オーム計
測定範囲 0.0001 - 110 Ω



I.T-2型
低圧絶縁抵抗試験器

大同電機工業所

営業所 大阪市北區中ノ島二丁目五〇番地 電話北濱386番
本社 大阪市住吉區天王寺町三三九六ノ一六 電話天王寺 8227番

特二七

照明器具

101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120
1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200	1.200

一、製造業者最高販賣價格及卸賣業者最高販賣價格ハ買主先渡價格トシ朝鮮
臺灣、樺太、關東州、南洋群島、滿州又支那同ノ場合ニ於テハ賣主最寄港
船側渡價格トス但シ買主ノ指圖ニ依リ普通便ニ依ラズシテ運送スル場合ハ
之ニ要シタル運賃ト普通便ニ依ル運賃トノ差額ヲ買主負擔トス
一、小賣業者最高販賣價格ハ賣主店先渡價格トス
一、東京市內及大阪市內ノ買主ガ東京市內又ハ大阪市內ノ買主ニ販賣スル場
合ニ於テハ一四ノ規定ニ拘ラズ賣主店先渡價格トシ硝子製グロップ、硝子
製シエード(ビーシエードヲ除ク)及硝子製加工シエードニ在リテハ前
各表價格ノ二割五分下ゲトシ其ノ他ノモノニ在リテハ五分下ゲトス此ノ場
合包装費及荷造費ハ二〇ノ規定ニ拘ラズ買主負擔トス
一、北海道、山口縣、福岡縣、佐賀縣、長崎縣、熊本縣、大分縣、宮崎縣、
鹿児島縣及沖繩縣以外ノ各府縣ヨリ之等ノ道縣ノ買主ニ販賣スル場合又ハ
之等ノ道縣內ニ於テ販賣スル場合ハ硝子製グロップ、硝子製シエード及硝
子製加工シエードニ在リテハ前各表價格ノ一割五分上ゲ、其ノ他ノモノニ
在リテハ五分上ゲトス
一、硬質磁器製輸入シエード、耐燃安全燈及耐燃安全燈用ジョイントボック
ス、閃光球、照明用ブリズム硝子板及放電燈用器具ノ販賣價格ハ一六及一
七ノ規定ニ拘ラズ前各表價格ニ依ルモノトス
一、製造業者ガ小賣業者ニ直接販賣スル場合ノ價格ハ卸賣業者最高販賣價格
ニ依リ製造業者又ハ卸賣業者ガ買主者ニ直接販賣スル場合ノ價格ハ小賣業
者最高販賣價格ニ依ルモノトス
一、包装費及荷造費ハ賣主負擔トス
一、前各表價格中閃光球照明用ナトリウム燈用發光管及照明用水銀燈用發光
管ノ價格ハ物品稅ヲ含ムモノトシ物品稅ヲ課セラレザル場合ノ販賣價格ハ
本表價格ヨリ該物場稅額ヲ差引キタル額トス其ノ他ノモノノ價格ハ物品稅
ヲ加算シ得ルモノトス
一、本告示前ニ製造シタルプラケット器具、吊下照明器具、シーリングライ
ト、プラケット、片面燈、門柱燈及屋外用懸垂型照明器具ニシテ日本照明
器具業組合協議會ノ定ムル證書ヲ貼リタルモノニ付テハ昭和十七年十二月
末日迄前各表價格ハ之ヲ適用セズ

110

酒井の鐵管

◆營業種目◆

水壓鐵管及ヒ
各種水門扉五等
鐵塔・橋梁・タンク類
精密五具類



株式会社

酒井鐵五所

本社・大阪市西成区津守町三番地
代表電話 天下茶屋 5812
東京事務所・東京市芝区田村町一丁目三番地
電話 銀座 (57) 895
精密部・尼崎市西本町北運二丁目四番地
電話 尼崎 2820

古河空氣電池



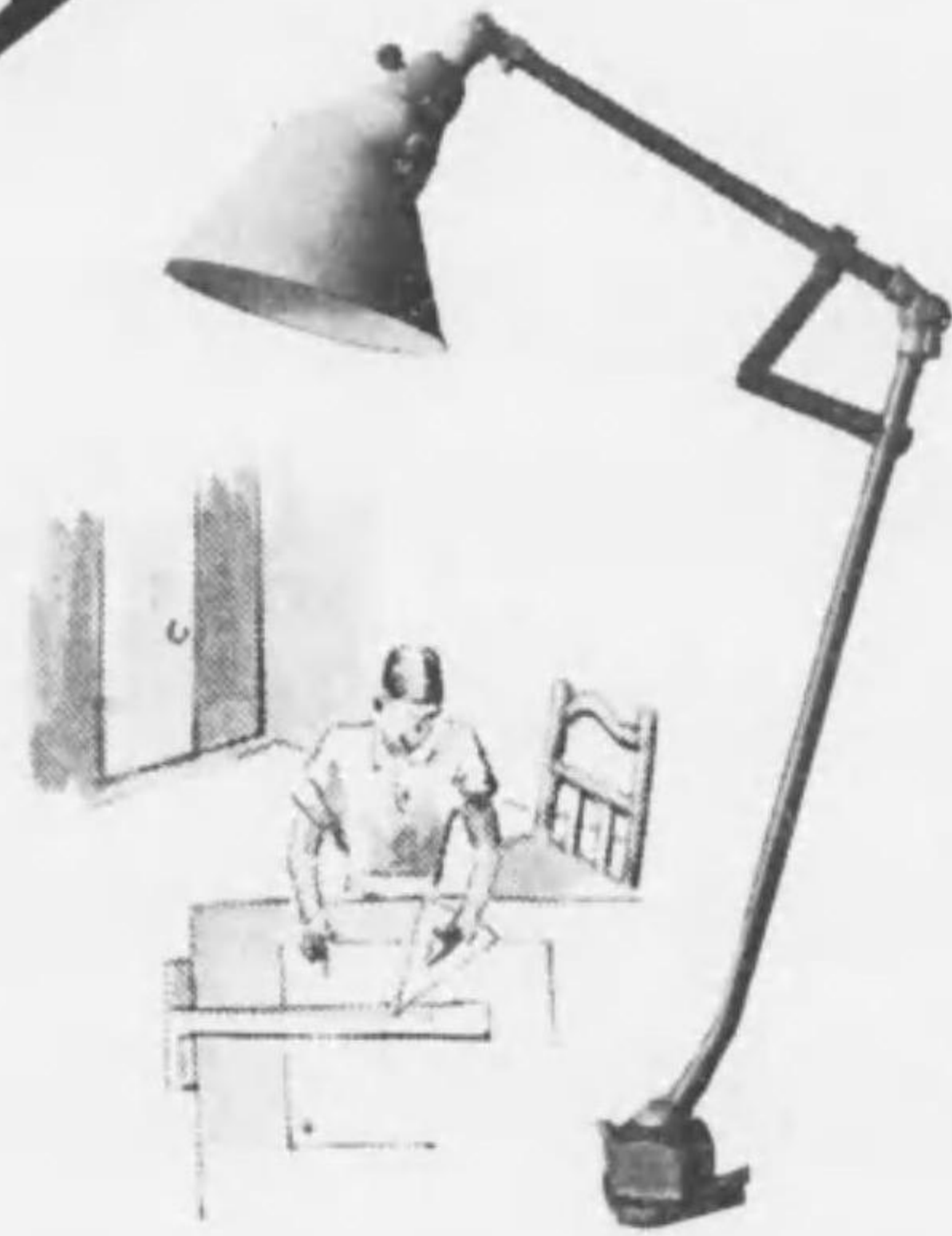
元 捌 売

株式會社 乾電氣商會

大阪市西區江戸堀上邊二丁目四二
電話 土佐堀 1945・2945
振替口座大阪 46843

森式

生產用照明器具



森電機株式會社

東京市大森區大森3丁目347 電話大森 (06) 4345・4807香
 8450・8460香
 東京販賣店 東京市芝區新橋1丁目8 電話銀座 (57) 0057
 0067・6651香
 大阪支社 大阪市此花區上福島南1丁目172 電話福島 (45) 7554・7555香
 7556香

電氣事業一覽

在現月六年七十和昭

○電氣利用組合	關東地帶	一	樺太	九
○電氣化學工業	中部地帶	二	臺灣	九
○電信電話	關西地帶	三	朝鮮	一〇
	北陸地帶	四	滿洲	一〇
	中國地帶	五	南洋	一〇
	九州地帶	六	中華民國	一〇
	四國地帶	七		
	東北地帶	八		
	北海道地帶	九		
	○電燈電力供給・電氣鐵道事業			
	○目次(五十音別)			



日本電線株式会社

目品製要主

裸銅線
エナメル絹綿卷銅線
木綿及ゴム絶縁電線
特殊ゴム絶縁電線
動力用及通信用紙ケーブル
各種電線附屬品各種

向島郵便局 私書函第五號
向島工場 東京市向島區寺島町
川崎ケーブル工場 川崎市古川通
營業所 東京・大阪
代理店 三菱商事株式会社
大倉商事株式会社

電氣事業一覽目次

電燈、電力、電氣鐵道(詳)

(1) 電燈、電力、電氣鐵道事業會社之部

ア之部	伊豆半島電氣(伊豆).....三	伊豆半島電氣(伊豆).....三	伊豆半島電氣(伊豆).....三	伊豆半島電氣(伊豆).....三
イ之部	井川電氣(井川).....三	井川電氣(井川).....三	井川電氣(井川).....三	井川電氣(井川).....三
ウ之部	江ノ島電氣(江ノ島).....三	江ノ島電氣(江ノ島).....三	江ノ島電氣(江ノ島).....三	江ノ島電氣(江ノ島).....三
エ之部	小笠原電氣(小笠原).....三	小笠原電氣(小笠原).....三	小笠原電氣(小笠原).....三	小笠原電氣(小笠原).....三
カ之部	關東電氣(關東).....三	關東電氣(關東).....三	關東電氣(關東).....三	關東電氣(關東).....三
キ之部	北陸電氣(北陸).....三	北陸電氣(北陸).....三	北陸電氣(北陸).....三	北陸電氣(北陸).....三

ク之部

- 久喜内電氣(樺太).....九
- 京電氣鐵道(群馬).....二
- 熊本電氣鐵道(熊本).....七
- 栗山電燈(千葉).....六
- 黒部鐵道(富山).....五
- 桑名電軌(三重).....三

ケ之部

- 京福電氣鐵道(京都).....四
- 京王電氣鐵道(東京).....六
- 京成電氣鐵道(東京).....一〇
- 京阪電氣鐵道(大阪).....四
- 華嚴電工(栃木).....四
- 華南電氣鐵道(廣島).....六

コ之部

- 小坂鐵道(秋田).....六
- 小松電氣鐵道(石川).....六
- 小湊鐵道(千葉).....一
- 古仁屋水電(鹿兒島).....七
- 五箇山電氣(富山).....六
- 五箇山電氣(長崎).....六
- 江界水電氣(朝鮮).....一〇
- 幸役工作所(福岡).....六
- 高野山電氣鐵道(和歌山).....三
- 神戸有馬電氣鐵道(兵庫).....八
- 琴平急行電鐵(香川).....六

カ之部

- 琴平急行電鐵(香川).....六
- 琴平電鐵(香川).....六
- 駒電(山梨).....三
- 近藤林業公司(滿洲).....一〇

キ之部

- 佐渡電燈(新潟).....九
- 津南電力(支那).....二
- 陸奥電氣(鹿兒島).....七
- 廣岐電氣(香川).....六
- 鶴浦電氣鐵道(福井).....六
- 西條合同電氣(朝鮮).....一〇
- 三信鐵道(愛知).....七
- 山武電燈(千葉).....六
- 山陽電氣鐵道(山口).....五
- 山陽電氣鐵道(兵庫).....五

ク之部

- 四國配電(愛媛).....七
- 四國中央電力(愛媛).....六
- 四村川電氣(和歌山).....三
- 志摩電氣鐵道(三重).....二
- 靜岡電氣鐵道(靜岡).....三
- 信濃水電(長野).....六
- 櫻津電燈(北海道).....六
- 島田電氣(香川).....六
- 島田電氣(島根).....三
- 下野電氣鐵道(栃木).....六
- 庄内電鐵(山形).....六
- 葛浦電氣(栃木).....六

ケ之部

- 上信電氣鐵道(群馬).....三
- 上穂水電(千葉).....二
- 上毛電氣鐵道(群馬).....二
- 定山溪鐵道(北海道).....九
- 常北電氣鐵道(茨城).....七
- 白濁電氣(樺太).....九
- 信貴生駒電鐵(奈良).....三
- 信貴山急行電鐵(大阪).....四
- 神都交通(三重).....六
- 新上山電氣(山形).....六
- 新宮電力(和歌山).....三

コ之部

- 水濱電氣(茨城).....六
- 水平寺鐵道(福井).....七
- 駿豆鐵道(靜岡).....三

ク之部

- 西武鐵道(東京).....七
- 西彼電氣(長崎).....六
- 總武鐵道(千葉).....二
- 田口鐵道(愛知).....六
- 田染水電(大分).....七
- 大徳水電(鹿兒島).....七
- 大連都市交通(滿洲).....一〇
- 臺灣電力(臺灣).....九

カ之部

- 高尾水力電氣(山梨).....三
- 高尾登山鐵道(東京).....八
- 高島鐵道(山形).....七
- 高松電氣鐵道(香川).....八
- 竹鼻鐵道(岐阜).....三
- 種子島水力(鹿兒島).....三
- 平電力(福島).....六

キ之部

- 中部配電(愛知).....三
- 中國配電(廣島).....九
- 中國稻荷山鋼索(岡山).....五
- 千曲電氣(長野).....七
- 千葉水電(千葉).....六
- 芝罘電氣(支那).....二
- 知多鐵道(愛知).....六
- 秩父鐵道(埼玉).....二
- 銚子鐵道(千葉).....二
- 朝鮮鐵道(朝鮮).....一〇
- 朝鮮送電(朝鮮).....一〇
- 朝鮮電力(朝鮮).....一〇
- 朝鮮水力電氣(朝鮮).....一〇
- 珍内電燈(樺太).....六

ク之部

- 筑波山鋼索鐵道(茨城).....七
- 對馬電氣(長崎).....六
- 角川電氣(岐阜).....三
- 鶴岡水力電氣(山形).....八
- 鶴見臨港鐵道(神奈川).....九

ケ之部

- 帝都高速度(東京).....五
- 貞光電力(徳島).....七

コ之部

- 東北配電(宮城).....二
- 東京急行電鐵(東京).....六
- 東電電燈公司(滿洲).....一七
- 東海紙料(靜岡).....一〇
- 東武鐵道(岐阜).....八
- 東武鐵道(東京).....八
- 東武電氣(大分).....七
- 洞爺湖電氣鐵道(北海道).....九
- 道志電氣(山梨).....三
- 富山電氣鐵道(富山).....五
- 富川鐵道(愛知).....三
- 豐橋電氣鐵道(愛知).....三

ク之部

- 名古屋鐵道(愛知).....六
- 名護電燈(沖縄).....六
- 名好電氣(樺太).....六
- 奈良電氣鐵道(京都).....九
- 奈良尾電燈(長崎).....六
- 内路電氣(樺太).....六
- 中支那振興(支那).....二
- 長崎電氣鐵道(長崎).....六
- 長野鐵道(長野).....六
- 成田鐵道(千葉).....二

- 南海鐵道(大阪).....三
- 南鮮合同電氣(朝鮮).....一〇
- 南武鐵道(神奈川).....九
- 南毛電燈(群馬).....二
- 南洋電氣(南洋).....一〇
- 南洋電力(南洋).....一〇
- 南鹿電氣(秋田).....九
- 南和電氣鐵道(奈良).....三

ニ之部

- 日本發送電(東京).....一
- 日光自動車電氣(栃木).....六
- 日光登山鐵道(栃木).....六
- 日本電氣(靜岡).....二
- 日本拓業(富山).....六
- 日本硫黃(福島).....六
- 新島電燈(東京).....九
- 新潟電鐵(新潟).....九

ノ之部

- 野上電氣鐵道(和歌山).....五
- 野母電燈(長崎).....六

ハ之部

- 箱根登山鐵道(神奈川).....一〇
- 羽曳電氣(北海道).....六
- 拜泉電氣(滿洲).....一〇
- 博多鐵道汽船(福岡).....六
- 伯陽電氣(鳥取).....六
- 著瀨登山鐵道(徳島).....七

電燈、力、鐵目次

會社之部

イ之部

- 八田電燈所(福島).....六
- 花巻電氣鐵道(岩手).....六
- 哈爾濱交通(滿洲).....一〇
- 阪神電鐵(大阪).....四
- 阪神急行電鐵(大阪).....四
- 阪神電氣鐵道(兵庫).....四

ロ之部

- 日高電燈(北海道).....九
- 比叡山鐵道(滋賀).....五
- 飛騨電燈(岐阜).....三
- 東武電力(東京).....一〇
- 一畑電氣鐵道(島根).....六
- 平谷電氣(奈良).....六
- 廣島電鐵(廣島).....六
- 廣島鐵道(島根).....六
- 廣瀨川電力(群馬).....二
- 寶光光明電氣(滿洲).....一〇

ハ之部

- 富士山麓電氣鐵道(山梨).....九
- 富津水力電氣(朝鮮).....一〇
- 福島電氣鐵道(福島).....六
- 福島電燈公司(滿洲).....一〇
- 福博電氣(福岡).....六
- 福武電氣鐵道(福井).....六
- 藤田組小坂鐵道(秋田).....九
- 二岡電燈(靜岡).....三
- 船川電氣(秋田).....六
- 古河鐵業(栃木).....九

エ之部

- 豐後電氣(大分).....七

セ之部

- 北陸配電(富山).....九
- 北海道配電(北海道).....三
- 望奎共和電燈(滿洲).....一〇
- 寶城興業(朝鮮).....一〇
- 奉天交通(滿洲).....一〇
- 鳳來寺鐵道(愛知).....六
- 北海道鐵道(北海道).....六
- 北勢電氣鐵道(三重).....三
- 北鮮合同電氣(朝鮮).....一〇
- 本溪湖煤鐵(滿洲).....一〇

シ之部

- 馬淵川電氣(岩手).....六
- 眞野川電氣(福島).....六
- 摩耶鋼索鐵道(兵庫).....六
- 松坂電氣鐵道(三重).....六
- 松本電氣鐵道(長野).....七
- 丸岡鐵道(福井).....七
- 丸子鐵道(長野).....七
- 滿洲電業(滿洲).....一〇
- 滿洲站公立電燈(滿洲).....一〇
- 滿洲鴨綠江水力(滿洲).....一〇
- 滿洲炭礦北興炭鐵(滿洲).....一〇

ウ之部

- 三重鐵道(三重).....九
- 三尾川水力(和歌山).....三
- 三木電氣鐵道(兵庫).....九
- 三國市原電鐵(福井).....七
- 三宅島電氣(東京).....九
- 美馬水力電氣(徳島).....九
- 御嶽登山鐵道(東京).....八
- 三井礦山(上)鋼業所(樺太).....九
- 三井礦山(下)鋼業所(樺太).....九
- 三井尾去澤礦山(秋田).....九
- 三美美噴礦業(北海道).....九
- 水間鐵道(大阪).....四
- 南朝鮮水力電氣(朝鮮).....一〇
- 滿鐵撫順炭礦(滿洲).....一〇
- 滿鐵老頭溝炭坑(滿洲).....一〇
- 宮川電燈(山梨).....三
- 宮城電氣鐵道(宮城).....三
- 宮ノ下水力(神奈川).....一〇
- 宮古電燈(沖縄).....六
- 妙見鋼索鐵道(兵庫).....六

エ之部

- 武蔵野鐵道(埼玉).....二
- 陸奥電力(岩手).....六

オ之部

- 藤瀨電業(支那).....一〇

カ之部

- 茂住電燈(岐阜).....三

キ之部

- 八重山電氣(沖縄).....七
- 八栗登山鐵道(香川).....六
- 屋久島水力電氣(鹿兒島).....七
- 屋島登山鐵道(香川).....六
- 山田電燈(兵庫).....九
- 湯島電氣(熊本).....七

ク之部

- 吉田川水力電氣(岐阜).....三
- 吉野水電(奈良).....三
- 羅臼水力電氣(北海道).....六
- 羅老島電氣(朝鮮).....一〇
- 兩總電氣(千葉).....一〇
- 利尻水力電氣(北海道).....六
- 兩羽電氣(山形).....六
- 六甲越有馬鐵道(兵庫).....八

ケ之部

- 渡良瀬水電(群馬).....三
- 和歌山電氣鐵道(和歌山).....五

(2) 府縣市町村營之部

了之部	秋田市交通課(秋田).....一九	加子母村營(岐阜).....三三	黒瀬村營(奈良).....三三	二之部	仁賀保電氣組合(秋田).....三〇
	阿木村營(岐阜).....二〇	加治田村營(岐阜).....三三	神戶市電氣局(兵庫).....四六		西氣村清瀬村組合(兵庫).....三〇
	阿曾布村營(岐阜).....二〇	鹿兒島市交通課(鹿兒島).....三三	知名村營(鹿兒島).....三六	ネ之部	根室町電氣局(北海道).....三〇
	秋野村營(奈良).....二〇	粕壁町電氣部(埼玉).....二二	酒田市電氣部(山形).....一八		根野村營(廣島).....三〇
	明世村營(岐阜).....二〇	片貝谷村營(富山).....二二	崎戸町營(長崎).....二七	ツ之部	都萬村營(島根).....三〇
	明知町營(岐阜).....二〇	野田町營(滋賀).....二二	札幌市電氣局(北海道).....四六		鶴來町營(石川).....三〇
	足尾町營(栃木).....二〇	上郷村營(長野).....二二	上野村營(岐阜).....二二	ト之部	野田町營(樺太).....三〇
イ之部	伊香保町營(群馬).....二二	上波佐見町營(長崎).....二七	上久下村營(兵庫).....四六		野田町電氣局(神奈川).....二二
	一關町電氣作業所(岩手).....二二	上久下村營(兵庫).....四六	藤波村營(岐阜).....三三	ハ之部	日吉村營(岐阜).....三〇
	大居町營(新潟).....二二	藤波村營(兵庫).....四六	藤生村營(山口).....三三		匹見上村營(島根).....三〇
ウ之部	宇治町營(京都).....二二	白老村營(北海道).....三六	白老村營(北海道).....三六	ナ之部	東置賜郡組合(山形).....三〇
	梅ヶ島營業所(静岡).....二二	須賀川町營(福島).....三三	都茂村營(島根).....三三		東白川村營(山形).....三〇
	類桂村營(鹿兒島).....二二	須賀川町營(福島).....三三	都茂村營(島根).....三三	ヒ之部	東田川郡組合(山形).....三〇
エ之部	大坂市電氣局(大阪).....二二	須賀川町營(福島).....三三	都茂村營(島根).....三三		兵庫縣營(兵庫).....三〇
	大高村營(秋田).....二二	須賀川町營(福島).....三三	都茂村營(島根).....三三	フ之部	府中村營(岐阜).....三〇
	大曲西根整理組合(秋田).....二二	須賀川町營(福島).....三三	都茂村營(島根).....三三		富士橋井路組合(大分).....三〇
	落合村營(岐阜).....二二	須賀川町營(福島).....三三	都茂村營(島根).....三三		福地村營(岐阜).....三〇
	鬼脇村營(北海道).....二二	須賀川町營(福島).....三三	都茂村營(島根).....三三		

電氣化學工業(註)自次

水之部	船津町營(岐阜).....三三	吉田村營(鹿兒島).....三六	ア之部	旭硝子株式會社.....二二	關東製鋼株式會社.....二八
	隱坂村營(山梨).....三三	若松市電氣鐵道(福岡).....三六		旭電化工業株式會社.....二二	關東電化工業株式會社.....二八
	細江村小瀧村組合(岐阜).....三三		イ之部	淺田化學工業株式會社.....二二	九州曹達株式會社.....二九
マ之部	牧田村營(岐阜).....三三			淺野カーリット株式會社.....二二	九州電氣工業株式會社.....二九
	三郷村營(岐阜).....三三		ウ之部	鞍山鋼材株式會社.....二二	高知電氣工業株式會社.....二九
	三郷郡北部組合(福岡).....三三			揖斐川電氣工業株式會社.....二二	株式會社昭製鋼所.....二九
	三郷村營(長野).....三三		エ之部	磐城セメント株式會社.....二二	昭和電工株式會社.....二九
	南那珂郡十六ヶ町村組合(宮崎).....三三		オ之部	宇島酸水素株式會社.....二二	昭和特殊製鋼株式會社.....二九
	宮地村營(岐阜).....三三			宇治電化學工業株式會社.....二二	昭和電工株式會社.....二九
	宮村營(岐阜).....三三		カ之部	宇都曹達工業株式會社.....二二	信越化學工業株式會社.....二九
	都城市營(宮崎).....三三			宇都油化工業株式會社.....二二	四國曹達株式會社.....二九
ヤ之部	八百津町營(岐阜).....三三		ク之部	大坂蒸業セメント株式會社.....二二	住友化學工業株式會社.....二九
	夜久野水電組合(京都).....三三			大坂アフリカ肥料株式會社.....二二	住友製業株式會社.....二九
	谷村町電氣部(山梨).....三三		ケ之部	大坂酸水素株式會社.....二二	
ユ之部	湯澤村營(新潟).....三三			大坂曹達株式會社.....二二	
	吉井村營(新潟).....三三		コ之部	鴨川ニッケル工業株式會社.....二二	
ヨ之部					

電燈、力、鐵目次

府縣市町村營之部

電氣化學工業目次

關東地帯

東京

日本發送電株式會社

東京市小石川區小石川町一番地ノ一一

電話(85)代表 二二二二
夜間 二二二二
五五六五
番番番番
291010

- 資本 1,000,000,000 圓
- 社債 500,000,000 圓
- 支出 100,000,000 圓
- 利益 30,000,000 圓
- 決算 三月、九月
- 開業 昭和十四年四月
- 現物出資會社

東京電燈、京濱電力、鬼怒川水力電氣、大同電力、中央電氣、日本電力、矢作水力、東邦電力、昭和電力、關西共同火力電氣、宇治川電氣、南海鐵道、大阪市、阪神電氣鐵道、神戸市、今津發電、中國合同電氣、山陽中央水電、廣島電氣、出雲電氣、山口縣、高知縣、伊豫鐵道電氣、四國中央電力、四國水力電氣、九州電氣軌道、九州水力電氣、九州送電、九州電力、西部共同火力發電、熊本電氣、東信電氣、關西電力、關東水力電氣、庄川水力電氣、小田急電鐵、上毛電

電燈、力、鐵 關東 ◇日本發送電



特許 バインドレス 碍子

配線界風靡の寵兒
凡ての大小ノツブを兼ねる配線
工事のスピード化
分岐、引止完全で堅牢
資材 労力の半減

西伊工業所

東京市神田區錦町二丁目九番地
電話神田(20)二六九七番
電番東京六四一〇九番

力、群馬水電、電氣化學工業、梓川電力、愛岐電力、中央電力、宮崎縣、神岡水電、木曾發電、長野電氣、淡川水力電氣、荒川電力、大日本電力、北海電力電氣、札幌送電、東北送電、山形電氣、福島電燈、新潟電力、富士電力、大井川電力、北陸合同電氣、根葉川電氣工業、京都電燈、宮城縣

被合併會社

中部共同火力發電、昭和電力、東北振興

- 總裁 池尾 芳藏
- 副總裁 小野 猛
- 理事 宮川 竹馬
- 小池卯一郎
- 加藤 保一
- 内海 清温
- 柳原才次郎
- 田波 芳三
- 高岡 幾造
- 常任監事 竹内 賀久治
- 監事 河上 弘一
- 藤岡 芳藏
- 秘書課長 缺
- 企畫課長 平井寛一郎
- 技術研究所長 小山熊治郎
- 總裁室勤務部長(理事) 小池卯一郎
- 勤務課長 安生 要人
- 人事課長 小林 宇市
- 總務局長(理事) 岸田 幸雄
- 總務局總務部長 落合 高次

總務課長 安藤 精彦
管財課長 木村 彌藏
總務局經理部長 齊藤 三三
會計課長 水岡千一郎
購買課長 廣戸 昇
配給課長 篠原 正雄

- 營業局長(理事) 宮川 竹馬
- 營業局營業部長 關 龍一
- 營業課長(兼) 菅 琴二
- 給電課長(兼) 森 壽五郎
- 營業局運營業部長 宮原信英
- 庶務課長 中村 清己
- 電力課長 弘田龜之助
- 電氣課長(兼) 久保田松吉
- 建設局長(理事) 藤波 收
- 建設局庶務部長事務取扱(兼) 藤波 收
- 次長 石川 惇平
- 庶務課長 安田 正廣
- 建設局電氣建設部長 佐伯 猛男
- 事務課長 淺野 彌龍
- 線路課長 荒木 榮二
- 建設局土木建設部長 内海 清温
- 第一土木課長 安藤新六
- 第二土木課長 松田文次
- 水力課長 荒木 榮二
- 建設局機械建設部長 赤澤政五郎
- 次長 小田島精作
- 事務係長 丸山 寛一
- 第一機械課長 缺
- 第二機械課長(兼) 小田島精作

關東 ◆日本發送電

◆關東配電

水力試驗所長 加藤 貢
東京市小石川區小石川一ノ一
電話小石川一、一五一

支店長(理事)高草立夫
增水 浩 庶務課長 山本三治郎
經理課長 白木 持太 業務課長(兼)山本善次
給電課長 村田 可朗 水力課長 竹村 重武
火力課長 田村 修 送電課長 新 文夫
送電課長 渡邊 兼雄

大阪支店 大阪市北區宗室町一六阪ビル
電話土佐堀八、三七〇
支店長(理事)加藤保一
次 長 高樹榮四郎
庶務課長(兼)坂本豐吉
會計課長 近野 萬壽 庶務課長 佐藤 益天
業務課長 榎藤 常孝 給電課長 本間鐵四郎
電力課長 角野 清藏 火力課長 中村富士太郎
送電課長 加藤淳一郎 石灰課長 藤澤 隆

名古屋支店 名古屋市西區御幸本町九丁目日本鐵兵館
電話本局三、一四一
支店長(理事)工藤正平
次 長 西岡憲三郎
庶務課長 藤下幾太郎 經理課長 原田庄太郎
業務課長 山崎三三介 給電課長 加藤 敏郎
水力課長 高坂釜三郎 火力課長 齊藤 應理
送電課長 岸本通智

給電課長 山室 直樹 電力課長 山本 公平
火力課長 仲村 常雄 送電課長 瀨戶 千秋
石炭課長 速水信四郎
廣島支店 廣島市大手町三ノ二四
電話中五、三九一
支店長(理事)田邊文之助
次 長 谷内田幸一
庶務課長 細川 進一 庶務課長 伊地知俊吉
經理課長 沖本 秀樹 業務課長 益子 充
給電課長 菅場 丈夫 電力課長 永田 八郎
火力課長 住野 光 送電課長 岡泰 柳吉
東北支店 仙台市勾當通二二八
電話仙臺四、七〇〇
支店長(理事)長南主稅
次 長 久光 公正
庶務課長 望月 甲藏 振興課長(兼)長南主稅
業務課長(兼)望月甲藏 經理課長 田野泰一郎
業務課長(心得)鈴木精一郎 給電課長 見山道正
送電課長 升木 正雄 送電課長(兼)原賢朗
札幌支店 札幌市北二條西二ノ一二
電話札幌六、一一一
支店長(理事)莊榮次郎
次 長 關本 賢一
庶務課長 藤川 英夫 庶務課長(兼)藤川英夫
經理課長 千野 正人 業務課長 中谷 晋次
給電課長 鈴木一郎 發電課長 荒井 武治
送電課長 藤田誠治 石灰課長 藤 隆助
富山支店 富山市新徳曲輪一
電話富山二、五九八
支店長(理事)田澤芳三
次 長 内ヶ崎賢五郎
庶務課長 吉田 誠 庶務課長 中島 孝雄
經理課長 山田 清治 業務課長 窪田 三郎
給電課長 深井 基邦 發電課長 小々高 幸

送電課長 長岐作次
新居濱支店 新居濱市泉川町字出晴甲三五一五
電話新居濱四六一
支店長(理事)高柳興四郎
次 長 高岡 健造
庶務課長 米林 正之 庶務課長 篠原 武雄
經理課長 菅沼 豐 業務課長 坂谷 三郎
給電課長 平林 俊衛 發電課長 橫内 治重
送電課長 吉田 實

關東配電株式會社
本社 東京市芝區田村町一丁目一番地
電話銀座(57)五、五二一、五七番
資本 ¥10,000,000圓
拂込 ¥10,000,000圓
社債 ¥10,000,000圓
借入 ¥6,700,000圓
開業 昭和十七年四月
決算 三月、九月
配電區域 東京府、神奈川縣、埼玉縣、群馬縣、千葉縣、茨城縣、栃木縣、山梨縣、靜岡縣及び新潟縣ノ一部
合併會社
(指定會社)
東京電燈株式會社、富士電力株式會社、甲府電力株式會社、日立電力株式會社
(出資事業者)
東京市、日本電力株式會社、東京橫濱電鐵株式會社、王子電氣軌道株式會社、大日本電力株式會社、京王電氣軌道株式會社、京成電氣軌道株式會社
社長 荒井 章治 副社長 安藏 彌輔
常務理事 齋藤孝二郎 岩瀬英一郎 新田宗雄
進藤武左衛門 高井亮太郎 上原六郎

參與理事 岩佐 剛一 佐藤 輝雄
五島 慶太 岡部 榮一 後藤國彦
佐藤慶徳(常任) 本間利雄 寛正太郎
平原庄兵衛 坂本 威郎 岸本千秋
前田 直造

監事 前田 直造

本社 秘書課長 木川田一隆 考查課長 若杉 孝平
研究所長 河合 賢次 職員養成所長 磯谷 確也

企畫部 企畫部長(理事) 上原 六郎
企畫部次長(參事) 大石 主計
企畫課長 伊東 忠吉 調查課長 山本 淳一
統台課長 中川 清

總務部 總務部長(理事) 齋藤孝二郎
庶務課長 武田 七郎 文書係長 南雲 義人
株式係長 諏訪 武雄 管材係長 井出 定雄
人事課長 岡 次郎 厚生課長 磯谷 確也

經理部 經理部長(理事) 岩瀬英一郎
會計課長 山星 暢夫 主計係長 松山 三郎
出納係長 小林 登 財務課長 桶川 清
調度課長 三好 大氣 購買係長 小田 良藏
倉庫係長 安藤 勳

業務部 業務部長(理事) 新田 宗雄
業務部次長(理事) 進藤武左衛門
營業課長 船門 清馬 調查課長 伊賀 秀雄
配電課長 福田 勝治 配電課長 淺羽義孝

電燈、力、鐵 關東 ◆關東配電

內線係長 宮内 茂 外線係長 伊藤義太郎
地中線係長 小山 登
工務部 工務部長(理事) 高井亮太郎
工務課長 清水 重志 電氣課長 吉田 確太
電氣課副長 長久保 發 發電係長 市橋 義一
送電係長 田中直治郎 土木課長 高橋 泰介
土木係長 高橋 泰介 建築係長 富塚 卓三
給電課長 二木 順吉 給電係長 富田 保藏
電話係長 本尾 茂夫

支店・支社 神奈川支店 横浜市神奈川區高島通一ノ一三
電話神奈川三、三二二、三三六
支店長(理事) 岩佐 剛一
經理課長 橋本 一雄 營業課長 市橋 敏夫
工務課長 露木 半平 庶務課長 佐藤美佐雄
高島通營業所長 鴨志田 勝
常盤町營業所長 戸澤 正一
川崎營業所長 藍田 德兵衛
鶴見營業所長 伊藤 治平
厚木營業所長 荒井岩千代
橫須賀營業所長 櫻井 武
鎌倉營業所長 小川鐵五郎
平塚營業所長 太田 貞市
小田原營業所長 武谷 兼文
埼玉支店 浦和市岸町七ノ一一三
電話浦和二、〇四一番

支店長(理事) 佐藤 輝雄
經理課長 鈴木 秀吉 營業課長 村上 信雄
工務課長 松岡 則章 庶務課長 宇田川彌助

浦和營業所長 深澤 榮吉
大宮營業所長 永井 三雄
川越營業所長 山本 眞一
久喜營業所長 中村 陽一
熊谷營業所長 加藤 亮一
本庄營業所長 青木 榮吉
寄居營業所長 的場 五郎
飯能營業所長 川合徳三郎
秩父營業所長 上田 作雄
川口營業所長 杉原 幸祐
群馬支店 前橋市堀川町六五ノ二
電話前橋四、三二四、三二六
支店長(參事) 貞方 忠一
經理課長 齋藤友次郎 營業課長 天笠源三郎
工務課長 秋山 傳之
前橋營業所長 星野 義衛
澁川營業所長 高木 直枝
伊勢崎營業所長 小柏 茂
館林營業所長 村上唯治郎
沼田營業所長 中村 季晴
桐生營業所長 松村 英夫
大田營業所長 飛田 喜一
高崎營業所長 池原 萬作
千葉支店 千葉市新宿町二ノ一一九
電話千葉一、〇〇九、一、〇〇七
支店長(主事) 新家 眞吾
經理課長 副島勇之助 營業課長 世古 正文
工務課長 楢垣 清澄
千葉營業所長 風間 精
成田營業所長 小林 清一

關東

茂原營業所長 館野 精一
館山營業所長 北 武吉郎
鏡子營業所長 菅生 育三
佐原營業所長 香取 東司
野田營業所長 平泉 久雄
市川營業所長 武部 義邦
茨城支店 水戸市北三ノ九一ノ一七〇
電話水戸〇〇〇四番

支店長(主事) 安部 登樹
經理課長 山本 四朗
工務課長 有泉 武男
猿橋營業所長 若尾 治重
鹽山營業所長 磯部 正記
甲府營業所長 高野 武
延營業所長 野村 善治
沼津支店 沼津市大手町一四一
電話沼津一七一、四五四

日本橋支社 日本橋區茅場町一ノ四
支社長 佐原 精一
京橋支社 京橋區銀座西三ノ三
支社長 大木 茂夫
駒町支社 駒町區駒町一ノ一
支社長 伊東 九郎
駒込支社 本郷區駒込退分町九五
支社長 須田 正藏

池袋支社 豐島區池袋一ノ六四二
支社長 白澤富一郎
芝支社 芝區濱松町三ノ五
支社長 富岡 毅
赤坂支社 赤坂區溜池三四
支社長 百海 政一
青山支社 澁谷區上通一ノ六
支社長 江阪 鶴吉
小川支社 小石川區春日町二ノ五二
支社長 林 麟四
目黒支社 目黒區下目黒二ノ三四八
支社長 平城 好身
王子支社 豐島區西巢鴨三ノ八七三
支社長 中田 琢磨
世田谷支社 世田谷太子堂町四三八
支社長 酒井莊太郎
高井支社 世田谷區赤堤町二ノ五四四
支社長 岡本 一郎
八王子支社 八王子市八日町二六
支社長 松浦 唯平

電燈 最大 三〇〇〇
局長 植木 壽雄
副局長 中村 三郎
總務課長 藤澤 久
人事課長 新藤 得
主計課長 渡邊伊之輔
經理課長 多田 行雄
調查課長 三木 景三
電燈事務處理課長 中瀬 一郎
技術課長 下條 薫
電源課長 安部 志津馬
電源調查課長 山元 誠安
管理課長 小野傳次郎
教育所長 志羽 俊榮
(電車部) 部長 春 彦一
庶務課長 尾關 三三
計畫課長 望月 勳造
監督課長 赤羽 幾一
車輛課長 熊野省四郎
保線課長 青山 恭晴
軌道課長 甘利 連造
電力課長 山元 誠安
考查課長 古橋 英夫
配電課長 片倉 龍夫
(自動車部) 部長 高島 信一
庶務課長 藤田 眞一
監督課長 白石 義男
(交通調整部) 部長 中屋 重治
第一調整課長 佐々木安隆
第二調整課長 佐々木安隆

技術課長 熊野省四郎
電氣課長 東京市內
資金 七錢均一
帝都高速度交通營團
東京市下谷區東坂町十二
電話下谷二、六番八、二七番
資本 六〇〇,〇〇〇圓
出資內譯 帝國鐵道會計(政府) 10,000,000圓
東京市 10,000,000圓
各電鐵會社 10,000,000圓
拂込 一五,〇〇〇,〇〇〇圓
設立 昭和十六年七月
收入 七六,五二〇圓
決算 三月、九月
利益 八〇,一六六圓
(昭和十六年七月ヨリ九月迄)

建設費 三、七、八、三、五、五〇圓
積立 八、四、九、四、六、六〇圓
支出 三、六、四、九、七、二〇圓(市債費ヲ含マズ)
利益 一、七、一、八、八、九、六〇圓
開業 明治十四年八月(東京鐵道株式會社買收)

東京市電氣局
東京市駒町區有樂町二ノ一三
電話(一)二二二一、二二二〇
九ノ内(一)二二二一、二二二〇
電燈、力、鐵 關東

監事 安岡 正光 藤原銀次郎 秋元 春朝
平山 泰 明石 照男
總務部長 小泉 七雄 厚生部長 中川 剛毅
運輸部長 丸山 武治 技術部長 鈴木倫之助
建設部長 山口 繁 營業部長 大野 淺一

關東 ◇東京急行電鐵 ◇京王電氣鐵道 ◇東武鐵道

經理部長 小倉 俊夫(理事兼務)
主任技術者 松本 久長
電壓 三〇〇V ◇周波 五
軌道 淺草—澁谷—四ノ木—三軒
貨金 一區五錢 全線三區

東京急行電鐵株式會社

本社 東京市澁谷區大和田町一番地
電話澁谷區二一三二

資本 三〇〇,〇〇〇圓
社債 五〇〇,〇〇〇圓
決算 五月、十一月
開業 大正十一年九月
(昭和十七年五月東京橫濱電鐵、京濱電氣鐵道及小田急電鐵ヲ吸收合併ス)
電壓 三〇〇V—一三〇V 電車線 六〇V
周波 五
社長 五島 慶太
專務 藤原三千郎 池邊 稻生
常務 小宮 次郎 丹羽 武朝 田中 百畝
立花 榮吉 川又貞次郎
三浦 貢 大坪 弘 藤本 哲
取締役 伍堂 卓雄 鈴木 幸七 尾川 武夫
井田 正一 松尾 光 牧野 謙次郎
小林 中 有吉 忠一 新井 章治
溝口 直亮
監査役 中岡 義隆 海澤 秀雄 松本 丞治
緒明 太郎
總務局長 丹羽 武朝 總務部長 浦川 陸臣
統制部長 尾川 武夫

企畫局長 小宮 次郎 企畫部長 松本 久長
運輸部長 立花 榮吉 電氣部長 坂本 常樹
經理局長 田中 百畝 用品部長 特田 茂
事業局長 川又貞次郎 事業部長 黒川 涉三
監査部長 大坪 弘 調査部長 松尾 光
技術研究部長 荻田 成亮

京王電氣鐵道株式會社

本社 東京市澁谷區大和田町一
電話澁谷區二一三二

資本 一〇〇,〇〇〇圓
社債 一〇〇,〇〇〇圓
收入 一〇,〇〇〇圓
電壓 三〇〇V 電車線 一〇〇V 周波 五
池袋營業所 東京市豐島區池袋町
電話大塚四四〇番
所長 須永林太郎
澁川營業所 郡馬縣澁川町
電話澁川二七番
所長 露崎 滿

東武鐵道株式會社

本社 東京市本所區小梅一丁目二ノ一
電話墨田三〇三三番

資本 一〇〇,〇〇〇圓
社債 一〇〇,〇〇〇圓
收入 一〇,〇〇〇圓
電壓 六六〇V—三三〇V
電車線 一三〇V
貨金 高田馬場—川越間 全線 六錢
營業 自動車、土地經營、砂利採取

資本 五〇〇,〇〇〇圓
社債 一〇〇,〇〇〇圓
收入 二〇〇,〇〇〇圓
支出 一〇〇,〇〇〇圓
利益 一〇〇,〇〇〇圓
配當 年八分
決算 三月、九月
開業 明治三十二年
(電車大正十三年十月)

西武鐵道株式會社

本社 東京市澁谷區下落合二ノ一三三五六
電話大塚三六三三三六三九

會長 正田貞一郎 社長 根津嘉一郎
專務 畑中 四郎 工藤 義男
取締役 前田 利定 根津 啓吉 中川 正左
伊藤 實
監査役(常任)須田 宜 宇都宮政市
技術部長 井上 藤根
總務部長 秋葉 哲 運輸部長 長瀬興二郎
自動車部長 小林正郎 事業部長(兼)伊藤 實
工務部長 木村 尚克 電機部長 森島鐵太郎
經理部長 飯島 輝
臨時建設部長 伊藤實
鐵道
伊勢崎線(雷門—伊勢崎)
宇都宮線(新橋—東武宇都宮)
龜戶線(曳舟—龜戶)
大谷線(西川田—立岩)
千住線(中千住—千住)
佐野線(館林—高生)
大師線(西新井—大師前)
小泉線(館林—太田)
日光線(杉戸—東武日光)
桐生線(太田—新大宮)
東上線(池袋—寄居)

資本 七〇〇,〇〇〇圓
借入 一〇〇,〇〇〇圓
收入 一〇,〇〇〇圓
支出 一〇,〇〇〇圓
利益 一〇,〇〇〇圓
配當 年四分
決算 五月、十一月
開業 大正十一年八月

青梅電氣鐵道株式會社

本社 東京市京橋區銀座西四ノ五
電話京橋六九二・六〇五四

會長 小澤 太平 專務 山崎文五郎
社長 大島 三橋 金子喜代太
取締役 指田茂十郎 淺野總一郎 中村半左衛門
監査役 指田茂十郎 淺野總一郎 中村半左衛門
電氣部長(主任技術者) 太田 金彌
運輸部長 番場政太郎 保線部長 赤塚平之丞
電車線 北多摩郡立川町ヨリ西多摩三田村間
電車線供給電壓直流 一五〇V
貨金 全線片道 四錢

電燈、力、鐵

關東 ◇西部鐵道 ◇青梅電氣鐵道 ◇多摩川水力電氣

多摩川水力電氣株式會社

本社 東京市京橋區銀座西四ノ五
電話京橋六九二・六〇五四

資本 七〇〇,〇〇〇圓
借入 一〇〇,〇〇〇圓
營業所 東京府西多摩郡永川町水川
電話永川三〇三三番
支拂手形 一〇〇,〇〇〇圓

關東 奧多摩電氣鐵道 高尾登山鐵道 御嶽登山鐵道 大島拓殖電氣

積立 104,210圓
支出 120,620圓(内銷却80,000圓)
利益 六、三三圓
決算 五月、十一月
開業 昭和六年七月
買收 水川電氣株式會社
發電 水力

社長 中島 守利
取締役 山崎 龜吉 立川 太郎 木村源兵衛
大野 朝夫 米本 卯吉
監査役 矢野 鉦吉 清水惠太郎
庶務課長 太田 四郎 營業課長 永島 義朗
經理課長 平岩富藏
工務課長事務取扱 飯島 近三
主任技術者 豊田 虎市
供給電燈數 六、九三個

奧多摩電氣鐵道株式會社
東京府西多摩郡三田村澤井下分
電話澤井一四番

資本 4,000,000圓
設立 昭和十二年六月(未開業)
社長 山田 龜治
取締役 淺野總一郎 白石元治郎 淺野 良三
小澤 太平 松下 長久 徳根 吉郎
監査役 間島 三太 大村 正篤 淺野 八郎
山田 胖
電氣技師 太田 金彌
鐵道 東京府下三田村一同水川町

高尾登山鐵道株式會社

東京府南多摩郡淺川町上桐田三〇五
電話 淺川 四五番

資本 2,000,000圓
借入 1,000,000圓
積立 2,000圓
支出 2,000圓
配當 年三分
開業 昭和二年一月
代表取締役 山口安兵衛
常務 小阪 賢
取締役 蜂尾 利一 落合 元一
監査役 大貫 常七
相談役 武藤 範秀
主任技術者 藤巻 弘隆
庶務主任 高城 好次 會計主任 栗原 勝
電燈 最大 三、五〇〇V
鋼索鐵道 淺川町上桐田三〇五ヨリ同三七番地
貨金 片道上リ三錢 下リ三錢 往復五錢

御嶽登山鐵道株式會社
東京府西多摩郡三田村御嶽四八三
電話 澤井 二二番

資本 1,000,000圓
借入 1,000,000圓
積立 4,000圓
收入 1,000圓
支出 1,000圓
利益 一五、七五圓
配當(優先)年六分(普通)年三分
決算 一月、七月

三宅島電氣株式會社

東京市麹町區有樂町一ノ四
電話銀座三六一三六
營業所 府下三宅島神濱村

資本 1,000,000圓
積立 2,000圓
支出 1,110圓
開業 昭和四年七月
發電 內燃力
電燈 最大 三、三〇〇V 供給 100V
周波 五
社長 三輪外次郎
取締役 岡崎 將次 吉岡 久雄
監査役 岡田 健
主任技術者 武田修三郎

小笠原電氣株式會社

東京府下小笠原支島大村一番地
電話 2,000圓

資本 2,000,000圓
開業 昭和九年四月
發電 內燃力
電燈 最大 三、三〇〇V 供給 100V 周波 五
社長 堀林 謙受
取締役 莊司 久吾 三輪外次郎 淺沼丈之助
宮内 二郎 原田 金藏 豊田信三郎
監査役 荻野 太藏 森泉 平助
技師長 武田修三郎
供給電燈數 二、一四個

電燈、力、鐵

關東 三宅島電氣 新島電燈

新島電燈株式會社

東京府新島本村一番地
電話 3,500圓

資本 3,500,000圓
積立 9,000圓
開業 大正十四年二月
發電 內燃力
電燈 最大 三、三〇〇V
周波 五
社長 森田 幸 常務 植松 藤吉
取締役 石田 庄七 森 米吉 前田彌五兵衛
宮原 利雄 宮原 勇
監査役 土屋 平七 菺田 軍治
主任技術者 石田 庄七
供給電燈數 一、四八七個

神奈川

南武鐵道株式會社

川崎市堀川町七四番地
電話川崎二五〇三・二四三六

資本 8,000,000圓
借入 3,740,000圓
積立 3,990,000圓
支出 1,075,000圓
利益 3,189,000圓

小笠原電氣 南武鐵道 鶴見臨港鐵道

大島拓殖電氣株式會社

東京府伊豆大島元村字水尻
電話元村七四 波浮七三

開業 昭和十年一月
社長 山崎 龜吉 常務 今野 三治
專務 垣屋忠次郎 大島 三橋 田中孫次郎
取締役 國府寺鼎三
監査役 平岡 良藏
主任技術者 齊藤 兵藏
軌道 西多摩郡三田村御嶽ヨリ御嶽山上間
鋼索線路 〇哩七五釐

大島拓殖電氣株式會社

東京府伊豆大島元村字水尻
電話元村七四 波浮七三

資本 3,000,000圓
積立 1,000,000圓
支出 1,000,000圓
配當 年七分二厘
開業 大正五年六月
發電 內燃力
電燈 最大 三、三〇〇V 供給 100V 周波 五
社長 杉浦 文一
常務 野崎 耕一
取締役 松本 新太 阿部森之丈 加納 陽三
監査役 安田菊治郎 藤井勝之助
業務主任 細居 祐之 主任技術者 小林明治
供給電燈數 七、三三三個

決算 三月、九月

配當 年七分

開業 昭和二年三月
社長 淺野 良三
專務 生野源太郎 山内 武雄
常務 沼田省太郎
取締役 淺野總一郎 野村 健吉 大塚 榮吉
丹羽 武朝 金光 義邦 井上篤太郎
小机 武 池谷 精一
監査役 永野 謙 淺野 八郎 荻島清太郎
森田 幸三
支配人 津田 庄吉
主任技術者 津田 庄吉 藤末 義男(鐵道)
庶務課長 津田 庄吉 運輸課長 吉田 義隆
經理課長 竹内清太郎 營業課長 永田 鍊治
電氣課長 金山 一郎 電氣技師 桑名 恒

軌道 川崎一溝ノ口一登戸一多摩聖路口一府中
立川一武藏岩井
支線 矢向一川崎河岸 尻手一濱川崎間 向河
原一市ノ坪間 武藏上ノ原一西立川間
武藏田中一拜島多摩川間
電燈 最大 三、三〇〇V 電線 1,100V
貨金 本線 三錢 開通線 六・七料

鶴見臨港鐵道株式會社

東京市鶴見區丸ノ内一ノ六(海上ビル)
電話川崎三三九四・三三九五

資本 5,000,000圓
出張所 川崎市鶴見區三丁目二十五番地一

關東 箱根登山鐵道 江ノ島電氣鐵道 大山鋼索鐵道 宮ノ下水力電氣

一〇

借入 四、四八、七五圓
支拂手形 八四、三三圓
收入 九、九八、一〇圓
支出 三、六〇〇圓
利益 七、三八一〇圓
決算 昭和五年(電車)
五月、十一月

社長 白石元治郎
副社長 淺野 良三
取締役 田中 鐵造 淺野 義夫 大野 政吉
渡部 介 海津 一男 間島 三夫
監査役 正田貞一郎 兒玉 國雄 小松 隆
主任技術者 高橋 泰三

電壓 最大三、五〇〇V 電車線六〇〇V
鐵道本線 (鶴見一原町)
大川支線 (武藏白石一大川)
石油支線 (安善町一石油)
芝浦支線 (淺野一海芝浦)
河口支線 (辨天橋一鶴見河口)
未開業線 (鶴見豐岡一綱島)
(濱川崎一入新井)

箱根登山鐵道株式會社

神奈川縣小田原市幸一丁目二一四
電話小田原二六三・九七三
資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓
借入 一、〇〇〇、〇〇〇圓
收入 一、〇〇〇、〇〇〇圓
支出 一、〇〇〇、〇〇〇圓
利益 一〇一、九七〇圓
決算 五月、十一月

配當 年三分
開業 昭和三年八月
(日本電力電氣事業小田原電氣事業譲受)
社長 高津 啓一 專務 大森 保次
取締役 益田 信世 太田 貞市
監査役 上越 安次 船門 清馬
主任技術者電氣 松島武夫 土木 間瀬 憲一
業務部長 大森 保次 工務部長 間瀬 憲一
電壓 三、五〇〇V
軌道 小田原市、湯本町、温泉村、宮城野村
小田原一強羅 夫錢 町内線 五錢均一
小田原一強羅
ケーブル 強羅一早雲山 延長一・三料
小田原一箱根板橋(町内線) 二・四料

江ノ島電氣鐵道株式會社

神奈川縣鎌倉郡片瀨町片瀨
電話片瀨一・二七〇
資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓
支拂手形 二〇〇、〇〇〇圓
收入 六八、八〇〇圓
支出 六八、八〇〇圓
利益 六八、八〇〇圓
決算 五月、十一月
開業 大正十五年七月
社長 五島 慶太 常務 平井 義富
取締役 田邊德五郎 小原喜三郎 篠原三千郎
立花 榮吉 小宮 次郎 鈴木 幸七
丹羽 武朝 安部政次郎 小串 清一
監査役 松本 永吉
支配人 松本 永吉
主任技術者 葛里小路通利
總務課長 栗原 光 運輸課長 鈴木 清吉

工務課長 佐藤 美敷
最大三、五〇〇V 電車線六〇〇V
電氣鐵道(原線) 藤澤一江ノ島一鎌倉
貨金 一區五錢 全區三〇錢
大山鋼索鐵道株式會社
本社 神奈川縣中郡伊勢原東大竹四五九
電話 伊勢原五〇番

宮ノ下水力電氣合資會社

神奈川縣足柄下郡宮城野村一〇一三
電話箱根宮ノ下一〇五番
資本 五〇〇、〇〇〇圓
借入 五〇〇、〇〇〇圓
收入 五〇〇、〇〇〇圓
支出 五〇〇、〇〇〇圓
利益 五〇〇、〇〇〇圓
決算 二月
開業 明治四十二年四月

發電 水力 周波 五〇
電壓 最大三、五〇〇V
業務執行社員山口脩一郎 主任技術者橋原長充
營業部主事 加藤 連次
供給電燈數 一、五三三個
秦野町電氣局
神奈川縣中郡秦野町會屋
電話秦野六八番

埼玉

武藏野鐵道株式會社
本社 東京市豊島區池袋二丁目一八八
電話大塚六三四・六三五番
資本 一〇、〇〇〇、〇〇〇圓
借入 一〇、〇〇〇、〇〇〇圓
收入 一〇、〇〇〇、〇〇〇圓
支出 一〇、〇〇〇、〇〇〇圓
利益 一〇、〇〇〇、〇〇〇圓
決算 五月、十一月

電燈、力、鐵

關東 秦野町電氣局

武藏野鐵道 秩父鐵道 箱根電氣部

支出 一、一八、三〇〇圓
決算 六月、十二月
開業 大正四年四月(電化大正十一年十一月)
合併 多摩湖鐵道株式會社、秩父自動車株式會社、日本企業株式會社(豐島園)
社長 堤 康次郎
常務 山名 義高 小高 義一
取締役 福島 茂富 小川 榮一 中島 勝
永井 外吉 小島正治郎
監査役 能瀬龜三郎
總務部長 兼調查課長 宮内 巖
庶務課長 笠原 市郎 經理課長 萩野光三郎
運輸部長 服部 積三 運輸課長 三坂 佐吉
工務部長 兼電氣課長 宮崎 猛
營業部長 兼營業課長 杉井寅太郎
車輛課長 森田與十郎 保線課長 保戶塚靜吉
自動車課長 島田作次郎 不動産課長 小野田耕作
自動車課次長 柴田 榮一
電壓 最大六、〇〇〇-三、〇〇〇V 電車線一、〇〇〇V
軌道

秩父鐵道株式會社

埼玉縣熊谷市大字熊谷一三三
電話熊谷一四二・七七二

本線 池袋 飯能 三軒 八軒
西所 馬場 野間 一・三軒
分所 山崎 山崎 八・九軒
多摩湖線 萩原 山本 小 平間 一〇軒

資本 三、〇〇〇、〇〇〇圓
借入 三、〇〇〇、〇〇〇圓
收入 三、〇〇〇、〇〇〇圓
支出 三、〇〇〇、〇〇〇圓
利益 三、〇〇〇、〇〇〇圓
決算 五月、十一月
開業 明治三十四年八月
合併 大正十一年八月 北武鐵道株式會社
社長 柿原 萬藏
常務 河野 繁一 諸井 貫一
取締役 大森喜右衛門 諸井四郎 澁澤 信雄
出井 兵吉 岡野 昇 大友 幸助
煙中 四郎
監査役 松本 眞平 石橋 要 柿原 康治
電氣主任技術者兼技術課長 宮本藤一郎
總務課長 松崎 銀平 營業課長 能木榮次郎
電車 軌道起點 羽生、行田、熊谷、寄居、長瀨、秩父、影森、終點三峯口
電壓 三、〇〇〇-一、〇〇〇V 電車線一、〇〇〇V
周波 五〇

柏壁町電氣部

埼玉縣南埼玉郡柏壁町四、五、五
資本 三、六〇〇圓
借入 三、六〇〇圓
收入 三、六〇〇圓
支出 三、六〇〇圓
利益 三、六〇〇圓
開業 大正四年一月
主任技術者 七里 德
電氣部長 菅川 政造 主任 鈴木 一郎

關東 渡良瀬水電 廣瀬川電力 粕川水電 南毛電燈 伊香保町管電氣部

電壓 最大三、二〇V 供給 100V-110V
周波 五
供給電燈數 七、三七個

庶務課長 橋本彌三郎 經理課長 關野 常治
電燈課長 菊地徳太郎 電氣課長 船津 雄
廣瀬川電力株式會社
東京市鶴町區九ノ内ノ三(九ビル)
電話九ノ内三三五九番

社長 五十嵐小太郎
常務 柳澤竹次郎 常盤 扇壽
取締役 藤塚西次郎 笠原彌惣治
監査役 菊池高太郎 武藤 忠義
主任技術者 益永 學
供給電燈數 二、五三三個

群馬

渡良瀬水電株式會社
東京市日本橋區通一ノ四
電話日本橋四、八五〇番

資本 1,000,000圓
借入 1,167,700圓
利益 九、九三〇圓
決算 五月、十一月
開業 昭和二年一月
合併及讓受 西毛電氣、福岡村管電、赤城電力
澤入水力電氣
發電 水力 周波 五
電壓 最大二、〇〇V 供給同上

資本 1,000,000圓
借入 1,000,000圓
收入 一、九、五八八圓
利益 四、三、四四〇圓
決算 三月、九月
開業 大正十一年六月
發電 水力
電壓 最大三、二〇V 供給 100V 周波 五

資本 100,000圓
借入 100,000圓
開業 昭和三年三月(南毛電氣合併)
社長 根本敬之助
取締役 山口 福寛 根本 敬一
監査役 荒井 喜文
主任技術者 根本 敬一
電壓 最大三、二〇V 供給 100-110V 周波 五
供給電燈數 一、八八個

資本 1,000,000圓
借入 1,167,700圓
利益 九、九三〇圓
決算 五月、十一月
開業 昭和二年一月
合併及讓受 西毛電氣、福岡村管電、赤城電力
澤入水力電氣
發電 水力 周波 五
電壓 最大二、〇〇V 供給同上

資本 1,000,000圓
借入 1,000,000圓
收入 一、九、五八八圓
利益 四、三、四四〇圓
決算 三月、九月
開業 大正十一年六月
發電 水力
電壓 最大三、二〇V 供給 100V 周波 五

資本 1,000,000圓
借入 1,167,700圓
利益 九、九三〇圓
決算 五月、十一月
開業 昭和二年一月
合併及讓受 西毛電氣、福岡村管電、赤城電力
澤入水力電氣
發電 水力 周波 五
電壓 最大二、〇〇V 供給同上

草輕電氣鐵道株式會社

本社 東京市京橋區銀座西三ノ一
電話京橋三九七八番
營業所 長野郡北佐久郡輕井澤町
電話三、三三三番

資本 1,000,000圓
借入 1,167,700圓
利益 九、九三〇圓
決算 五月、十一月
開業 昭和二年一月
合併及讓受 西毛電氣、福岡村管電、赤城電力
澤入水力電氣
發電 水力 周波 五
電壓 最大二、〇〇V 供給同上

上信電氣鐵道株式會社

本社 高崎市鶴見町五一
電話一五〇番

資本 1,000,000圓
借入 1,167,700圓
利益 九、九三〇圓
決算 五月、十一月
開業 昭和二年一月
合併及讓受 西毛電氣、福岡村管電、赤城電力
澤入水力電氣
發電 水力 周波 五
電壓 最大二、〇〇V 供給同上

上毛電氣鐵道株式會社

本社 群馬縣前橋市一毛町二二五
電話一五四七番

資本 1,000,000圓
借入 1,167,700圓
利益 九、九三〇圓
決算 五月、十一月
開業 昭和二年一月
合併及讓受 西毛電氣、福岡村管電、赤城電力
澤入水力電氣
發電 水力 周波 五
電壓 最大二、〇〇V 供給同上

伊香保ケーブル鐵道株式會社

本社 群馬縣伊香保町
電話九ノ内三三三番

資本 1,000,000圓
借入 1,167,700圓
利益 九、九三〇圓
決算 五月、十一月
開業 昭和二年一月
合併及讓受 西毛電氣、福岡村管電、赤城電力
澤入水力電氣
發電 水力 周波 五
電壓 最大二、〇〇V 供給同上

電燈、力、鐵

關東 草輕電氣鐵道 上信電氣鐵道 上毛電氣鐵道 伊香保ケーブル鐵道

關東 成成電氣軌道 成田鐵道

○決算 二月、八月
○開業 昭和四年九月
社長 石田友三郎
取締役 田邊 武次 鈴木 國彦 森田啓太郎
監査役 鈴木 實 迫本 實
主任技術者(電氣)加藤三三(鐵道)飯沼竹次郎
出張所長 鈴木 國彦 本社主任 荻村 清
電壓 最大三、四〇〇V
○周波 五〇
○軌道 群馬縣伊香保町一陸名山ヤセオネ峠
○資金 全線 片道六〇錢 往復一圓

千葉

京成電氣軌道株式會社

東京市本所區向島押上町二〇三
電話墨田六一〇一六一二
○資本 四〇,〇〇〇,〇〇〇圓
○社債 一〇,〇〇〇,〇〇〇圓
○積立 三,〇〇〇,〇〇〇圓
○支出 五,一七三,九九六圓
○配當 年九分
○開業 大正元年十一月
○合併 習志野乘合自動車株式會社
○電壓 (送電線)三、〇〇〇V (電車線)一、一〇〇V
○周波 五〇

小松川營業所 浦安一小岩、行徳一船橋、江戸川一小岩、本一色一上平井、西小松川一小松

總武鐵道株式會社

千葉縣東葛飾郡野田町野田一二八
電話野田三四四、三四五番
○資本 四〇,〇〇〇,〇〇〇圓
○借入 一、七〇〇,〇〇〇圓
○收入 八七〇,八九〇圓
○利益 一三、六九〇圓
○配當 年四分五厘

成田鐵道株式會社

千葉縣印旛郡成田町成田(八五ノ一)
電話成田二三三五番
○資本 三、〇〇〇,〇〇〇圓
○借入 三〇〇,〇〇〇圓
○積立 一、〇〇〇,〇〇〇圓
○收入 三〇〇,〇〇〇圓

關東 成成電氣軌道 成田鐵道

社長 後藤 國彦
常務 吉田 秀彌 津田 續
取締役 前田 米藏 高梨 博司 澤山 昇吉
監査役 板谷 宮吉 大和田佛二 井出彦市郎
支配人兼總務部長 北條 一郎
運輸部長 坂本梅三郎 事業部長 名村 博治
庶務部長 豐島 敏治
秘書課長兼人事課長 樋口 正幸
會計課長兼調度課長兼車庫課長 川崎 千春
電車課長 山中安五郎 自動車課長 正立英直
軌道課長 佐藤 石藏 工務課長 福田郁次郎
營業課長 曾根 國藏
電氣課長(主任技術者) 武部 義邦
電車軌道 上野公園一成田、押上、青砥、津田沼、千葉、高砂、金町
○自動車
奧戶營業所 雷門一金町、市川一廣小路、龜有、四ツ木、新小岩、千葉街道一上小岩、堀切一大師道、隅田二丁目一北玉ノ井、金町一水元猿町
花輪營業所 花輪一市川國府臺、市川新田一國分、市川八幡一大柏、船橋本郷一船橋古作
千葉營業所 千葉一花輪、千葉一東金、山武郡丹尾一八街、稻毛一省線稻毛驛
松戶營業所 松戶一金町、松戶一市川國府臺、松戶一白井、金町一八柱驛
習志野營業所 省線船橋驛一大久保、津田沼一木下驛、津田沼一大和田町

監査役 野村鏡太郎 安田貞四郎
主任技術者 中澤幸次郎
○電壓 三、〇〇〇V 一〇〇-一〇〇V
○周波 五〇
○供給電燈數 八、五五燈
○軌道 省線五井驛ヨリ鶴舞町經由上總中野至ル上總中野小湊間建設中

銚子鐵道株式會社

千葉縣銚子市新生二ノ二九七
電話三一六番
○資本 三三、〇〇〇圓
○借入 一三、八六〇圓
○收入 五、九八九圓
○利益 一、七三三圓
○配當 年六分

上總水電株式會社

千葉縣夷隅郡國府町國府臺一七〇
電話 刈谷 九番
○資本 三〇,〇〇〇圓
○借入 三〇,〇〇〇圓

木更津電燈株式會社

千葉縣君津郡木更津町木更津五一
電話 二二二番
○資本 三三、〇〇〇圓
○借入 三、六七〇圓
○收入 三、四四〇圓
○利益 三、四四〇圓
○配當 年九分

電燈、力、鐵

關東 小湊鐵道
○銚子鐵道
○上總水電
○木更津電燈

○支出 六六、七〇〇圓
○配當 年四分
○開業 明治四十三年十月
○合併 昭和十三年、成田自動車
社長 後藤 國彦 專務 河野 通
取締役 吉田 秀彌 百武 定一 津田 續
監査役 北條 一郎
電氣主任技術者 森山 正雄
鐵道主任技術者 山本政次郎
支配人 本庄 安全
會計課長 折田 俊彦 運輸課長 後藤 謙
自動車課長 宮本兼吉 庶務課長 小笹伊之助
電源最大電壓 三、〇〇〇V 電車線三〇〇V 周波五〇
○軌道 成田町一公津村
○鐵道 成田一八日市場
○汽車貨金 成田一八日市場 六錢
○電車貨金 全線一區一錢 一區五錢
○資金 一區五錢均一

小湊鐵道株式會社
千葉縣市原郡五井町五井
電話五井四番・二二番
○資本 二、三〇〇,〇〇〇圓
○借入 二、三〇〇,〇〇〇圓
○積立 三、七三〇圓

○資本 三三、〇〇〇圓
○借入 三、六七〇圓
○收入 三、四四〇圓
○利益 三、四四〇圓
○配當 年九分

千葉水電株式會社

本社 東京市麹町區丸ノ内ノ六(海上ビル)
電話 丸ノ内三八八四番
支店 千葉縣君津郡久留里町市場五七六
電話 久留里三九番
◇資本 100,000圓
◇收入 天、一毛圓
◇開業 大正十一年五月
◇發電 水力
◇電壓 最大、2,500V 供給、100-100V
◇電線 耳長、高壓、九三三料 低壓、二四一料
社長 兒玉 巖
取締役 山田久五郎 加納平四郎
監查役 櫻木 亮三 吉田忠四郎
主任技術者 田邊 芳治
供給電燈數 九、六三三個

栗山電燈株式會社

本社 千葉縣香取郡栗源町岩部
東京出張所 龜町區丸ノ内ノ帝國生命ビル内
電話 丸ノ内三八二二・四〇九八
◇資本 100,000圓
◇借入 111,000圓
◇收入 天、一毛圓
◇支出 天、一毛圓
◇開業 大正十一年五月
◇發電 水力
◇電壓 最大、2,500V 供給、100-100V
◇電線 耳長、高壓、九三三料 低壓、二四一料
社長 兒玉 巖
取締役 山田久五郎 加納平四郎
監查役 櫻木 亮三 吉田忠四郎
主任技術者 田邊 芳治
供給電燈數 九、六三三個

◇決算 五月、十一月
◇開業 大正十五年一月

社長 坂内 義雄
取締役 近藤 眞一 兒玉 正 安田 正男
監查役 齊藤 甚一 高松 文雄 新井彌一郎
主任技術者 香取 昌幸
◇電壓 最大、2,500V 供給、100V
◇周波 50
供給電燈數 九、二八個

山武電燈株式會社

本社 東京市麹町區丸ノ内ノ六(海上ビル)
電話 丸ノ内四〇六五番
支社 千葉縣山武郡蓮沼村
電話 蓮沼一七番
◇資本 50,000圓
◇開業 大正十二年四月
◇發電 水力
◇電壓 最大、2,500V 供給、100V
◇電線 耳長、高壓、九三三料 低壓、二四一料
社長 海保源之助
常務 加藤 丹藏
取締役 吉田 友吉
監查役 海保 孝利
主任技術者 高橋貞一郎
供給電燈數 八、五五五個

兩總電氣株式會社

千葉縣市原郡八幡町八幡九八六
電話 八幡九八六
◇資本 100,000圓
◇開業 大正十五年十二月

◇開業 大正三年二月
◇決算 六月、十二月

社長 櫻木 亮三
取締役 兒玉 巖 山田久五郎
監查役 加納平四郎 吉田忠四郎
主任技術者 矢澤 正義
◇電壓 最大、2,500V 供給、100-100V
◇周波 50
供給電燈數 二、九三三個

茨城

水濱電車株式會社

水戸市櫛町二三番地
電話 五二六・六三九
營業所 日立市宮田
◇資本 1,150,000圓
◇借入 1,013,000圓
◇收入 一七、六三圓
◇支出 一七、六三圓
◇開業 大正十一年十一月
◇發電 水力
◇電壓 最大、2,500V 供給、100-100V
◇電線 耳長、高壓、九三三料 低壓、二四一料
社長 竹内勇之助
(大正十五年十二月購受)

常務 竹内 幹三(營業所兼務)

取締役 木村 五郎 長谷川新兵衛 宮本 正木
玉河 久雄 丹 直吉 川崎 健
監查役 竹内 利介 住吉 四郎 北 謙治
主任技術者 益子 光次
工程師長兼電燈課長 益子 光次
電氣課長 飯野 茂司 庶務課長 粉川 哲三
電氣課長 海野 龍夫 自動車課長 古川誠一
電氣軌道 水戸市、上大野村、酒門村、稻荷村
下大野村、磯濱町
◇電壓 最大、2,500V 供給、100-100V
◇電線 耳長、高壓、九三三料 低壓、二四一料
◇電線 耳長、高壓、九三三料 低壓、二四一料
◇電線 耳長、高壓、九三三料 低壓、二四一料
◇電線 耳長、高壓、九三三料 低壓、二四一料

常北電氣鐵道株式會社

茨城縣久慈郡太田町二二二九
電話 一一二・二二五七
◇資本 1,000,000圓
◇開業 昭和三年十二月
社長 高島 秀吉
取締役 野澤 松壽 萬田 五朗 廣津 熊太
田中達次郎 西田 成三
監查役 伊藤 俊雄 門田 彦士
會計課長 清水 賤太 庶務課長 楊馨 長一
自動車課長 助川 博
電氣課長 櫻村 周作 用度係主任 齊藤萬藏
調查係主任 宮本 安 會計係主任 梅原克己

電燈、力、鐵

關東 常北電氣鐵道 筑波山鋼索鐵道 茨城電氣 稻敷電氣

調查係主任 後藤 達 庶務係主任 神田榮次

自動車運轉係主任 加倉井 庸
電氣技術者 堀田 秀雄
主任技術者 片平 龜吉
◇電壓 最大、2,500V 電線 2,000V
◇電線 耳長、高壓、九三三料 低壓、二四一料
◇電線 耳長、高壓、九三三料 低壓、二四一料
◇電線 耳長、高壓、九三三料 低壓、二四一料

筑波山鋼索鐵道株式會社

茨城縣筑波郡筑波町一
電話 三〇〇番
◇資本 2,000,000圓
◇借入 2,000,000圓
◇收入 2,000,000圓
◇支出 2,000,000圓
◇開業 大正十四年十月
◇電壓 最大、2,500V
◇周波 50
社長 谷口 新平
取締役 箕輪 盛夫 金澤倉之助 鈴木 達衛
監查役 來栖 光一 川崎 千春 小林 恒夫
主任技術者 長坂 富二
電氣主任技術者 室伏角次郎
軌道 筑波山宮脇ヨリ同山頂
◇電線 耳長、高壓、九三三料 低壓、二四一料
◇電線 耳長、高壓、九三三料 低壓、二四一料

茨城電氣株式會社

茨城縣新治郡石岡町石岡一六四四
◇資本 1,150,000圓
◇借入 10,000圓
◇開業 大正十五年十二月

◇收入 三九、九六圓
◇支出 三、四八圓
◇利益 三六、四八圓
◇開業 昭和六年十二月

稻敷電氣株式會社

茨城縣眞壁町二三〇ノ一
電話 眞壁二三〇
◇資本 5,000,000圓
◇借入 3,000,000圓
◇收入 三、七三圓
◇支出 三、七三圓
◇開業 昭和二年六月
社長 增淵喜一郎 橫山 治作
取締役 增淵喜一郎 橫山 治作
監查役 青木 多門
主任技術者 平野 米吉
◇電壓 最大、2,500V
◇電線 耳長、高壓、九三三料 低壓、二四一料
◇電線 耳長、高壓、九三三料 低壓、二四一料

關東

栃木

日光登山鐵道株式會社

本社 東京市本所區小梅一ノ二
電話三〇一〇一三三四
事務所 栃木縣上都賀郡日光町
電話三〇一〇一三三四

資本 600,000圓
支拂手形 700,000圓
收入 800,000圓
利益 100,000圓

下野電氣鐵道株式會社
本社 東京市本所區小梅町一ノ二
電話三〇一〇一三三四

支出 八、二天圓
開業 昭和七年一月
發電 水力
電壓 11,000V 供給 100V

設立 大正七年四月
發電 水力
細尾發電所 栃木縣上都賀郡日光町

富士山麓電氣鐵道株式會社
本社 東京市本所區小梅一ノ二(九ビル)
電話九ノ内三六七六・三九二五

固定資産 八、五九七圓
收入 8,000圓
支出 8,000圓

古河電氣工業株式會社日光電氣製鋼所
本社 栃木縣上都賀郡日光町宇清瀨
電話九ノ内二ノ八

富士山麓電氣鐵道株式會社
本社 東京市本所區小梅一ノ二(九ビル)
電話九ノ内三六七六・三九二五

古河鑛業株式會社足尾銅山
本社 栃木縣上都賀郡足尾町
電話九ノ内二ノ八

足尾町營電氣部
本社 栃木縣上都賀郡足尾町
電話九ノ内二ノ八

關東
足尾町營電氣部
古河鑛業足尾銅山
古河電氣工業日光電氣製鋼所
富士山麓電氣鐵道

關東

◇バス 大月、上吉田間
◇營業所 (吉田) 山梨縣南都留郡富士吉田 (富士) 靜岡縣富士郡吉原町

峽西電力株式會社

山梨縣中巨摩郡小笠原町 電話小笠原一五番
出張所 北巨摩郡韭崎町、同若神子村
◇資本 1,000,000圓
◇積立 775,000圓
◇借入 225,000圓
◇開業 五月、十一月
明治四十二年七月
(昭和十三年一月青安電燈譲受)
◇發電 水力、内燃力
特別高壓 22,000V 供給 200-1000V
普通高壓 2,200V
常務 齋藤 仙助
取締役 矢崎淑太郎 野中 豊七 市川 治平
監査役 笹本源次右衛門 手塚 半 市川文藏
主任技術者 依田 良一
供給電燈數 五、七五個

宮川電燈株式會社

山梨縣南都留郡下吉田町下吉田三〇六 電話 四三三番
◇資本 200,000圓
◇積立 37,700圓
◇支出 15,120圓
◇利益 25,580圓
◇收入 32,660圓
◇支出 6,500圓

關西電力

◇配當 年一割一分
◇開業 大正二年四月
◇合併 西濃電燈局(昭和十二年十二月) 山中電燈(昭和十五年十一月)

駒電力株式會社

山梨縣北巨摩郡青原村峯ヶ原 電話峯ヶ原十一番
◇資本 200,000圓
◇積立 64,100圓
◇支出 7,500圓
◇配當 年八分
◇開業 大正十年四月
◇發電 水力
電壓 最大 2,200V 供給 100-200V
◇周波 50
社長 堀内 啓治
常務 白須規矩治
取締役 桑原 肇 渡邊 完治 横田 司朗
監査役 權守康太郎 山口佐重郎
主任技術者 山本 秋吉
供給電燈數 四、六七個

道志電力株式會社

山梨縣南都留郡道志村 電話道志六番
◇資本 100,000圓
◇借入 7,000圓
◇開業 三月、九月
大正十五年十一月
(舊稱道志村電氣利用組合)
◇發電 水力
電壓 最大 2,200V 供給 100V
◇周波 50
社長 杉本新一郎
常務 水越 治作
取締役 佐藤庄左衛門 佐藤半三郎 佐藤與茂作
池谷 源一 佐藤 時松

桂電燈株式會社

山梨縣南都留郡東桂村夏野一三八九 電話谷村一二八番
◇資本 100,000圓
◇開業 五月、十一月
大正四年八月
◇配當 年八分
◇發電 水力
電壓 最大 2,200V 供給 100-1000-2,000V
◇周波 50
社長 三枝 操
取締役 安田 厚 牛田 四郎 渡邊信太郎
伊藤 茂十 相川 源 中西友三郎
監査役 武井 永一 菊池實二郎
主任技術者 牛田 信雄
供給電燈數 七、七九個

日本電化工業株式會社

東京市麹町區丸の内三丁目二 電話丸の内二〇二九・四七六〇
◇資本 2,250,000圓
◇開業 五月、十一月
大正十五年十二月
◇買收 駿川水力電氣株式會社(昭和十四年) 笛吹水力電氣株式會社(昭和十六年二月)
◇合併 笛吹水力電氣株式會社(昭和十六年二月)
◇發電 水力
電壓 最大 3,000V
◇周波 50
社長 櫻橋寅五郎
主任技術者 河合 修次

鷲宿水力電氣株式會社

山梨縣東八代郡鷲宿村
◇資本 20,000圓
◇開業 六月、十二月
大正十三年一月
◇發電 水力
電壓 最大 2,200V 供給 100V
◇周波 50
社長 伊藤 忠義
取締役 遠藤彌太郎 宮川 正吉 大勝 義都
宮川 恒策 柿島 萬吉
監査役 宮川 喜甫 宮川熊之助 宮川市三郎
河野 久八 佐藤 資輔
主任技術者 石原 文平
供給電燈數 五、三〇個

高尾水力電氣株式會社

山梨縣中巨摩郡小笠原二八九
◇資本 100,000圓
◇開業 昭和二年七月
◇發電 水力
電壓 最大 2,200V
◇周波 50
社長 野中 豊七
取締役 野中 善一 矢崎茂三郎
監査役 小野惣兵衛 矢崎 秀夫

谷村町電氣部

山梨縣南都留郡谷村町 電話一六七番
◇固定資産 150,000圓
◇收入 79,860圓
◇支出 48,350圓
◇開業 大正十二年十二月
◇發電 水力
電壓 最大 2,200V 供給 100V
◇周波 50
管理者町長 小林 治郎
主任技術者 土屋 要吉
庶務課長 平井 吉郎
供給電燈數 10,121個

穗坂村電氣部

山梨縣北巨摩郡穗坂村 電話基崎一四〇番
◇資本 20,000圓
◇收入 17,830圓
◇支出 17,830圓
◇開業 大正十四年十月
◇發電 水力
電壓 最大 2,200V 供給 100-100V
◇周波 50
村長 三枝 善衛 助 役 平賀 恒記
收入役 向山 朝康
主任技術者 岩田 貞治
供給電燈數 一、七二個

静岡

静岡電氣鐵道株式會社

靜岡市廣匠町一丁目七一 電話五五〇・六五〇・九七五
◇資本 2,250,000圓
◇借入 2,100,000圓
◇收入 1,336,800圓
◇支出 1,331,200圓(内償却1,000,000圓)

電燈、力、鐵

關東

◇鷲宿水力電氣
◇穗坂村電氣部
◇高尾水力電氣
◇日本電化工業
◇谷村町電氣部
◇静岡電氣鐵道

關東 ◆駿豆鐵道 ◆遠州電氣鐵道 ◆伊豆合同電氣

◆決算 五月、十一月
 ◆開業 大正八年五月
 ◆電壓 10kV-110V 送電 11,000V 電車 600V
 ◆周波 50
 會長 織田 信恒
 社長 五島 慶太
 專務 三上 宣綱
 取締役 齋原三千郎 丹羽 武朝 鈴木 幸七
 監査役 磯野 新藏 戸塚 昌安 足立純一郎
 三宮 四郎 中村 嘉十 加藤 潤
 阪本 敏 鈴木 興平
 主任技術者 三宅 高次
 總務課長 伊藤 進 經理課長 黒川 三郎
 運輸課長 岡田 傳治郎 電氣課長 三宅 高次
 工務課長 井上 天次
 電氣係長 中島 武雄 車輛係長 井上 惣一
 電燈係長 杉山 信次
 ◆電車軌道
 清水線 靜岡-清水間(靜岡市-清水市)
 港橋線 清水相生町-港橋間(清水市内)
 興津線 清水相生-横砂間(清水市-袖師村)
 秋葉線 袋井町-森町
 ◆資金 清水線(港橋線ヲ含ム) 3,000,000
 興津線 秋葉線 3,000,000(各全線片道)
 ◆營業所(秋葉軌道部) 周智郡森町

◆借入 3,500,000圓 ◆積立 3,000,000圓
 ◆利益 100,000圓 ◆配當 年普六分
 ◆決算 五月、十一月
 ◆開業 大正六年十一月
 ◆合併 (昭和十三年三月箱根遊船株式會社、昭和十六年八月大雄山鐵道株式會社)
 社長 永井 外吉
 常務 大場 金太郎 藤原 國雄
 取締役 中島 勝 小島 正治郎 山名 義高
 監査役 仁田 大八郎 小高 義一
 庶務課長 木内 眞雄 會計課長 鳥羽 山康一
 技術課長 大和 潤千浪
 ◆電壓 最大 3,000V 電車線 600V
 ◆鐵道 東海道三島驛-三島廣小路-三島町-三島二日町-大場-伊豆仁田-原木-蕪山-伊豆長岡-田原-大仁-牧之郷-修善寺(軌道電車)三島町-沼津
 ◆資金 三島-修善寺間 5,000,000
 三島町-沼津間 1,500,000
 ◆營業 乘合自動車熱海、箱根、其他
 ◆支店 神奈川縣足柄下郡元箱根村
 遠州電氣鐵道株式會社
 濱松市旭町七〇
 電話一五一・二五七四

◆開業 大正八年八月大正(十二年四月電化)
 社長 鈴木 信一
 專務 青葉延太郎 常務 鈴木 俊雄
 取締役 井上 剛一 高橋誠太郎 土屋 佐平
 監査役 鈴木 浩平 瀧口 彦四郎 大澄 善一郎
 運輸課長 土屋 佐平 庶務係長 小塚 秀雄
 經理係長 大澄源一郎 旅客係長 心傳竹内修平
 貨物係長 藤田 敏太郎 用品係長 加藤 清
 自動車係長 鈴木 謙吉 工務課長 大林 小太郎
 電氣係長 和田 實
 主任技術者 西尾 虎雄(電氣) 大林 小太郎(鐵道)
 ◆電壓 最大 3,000V 電車線 600V ◆周波 50
 ◆鐵道 濱松市-磐田郡二俣町
 外二乘合自動車及遊園地營業
 ◆資金 一軒二錢二厘(全軒通算トス)

伊豆合同電氣株式會社
 靜岡縣田方郡伊東町松原八六一
 電話五・五〇五・四一〇
 ◆借入 4,000,000圓 ◆積立 3,000,000圓
 ◆利益 100,000圓 ◆配當 年普六分
 ◆決算 五月、十一月
 ◆開業 昭和十六年五月(河津水力、狩野川電力、伊豆水力電氣、伊東水力電氣、四社合併設立)
 ◆電壓 最大 3,000V 供給 100-110V
 ◆周波 50
 社長 水町 隆一 副社長 齋藤市三郎
 常務 深川 正七 中村長五郎
 取締役 石川 哲 依田四郎 澤村久右衛門 近藤重三郎

駿豆鐵道株式會社

◆資本 2,000,000圓
 ◆借入 2,000,000圓
 ◆利益 100,000圓
 ◆決算 三月、九月

遠州電氣鐵道株式會社

◆資本 2,000,000圓
 ◆借入 1,000,000圓
 ◆積立 1,000,000圓
 ◆收入 2,000,000圓
 ◆支出 1,000,000圓
 ◆配當 年八分

伊豆合同電氣株式會社

◆資本 4,000,000圓
 ◆借入 3,000,000圓
 ◆利益 100,000圓
 ◆配當 年普六分
 ◆決算 五月、十一月
 ◆開業 昭和十六年五月(河津水力、狩野川電力、伊豆水力電氣、伊東水力電氣、四社合併設立)
 ◆電壓 最大 3,000V 供給 100-110V
 ◆周波 50

井川電燈株式會社

◆資本 500,000圓
 ◆開業 大正十四年六月
 ◆決算 十一月
 ◆電壓 水力
 社長 白鳥 正男
 取締役 藤川 卓郎 鳥居鶴太郎 森竹榮太郎
 入谷 雄一
 監査役 長島 信作 大村善之進
 主任技術者代務者 長島 勝善
 供給電燈數 2,180個

二岡電燈株式會社

◆資本 300,000圓
 ◆開業 大正八年五月
 ◆電壓 最大 3,000V 供給 100V
 ◆周波 50
 ◆供給電燈數 2,180個

大居町電氣部

◆資本 500,000圓
 ◆收入 1,000,000圓
 ◆利益 100,000圓
 ◆決算 三月
 ◆開業 大正十五年四月(大正十四年十二月秋葉水力電氣會社開業大正十二年四月大居村電氣多村電氣事業組合ニ於テ買収、大正十五年四月分離シ單獨經營)
 町長 渡邊 義夫
 助役 小磯 又一 收入役 渡邊 善一
 主任技術者 泉澤 和助
 ◆電壓 最大 3,000V 供給 100-110V ◆周波 50
 ◆供給電燈數 2,180個

川根電力索道株式會社

◆資本 100,000圓
 ◆借入 100,000圓
 ◆積立 100,000圓

大河内電燈株式會社

◆資本 100,000圓
 ◆借入 100,000圓
 ◆積立 100,000圓

氣多村電氣部

◆資本 500,000圓
 ◆積立 100,000圓

電燈、力、鐵

關東 ◆井川電燈 ◆川根電力索道 ◆二岡電燈 ◆大河内電燈
 ◆大居町電氣部 ◆氣多村電氣部

關東

◇收入 一五、八八圓 ◇支出 五、四六圓
 ◇利益 九、〇二圓
 ◇決算 三月
 ◇開業 大正十五年四月(大正五年二月秋葉水力開業十二年四月大居村氣多村電氣事業組合ニテ譲受、十五年四月同組合ヲ分離シ單獨經營)
 村長 岩本俊三太郎
 助役 玉田吉太郎 渡邊 文作
 收入役 酒井 義信
 主任技術者 泉澤 和助
 電壓 最大 二、三〇〇V 供給 一〇〇—一〇〇V ◇周波六〇
 供給電燈數 一、八二三個
 梅ヶ島電業所 靜岡縣安倍郡梅ヶ島村

◇日本輕金屬 ◇東海紙料
 ◇資本 三、三〇〇圓 ◇借入 三、〇〇〇圓
 ◇開業 大正十三年七月 ◇決算 三月
 ◇發電 水力 ◇周波五〇
 ◇電壓 最大 二、三〇〇V 供給 一〇〇V
 所長 秋山 義則 主任技術者 太田 春吉
 供給電燈數 六六個
 日本輕金屬株式會社 東京市芝區田村町一ノ一
 電話銀座八、一七一(9)
 ◇資本 一〇〇,〇〇〇圓 ◇拂込 一〇〇,〇〇〇圓
 ◇設立 昭和十四年三月 ◇決算 三月、九月
 (電氣化學工業ニ之ヲ参照)

◇合併 富士川電力(昭和十四年)
 社長 中川 末吉
 電力 特定供給
 東海紙料株式會社 靜岡縣志太郡島田町
 電話島田二三番
 ◇資本 四、〇〇〇圓 ◇拂込 三、〇〇〇圓
 ◇發電開始 明治四十三年
 ◇發電 水力
 ◇電壓 最大 四、〇〇〇V ◇周波六〇
 會長 大倉喜七郎
 專務 荒井 彦宗
 主任技術者 小久保秀治

中部地帶

愛知

中部配電株式會社

本社 名古屋市中區南大津通二ノ五
 電話代表中一一二五番
 ◇資本 一〇〇,〇〇〇圓 ◇拂込 一〇〇,〇〇〇圓
 ◇開業 昭和十七年四月 ◇決算 三月、九月
 ◇合併會社
 (指定會社) 信州電氣株式會社、中部合同電氣株式會社
 (出資事業者) 靜岡市、伊那電氣鐵道株式會社、榎葉川電氣工業株式會社、日本電力株式會社、東邦電力株式會社、中央電力株式會社、中央電氣株式會社、長野電氣株式會社、矢作水力株式會社
 配電區域 愛知縣、三重縣、岐阜縣、長野縣、靜岡縣ノ一部
 社長 海東 要造
 副社長 鈴木 鹿象
 理事 松本庸之助 大岩復一郎 小山 柳一
 鈴木 春 井上 五郎 大坪 賢郎
 中川銀三郎 岡部 誠治 横山 通夫
 花岡 俊夫 加納平四郎

電燈、力、鐵 中部 ◇中部配電

參與理事 渡邊 元得 櫻木亮三 武居由太郎
 常任監事 安武專助 六角宇太郎 久留島政治
 宮川 武雄
 秘書課長 阿部 大六

總務部
 總務部長(理事)松本庸之助 次長 村瀨 包治
 庶務課長 河本義呂久 株式課長 村瀨 包治
 人事課長 飯泉甚兵衛 厚生課長 佐藤 末藏

經理部
 經理部長(理事)鈴木 春 次長 稻津 豐
 會計課長 松田 治彦 財務課長 寺田 義勝
 調度課長 三越 正直

業務部
 業務部長(理事)大岩復一郎 次長 山本 一男
 營業課長 山本 一男 配電課長 中村 宏
 調整課長 毛利 勲三

工務部
 工務部長(理事)井上 五郎 部付 藤田徳三郎
 工務課長 川崎 勝章 電氣課長 村山 益敏
 給電課長 淺野 良夫 建設課長 三田 民雄
 土木課長 益田 良彦 未定

企畫部
 企畫部長(理事)小山 柳一 次長 清水金次郎
 考查課長 未定 臨時統合課長 未定

支店
 名古屋支店 名古屋市中區西松枝町
 支店長(理事)大坪 賢郎 電話中二一八一番
 副支店長 本多 次郎 營業課長 野々山 繁

經理課長 岩崎 鐵男 倉庫課長 伊藤 英夫
 電氣課長 東 俊雄 配電課長 館川兵一郎
 中部營業所 名古屋市中區廣小路通
 所長 菅井 武亮

東部營業所 名古屋市東區前ノ町
 所長 岩永小次郎
 西部營業所 名古屋市西區奉公人町
 所長 岩井 正雄

南部營業所 名古屋市熱田區新宮坂町
 所長 山田 三郎
 半田營業所 半田市宇南濱
 所長 國島 達

一宮營業所 一宮市新柳通
 所長 高木 彦七
 岡崎營業所 岡崎市龍田町
 所長 加藤乙三郎
 豐橋營業所 豐橋市松葉町
 所長 伊藤多喜次

岐阜支店 岐阜市今川町二ノ二二
 電話代表二七二一
 支店長(理事)岡部 誠治 次長 築山 茂俊
 總務課長 築山 茂俊 營業課長 小林 茂樹
 經理課長 大原 義明 倉庫課長 小杉 孝一
 電氣課長 高見 祥平 配電課長 前田 一雄
 大垣營業所 大垣市南高橋町
 所長 吉武 康彦

關營業所 岐阜縣武儀郡關町
 所長 水谷 鈴文
 多治見營業所 多治見市長瀬
 所長 高柳 與重

中部 名古屋市電氣局

津支店 津市古河二三七ノ一 電話代表四七四番

支店長(理事)横山 通夫
總務課長 小林 初雄
經理課長 古屋熊三郎
電氣課長 太田 淺藏

支店長(理事)花岡 俊夫
總務課長 楠 慶治
經理課長 清水 清雄
電氣課長 川原 富治

名古屋電氣局

東京出張所 東京市麹町區丸ノ内ノ六海上ビル
所長 二日市安次

名古屋西區南外堀町六ノ一
電話東(代表)八二一〇番

事業市債元、三三、三三〇圓
收入 一、五八、七五〇圓
支出 一、五、一〇、九二〇圓

高辻 昭和區東郊通 所長 石田喜平
(老松) 中區老松町 所長 柴田鏡吉
(澤上) 熱田區熱田東町澤上 所長 淺野常藏

名古屋鐵道株式會社
名古屋市熱田區三本松三ノ一
電話瑞穂(代表)三一八一

三信鐵道株式會社

東京市麹町區丸ノ内ノ六海上ビル
電話丸ノ内二〇三九番
出張所 靜岡縣靜岡郡佐久間村

電燈、力、鐵

中部 三信鐵道 豐橋電氣軌道 豐川鐵道

豐橋電氣軌道株式會社

豐橋市東田町北臨濟寺三三
電話三五二六・三七二八

豐川鐵道

豐川鐵道

豐川鐵道株式會社

豐橋市花田町字石塚九〇
電話二二八三八

風來寺鐵道株式會社

豐橋市花田町字石塚九〇
電話二八三八番

- ◇ 資本 1,500,000圓
 - ◇ 支拂手形 1,500,000圓
 - ◇ 借入 1,500,000圓
 - ◇ 収入 1,500,000圓
 - ◇ 支出 1,500,000圓
 - ◇ 配當 年三分
 - ◇ 開業 大正十二年二月
 - ◇ 電壓 最大 2,000V 電車線 2,000V
 - ◇ 周波 60
- 社長 藍川 清成
取締役 德倉 光治 長谷川泰助 小島 傳作
千田 憲三 柴田 英雄 橋本伊三郎
監査役 山内 重之 白谷 重義 塚原 恒助
電氣主任技術者 佐々木勇太郎
軌道 南設樂郡東郷村ヨリ北設樂郡三輪村間
貨金 一料當二錢四厘九毛

田口鐵道株式會社

豐橋市花田町字石塚九〇
電話四五七番

- ◇ 資本 1,000,000圓
 - ◇ 借入 1,000,000圓
 - ◇ 収入 1,000,000圓
 - ◇ 支出 1,000,000圓
 - ◇ 開業 昭和四年五月
 - ◇ 電壓 最大 2,000V 電車線 1,500V (直流)
 - ◇ 周波 60
- 取締役 澤田文治郎 中川三右衛門 井深 重義
監査役 山田 永俊 井深 勇治
主任技術者 棚橋 三郎 新谷 達郎
軌道 黒野驛—谷汲驛間

碧海電氣鐵道株式會社

名古屋市熱田區三本松町三ノ一
電話瑞穂(代表)三一八一番

- ◇ 資本 1,000,000圓
 - ◇ 借入 1,000,000圓
 - ◇ 損失 1,000,000圓
 - ◇ 配當 年三分
 - ◇ 開業 大正十五年七月
 - ◇ 電壓 最大 2,000V 電車線 2,000V
 - ◇ 周波 60
- 社長 藍川 清成
取締役 岡田菊次郎 神谷三五郎 橋原 開松
田代 榮重 桑田 吉藏 大田 重光
監査役 今井清之助 須田 博
電氣主任技術者 山田 鈞秀
櫻井電氣所主任 辻 信義
庶務課長 竹田 直 電氣課長 藤田 研一
運輸課長 伊藤 兼次 土木課長 新谷 達郎
電車軌道 今村、安城、櫻井、幡豆郡西尾町

谷汲鐵道株式會社

本社 名古屋市熱田區三本松町三丁目一
電話瑞穂三一八一番
營業所 岐阜縣揖斐郡大野町黒野五六〇

- ◇ 資本 800,000圓
 - ◇ 借入 800,000圓
 - ◇ 収入 800,000圓
 - ◇ 支出 800,000圓
 - ◇ 開業 大正十五年四月
 - ◇ 電壓 200V (電車線)
 - ◇ 周波 60
- 社長 藍川 清成
常務 千田 憲三

知多鐵道株式會社

名古屋市熱田區三本松町三丁目一
電話瑞穂(代表)三一八一番

- ◇ 資本 3,000,000圓
 - ◇ 借入 3,000,000圓
 - ◇ 収入 3,000,000圓
 - ◇ 支出 3,000,000圓
 - ◇ 配當 年三分
 - ◇ 開業 昭和六年四月
 - ◇ 電壓 最大 2,000V 直流 2,000V
 - ◇ 周波 60
- 社長 藍川 清成
取締役 橋原 伊助 小栗三郎 中盤半左衛門
中盤 半六 下出 義雄 立花 毅
伊藤 兼次
監査役 中村 梅吉
電氣主任技術者 橋田謙一郎
庶務係 高木 吾平
會計係 村瀬 辰三 土木係 近藤 三郎
鐵道 知多郡須賀町太田川—同郡河和町河和間

田口鐵道

- ◇ 資本 1,000,000圓
 - ◇ 借入 1,000,000圓
 - ◇ 損失 1,000,000圓
 - ◇ 配當 年三分
 - ◇ 開業 昭和六年四月
 - ◇ 電壓 最大 2,000V 電車線 2,000V
 - ◇ 周波 60
- 社長 藍川 清成
專務 山口 謙
取締役 原田 眞一 今泉 米作 平松 雅夫
九山喜兵衛 千田 憲三
監査役 伊藤 嘉市 氏原久米衛 小島 傳作
主任技術者 彦坂 政野
軌道 自南設樂郡長橋村員津至北設樂郡田口町田口

志摩電氣鐵道株式會社

三重縣志摩郡鳥羽町大字鳥羽三五三
電話一二六番一六二番

- ◇ 資本 1,000,000圓
 - ◇ 借入 1,000,000圓
 - ◇ 収入 1,000,000圓
 - ◇ 支出 1,000,000圓
 - ◇ 開業 昭和四年七月
 - ◇ 電壓 最大 600V
 - ◇ 周波 60
- 社長 井内彦四郎 專務 筒居 信郎
取締役 前田 穰 石原 圓吉 橋本 久一
監査役 藤井 正 越山均之助 村田仙右衛門
支配人 澤田 守
主任技術者 森川 馮三
總務課長 藤羽 資光
電車軌道 鳥羽中ノ郷、船津、加茂、松尾、白木、五知、香掛、志摩橋部、迫間、穴川、鴨方口、鴨方、志摩明神、賢島、眞珠港間
貨金 鳥羽—賢島間 七錢

松阪電氣鐵道株式會社

三重縣松阪市大字日野町三丁目三三ノ四
電話二四〇番

- ◇ 資本 300,000圓
 - ◇ 借入 300,000圓
 - ◇ 収入 300,000圓
 - ◇ 支出 300,000圓
 - ◇ 配當 年(優先)六分(普通)四分
 - ◇ 開業 昭和六年二月
 - ◇ 電壓 最大 2,000V
 - ◇ 周波 60
- 社長 藤井 正 前田 四朗
取締役 前田 穰 種田 虎雄 井内彦四郎
木村 教俊
監査役 藤井 正 前田 四朗
總務部長 谷田 憲 經理部長 大坪 時次
電車部長 田中 義雄 自動車部長 田中有道
軌道課 外宮、内宮—二見浦間
鐵道課 朝熊岳線

神都交通株式會社

宇治山田市岩淵町字裏面四一三

- ◇ 資本 1,000,000圓
 - ◇ 借入 1,000,000圓
 - ◇ 損失 1,000,000圓
 - ◇ 配當 年(優先)六分(普通)四分
 - ◇ 開業 昭和二年二月(電化)
 - ◇ 電壓 最大 2,000V 電車線 2,000V
 - ◇ 周波 60
- 社長 安保 庸三 專務 安保 正敏
取締役 竹内 文平 本田彌市郎 鈴木藤兵衛
小林伊兵衛 船谷 重郎 三輪常次郎
監査役 西川市太郎 宮下孫三郎 高石 良吉
支配人 船谷 重郎
主任技術者 柚原 弘 工務課長 保田 逸二
總務課長 後藤 芳英 鐵道課長 前川 武
自動車課長 湯朝龍圓
鐵道 松阪ヨリ大石村小片野間
バス 松阪市—波瀬村 大河内村比原—阪内
柿野町—上仁柿 松阪—大淀

三重鐵道株式會社

四日市市濱田三七五三
電話四四九番

- ◇ 資本 2,000,000圓
 - ◇ 借入 2,000,000圓
 - ◇ 収入 2,000,000圓
 - ◇ 支出 2,000,000圓
 - ◇ 開業 大正十年十一月
 - ◇ 電壓 最大 2,000V 電車線 2,000V
 - ◇ 周波 60
- 社長 小池 一
常務 高田 民郎
取締役 越山均之助 三好 萬次 大戸 武之
監査役 吉田伊兵衛 藤井 正
主任技術者 小林新右衛門
軌道 四日市濱田—三重縣菟野町

電燈、力、鐵

中部 ◇ 三重鐵道

◇ 志摩電氣鐵道 ◇ 松阪電氣鐵道 ◇ 神都交通

中部 北勢電氣鐵道 桑名電軌 北惠那電鐵道 東美鐵道 竹鼻鐵道

北勢電氣鐵道株式會社

資本 500,000圓
社債 1,000,000圓
收入 1,200,000圓
支出 1,100,000圓
利益 100,000圓
配當 年八分

開業 昭和六年七月
電壓 10,000V 直流 60V
周波 50

社長 松本 長藏
取締役 稻垣 專八 伊藤幸次郎 和波 久衛
支那人 佐藤 三郎 松平 家晃

監査役 市川理一郎 岡村清兵衛 藤田平太郎
主任技術者 木村 重郎 平野 榮一
庶務係長 葛山定太郎 運轉係長 廣瀬 義一
自動車部主任 矢野義一 會計主任 種村基之助
軌道 三重縣桑名市桑名ヨリ員辨郡阿下喜町

桑名電軌株式會社

資本 1,000,000圓
電壓 最大 3,000V 電車線 600V
周波 50

社長 水谷吉兵衛
常務 伊藤 清六 加藤菊治郎
取締役 山本重治郎 桑原 新七 平野 榮一

三〇

竹鼻鐵道株式會社

總務課長 水谷 金三 運輸課長 河本 重司
工務課長 加藤 五郎
資金 電車全線七錢 一軒當リ三錢七厘三毛
鐵道 惠那郡中津町一付知間

資本 1,000,000圓
社債 200,000圓
收入 1,200,000圓
支出 1,100,000圓
利益 100,000圓
配當 四分

開業 大正十年六月
電壓 600V 周波 50

社長 青木知四郎
取締役 大野德三郎 須田 博 大津 二郎
水谷藤太郎 小見山陽三

監査役 大野 泰藏 高橋 宇吉 窪田 正
支那人 老田 清六
電氣主任技術者 佐野 作一
土木主任技術者 新谷 遠郎

東美鐵道株式會社

資本 2,000,000圓
電壓 最大 3,000V 電車線 600V
周波 50

社長 水谷吉兵衛
常務 伊藤 清六 加藤菊治郎
取締役 山本重治郎 桑原 新七 平野 榮一

岐 阜

北惠那鐵道株式會社

資本 1,000,000圓
電壓 最大 3,000V 電車線 600V
周波 50

社長 村瀬 末一
取締役 小林 宇市 清水 元壽 市岡 年雄
監査役 曾我藤太郎 武部 弘成
支那人 矢田 治

電氣主任技術者 村島 侃一
土木主任技術者 井草 寅藏

中部 北勢電氣鐵道 桑名電軌 北惠那電鐵道 東美鐵道 竹鼻鐵道

北勢電氣鐵道株式會社

資本 500,000圓
社債 1,000,000圓
收入 1,200,000圓
支出 1,100,000圓
利益 100,000圓
配當 年八分

開業 昭和六年七月
電壓 10,000V 直流 60V
周波 50

社長 松本 長藏
取締役 稻垣 專八 伊藤幸次郎 和波 久衛
支那人 佐藤 三郎 松平 家晃

監査役 市川理一郎 岡村清兵衛 藤田平太郎
主任技術者 木村 重郎 平野 榮一
庶務係長 葛山定太郎 運轉係長 廣瀬 義一
自動車部主任 矢野義一 會計主任 種村基之助
軌道 三重縣桑名市桑名ヨリ員辨郡阿下喜町

桑名電軌株式會社

資本 1,000,000圓
電壓 最大 3,000V 電車線 600V
周波 50

社長 水谷吉兵衛
常務 伊藤 清六 加藤菊治郎
取締役 山本重治郎 桑原 新七 平野 榮一

中部 神岡水電

資本 1,000,000圓
開業 大正十五年九月
社長 鈴木朝太郎
取締役 兼松 照 野呂 駿三 須田 博
土川 元夫 石川榮次郎 加藤 保一
監査役 野呂 靜 坂本 豐吉 神野金之助
相談役 藍川 清成
主任技術者 澤田 澤二

電壓 600V 周波 50
軌道 廣見 御嵩 伏見口一八百津
資金 區間制

神岡水電株式會社

本社 東京市日本橋區茅場町二ノ八
出張所 岐阜縣吉城郡船津町
電話 船津二〇番

資本 10,000,000圓
開業 三月、九月
電壓 最大 6,600V
周波 50

會長 林 新作
常務 關口 秀一
取締役 原田 信作 工藤 正平 石川榮次郎
武部 弘成 高田 利雄
監査役 辻 備一郎 加藤 賢 内ヶ崎實五郎
相談役 池尾 芳藏
主任技術者 横田慶藏 本社主事 高田 利雄

電燈、力、鐵

中部 神岡水電
飛驒電燈
上ノ保川水力電氣
角川電氣

上ノ保川水力電氣株式會社

資本 2,000,000圓
開業 大正八年三月
電壓 最大 3,000V 周波 50

社長 鷺見石之助
取締役 鷺見 作彌 石原光次郎 山下勇次郎
高橋千之助 青井平次郎
監査役 坪井 太平 林 昌藏 蜂谷 精治
高畑 見造 立石 善兒

主任技術者 美谷隆興 平治
供給電燈數 四、六〇〇個

角川電氣株式會社

資本 2,000,000圓
開業 大正十年四月
電壓 最大 3,000V 供給 100V
周波 50

社長 奧村 義雄 專務 吉實 元吉
取締役 萬葉 友吉 井平久太郎 下堂前由郎
下堂前實之助 吉實長吉 志田喜與次
監査役 岩佐 周藤 藤下 保 野村 榮造
政井治郎吉
供給電燈數 一、七五〇個

吉田川水力電氣株式會社

資本 100,000圓
利益 3,560圓
開業 大正十一年十一月
電力 最大 3,000V 供給 100-110V

茂住電燈株式會社

資本 100,000圓
利益 10,000圓
開業 六月、十二月
電力 最大 1,000V 供給 100V

細井村小鷹利村電氣事業組合

資本 1,200圓
收入 3,190圓
開業 大正十年一月
電力 最大 3,000V 供給 100-110V

阿會布村袖川村電氣事業組合

資本 3,000圓
收入 1,700圓
開業 昭和八年七月
電力 最大 3,000V 供給 100V

船津町電氣部

資本 1,200圓
收入 1,700圓
開業 大正二年四月

船津町電氣部

資本 1,500圓
收入 4,400圓
開業 大正十年一月

駄知町電氣部

資本 1,200圓
收入 7,600圓
開業 大正二年五月
電力 最大 3,000V 供給 100-110V

加治田村電氣部

資本 1,000圓
收入 1,900圓
開業 大正九年四月
電力 最大 3,000V 供給 100V

明知町電氣部

資本 1,000圓
收入 2,500圓
開業 明治四十年五月
電力 最大 3,000V 供給 100-110V

八百津町電燈所

資本 1,000圓
收入 2,500圓
開業 大正元年十一月

鶴岡村電氣部

資本 1,000圓
收入 2,500圓
開業 昭和四年五月

電燈、力、鐵

中部

明知町電氣部 八百津町電燈所 鶴岡村電氣部 加子母村電氣部 遠山村電氣部 東白川村電氣部

遠山村電氣部

資本 1,000圓
收入 2,500圓
開業 大正十年四月
電力 最大 3,000V 供給 100-110V

加子母村電氣部

資本 1,000圓
收入 2,500圓
開業 大正七年五月
電力 最大 3,000V 供給 100V

蛭川村電氣部

資本 1,000圓
收入 2,500圓
開業 大正九年四月
電力 最大 3,000V 供給 100V

會木村電氣部

資本 1,000圓
收入 2,500圓
開業 大正九年四月
電力 最大 3,000V 供給 100V

東白川村電氣部

資本 1,000圓
收入 2,500圓
開業 大正九年四月
電力 最大 3,000V 供給 100V

中部

明世村電氣部 府中村電氣部 日吉村電氣部 牧田村電氣部 口明方村電氣部 宮地村電氣部

三四

主任技術者 安江 勇一
電氣部主任 古田 國榮
電氣委員 安江 勇一 伊藤 稔 田口 宮松
供給電燈數 二、三六二個

主任技術者 安江 勇一
電氣部主任 古田 國榮
電氣委員 安江 勇一 伊藤 稔 田口 宮松
供給電燈數 二、三六二個

主任技術者 安江 勇一
電氣部主任 古田 國榮
電氣委員 安江 勇一 伊藤 稔 田口 宮松
供給電燈數 二、三六二個

明世村電氣部
岐阜縣土岐郡明世村役場内
資本 七、〇〇〇圓
收入 六、七三三圓
支出 一、二六七圓
利益 五、四六六圓
決算 三月

日吉村電氣部
岐阜縣土岐郡日吉村役場内
資本 一〇、〇〇〇圓
開業 大正十年三月
村長 安藤 智白
電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
電燈 最大二、五〇〇V 供給100V
供給電燈數 二、五〇〇個

府中村電氣事務所
岐阜縣不破郡府中村役場内
資本 〇、〇〇〇圓
開業 大正十年七月
電燈 水力
電壓 供給100V
村長 中村 眞一
事務主任 高木喜和藏
主任技術者 古澤伊平
供給電燈數 一、〇〇〇個

開業 大正十年十二月
村長 安藤 桂造
主任技術者 山田 幸雄
電壓 三、三〇〇V 供給100V
電燈 三、三〇〇V 供給100V
供給電燈數 一、〇〇〇個

牧田村電氣部
岐阜縣養老郡牧田村
資本 四、〇〇〇圓
開業 大正十年六月
電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
村長 桐山 惣一
電氣事務所主任 古田 實
主任技術者 渡邊良次郎
供給電燈數 六、〇〇〇個

口明方村電氣燈所
岐阜縣郡上郡口明方役場
電話八幡二五九番
資本 六、二七五圓
開業 大正十年九月
電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
電燈 最大三、三〇〇V 供給100V
主任技術者 清水 康二
主任技術者 高橋 澄雄
供給電燈數 一、二二二個

洲原村電氣部

岐阜縣武儀郡洲原村
資本 七、〇〇〇圓
收入 四、九〇九圓
支出 四、九〇九圓
利益 〇
開業 大正九年十二月
電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
周波 〇
村長 藤田 基治
主任技術者 石原 季雄
供給電燈數 六、二〇〇個

長瀨村電氣部
岐阜縣揖斐郡長瀨村
電話 長瀨一番
資本 三、五〇〇圓
開業 大正十年五月
電燈 水力
電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
村長 山本 英逸
主任技術者 横山 實
工務係 淺野 興一
供給電燈數 一、三六六個

宮地村電氣部
岐阜縣揖斐郡宮地村
資本 三、〇〇〇圓
開業 大正十年十月
電燈 最大三、三〇〇V 供給100V
電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
主任技術者 河野五一
主任技術者 所 廣護
書記兼技術者 草野 忠作
電燈 最大三、三〇〇V 供給100V
電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
供給電燈數 九、〇〇〇個

宮村電氣部

岐阜縣大野郡宮村、三ヶ番地ノ三
電話高山八〇二番
資本 七、〇〇〇圓
決算 三月
電燈 水力
電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
開業 大正十年十一月
主任技術者 村長 岩野徳右衛門
主任技術者 溝邊 建二
供給電燈數 一、二七〇個

黑川村電氣部
岐阜縣加茂郡黒川村水梨
資本 六、七〇〇圓
開業 大正十二年一月
電燈 水力 補助 内燃力
電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
周波 〇
村長 藤井 紳一
主任技術者 安江 勇一
主任書記 横間正水
供給電燈數 一、七〇〇個

福地村電氣部
岐阜縣加茂郡福地村役場
資本 九、〇〇〇圓
開業 昭和四年二月
電燈 最大三、三〇〇V 供給100V
電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
主任技術者 辻 馨
供給電燈數 三、三〇〇個

外山村電氣部

岐阜縣本巢郡外山村
電話 外山一番
資本 四、〇〇〇圓
開業 大正十一年二月
電燈 水力
電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
周波 〇
主任技術者 村長 桑原佐三郎
主任技術者 乾 勇
供給電燈數 一、二七〇個

三郷村電氣部
岐阜縣惠那郡三郷村役場内
資本 四、〇〇〇圓
開業 大正十二年七月
村長 石田彌三郎
主任技術者 磯村 清
擔當技術者 長谷 良三
電燈 最大三、三〇〇V 供給100V
電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
周波 〇
供給電燈數 一、三三〇個

阿木村電氣部
岐阜縣惠那郡阿木村阿木
固定資産 五、三三〇圓
開業 大正七年十一月
電燈 水力
電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
電燈 最大三、三〇〇V 供給100V
主任技術者 吉林貞次郎
供給電燈數 三、三〇〇個

靜波村電氣部

岐阜縣惠那郡靜波村東六一〇九
資本 五、〇〇〇圓
開業 大正十一年七月
電燈 最大三、三〇〇V 供給100V
周波 〇
主任技術者 乾 勇
供給電燈數 一、二七〇個

落合村電氣部
岐阜縣惠那郡落合村
資本 五、〇〇〇圓
開業 大正十四年四月
村長 上田 季充
電燈 最大三、三〇〇V 供給100V
電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
周波 〇
供給電燈數 一、三三〇個

上賣村電氣部
岐阜縣吉城郡上賣村在家
電話 在家一番
資本 五、〇〇〇圓
開業 大正十一年七月
電燈 最大三、三〇〇V 供給100V
電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
周波 〇
主任技術者 乾 勇
供給電燈數 一、二七〇個

電燈、力、鐵

中部

宮村電氣部 外山村電氣部 靜波村電氣部 阿木村電氣部 三郷村電氣部 上賣村電氣部

三五

中部 ◆伊那電氣鐵道 ◆上田電鐵

◆開業 昭和十一年三月(上野電氣買收設立)
◆譲受 昭和十二年六月藤桂電燈
◆發電 水力 ◆周波 50
◆電壓 最大 3,000V 低壓 100V-220V
◆管理技術者 大西 益造
◆主任技術者 野首助太郎
◆供給電燈數 2,100個

長野

伊那電氣鐵道株式會社

本社 東京市麹町區丸ノ内ノ六海上ビル
電話丸ノ 三六〇、三六八、三六九、三七一
支社 長野 縣上伊那郡 赤穂町
電話 赤穂 六三番二五二番
◆資本 3,000,000圓
◆借入 1,100,000圓
◆積立 1,100,000圓
◆收入 2,100,000圓
◆支出 1,800,000圓(内銷却 100,000圓)
◆利益 300,000圓
◆配當 年八分
◆開業 明治四十年九月
◆合併讓受 大正十五年三月中央電化工業會社讓受、昭和二年三月諏訪電鐵株式會社合併、昭和九年九月減資、昭和十二年十二月高遠電燈株式會社合併、昭和十三年八月和田水力電氣株式會社讓受、昭和十七年四月電氣事業設備中部配電株式會社(出資)

長野電鐵株式會社

本社 長野市權堂町二二〇一
電話四三七一・四三七二
◆資本 4,000,000圓
◆借入 1,000,000圓
◆積立 1,000,000圓
◆收入 1,000,000圓
◆支出 400,000圓(内銷却 100,000圓)
◆配當 年四分九厘
◆開業 大正十一年六月
◆決算 一月、七月
◆合併 長野電氣鐵道(大正十五年九月)
◆發電 水力
◆電壓 最大 3,000V 電車線 1,000V ◆周波 50
◆主任技術者 藤平 常務 宇都宮 信衛
◆取締役 小山鶴太郎 宮澤貞助 山田莊左衛門 近山與五郎 横田九一郎 福中 儀勝 内山 俊樹 田中 勝經 宮澤 憲衛

上田電鐵株式會社

本社 長野縣上田市天神町二八五
電話六五四・九六五
◆資本 2,100,000圓
◆借入 800,000圓
◆積立 300,000圓
◆收入 2,000,000圓(内政府補助 800,000圓)
◆支出 1,000,000圓(内銷却 500,000圓)
◆利益 1,000,000圓
◆配當 無
◆開業 大正九年十一月
◆電壓 最大 3,000V 電車線 1,000V及300V ◆周波 50
◆取締役代表 嶋澤 林藏
◆專務 笠原 善吉 小島大治郎 成澤忠兵衛
◆取締役 飯島島太郎 清水 實 島田良左衛門 監查役 安原要三郎 中村 五郎 瀧澤 一郎

松本電氣鐵道株式會社

本社 長野縣松本市西五町
電話松本六五九三・一三三三
◆資本 1,000,000圓
◆借入 400,000圓
◆積立 1,000,000圓
◆收入 共 1,800,000圓(内銷却 300,000圓)
◆決算 三月、九月
◆開業 大正十年十月
◆社長 伊原五郎兵衛
◆取締役 新村爲一郎 百瀬 義硬 百瀬 藏六 平出 省三 小崎 壽 監查役 熊谷 村司 赤澤 喜八 龜井 旭彦 三村 繁
◆主任技術者 日下部成一郎
◆電壓 3,000V 電車線 600V ◆周波 50
◆發電 松本市 島々間
◆電壓 全線 400V 往復 70V
◆軌道 松本市 淺間温泉間
◆電壓 全線 1,500V 往復 250V
◆供給電燈數 2,100個

丸子鐵道株式會社

本社 長野縣小縣郡丸子町上丸子一九四九
電話 一三〇番

電燈、力、鐵

中部 ◆松本電氣鐵道 ◆丸子鐵道 ◆木曾川電力 ◆千曲電氣

木曾川電力株式會社

本社 東京市麹町區丸ノ内ノ六海上ビル
電話丸ノ内八三九・八四〇
◆資本 3,000,000圓
◆借入 1,000,000圓
◆積立 1,000,000圓
◆收入 1,000,000圓
◆支出 700,000圓(内銷却 300,000圓)
◆利益 300,000圓
◆配當 年八分
◆開業 大正五年八月
◆合併 奈川電燈(昭和十年十一月)
◆發電 水力
◆電壓 最大 3,000V 供給 100V ◆周波 50
◆社長 下出 義雄
◆常務 小野 秀一 志水 懷民

千曲電氣株式會社

本社 長野縣南佐久郡白田町大字勝間二四四五
電話(長)七番
◆資本 1,000,000圓
◆借入 600,000圓
◆積立 300,000圓
◆收入 共 1,200,000圓(内銷却 100,000圓)
◆配當 年五分
◆決算 四月、十月
◆開業 昭和二年七月
◆發電 水力
◆電壓 最大 3,000V ◆周波 50
◆社長 佐野 精一
◆取締役 石渡 吉治 中原 正政
◆監查役 中島 康作 松本 弘
◆主任技術者 石川 光信

中部

信濃水電株式會社

東京市京橋區實町一ノ七
電話京橋 二二二二二
資本 三〇〇〇〇〇〇圓
積立 三〇〇〇〇〇〇圓
開業 昭和三年十二月
發電 水力
事務 石渡 吉治
取締役 高橋 保 入澤 一郎 渡邊 元得
監査役 野木 長治 矢崎福之助
主任技術者 五十嵐佐平次

中澤村管電氣部

長野縣上伊那郡中澤村
電話 中澤 一番
資本 一〇〇〇〇〇〇圓
支出 一五、九九圓
收入 三、〇四圓
利益 五、八四圓

中部

三穗村管電氣部

決算 三月
開業 大正八年五月
發電 水力
電壓 最大 三〇〇V 供給 二〇〇—一〇〇V
主任技術者 黒田 品治
供給電燈數 二、八個

三穗村管電氣部

長野縣下伊那郡三穗村役場
電話川路 三二番
資本 一〇〇〇〇〇〇圓
支出 一、〇〇〇圓
收入 一、〇〇〇圓
利益 〇圓
電壓 最大 三〇〇V 供給 二〇〇—一〇〇V
管理者村長 今村 太郎
主任技術者 芹澤 肇
供給電燈數 三、三五個

上郷村電氣部

上郷村電氣部

長野縣下伊那郡上郷村
固定資本 八三、七圓
積立 一六、九圓
決算 三月
開業 昭和八年十一月
(伊那電氣鐵道株式會社事業一部譲受)
村長 原 六雄
電氣部主任技術者 加納平四郎
電壓 三〇〇V—一〇〇V—一〇〇V
周波 50
供給電燈數 三、三五個

關西地帶

大阪

關西配電株式會社

本社大阪市北區梅ヶ枝町一六四
電話北(36) 三三、三三三、三三三
資本 五〇〇,〇〇〇,〇〇〇圓
社債 三〇〇,〇〇〇,〇〇〇圓
開業 昭和十七年四月
合併會社
(指定會社) 宇治川電氣株式會社、南海水力電氣株式會社
(出資事業) 大阪市、京都市、神戸市、阪神電氣鐵道株式會社、日本發送電氣株式會社、日本電力株式會社、東邦電力株式會社、南海鐵道株式會社、關西急行鐵道株式會社、京都電燈株式會社、阪神急行電鐵株式會社、京阪電氣鐵道株式會社
大阪府、京都府、奈良縣、滋賀縣、和歌山縣、兵庫縣、三重縣、岐阜縣、福井縣、一部
社長 田邊 隆二
副社長 堀 新 木津谷榮三郎

電燈、力、鐵

關西配電

常務理事 川内植藏 中村 昭 上野 泰造
五島 祐 大岡馬治雄 市川 春吉
高岸 宗次 石川芳次郎 杉野 繁
森 義信 青木忠次郎 橋本 澄三
參與理事 今西與三郎 上山勘太郎 寺田 甚吉
喜多 市松
常任監事 武田 泰三
監事 部木 輝 種田 虎雄 高津 啓一
佐藤 博夫
本 社
秘書課長 牧野雄一郎 人事課長 太田 喬
審查課長 桐村早太郎
總務部
總務部長(理事)川内植藏 次長 菅澤 貞夫
庶務課長 坂本 嚴 制規課長 藤田友次郎
厚生課長 銀田 義雄 株式課長 人見 敬太
教育課長 菅澤 貞夫
經理部
經理部長(理事)中村 昭 次長 岡村 爲孝
財務課長 岡市要太郎 會計課長 衣川 正夫
調度課長 草川 憲七 管財課長 米田 雄二
業務部
業務部長(理事)上野泰造 次長 比企野繁三
業務課長 加藤 博見 營業課長 寺島 潜
配電課長 內田 幸夫
工務部
工務部長(理事)五島 祐次 次長 林 歷太郎
電務課長 菅原 義重 電氣課長 中江三三郎
給電課長 丹波 孝三 土木課長 原田 民部
企 畫 部

企業部長(理事)大岡馬治雄 次長 村井 貞三
企業課長 一本松珠璣 調查課長 嚴 榮一
統計課長 神先藤五郎 防護課長 小栗 匡
技術研究所長 竹田 貞光
大阪試驗所長 今北精之助
京都試驗所長 安川英一郎
神戸試驗所長 佐治 薫明
支 店
大阪支店 大阪市港區九條南通一ノ一一九
電話西(三) 六、三六六
支店長(理事)市川 春吉 次長(理事)高岸 宗次
庶務部長 竹野 義郎 計理部長 出口清三郎
營業部長 魚里平次郎 技術部長 辻 秀男
九條營業所 大阪市港區九條南通一ノ二九
所長 矢永 力介
扇町營業所 大阪市北區南扇町十一ノ一
所長 永井 七郎
難波營業所 大阪市南區難波新地六番町六
所長 田中 好三
天王寺營業所 大阪市天王寺區國分町八
所長 實家 武則
美章園營業所 大阪市住吉區桑津町二四
所長 竹內 龜次
天下茶屋營業所 大阪市西區區原町三六
所長 鹽淵 佐橋
豐津營業所 大阪市北區角田町阪神急行電鐵內
所長 多田 藤吉
十三番營業所 大阪市北區角田町
所長 岩瀬 義雄

關西 京阪電氣鐵道 南海鐵道

參宮急行(渡渡) 同年吉野鐵道合併、昭和十六年三月參宮急行電氣合併

- 社長 種田 虎雄
專務 三好 萬次
取締役 片岡 直方
監査役 林 市藏
企畫局長(兼) 金森 乾次
企畫局第一部長(兼) 伊藤 乃
第二部長(兼) 三木 辨次
第三部長(兼) 芝谷 常吉
第四部長(兼) 影山 光一
經理局長(兼) 藤井 正
經理局次長(兼) 中島 昭明
經理局會計部長(兼) 中島 昭明
用品部長(兼) 山口 昌治
渉外部部長(兼) 田村 珍徳
事業局長(兼) 金森 乾次
事業局事業部長(兼) 橋本 政一
百貨店部長(兼) 渡邊 憲三
總務部長 佐伯 勇
監査部長(兼) 大戸 武之
大阪營業局長(兼) 三好 萬次
大阪營業局運輸部長(兼) 村松 鐵作
技術部長(兼) 岡 隆
名古屋營業局長(兼) 越山均之助
名古屋營業局運輸部長 伊部 昇

技術部長(兼) 岡 隆
四日市臨時建設事務所長(兼) 岡 隆

- 大阪線 上本町-伊勢中川
山田線 伊勢中川-宇治山田
奈良線 布衣-關急奈良
天理線 大和西大寺-關原
信貴線 河內山本-信貴山口
吉野線 關原-吉野
小房線 關原-小房
法隆寺線 平端-關急法隆寺
生駒鋼索線 鳥居-生駒山上
伊賀線 西名-伊賀上野
伊勢線 伊勢中川-關急名古屋
伊勢線 江戶橋-大神宮前
養老線 桑名-伊勢神戶
神戶線 伊勢若松-伊勢神戶

京阪電氣鐵道株式會社

- 大阪府北河內郡枚方町大字岡六〇四事務所
大阪市北區天神橋筋六ノ五
電話(代表)堀川二三一番
電話(本)堀川二三一番
資本金 壹、〇〇〇、〇〇〇圓
社債 四、〇〇〇、〇〇〇圓
積立 六、〇〇〇、〇〇〇圓
配當 年七分
合併 和歌山水力電氣(大正十一年)、京津電氣鐵道(大正十四年)、日高山水力電氣(大正十五年)、京阪

開業 明治三十年十月

- 買収及合併會社
阪堺鐵道(明治三十一年十月)、浪速電車鐵道(明治四十二年九月)、阪堺電氣鐵道(大正四年六月)和泉水力電氣(大正七年二月)、大阪高野鐵道(大正十一年九月)、高野大佛鐵道(大正十一年九月)、信太電氣(昭和十四年三月)、阪和電氣鐵道(昭和十五年十二月) 加太電氣鐵道(昭和十六年二月)
發電、水力
電壓 五〇〇-一、〇〇〇V 電車線 六〇〇V
社長 寺田 甚吉
副社長 中山 隆吉
取締役 前田辰之助
吉田 義雄
二階 賢
常任監査役 前田 穰
監査役 寺田元之助
總務部長 二階 賢
車輛部長 水野 勝
工務部長 早崎 金七

阪神急行電鐵株式會社

- 資本金 七、〇〇〇、〇〇〇圓
社債 四、〇〇〇、〇〇〇圓
積立 七、〇〇〇、〇〇〇圓
支出 一、〇〇〇、〇〇〇圓
利益 三、〇〇〇、〇〇〇圓
決算 三月、九月
開業 明治四十三年三月
電壓 最大三、〇〇〇V 供給 一、五〇〇-一、〇〇〇V
周波 〇
社長 佐藤 博夫
常務 林 藤之輔
取締役 岸本兼太郎
監査役 井上 周
支配人 比企野繁三
總務部長 佐川 春夫
運輸部長 太田垣士郎
運轉部長 木田 三三
電燈電力部長 菅原 義重
常務部長 風早 乙也
給電部長 寺澤 謙三
土木部長 野々口市太郎
神戶本線 大阪市北區角田町-神戸市三ノ宮間

大阪鐵道株式會社

- 資本金 三、〇〇〇、〇〇〇圓
社債 六、〇〇〇、〇〇〇圓
積立 一、〇〇〇、〇〇〇圓
支拂手形 三、〇〇〇、〇〇〇圓
開業 明治三十二年一月
合併 大正十五年十一月南大阪鐵道株式會社
電壓 最大三、〇〇〇V
社長 佐竹 三吾
專務 中井 元一
取締役 本所 又次
監査役 木口 貞蔵
電務部長 坪内 茂七
電氣部長 千本安次郎
電氣主任技術者 小松 正之
土木主任技術者 藤尾 專一
鐵道 阿部野橋 矢田 藤井寺、道明寺、古市

電燈、力、鐵

關西 阪神急行電鐵 大阪鐵道

關西

阪堺電氣株式會社
大阪府住吉區濱口町四三ノ一
電話 住吉 三三九七七番

信貴山急行電鐵
大阪府天王寺區上本町六ノ一
電話 天王寺 三三二一三番

交野電氣鐵道株式會社
大阪府北區天神橋筋六丁目五京阪ビル内
電話(代表)堀川二三二番

水間鐵道株式會社
大阪府泉南郡貝塚町近木九五九ノ一
電話 貝塚 一六五番

關西

信貴山急行電鐵
大阪府天王寺區上本町六ノ一
電話 天王寺 三三二一三番

交野電氣鐵道株式會社
大阪府北區天神橋筋六丁目五京阪ビル内
電話(代表)堀川二三二番

水間鐵道株式會社
大阪府泉南郡貝塚町近木九五九ノ一
電話 貝塚 一六五番

水間鐵道株式會社
大阪府泉南郡貝塚町近木九五九ノ一
電話 貝塚 一六五番

京都

京福電氣鐵道株式會社

總務部長 北田芳太郎
運輸部長 木岡 增一
監督部長 元山半之助
電壓 最大直流六〇〇V 電車線五五〇V
地方鐵道 泉南郡貝塚水間一海塚
資金 全線一八錢 一區一錢一錢

電燈、力、鐵

關西 京福電氣鐵道 奈良電氣鐵道 愛宕山鐵道

愛宕山鐵道株式會社

總務部長 荻野 政雄
運輸部長 須磨 邦雄
監督部長 武市 正彦
技術部長 野口 一
鐵道及軌道主任技術者 河本友之助
電氣事業主任技術者 野口 一

愛宕山鐵道株式會社

總務部長 三好 萬次
監督部長 今中伊三郎
運輸部長 佐藤 治
主任技術者 中島 温

關西

男山鐵道株式會社 京都府綴喜郡八幡町高坊 電話八幡一〇五番

- 資本 1,400,000圓
積立 1,200,000圓
支出 1,200,000圓
利益 200,000圓
決算 四月

- 社長 西本正太郎
取締役 小谷 寅吉 柳田榮巳夫 村岡 四郎
監査役 岡村 爲孝 小田仙太郎
總務課長 森 政憲
工務課長 辻 末三郎 運輸課長 深江 六三
主任技術者 土屋 宗夫
電壓 最大 2,000V 電車線 300V
電車軌道 八幡口一男山間
資金 片道一五錢 往復二五錢

- 天橋立鋼索鐵道株式會社 京都府與謝郡中村大字大垣七三 電話天橋立三番
資本 1,000,000圓
積立 1,000,000圓
支出 1,000,000圓
利益 1,100,000圓
決算 五月、十一月
開業 昭和二年八月
社長 井上信治郎 專務 山本 三省

關西

宇治町電氣部 京都府久世郡宇治町 電話三六〇番

- 取締役 野村 正次 小谷 寅吉 宮崎佐平治
後藤龍太郎 吉田秀三郎
監査役 永井六左門 秀夫
主任技術者 小西 秀夫
電壓 2,000V
軌道 府中一傘松間
資金 全線 片道三錢 往復五錢

- 宇治町電氣部 京都府久世郡宇治町 電話三六〇番
資本 1,000,000圓
開業 大正二年十一月
町長 河村門太郎
主任技術者 植村 種吉
電壓 最大 2,000V 供給 300V-100V
周波 60
供給電燈數 一九、五七個

- 夜久野水電組合 京都府天田郡下夜久野村字額田 外二ヶ村
資本 100,000圓
開業 大正十一年八月
電壓 水力 內燃力
電壓 最大 2,000V 供給 100V
組台長 加藤 幸平 主任技術者 中塚 重實
水力發電所主任 中島 勝實
內燃發電所主任 衣川佐一郎
供給電燈數 三、三〇個

兵庫

神戸市電氣局 神戸市兵庫區湊町一丁目 電話湊川二二一二番

- 建設 七、〇〇〇、〇〇〇圓
積立 三、三〇〇、〇〇〇圓
借入 六、六〇〇、〇〇〇圓
決算 三月
開業 大正六年八月
昭和十一年七月神戸市海區ニ於ケル阪神電氣鐵道株式會社 給電事業營業權並設備物件買收
電壓 三、〇〇〇V 11,000V 2,000V 2,000V
電車 300V-100V
局長 野田文一郎
局長 廣瀬 秀吉

- 電氣事業主任技術者(兼務) 長谷川勇雄
軌道事業主任技術者(兼務) 廣瀬 秀吉
庶務課長 白井 兵一 勞務課長 武内 義雄
會計課長 水越 義和 教習所長 大矢 昌雄
電氣試驗所長 安本 健助
財務部長 都木 雄 主計課長 吉田 義一
調度課長 藤本 由雄 用品課長 小坂 宗太
警備課長 鈴木 致和 電氣部長 長谷川勇雄
電力課長 松岡 承次 電路課長 堀川 榮治
給電部長 桐村早太郎 料金課長 木村 貞吉
營業課長 稻垣 廣雄 內線課長 得田 興義
運輸部長 片山 好夫 業務課長 吉野 貞三
自動車課長 宮本 勳 電車課長 市川節太郎
車輛課長 吉林 謙三 工務部長 野田林太郎
軌道課長 田邊 實 電車線課長 億川 狂太郎
院長 井上 金作
電車軌道 神戸市内
貨 金 片道六錢 往復二錢 割引往復九錢
乘合自動車 普通區券二錢 特別區券八錢

- 阪神電氣鐵道株式會社 本社 尼崎市北城内一六番地 電話尼崎三三三番 福島一五〇四番
大阪事務所 大阪市北區梅田町一四 電話北區三三六番 大區五〇三三番
資本 九、〇〇〇、〇〇〇圓
社債 五、〇〇〇、〇〇〇圓
積立 七、二六、三五圓
借入 六、一七、〇〇〇圓
利益 三、三三、〇〇〇圓

- 配當 年九分
開業 明治三十八年
合併 北大阪電氣鐵道(明治四十四年一月)
阪神土地(昭和二年三月)
買收 阪神國道電氣鐵道(昭和三年四月)
電壓 水力
電壓 最大 3,000V 電車線 300V
社長 今西與三郎 專務 石井 五郎
常務 細野 躰
取締役 小西新右衛門 片岡直方 辰馬勇治郎
丸山 繁 泉谷平次郎 野田 誠三
監査役 小曾根直松 國府 精一
秘書課長 兼庶務課長 三橋祐太郎
電氣技術師長 丸山 繁 土木技師長 泉谷平次郎
運輸部長 吉江 昌世 事業部長 前田 純一
商務部長 中島 彌生 車輛部長 平岩 強
保線部長 清水 又一 建設部長 木村又左衛門
經理部長 東田 喜三 用度部長 守山 薫
電車軌道
(本 線) 大阪市梅田町一神戸市元町間
(北大阪線) 天神橋筋六丁目一野田間
(傳 法 線) 尼崎一大阪市千鳥橋間
(甲子園線) 中津ノ瀨一上甲子園間
(尼崎海岸線) 出屋敷一東濱間
(國 道 線) 大阪野田一東神戸間

- 山陽電氣鐵道株式會社 神戸市須磨區御影三ノ二 電話須磨一四四番
資本 三、〇〇〇、〇〇〇圓
借入 一、五〇〇、〇〇〇圓
積立 一、五〇〇、〇〇〇圓
決算 三月、九月
開業 昭和八年六月
(宇治川電氣株式會社電氣鐵道事業繼承)
軌道 明治四十三年三月(兵庫電軌)
鐵道 大正十二年八月(神戸鐵路電鐵)
會長 林 安繁 社長 高木 茂一
常務 岡村 丹二
取締役 堀 新 勝山 勝司 石澤 四郎
大元政一郎 中村 鼎 羽田 香
監査役 石井 五郎 中村 鼎 羽田 香
支那人 石見 忠男
運輸部長 秋山 達 電氣部長 高橋 騰
土木部長 中川 久次
庶務課長 小竹佐兵衛 調度課長 佐藤 保太
會計課長 深水 惣吉 專業課長 荒木 爾郎
電燈課長 藤井 俊夫 運輸課長 松尾 三郎
運輸課長 川崎 亮一 電務課長 西村 胖
車輛課長 平岩 圭三 工務課長 中川 久次
建設課長 荒木 宜篤
電壓 送電用 三、〇〇〇V-11,000V
電車用 1,000V 300V
供給用 2,000V 200-100V
周波 60
電鐵 (軌道鐵道) 神戸市、明石市、高砂町、飾
瀨市ヲ經テ姫路市間並飾瀨市、網干町間
軌道線 兵庫明石間一區片道六錢 全線區區七錢
鐵道線 明石姫路間一區片道三錢 全線區區七錢

關西

◇神戸有馬電氣鐵道 ◇能勢電氣鐵道 ◇六甲越有馬鐵道

鐵道線 明石網干間一區片道二〇錢 全線區〇錢
出張所 東京市麹町區内幸町大阪ビル新館
電話銀座三九三〇

所長 淺川平三郎

神戸有馬電氣鐵道株式會社

神戸市兵庫區上澤通一ノ一五
電話淺川一四七・七・七

◇資本 六、〇〇〇、〇〇〇圓
◇借入 五、〇〇〇、〇〇〇圓
◇損失 三、〇〇〇、〇〇〇圓
◇決算 五月、十一月
◇開業 昭和三年十一月
社長 小林長兵衛
常務 清水 時好 小林 秀雄 白井 季吉
取締役 高木 茂一 長井 茂 山本 一郎
岩佐權太郎
監査役 中村 鼎 中田 良藏 青柳一太郎
主任技術者兼運輸課長兼電氣課長 山本 一郎
經理課長 竹内 七郎 庶務課長 岩佐權太郎
土木課長 長井 茂
◇電壓 最大一、一〇〇V 電車線一、〇〇〇V 周波六〇
◇電車軌道 神戸有馬線 神戸市兵庫區上澤通一
丁目(湊川公園下)兵庫縣有馬郡有馬町、唐櫃三
田線、有馬郡有馬村唐櫃(唐櫃驛分岐)同郡三輪
町(三輪驛構内)
◇資金 區間制 一區一〇錢 神戸有馬間往復 九錢
神戸三田間 往復一四〇錢

能勢電氣鐵道株式會社

兵庫縣川邊郡川西町小幡藤ノ木七ノ四
電話池田二〇七七・二〇七八

◇資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓
◇積立 七、〇〇〇圓
◇利益 四、〇〇〇圓
◇支出 一〇七、八〇〇圓(内銷却 三、〇〇〇圓)
◇決算 三月、九月
◇開業 大正二年四月
專務 江本 謙藏
取締役 中西德三郎 戸田 一 島津幸太郎
監査役 淺井 柳三 西尾 正七
支配人 松田小一郎 主任技術者 井角 行雄
◇電壓 三、〇〇V 電車線六〇〇V 周波六〇
◇電車軌道 川邊郡川西町、多田村、東谷村、
大阪府豐能郡吉川村ニ至ル
◇資金 一區片道八錢 全線四區 一哩當三九厘
六甲越有馬鐵道株式會社
神戸市灘區高羽字西山八番地ノ二
電話御影四二五六番
◇資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓
◇借入 一、〇〇〇、〇〇〇圓
◇收入 一三、〇〇〇圓
◇支出 一四、〇〇〇圓
◇開業 昭和七年三月
專務 遠藤 九思
取締役 石井 五郎 丸山 繁
監査役 辰馬勇治郎

主任技術者 波多野保夫
總務課長 西本 幸作 事業課長 實木 原壽
技術課長 岸 英松 運輸課長 田村日出生
◇電壓 電車線一〇五V 周波六〇
◇鋼索鐵道 神戸市灘區高羽一六甲山
◇架空鐵道 六甲山一有馬町(豫定線未開業)
摩耶鋼索鐵道株式會社
神戸市灘區美岡通四ノ六
電話葦合七三五番

◇資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓
◇借入 一、五〇〇、〇〇〇圓
◇決算 五月、十一月
◇開業 大正十四年一月
社長 黒瀬 弘志
取締役 中川 延雄 細野 躰 丸山 繁
監査役 小曾根貞松 持田 常吉
主任技術者(兼)丸山 繁 庶務課長山下佐一郎
◇電壓 最大三、〇〇V 周波六〇
◇軌道 神戸市美岡通ヨリ摩耶山
◇未成線 神戸上筒井御影町間
◇資金 片道二五錢 往復四〇錢
妙見鋼索鐵道株式會社
兵庫縣川邊郡東谷村黒川
電話 山下七番

兵庫縣營水力電氣

(兵庫縣土木部)
神戸市神戶區下山牛通四丁目
電話葦合二二〇六、二二二三

◇固定資本 三、九六、七二圓
◇發電 水力
◇電壓 最大三、〇〇〇V
代表者 兵庫縣知事 坂 千秋
主任技術者 佐伯 英夫

關西電氣株式會社

兵庫縣多紀郡篠山町河原町一七六
電話 二一六番

◇資本 三、〇〇〇、〇〇〇圓
◇積立 一、〇〇〇圓
◇決算 五月、十一月
◇開業 明治四十三年十一月
◇電壓 最大三、〇〇V 供給一〇〇—二〇〇V 周波六〇
社長 石川芳次郎
取締役 田中 武彦 林 堅太郎 松本 愷脩
福岡總次郎
監査役 村井 貞三 佐伯光太郎
營業部長 小西 閔三
主任技術者 橋垣政治
變電所主任 堀又次郎 内外線主任北村與三郎
山田電燈株式會社
本社 神戸市神戶區下山手通五ノ九
電話元町三四一九番
營業所 兵庫縣武庫郡山田村小部

家島電氣株式會社

兵庫縣飾磨郡家島町宮一六二八
電話 家島九番

◇資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓
◇積立 三、〇〇〇圓
◇開業 大正八年六月
◇電壓 內燃力 周波六〇
◇電壓 最大三、〇〇V 供給一〇〇V
社長 琴塚 菊松
取締役 細野 房吉 橋 作馬 中上淺次郎
監査役 細野 島吉 橋 廣之助
主任技術者 松本 正雄
供給電燈數 二、八四個
上久下村營水力電氣部
兵庫縣水上郡上久下村役場
電話 下瀨一番

電燈、力、鐵

關西

◇三木電氣鐵道 ◇兵庫縣營水力電氣 ◇關西電氣
◇山田電燈 ◇家島電氣 ◇上久下村營水力電氣部

取締役 戸田 一 野原 稔
取締役兼支配人 細田金次郎
監査役 中西德三郎 松田小一郎
主任技術者 山田善太郎
◇電壓 三、〇〇V 電動力四〇V 周波六〇
◇軌道 川邊郡東谷村黒川
◇資金 全線片道二〇錢 往復 三五錢
三木電氣鐵道株式會社
神戸市兵庫區上澤通一ノ一五
電話淺川三八〇八番

◇資本 三〇〇、〇〇〇圓
◇借入 三〇〇、〇〇〇圓
◇決算 五月、十一月
◇開業 昭和十一年十二月
(神戸有馬電氣ヨリ免許權讓受開業)
會長 小林 長兵衛
代表取締役 清水 時好
常務 小林 秀雄
取締役 青柳一太郎 黒田清右衛門
監査役 竹田龍太郎 中田 良藏 玉置 周藏
中山 素平
主任技術者(電氣課長) 山本 一郎
◇電壓 最大三、〇〇V 電車線一、〇〇〇V 周波六〇
◇鐵道 自兵庫縣武庫郡山田村小部字滑本(鈴南
臺)至美彌郡三木町(三木福有橋)間
◇車輛 神有電鐵所屬車輛ヲ乘入運轉ス
(神戸市湊川公園ヨリ三木町ニ直通)
◇資金 區間制 一區金五錢
神戸三木間 往復一圓〇錢

關西

西氣村清瀧村電氣事務組合
鴨庄村電氣事務組合
加太電氣鐵道
野上電氣鐵道

開業 大正十一年六月
發電 水力
電壓 最大 200V 供給 100V-100V
村長 若林 周平 助役 村上 松治
主任技術者 森田 千治
供給電燈數 2,000個

西氣村清瀧村電氣事務組合

兵庫縣城崎郡清瀧村
資本 20,000圓
開業 昭和四年一月
發電 水力、瓦斯力
電壓 最大 200V 供給 100V
周波 50
管理 岡本 賢藏 主任技術者 立岸 一智
供給電燈數 1,723個

鴨庄村電氣部

兵庫縣水上郡鴨庄村
電話 市島九番
資本 3,800圓
發電 水力
電壓 最大 200V 供給 100-100V
村長 吉見傳左衛門
主任技術者 青木 義夫
供給電燈數 556個

和歌山

和歌山電氣軌道株式會社

和歌山市字須三六五
電話 五四六〇・六〇六
資本 5,000,000圓
開業 昭和十五年十一月
(東邦電力ヨリ電氣軌道事業譲受設立)

常務 石井 格一
取締役 寺田 其吉 中山 隆吉 平松 憲夫
小原 英一
監査役 前田 穰 矢部 友雄
支那人 天羽 與三
總務課長 杉浦信一郎 經理課長 月澤 秀司
營業課長 橫田覺次郎 車輛課長 角谷齊五郎
工務課長 大橋保治郎(主任技術者)
營業路線 市磯-海南 東和歌山-公園前
和歌浦口-新和歌浦

高野山電氣鐵道株式會社

大阪府南區難波新地六番町一・二南海ビル
電話 七三七八番
資本 1,100,000圓
社債 110,000圓
積立 110,000圓
利益 一圓八分
配當 年八分
開業 昭和三年六月

五〇

常務 中山 隆吉
取締役 前田辰之助 寺田元之助 小原 英一
宇都宮綱郎
監査役 影山鏡三郎
電氣主任技術者 日笠 晴夫
電壓 最大 200V 電車線直流 200V
周波 50
軌道 伊都郡九度山町-同郡高野町

加太電氣鐵道株式會社

和歌山市杉ノ馬場三ノ四
電話 三三〇〇圓
資本 500,000圓
借入 300,000圓
積立 197,500圓
決算 五月 十一月
開業 明治四十五年六月
電壓 200V 周波 50

野上電氣鐵道株式會社

和歌山縣海南市日方一〇一一
電話 海南一六五番
電話 三三〇〇圓
資本 53,500圓
積立 43,750圓

新宮電力株式會社

和歌山縣新宮市新宮七九九七
電話(長)五二五番
資本 400,000圓
積立 10,000圓
開業 大正十二年二月
發電 水力
電壓 200V 周波 50
社長 尾崎榮之助
取締役 浦木清十郎 植松新十郎
監査役 向井 梅市

電燈、力、鐵

關西 新宮電力

四村川電氣株式會社

和歌山縣東牟婁郡請川村
電話 本宮二四番
資本 100,000圓
積立 8,000圓
決算 三月、九月
開業 大正十四年六月
電壓 200V 供給 100-100V
社長 浦木清十郎
取締役 栗栖平三郎 玉石第一郎 山口 敏夫
監査役 宇井 兵藏 尾崎榮之助 和玉 文一
主任技術者 浦上 春二
供給電燈數 2,523個

安謐水力電氣株式會社

和歌山縣有田郡安謐村杉野原
電話 本宮二四番
資本 50,000圓
積立 5,000圓
決算 十月
開業 昭和三年五月
發電 水力
電壓 最大 200V 周波 50
社長 上西 榮長
取締役 坂口 竹松 前岡岩太郎 山田菊太郎
監査役 出島源之助 前島 義代

三尾川水力電氣株式會社

和歌山縣東牟婁郡三尾川村
電話 本宮二四番
資本 50,000圓
開業 昭和十一年十二月
電壓 最大 200V
社長 坂本作次郎
取締役 坂本 三郎 坂本助太郎 幸林榮太郎
監査役 長野吉次郎
主任技術者 越知 藤七
供給電燈數 2,120個

主任技術者 川上 兵吉
備考 當社事業計畫ハ發生電力ヲ特定需要家タル製材工場ニ送電シ製材ヨリ得ル鋸屑ヲ以テ燃料トシ剩餘電力ヲ他ニ供給ス

事務係兼技術係 中田 清次
發電係 岩田 登六
主任技術者 岡田木太郎
供給電燈數 5,800個

關西 ◆信貴生駒電氣 ◆南和電氣鐵道 ◆吉野水電 ◆平谷電氣 ◆秋野村電氣部

奈良

信貴生駒電氣株式會社

本社 奈良縣生駒郡生駒町

電話生駒一二五番

- ◇資本 1,100,000圓
- ◇收入 7,400圓
- ◇支出 1,100,000圓
- ◇利益 1,100,000圓
- ◇配當 二年二分
- ◇決算 四月、十月
- ◇開業 大正十一年五月

（大正十四年十月信貴生駒電氣鐵道譲受）

昭和三十四年秋方私市間電氣鐵道ヲ交野電氣鐵道

專務 大鐘 正義

取締役 種田 虎雄 三好 萬次 野村 慶次

監査役 藤井 正

運輸課長 野村 慶次

主任技術者 藤井 正

電壓 最大 1,000V 電車線 600V

電車軌道 王寺—生駒間 山下—信貴山間

資金 平垣線 一軒當り二錢七厘四毛

鋼索線 片道三〇錢 往復五〇錢

南和電氣鐵道株式會社

奈良縣北葛城郡高田町高田一五三九

- ◇資本 2,000,000圓
- ◇借入 2,000,000圓
- ◇借入 2,000,000圓
- ◇損失 1,400圓

五二 ◆開業 昭和四年九月

- ◇決算 二月
- ◇電壓 水力
- ◇電壓 最大 3,000V
- ◇周波 50

社長 中川 貞夫

取締役 東 義太郎 馬場 信行 瀧本 直彦

監査役 東 英次 岸廻 竹藏

主任技術者 栗栖 芳治

供給電燈數 5,000個

黑瀧村電氣部

奈良縣吉野郡黑瀧村大字中戸

電話 黑瀧四番

- ◇資本 1,310,000圓
- ◇收入 1,100,000圓
- ◇支出 1,100,000圓
- ◇利益 1,100,000圓
- ◇開業 大正十年五月

電壓 水力

電壓 最大 3,000V 供給 100V

主任技術者 岸井 政三 電氣部主任 西浦儀一郎

供給電燈數 3,000個

秋野村電氣部

奈良縣吉野郡秋野村役場内

- ◇資本 300,000圓
- ◇開業 大正十一年十二月
- ◇電壓 最大 3,000V 供給 100V
- ◇周波 50

社長 辻田秀太郎 主任技術者 和田 久藏

供給電燈數 1,700個

滋賀

近江鐵道株式會社

滋賀縣彦根市古澤町五〇

電話一一三・八三五

- ◇資本 1,000,000圓
- ◇借入 1,000,000圓
- ◇借入 1,000,000圓
- ◇利益 1,000,000圓
- ◇配當 年七分
- ◇開業 明治三十一年一月
- ◇電化完成 昭和三年四月十八日

社長の場原一郎

取締役 堀 新 片山 茂 高木 文五

監査役 吉田 香松 大原金太郎

主任技術者 秋田 壽雄

電壓 最大 3,000V 電車線 1,000V 周波 50

軌道 開業線本線 米原—貴生川

支線 高宮—多賀

資金 全線 八六錢

出張所 京都市麩町區内幸町大阪ビル新館

比叡山鐵道株式會社

滋賀縣滋賀郡坂本村坂本四二四四

電話坂本三二番

- ◇資本 1,000,000圓
- ◇借入 1,000,000圓
- ◇借入 1,000,000圓
- ◇積立 1,000,000圓

電燈、力、鐵

關西 ◆近江鐵道 ◆比叡山鐵道 ◆沖島電燈 ◆堅田町電氣部

- ◇收入 2,500圓
- ◇支出 4,000圓
- ◇配當 年五分
- ◇開業 昭和二年三月
- 常務 尾上富之助
- 取締役 田中 博 由邊 隆二 藤安三之助
- 川口源之輔 淺井義太郎 炊殿雄一郎
- 堀田 實 尾崎 長六
- 監査役 石川芳次郎 尾崎 長六

主任技術者 水原 經一

運輸營業主任 米田兵三 保線長 津村 兼藏

庶務主任 小谷 德藏

電壓 最大 3,000V 電車線 300V 周波 50

軌道 坂本—叡山中堂間

資金 往復七〇錢 上り四五錢 下り四〇錢

營業所 滋賀縣滋賀郡坂本村

沖島電燈株式會社

本社 大阪市北區曾根崎上三丁目四四

營業所 滋賀縣蒲生郡島村沖島

電壓 300V 周波 50

發電 昭和二年七月

開業 昭和二年七月

積立 1,000圓

資本 1,000圓

社長 上久保新七

取締役 太田 理成 松橋 善惠

監査役 島田 洋

主任技術者 佐藤 政光

供給電燈數 三三〇個

堅田町電氣部

滋賀縣滋賀郡堅田町大字堅田二七〇

電話堅田六六番

- ◇資本 2,000圓
- ◇開業 大正三年十一月
- ◇積立 2,000圓
- ◇決算 三月

町長 辻 律

電氣部助役 中井清十郎

主任技術者 楠 茂實

書記 北尾定之助 春田 清三

電壓 最大 3,000V 供給 300—100V 周波 50

供給電燈數 8,000個

北陸地帯

富山

北陸配電株式會社

本社 富山市櫻橋通一番地 電話代表富山四一六番

資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓 備込 一、〇〇〇、〇〇〇圓

開業 昭和十七年四月 決算 三月、九月

合併會社

(指定會社) 北陸合同電氣株式會社

(出資事業) 金澤市、日本電力、京都電燈

配當區域 福井縣、石川縣、富山縣

社長 山田 昌作

副社長 野口寅之助

理事 津名 義房

廣瀬 先一

白石 方亮

田中 武彦

常任監事 新田 與一

監事 金岡 好造

中田 勇吉

久保田可全

秘書課長 廣瀬 茂雄

審查課長 未定

總務部

總務部長(理事) 津名義房
總務部勤務 黒田源吾 庶務係 赤丸彌三郎
文書係 赤丸彌三郎 人事係 立花 忠治
厚生係 里見 文吉 養成所 中川淳一郎

經理部
經理部長 金井久兵衛
經理部勤務 安森 亮吉 笠谷 哲二

業務部
業務部長(理事) 西 泰藏
業務部勤務 小坂 勝生 松田千太郎

工務部
工務部長(理事) 白石方亮
工務部勤務 鑄田 亮 加藤 龍造
宮川 正弘 阿部 善一

企畫部
企畫部長(理事) 多田源二郎
企畫部勤務 加藤 橋 得永 朔郎
平野江太郎 吉村 義章
山地 實 猛尾 勇
矢後菊太郎

支店
富山支店 富山市櫻橋通一番地 電話富山四一六番
支店長(理事) 城生長次郎 次長 吉田 泰吉
庶務課長 源 庄作 會計課長 井口 宣司
調度課長 稻波 廣次 營業課長 吉田 豪吉
配電課長 小松 金助 發電課長 田邊 周平
線路課長 小野寺正人 給電課長 小野寺正人
富山營業所 富山市 櫻橋通一
所長 南日 信良

支店
富山支店 富山市櫻橋通一番地 電話富山四一六番
支店長(理事) 廣瀬先一 次長 小林誠之助
營業課長 山田 重治 調度課長 大野喜美雄
會計課長 野澤手重平 工務課長 鹽田 喜一
配電課長 金澤市下本多町六番丁十一
所長 池田甚太郎
小松營業所 小松市榮町
所長 城 彦三
七尾營業所 七尾市三島町
所長 飯田久太郎
福井支店 福井市日之出下町六二
支店長(理事) 佐伯光太郎
庶務課長 湯淺 卓三 會計課長 湯淺 卓三
調度課長 岩佐 元治 營業課長 高橋 茂
配電課長 織田 純三 工務課長 鶴飼 三郎
福井營業所 福井市日之出下町六二
所長 三時 房治
鯖江營業所 福井縣鯖江町
所長 高野 大眼

車輻係主任 澤田佐一郎 土木係主任 西田廣次
保護係主任 佐伯漢治
軌道
本線 富山、上市、湯川、魚津、西首市、寺田、五百石、岩崎寺
富山線 富山、城川原、岩崎、岩瀨濱
富内線 富山、山室、堀川新
黒部鐵道株式會社
本社 大阪市北區宗是町一番地 電話土佐堀三三三三番
營業所 富山縣下新川郡三日市驛構内
資本金 一、〇〇〇、〇〇〇圓 備込 一、〇〇〇、〇〇〇圓
積立 一、〇〇〇、〇〇〇圓 利益 一、〇〇〇、〇〇〇圓
配當 年六分
決算 二月、八月
開業 大正十年十二月
發電 水力
電壓 交流二二〇〇V 直流〇〇〇V
社長 後藤 清造
取締役支配人 竹内 新一
取締役 高津 啓一 米澤 元貞 松谷 正
監查役 上基 安次 加藤與三郎 木津太郎平
主任技術者 武藤 嘉門 角野 清藏
發電所主任 竹内 新一
鐵道 三日市、西三日市、東三日市、萩生、舌山、若栗、折屋、浦山、下立口、下立、愛木、内山、香澤、宇奈月
乘車賃金 一軒三・一一錢

魚津營業所 富山縣魚津町 所長 池上 頼次
高岡營業所 高岡市浪町 所長 前馬 外吉
福野營業所 富山縣福野町 所長 川島 愛二
石動營業所 富山縣石動町 所長 梶 喜作
石川支店 金澤市下本多町六番丁十一 電話金澤三六〇〇番
支店長(理事) 廣瀬先一 次長 小林誠之助
營業課長 小林誠之助 庶務課長 熊野 秀一
會計課長 山田 重治 調度課長 大野喜美雄
配電課長 野澤手重平 工務課長 鹽田 喜一
金澤營業所 金澤市下本多町六番丁十一
所長 池田甚太郎
小松營業所 小松市榮町
所長 城 彦三
七尾營業所 七尾市三島町
所長 飯田久太郎
福井支店 福井市日之出下町六二
支店長(理事) 佐伯光太郎
庶務課長 湯淺 卓三 會計課長 湯淺 卓三
調度課長 岩佐 元治 營業課長 高橋 茂
配電課長 織田 純三 工務課長 鶴飼 三郎
福井營業所 福井市日之出下町六二
所長 三時 房治
鯖江營業所 福井縣鯖江町
所長 高野 大眼

敦賀營業所 敦賀市

所長 岡山 五郎

東京事務所 東京市麹町區九ノ内一ノ一 電話九ノ内四六五九番

所長 井出 四郎

庶務課長 森田 一正 調査課長 橋詰 聰

富山電氣鐵道株式會社

富山市中島五三 電話三一六六番

資本金 一、〇〇〇、〇〇〇圓 備込 一、〇〇〇、〇〇〇圓

借入 一、〇〇〇、〇〇〇圓 積立 一、〇〇〇、〇〇〇圓

配當 年五分 決算 五月、十一月

設立 昭和五年二月

社長 佐伯 宗義 專務 鈴木 眞雄

取締役 佐伯 宗 赤間德壽 鐵道次右衛門

監查役 鈴木 眞雄 三川 勝重

支配人 石原正太郎 柴田 平一 牧野平五郎

副支配人 三川 勝重(總務部長兼)

中崎 規矩雄(運輸部長兼)

高橋良太郎(審查課長)

見角 甚六(保護課長兼庶務主任)

熊野 宗一 厚生課長 金山 方象

渡邊駒次郎 同 次長 橋 利恭

田尾治郎吉 事業課長 森 直

白田 直二

中森德男 運輸庶務係主任 藤瀬 博

調查係主任 島山實治 旅客係主任 平井幸生

用度係主任 後岡 一 會計係主任 池田義之助

電燈、力、鐵

北陸 富山電氣鐵道 黒部鐵道 越中鐵道 富山市電軌課

越中鐵道株式會社

富山市鶴島七八一 電話富山四四〇〇番

資本金 一、〇〇〇、〇〇〇圓 備込 一、〇〇〇、〇〇〇圓

借入 一、〇〇〇、〇〇〇圓 積立 一、〇〇〇、〇〇〇圓

利益 一、〇〇〇、〇〇〇圓 決算 一月、七月

開業 大正十二年二月

社長 石原正太郎

專務 高田基四郎

取締役 高橋 眞男 卯尾田毅太郎 六角宇太郎

市川 匡 宮上 善興

監查役 杉山 安造 後藤 清造 大島 重

主任技術者 松本萬治郎

電氣鐵道 起點富山市鶴島七八一終點富山縣射水郡新湊町伏木港二至ル

富山市電軌課

富山市櫻町七七二番地 電話二一七七番

固定資產 一、八八、九三圓

決算 三月

開業 大正二年九月(同九年七月市營トナル)

富山市長 森 勇

技師長 長井 要藏

主任技術者(電氣) 松田千太郎

電軌課長 清水 久孝

軌道(本線) 富山驛前-堀川新驛前間 (支線) 新富町-西町間

北陸

加積電氣株式會社
(東部支線) 西町一東田地方間
(吳羽支線) 郵便局前-吳羽公園間
(宮下線) 櫻橋北詰-赤十字病院角間
電壓 三三〇V(受電) 電車線 六〇〇V
資金 五錢均一 往復 九錢

加積電氣株式會社

富山縣中新川郡北加積村
資本 1,000,000圓
積立 三,000,000圓
配當 年九分
開業 大正九年一月
電壓 最大 三,000V
社長 石坂 弘之
取締役 細田 省吾 赤間 德壽 石坂 博
監査役 生駒 修治 慶野重次郎
主任技術者 瀧 金吾

五箇山電氣株式會社

東京市小石川區小石川町一ノノ十一
資本 100,000圓
決算 三月、九月
代表取締役 山本 善次
取締役 磯野 充賀 中村富士太郎
監査役 木村 彌藏
主任技術者 井口 重平
周波 六〇
供給電燈數 二五六個

片貝谷村營電氣部

富山縣下新川郡片貝谷村役場内
資本 三,五〇〇圓
積立 一,八〇〇圓
收入 二,五〇〇圓
支出 一,八〇〇圓
利益 〇圓
開業 大正十四年六月
主任技術者 山中 久一
村長 三吉助之丞
電壓 最大 三,〇〇〇V 供給 一〇〇V
供給電燈數 七七個

南保村營電氣部

富山縣下新川郡南保村
資本 三,五〇〇圓
積立 一,八〇〇圓
收入 二,五〇〇圓
支出 一,八〇〇圓
利益 〇圓
開業 大正十三年二月
主任技術者 阿部 善一
村長 谷津左衛門
電壓 最大 三,〇〇〇V 供給 一〇〇V
供給電燈數 七四個

日本拓業株式會社

大阪市北區宗是町一
資本 三,〇〇〇,〇〇〇圓
積立 一,〇〇〇,〇〇〇圓
決算 二月、八月
設立 昭和五年三月
發電 水力
電壓 六,〇〇〇V
周波 六〇
專務 松井 喜吾 常務 三井 正之
取締役 松谷 正 内ヶ崎 養五郎 森壽五郎

福井

星野 文二
田中 良男 田畑 謙一
主任技術者 谷川 保

鯖浦電氣鐵道株式會社

福井縣今立郡鯖江町清水五七
電話一四〇番二五六番
資本 1,000,000圓
積立 1,000,000圓
收入 1,000,000圓
支出 1,000,000圓
配當 無
開業 大正十五年十月
社長 福島文衛門
常務 木村 四郎
取締役 井波 三雄 永宮 幾孝 川上 宗二
監査役 桑原 重藏 瀧波 慶助
主任技術者 中村 進 電氣長 梅田 正榮
庶務係長 柿本 一雄 會計係長 三村 繁
運輸長 松山 正治 保線長 齋藤 伊作
電壓 三,〇〇〇V 電車線 六〇〇V
周波 六〇
電車軌道 鯖江-織田間
資金 全線 五錢

水平寺鐵道株式會社

本社 福井縣吉田郡志比谷村志比第五號一五番地
營業所 福井縣坂井郡金津町
電話 金津七三番
資本 1,000,000圓
借入 三,000,000圓
決算 一月、七月
社長 石川芳次郎
取締役 中野 秀孝 坪田 隆亮 三上 芳直
尾上常之助 辻 忠夫
監査役 田中 武彦 中島昌夫 向井十右衛門
山口 利平
主任技術者 辻 忠夫
營業課長 梅津 立根 會計係主任 山口一芳
保線係主任 大西篤志 運輸長 和田文治郎
電壓 電車線 六〇〇V 周波 六〇
軌道 吉田郡志比谷村大木山永平寺ヨリ北陸本線金津驛及三國線ニ連絡

三國芳原電鐵株式會社

福井縣坂井郡三國町喜賀八〇
資本 1,000,000圓
決算 四月、十月
開業 昭和三年十二月
社長 石川芳次郎
常務 中島 昌夫

電燈、力、鐵

北陸

永平寺鐵道
福武電氣鐵道
三國芳原電鐵
丸岡鐵道
溫泉電軌

福武電氣鐵道株式會社

福井縣南條郡武生町北府
電話 六一六番
取締役 田邊 隆二 辻 忠夫 若林源四郎
河本友之助
監査役 岡崎 二郎 西島 佐吉
總務課長 松村 安吉 運輸課長 石橋圭次郎
工務課長 吉弘 則道
主任技術者 高橋 茂
電壓 最大 三,〇〇〇V
電車軌道 福井市、春江、兵庫、芦原溫泉、三國町東尋坊口

溫泉電軌株式會社

石川縣江沼郡山代町山代二ノノ壹
電話 山代表二七番
資本 1,000,000圓
積立 1,000,000圓

丸岡鐵道株式會社

福井縣坂井郡高椋村西瓜屋
電話 一三三番
資本 800,000圓
積立 800,000圓
收入 1,000,000圓
支出 九一二圓
利益 八、〇〇〇圓
配當 年七分
開業 大正四年六月
社長 小原宗太郎
取締役 藤山幸之助 中島 昌夫 八木 鶴太郎
北 甚之助 松田卯三 辻 忠夫
監査役 伊東文太郎 酒井 正造 小原 秀次
主任技術者 長侶八郎 運輸課長 藤屋 多市
電壓 三,〇〇〇V 周波 六〇
電車 軌道 本丸岡-丸岡-西長田間

石川

溫泉電軌株式會社
石川縣江沼郡山代町山代二ノノ壹
電話 山代表二七番
資本 1,000,000圓
積立 1,000,000圓

◇社債 100,000圓
 ◇收入 1,200,000圓
 ◇利益 1,000,000圓
 ◇決算 六月、十二月
 ◇開業 大正二年十一月(供給昭和三年)
 ◇發電 水力
 ◇電壓 最大 11,000V 電車線 600V
 ◇周波 50

◇社債 100,000圓
 ◇收入 1,200,000圓
 ◇利益 1,000,000圓
 ◇決算 六月、十二月
 ◇開業 大正二年十一月(供給昭和三年)
 ◇發電 水力
 ◇電壓 最大 11,000V 電車線 600V
 ◇周波 50

淺野川電氣鐵道株式會社

石川縣河北郡內藤村字向栗崎
 十三番地ノ四九
 電話 栗崎一 番
 ◇資本 4,000,000圓
 ◇借入 1,000,000圓
 ◇收入 1,000,000圓
 ◇利益 1,000,000圓
 ◇決算 一月、七月
 ◇開業 大正十四年五月
 常務 藍元 義範
 取締役 細川 政輝 小堀外喜男 村上 茂松
 東 耕三 新谷 次光

◇社債 100,000圓
 ◇收入 1,200,000圓
 ◇利益 1,000,000圓
 ◇決算 六月、十二月
 ◇開業 大正二年十一月(供給昭和三年)
 ◇發電 水力
 ◇電壓 最大 11,000V 電車線 600V
 ◇周波 50

◇社債 100,000圓
 ◇收入 1,200,000圓
 ◇利益 1,000,000圓
 ◇決算 六月、十二月
 ◇開業 大正二年十一月(供給昭和三年)
 ◇發電 水力
 ◇電壓 最大 11,000V 電車線 600V
 ◇周波 50

金石電氣鐵道株式會社

金澤市中橋町一八一
 電話 一一一四
 ◇資本 1,000,000圓
 ◇借入 1,000,000圓
 ◇收入 1,000,000圓
 ◇利益 1,000,000圓
 ◇決算 六月、十二月
 ◇開業 大正三年八月
 社長 橫井伊佐美
 取締役 松村太二郎 野崎 儀一 辻 鐵次郎

◇社債 100,000圓
 ◇收入 1,200,000圓
 ◇利益 1,000,000圓
 ◇決算 六月、十二月
 ◇開業 大正二年十一月(供給昭和三年)
 ◇發電 水力
 ◇電壓 最大 11,000V 電車線 600V
 ◇周波 50

◇社債 100,000圓
 ◇收入 1,200,000圓
 ◇利益 1,000,000圓
 ◇決算 六月、十二月
 ◇開業 大正二年十一月(供給昭和三年)
 ◇發電 水力
 ◇電壓 最大 11,000V 電車線 600V
 ◇周波 50

池田町電氣部

石川縣石川郡池田町役場内
 電話 四〇番
 ◇資本 1,000,000圓
 ◇開業 大正九年六月
 ◇發電 水力
 ◇電壓 最大 11,000V 供給 11,000V
 ◇周波 50
 町長 酒井甚一郎
 助役 伊藤 助一
 収入役 濱田 重男
 主任技術者 宮村喜太
 供給電電數 5,477個

中國地帶

廣島

中國配電株式會社

本社 廣島市小町三三番地
 電話廣島(中)四、五〇〇番
 ◇資本 10,000,000圓
 ◇借入 10,000,000圓
 ◇開業 昭和十七年四月
 ◇決算 三月、九月
 ◇合併會社
 (出資事業者)
 廣島電氣株式會社、山陽配電株式會社、出雲電氣株式會社、山口縣電氣局
 ◇配電區域 廣島縣、島根縣、岡山縣、山口縣

社長 鈴木 實一
 副社長 午尾 健治 大久保住吉
 理事 牧田孫太郎 木塚 半三 櫻内 乾雄
 濱西 傳次 織田 史郎 信田 新一
 島田 兵藏 新持 馨 宮田 幸吉
 榮谷藤十郎 梅田 雄三 林 治郎
 參與理事 絲原武太郎
 常任監事 稻葉 實
 監事 富田愛次郎
 本店

電燈、力、鐵

中國 中國配電 廣島電氣

秘書課長 倉本 俊雄 考查課長 杉中 道郎
 企畫課長 眞田安夫
 臨時統合課長 海塚彌三郎
 總務部
 總務部長(理事) 牧田孫太郎 次長 石河 徳夫
 總務課長 堀 季七郎 人事課長 坂本 正一
 厚生課長 横川 終治
 經理部
 經理部長(理事) 櫻内乾雄 次長 山崎登太郎
 財務課長 河崎 壽夫 會計課長 樽垣 靜人
 調度課長 志津野賢二
 業務部
 業務部長(理事) 木塚半三 次長 山足 三郎
 業務課長 山本 秀 配電課長 伯野 信夫
 調整課長 細經 一雄
 工務部
 工務部長(理事) 濱西傳次 次長 森脇 小祐
 電氣課長 大野 實一 工務課長 木村 一男
 給電課長 友田 實 土木課長 味野 稔

山口支店 山口市新道 次長 足立 文男
 支店長(理事) 信田新一 工務課長 平田 隆輔
 庶務課長 坂本 信次 廣島支店 廣島市小町三三
 支店長(理事) 新持 馨 次長 山本 勇
 庶務課長 河本 幸咲 經理課長 濱西 正雄
 業務課長 宇都宮敏重 工務課長 山村 城造
 岡山支店 岡山市上西川町一五
 支店長(理事) 榮谷藤十郎 次長 未定
 庶務課長 富田 匡徳 經理課長 井上若之進

業務課長 富田 匡徳 工務課長 三宅 豊
 鳥居支店 松江市母衣町一五
 支店長(理事) 島田兵藏 次長 須藤 啓義
 庶務課長 佐野 廣 經理課長 永岡 季春
 業務課長 金森 房義 工務課長 井上 太郎
 姫路支店 姫路市西紺屋町一二
 支店長(理事) 梅田雄三 次長 佐野 侃二
 庶務課長 横山 正實 經理課長 木村 武男
 業務課長 廣野 卓 工務課長 植田喜一郎
 神戸事務所 神戸市神戸區江戶町九五
 所長(理事) 林 治郎
 東京出張所 東京市日本橋區通二ノ七ノ四
 所長 山田 金男
 電話日本橋五〇九一番

廣島電鐵株式會社

廣島市千田町三ノ八二八
 電話中三四八〇番
 ◇資本 7,500,000圓
 ◇借入 1,000,000圓
 ◇開業 昭和十七年四月
 ◇決算 三月、九月
 (廣島瓦斯電氣株式會社ヨリ交通部門下承継設立)
 社長 山口 吾一
 常務 伊藤 信三
 取締役 多山恒次郎 藤野 七藏 林 利平
 荒川正太郎 中邑 元
 田村秀太郎 福田 慶造 三宅 太郎
 監査部長 伊藤 信之 總務部長 中邑 元

運輸部長 福原 五 技術部長 高橋英次
庶務部長 川崎 馨 經理部長 竹島 淺吉
倉庫部長 白木 正章 勞務部長 倉本 剛三
運轉部長 福原 孟 自動車部長 伊倉豊久
電氣部長 二宮 義一 車輛部長 金友 正信
土木部長 太田源太郎
主任技術者 二宮 義一
◇軌道(廣島市内)五錢均一
◇鐵道(西廣島—電車宮島)二區 五錢 片道 五錢
◇乘合自動車(廣島市内)七錢均一

廣南電氣軌道株式會社

吳市本通三丁目二五ノ二
◇資本 1,000,000圓
◇借入 1,400,000圓
◇積立 400,000圓
◇收入 200,000圓
◇支出 200,000圓
◇利益 100,000圓
◇配當 年七分
◇決算 三月、九月
社長 松本勝太郎
專務 海田千代松 常務 永井 喜平
取締役 林 利平 井上 知道 山岡多太郎
勝田 友彦 佐々木英夫
監査役 每本 俊藏 盛井 秀雄 水野 禮三
原山直兵衛
總務課長 新谷 勝 運輸課長 田代 藤吉
電氣課長 青木 昌夫 工務課長 梅田 晋一
電氣主任 早澤 一郎 車輛課長 田中 穆
主任技術者 青木 昌夫
◇電壓 最大 2,000V 電車線 600V ◇周波 50

◇軌道 吳市内
◇乘合 自動車

尾道鐵道株式會社

廣島縣尾道市栗原町三二五ノ二
電話 一六七番
◇資本 1,100,000圓
◇借入 550,000圓
◇積立 550,000圓
◇決算 三月、九月
◇開業 大正十四年十一月
◇發電 汽力 ◇周波 50
◇電壓 最大 2,000V 電車線 600V
社長 橋本 龍一
取締役 小西 常吉 森 盛一郎 鳥居 哲
天野常次郎
監査役 米田 吉郎 小林徳太郎
主任技術者 水ノ上 吉太郎
庶務會計用度課長 土生 充吉
◇軌道 尾道市、美ノ郷村、木ノ庄村、市村
◇貨金 全線 四錢

大崎電氣株式會社

廣島市大手町八ノ一四一
電話 一五〇五番
◇資本 1,000,000圓
◇借入 500,000圓
◇積立 500,000圓
◇決算 十二月
◇開業 大正七年二月
◇發電 內燃力 ◇周波 50

◇電壓 2,000V 供給 100—100V

竹仁村電氣部

廣島縣豐田郡竹仁村
◇資本 300,000圓
◇積立 200,000圓
◇收入 200,000圓
◇支出 200,000圓
◇利益 100,000圓
◇決算 三月
◇發電 水力 ◇周波 50
◇電壓 最大 2,000V 供給 100—200V
主任技術者 塚本 三郎
供給電燈數 1,800個

久芳村電氣部

廣島縣豐田郡久芳村
◇資本 250,000圓
◇借入 200,000圓
◇積立 50,000圓
◇開業 大正十五年七月
◇發電 水力 ◇周波 50
◇電壓 最大 2,000V 供給 100—200V
村長 杉原 謙一
供給電燈數 1,800個

根野村電氣部

廣島縣高田郡根野村
電話 上根一番
◇資本 3,000圓
◇借入 1,600圓
◇開業 大正十五年四月
◇發電 水力 供給 100V ◇周波 50
◇電壓 最大 2,000V
村長 森田俊左久
主任技術者 佐伯 謙吉 技術員 三笠 代吉
供給電燈數 1,100個

鳥取

伯陽電鐵株式會社

米子市道笑町三ノ一六九
電話 六五〇番
◇資本 1,150,000圓
◇借入 800,000圓
◇積立 1,000,000圓
◇收入 700,000圓
◇支出 400,000圓
◇開業 大正十三年七月
◇決算 四月、十月

電燈、力、鐵

中國 ◇根野村電氣部 ◇伯陽電鐵 ◇一畑電氣鐵道 ◇廣瀨鐵道

島根

一畑電氣鐵道株式會社

島根縣簸川郡平田町三二二六番地
電話 平田三〇番
◇資本 2,200,000圓
◇借入 1,000,000圓
◇積立 1,200,000圓
◇決算 四月、十月
◇開業 明治四十五年四月(電化昭和二年十月)
社長 板倉 隆治
專務 五十嵐三郎
取締役 加藤 佳吉 岩成 繁 竹原 熊重
土谷連之助 泉 得一郎 持田 邦藏
監査役 曾田 庸雄 植田 元確 福田 稻夫

社長 松本 精
專務 松田 はる 常務 景山伴三郎
取締役 幡原文次郎 森田忠三郎
渡邊 義雅 木野吉兵衛 門脇 とよ
監査役 景山 永吉 内田久太郎 長谷川寛一郎
石崎清一
主任技術者 岡島觀悟郎
◇電壓 最大 2,000V 電車線 600V ◇周波 50
◇電車軌道 米子市ヨリ法勝寺及阿賀ヨリ母里
◇乘合 自動車

廣瀨鐵道株式會社

島根縣能義郡廣瀨町字廣瀨
◇資本 250,000圓
◇借入 150,000圓
◇開業 昭和三年七月
社長 眞先啓太郎
取締役 桑原 信成 増田榮四郎 後藤熊太郎
今井 萬吉 小倉 將一
監査役 古山勘左衛門 小田 耕 荒川 友一
後藤彌太郎 原田 甚市
主任技術者 林原 良
◇電壓 3,000V ◇周波 50
◇連帶運輸 鐵道省線荒島ニテ連帶運輸
◇鐵道 能義郡荒島村—廣瀨町

隱岐電氣株式會社

本社 米子市西町二九番地
電話 四五七番
營業所 島根縣周吉郡西郷町
◇資本 300,000圓 ◇積立 100,000圓

中國

島前電氣 嶺原村電氣部 匹見上村電氣部 都茂村電氣部

六二

積立 三、三〇〇圓
收入 三〇、七二〇圓
利益 五、六八〇圓
決算 三月、九月
開業 大正元年十一月
發電 內燃力 周波 一〇〇
電壓 最大 三、三〇〇V 供給 一〇一—二〇〇V
社長 坂口 武市
事務 岡空林太郎
取締役 新持 馨 植村善太郎 鶴鶴 義夫
小室實三郎 神庭 政七
監査役 奥村 嘉吉 坂口平兵衛 阪口 良吉
濱田 六一
主任技術者 有馬 義徳
供給電燈數 三、〇三九個

嶺原村電氣部
島根縣飯石郡嶺原村
電話 嶺原四番
固定資本 七四、四八〇圓
收入 一三、七四〇圓
利益 五、三三〇圓
決算 三月
開業 大正十二年十月
發電 水力 周波 〇
電壓 最大 三、三〇〇V 供給 三〇—一〇〇V
代表者 村長 渡邊正人 主任技術者 松川房人
供給電燈數 三、〇〇〇個

來島村電氣部
島根縣飯石郡來島村
電壓 最大 三、三〇〇V 供給 三〇—一〇〇V
村長 廣兼 重年 主任技術者 田中健四郎
供給電燈數 九六個

島前電氣株式會社
島根縣知夫郡黒木村宇美田
積立 三、三〇〇圓
收入 三〇、七二〇圓
利益 五、六八〇圓
決算 三月、九月
開業 大正元年十一月
發電 內燃力 周波 一〇〇
電壓 最大 三、三〇〇V 供給 一〇一—二〇〇V
社長 坂口 武市
事務 岡空林太郎
取締役 新持 馨 植村善太郎 鶴鶴 義夫
小室實三郎 神庭 政七
監査役 奥村 嘉吉 坂口平兵衛 阪口 良吉
濱田 六一
主任技術者 有馬 義徳
供給電燈數 三、〇三九個

匹見上村電氣部
島根縣美濃郡匹見上村
積立 三、三〇〇圓
收入 三〇、七二〇圓
利益 五、六八〇圓
決算 三月、九月
開業 大正十五年五月
發電 水力 周波 〇
電壓 最大 三、三〇〇V 供給 一〇一—二〇〇V
主任技術者 田中健四郎
都茂村電氣部
島根縣美濃郡都茂村
積立 三、三〇〇圓
收入 三〇、七二〇圓
利益 五、六八〇圓
決算 三月、九月
開業 大正十五年五月
發電 水力 周波 〇
電壓 最大 三、三〇〇V 供給 一〇一—二〇〇V
主任技術者 田中健四郎

都萬村電氣部
島根縣隱地郡都萬村役場
電話 都萬村一番
積立 三、三〇〇圓
收入 三〇、七二〇圓
利益 五、六八〇圓
決算 三月
開業 大正十五年九月
發電 水力 內燃力 周波 〇
電壓 最大 三、三〇〇V 供給 一〇〇V
管理者 村長 古川彌太郎
電氣書記 山根 譽男 主任技術者 齊藤 昌
供給電燈數 五二八個

中村電氣部

島根縣周吉郡中村

積立 三、三〇〇圓
收入 三〇、七二〇圓
利益 五、六八〇圓
決算 三月
開業 昭和五年六月
發電 水力 周波 〇
電壓 最大 三、三〇〇V
村長 若澤保次郎
主任技術者 井上 勇
供給電燈數 五〇〇個

榮谷藤十郎 大原 五一
支配人 妹尾 敦
監査役 徳田喜久松 井上三之助 武藤 泰太
主任技術者 伊藤善之助
運輸課長 山崎猪太郎 技師 青木 隆義
電壓 最大 三、三〇〇V 電車線 三三〇V 周波 〇
電車軌 道岡山市内
貨金 全線六區一區錢 二區五錢 三區七錢
中國稻荷山鋼索鐵道株式會社
岡山縣吉備郡高松町稻荷
電話 二四番
積立 一〇〇、〇〇〇圓
收入 一、七〇〇圓
利益 二、七二〇圓
決算 九月
開業 昭和四年二月
社長 池田 泰親 事務 龜山 章一
取締役 榮谷藤十郎 永田幸之助 金谷 一二
監査役 流尾 益一 井上 靜一
主任技術者 小川 春男
電壓 最大 三、三〇〇V 周波 〇
鋼索 稻荷山麓ヨリ頂上間
貨金 片道一五錢 往復二五錢

借入 六、五〇〇圓
收入 三〇、八〇〇圓
利益 三、八〇〇圓
決算 六月、十二月
開業 大正十四年九月
發電 受電
電壓 最大 三、三〇〇V 供給 三〇—一〇〇V 周波 〇
社長 長尾 定治
取締役 太田剛太郎 奥田 常吉 樋口 幸太
山本 信一 兼支配人 片山 治平
監査役 山本 憲二 吉村彌太郎 太田 完
山本 熊太
主任技術者 黒田 爲壽
供給電燈數 三、六九個

岡山

岡山電氣軌道株式會社

岡山市門田九五番地
電話六、七二一・六、七二二

積立 一、〇〇〇、〇〇〇圓
收入 一、〇〇〇、〇〇〇圓
利益 五、九、四〇〇圓
決算 四月、十月
開業 明治四十五年五月
社長 日笠謙太郎
取締役 尾谷半三郎 星島義兵衛 藤田 聯藏

北木電氣株式會社
岡山縣小田郡北木島八七九九
電話 一四番
積立 一〇〇、〇〇〇圓
收入 一、七〇〇圓
利益 二、七二〇圓
決算 九月
開業 昭和四年二月
社長 池田 泰親 事務 龜山 章一
取締役 榮谷藤十郎 永田幸之助 金谷 一二
監査役 流尾 益一 井上 靜一
主任技術者 小川 春男
電壓 最大 三、三〇〇V 周波 〇
鋼索 稻荷山麓ヨリ頂上間
貨金 片道一五錢 往復二五錢

山口

山陽電氣軌道株式會社

下關市大字大坪一四〇番地
電話 三三九・三六〇・三九七

積立 一、〇〇〇、〇〇〇圓
收入 一、〇〇〇、〇〇〇圓
利益 五、九、四〇〇圓
決算 四月、十月
開業 明治四十五年五月
社長 日笠謙太郎
取締役 尾谷半三郎 星島義兵衛 藤田 聯藏

山陽電氣株式會社
積立 一〇〇、〇〇〇圓
收入 一、七〇〇圓
利益 二、七二〇圓
決算 九月
開業 昭和四年二月
社長 池田 泰親 事務 龜山 章一
取締役 榮谷藤十郎 永田幸之助 金谷 一二
監査役 流尾 益一 井上 靜一
主任技術者 小川 春男
電壓 最大 三、三〇〇V 周波 〇
鋼索 稻荷山麓ヨリ頂上間
貨金 片道一五錢 往復二五錢

借入 一、〇〇〇、〇〇〇圓
收入 一、〇〇〇、〇〇〇圓
利益 五、九、四〇〇圓
決算 四月、十月
開業 明治四十五年五月
社長 日笠謙太郎
取締役 尾谷半三郎 星島義兵衛 藤田 聯藏

◆配當 年七分
 ◆開業 昭和元年十二月
 社長 內田 重成 專務 松永 幸作
 常務 山田 英吉 林 佳介
 取締役 林 米吉 河村 光藏 田子 富彦
 武藤 作次 高良 宗七
 監査役 山本節次郎 費邊 力 田上 孫作
 顧問 藤井 啓一
 主任技術者 鳥越 武夫
 ◆電壓 最大 2,100V ◆電車線 300V ◆周波 50
 ◆電車軌道(開業線)
 山口縣下關市長府驛—同唐戸町—東下關驛—橋生驛 同唐戸町—同西細江町
 一區間 三錢均一 全線 四五錢(十五區)
 ◆未開業線 自山口縣長府驛至同小月町
 ◆營業事業 自動車、川棚温泉經營

宇部鐵道株式會社

宇部市 中宇部九一
 電話 一一一八番
 ◆資本 2,100,000圓
 ◆借入 3,000,000圓
 ◆收入 2,600,000圓
 ◆利益 1,000,000圓
 ◆決算 五月、十一月
 ◆開業 昭和四年十一月(電車)
 ◆合併 宇部電氣鐵道株式會社
 社長 高良 宗七
 取締役 加藤 亮吉 名和田 正 西村 策朗
 國吉 信義 渡邊 剛二

藤生村管電氣部

山口縣阿武郡藤生村字御堂原
 電話 藤生 一番
 ◆資本 50,000圓
 ◆支出 9,732圓
 ◆決算 三月
 ◆發電 水力
 ◆電壓 2,100V ◆周波 50
 村長 口羽宗次郎 主任技術者 茶屋 高次
 ◆供給電燈數 1,230個

九州地帶

福岡

九州配電株式會社

本社 福岡市天神町五八番地
 電話 四三三三番、四三三番
 ◆資本 30,000,000圓
 ◆社債 20,000,000圓
 ◆開業 昭和十七年四月
 ◆合併會社 (指定會社)
 九州水力電氣株式會社、九州電氣株式會社
 (出資事業者)
 東邦電力株式會社、日本水電株式會社
 配電區域 熊本縣、長崎縣、福岡縣、大分縣、佐賀縣、宮崎縣、鹿兒島縣、沖繩縣

社長 坂内 義雄
 副社長 木村平右衛門
 理事 眞貝 貫一 西山 信一 奥村 茂敏
 櫻田 啓治 喜久田 又一郎 池田 常二
 櫻井 啓三 色川 干城 大原 雅一
 渡邊 喬 青木 誠之 佐藤篤二郎
 伊丹 三郎
 參與理事 上野喜左衛門 田邊九萬三
 常任監事 福井 正治

電燈、力、鐵

九州 ◆九州配電

監事 古莊健治郎 八塚秀二郎 井上 多助
 井手 徳一
 ◆本社
 社長 室 山崎 利秋 考查課長 西澤 信一
 連絡課長 菅 吉男 給電課長(理事) 磯田啓治
 企劃課長(理事) 青木誠之
 研究課長 國宗 晉 統合課長 小山 隆
 臨時統合研究所長 國宗 晉
 總務部
 總務部長(理事) 西山 信一 次長(理事) 櫻井 啓三
 總務課長 永松 靜修 人事課長 平塚 泰藏
 株式課長 岡澤房太郎 更生課長 宮村 格二
 養成課長 中村清太郎
 經理部
 經理部長(理事) 眞貝 貫一 次長 菱山 芳造
 會計課長 阿部 功一 財務課長 藤原 勉之
 調度課長 佐藤 保彦
 業務部
 業務部長(理事) 色川 干城 次長(理事) 佐藤篤二郎
 庶務課長 北村 廣治 營業課長 高田保太郎
 配電課長 増田 喜夫
 工務部
 工務部長(理事) 池田常二 次長(理事) 大原雅一
 工務課長 金子 義憲 電氣課長 田中 久作
 土木課長 森田 正敏
 ◆支店
 小倉支店 小倉市京町三五八ノ二
 支店長(理事) 吳村茂敏 電話小倉二六三七番
 次長 金子 定一

總務課長 吉田 利彦 經理課長 和田 豊秋
 特約課長 原 種治 營業課長 矢野 隼夫
 配電課長 小川 敬治
 福岡支店 福岡市渡邊通二ノ三五
 電話 西七三五番
 支店長(理事) 伊丹三郎 次長 島崎 哲夫
 總務課長 中西 弘次 經理課長 大島 雅彦
 營業課長 伊丹亮三郎 配電課長 岡本 督
 熊本支店 熊本市紺屋今町四六
 電話 熊本三三番、一五番
 支店長(理事) 渡邊 喬 次長 余田 焦次
 總務課長 沼田 實 經理課長 今村 寛
 營業課長 草野 清 配電課長 三隅 隆任
 佐賀支店 佐賀市唐人町一四四
 電話 佐賀五一番、五一〇番
 支店長 植木 丑雄 次長 神津 眞人
 總務課長 藤原 定一 經理課長 兒島 節二
 營業課長 富田 耕三 配電課長 田口 芳一
 鹿兒島支店 鹿兒島市六日町三二
 電話 鹿兒島三番、二〇〇番
 支店長 大竹 忠一 次長 浦 知十
 總務課長 江良 清人 經理課長 古川内藏太
 營業課長 福迫 操 配電課長 隅元 正義
 宮崎支店 宮崎市上野町一ノ七五
 電話 宮崎三三番、三三三番
 支店長 和田 冬生 次長 喜多岡 勇
 總務課長 山脇貞太郎 經理課長 中山 高敏
 營業課長 田鍋 馨 配電課長 田中 清
 大分支店 大分市大字大分二七一五
 電話 大分一、二四番

九州 九州配電

九州電氣軌道

六六

支店長(理事)喜久田又一郎 次長 堀川 豐弘
 總務課長 青山 琢 經理課長 合澤 千歲
 營業課長 未定 配電課長 藤 貞雄
 長崎支店 長崎市長崎町三〇ノ九
 電話長崎二、九〇〇番
 支店長 相川 權一 次長 山田 勝清
 總務課長 伊藤 定 經理課長 原 清治
 營業課長 橋本 武 配電課長 陶山 久一
 營業所
 小倉營業所、門司營業所、八幡營業所、戸畑營業所、若松營業所、直方營業所、後藤寺營業所、飯塚營業所、行橋營業所、二日市營業所、羽犬塚營業所、博多營業所、久留米營業所、大牟田營業所、長崎營業所、大村營業所、佐世保營業所、佐賀營業所、唐津營業所、武雄營業所、熊本營業所、八代營業所、高瀬營業所、船橋營業所、山鹿營業所、御設營業所、大津營業所、天草營業所、人吉營業所、宮崎營業所、延岡營業所、佐伯營業所、大分營業所、竹田營業所、別府營業所、中津營業所、日田營業所
 工務所
 北部工務所 所長 鬼木 高之
 西部工務所 所長 神武 憲彦
 南部工務所 所長 興津 吉武
 東京出張所 東京市麹町區丸ノ内三ノ二
 電話丸ノ内二七〇八番
 所長 中島 三郎

資本 三〇〇,〇〇〇圓
 借入 八八,〇〇〇圓
 利益 一,〇八五,八八圓
 配當 年七分
 決算 五月、十一月
 開業 明治四十一年十二月
 合併 小倉電氣軌道(昭和十七年二月)
 社長 村上 巧兒
 常務 坂本 猛
 取締役 野田勢次郎 小倉根貞松 安川第五郎
 竹岡 陽一
 監査役 藤生義之介 荻野清太郎 長野安太郎
 相談役 太田黒重五郎
 電務課長 古賀 徹 事業課長 高橋 忠雄
 工務課長 白石 虎雄 庶務課長 田中 二夫
 文書課長 馬場 融造 勞務課長 白根 運夫
 經理課長 廣石 斌 調査課長 黒崎安太郎
 車輦課長 進藤 壽雄 電氣課長 杉原 市郎
 企劃課長 笹田 幸治 自動車課長 吉原秀夫
 營業所 東京出張所 所長 西 亦次郎
 電車軌道 門司市一遠賀郡折尾町間 小倉大門
 一戸畑市間、八幡中央區一戸畑市間、小倉大門
 一八幡市中央區間
 九州鐵道株式會社
 福岡市天神町五八番地
 電話西四四〇番
 資本 一五〇,〇〇〇圓
 借入 七,〇〇〇,〇〇〇圓
 利益 七三,五〇〇圓

配當 年七分
 決算 三月、九月
 開業 大正十三年四月
 合併 大正十三年六月三井電氣軌道、昭和九年六月大宰府軌道、筑紫運輸、大保土地、昭和十二年五月大川鐵道、昭和十四年十一月連絡自動車、昭和十六年三月大牟田電氣軌道
 社長 村上 巧兒
 副社長 橋本 直幹
 取締役 古川與四吉 西山 信一 大島小太郎
 富安 重行 岩永祝三 武石武右衛門
 坂本 猛 西島 庸夫 繁澤 三野
 福田芳太郎 堀 三太郎 井手 徳一
 監査役 石橋徳次郎 荻野清太郎
 相談役 松永安左衛門
 庶務課長 古賀 利雄 厚生課長 古賀 猛
 會計課長 後藤 明 統計課長 井土 敏
 調度課長 廣松 新吉 電燈課長 田中 武夫
 鐵道部長 砥上 正教 自動車部長 惠利 乙
 電氣部長 坪井 壽雄 土木部長 岡本 丈夫
 土地部長 波多江藤太
 電壓 一、五〇〇V及三〇〇V
 鐵道 福岡一大牟田間、二日市-大宰府間、大善寺-櫻津間-津福-上久留米間
 軌道 甘木-福島間 旭町-四ツ山間
 資金 鐵道一區一錢 全線三區 二圓二錢
 軌道一區二錢 全線三區 六錢

博多灣鐵道汽船株式會社

福岡縣糟屋郡香椎村濱男
 電話福岡東二四八番
 資本 六、七〇〇,〇〇〇圓
 借入 七、七〇〇,〇〇〇圓
 利益 七、八六三圓
 決算 三月、九月
 開業 蒸氣鐵道 明治三十七年一月
 電氣鐵道 昭和四年八月
 社長 太田 清藏
 專務 岸田恒太郎
 常務 元松 直人
 取締役 太田辯次郎
 取締役支配人 八尋 武彦
 監査役 井尻 芳郎 太田 凱夫
 電氣主任技術者 田中 五夫
 電壓 最大一、〇〇〇V 電車線一、五〇〇V
 電氣 福岡市-宗像郡津屋崎町宮地間
 汽鐵 粕屋郡西戸崎ヨリ同郡宇美町間及酒殿旅石間

九州火力發電株式會社
 本社 東京市日本橋區室町三丁目一ノ一
 電話日本橋二二三三・二二三三
 福岡縣大牟田市有明町六
 三池出張所
 社長 村上 巧兒
 取締役 安川第五郎 淺尾新十郎 植山 修郎
 坂本 猛 木村 重吉 立石 行雄
 監査役 高田源次郎
 主任技術者(電氣)植山修郎(土木)湯池茂樹
 電車軌道 福岡市内
 資金市内 五錢均一
 資本 六〇,〇〇〇,〇〇〇圓
 借入 一、一八五,〇〇〇圓
 利益 五、〇〇〇,〇〇〇圓
 決算 昭和十年一月
 配當 年七分
 電壓 火力 一、〇〇〇V
 電氣 六、〇〇〇V 一、〇〇〇V
 會長 川島 三郎
 常務 平井 宜英
 取締役 林 新作 田邊文之助 田代 壽雄
 福井 正治 坂本 健一 川島 親生
 監査役 石野 斐夫 辻 彌一郎
 相談役 池尾 芳藏
 (本店)
 總務部長 平井 宜英 工務部長 坂本 健一
 業務課長 吉村正太郎 會計課長 三砂眞三郎
 建設課長 倉田長右衛門 技術課長 青木 茂
 (三池出張所)
 所長 川島 親生(主任技術者)

若松市營電氣軌道
 福岡縣若松市外町一丁目若松市役所内
 電話一、二〇〇圓
 市債 三、六、七〇〇圓
 開業 昭和十一年五月
 管理者市長 柳川精四郎 助役 木本 新一
 運輸課長技術 山縣武彦(主任技術者)
 電車係長 柴田 實
 電壓 電車線 三〇〇V
 軌道 若松市中川通一、二、一七、八丁目
 同 昭和通一、同外町七、八丁目
 同 中川通七丁目一、同昭和通四、五丁目一、清埋立地
 同 新地二丁目一、築地町若松埠頭
 同 元海岸通一若松埠頭内
 三潯郡北部普通水利組合
 福岡縣三潯郡安武村安武本
 電話 荒木九番
 固定資産 一、一〇五、七六圓
 借入 三、三、四二圓
 收入 三、〇七五圓
 支出 六、六八圓
 繰越金 三、三三九圓
 決算 五月
 開業 大正十四年一月
 發電 水力 電壓 最大一、五〇〇V
 管理者 江上村長 島 辰生
 主任技術者 赤羽 善治

電燈、力、鐵

九州

博多灣鐵道汽船 福岡電車 九州火力發電
 若松市營電氣軌道 三潯郡北部普通水利組合

六七

九州 株式會社幸袋工作所

福岡縣嘉穂郡幸袋町二一五 電話代表飯塚長一八

- ◇資本 1,500,000圓(鐵工業共)
- ◇拂込 1,500,000圓
- ◇積立 1,500,000圓
- ◇決算 五月、十一月
- ◇開業 明治四十三年四月
- ◇電壓 最大3,000V 供給50-100V
- ◇周波 50
- 社長 伊藤傳右衛門
- 事務(技師)長 林 頼太郎 常務 堀井 勝吉
- 取締役 藤生太賀吉 安川 寛
- 監査役 中野 次郎 山口 幸平
- 總務部長 正木 直 經理部長(兼)堀井勝吉
- 營業部長 今村與三太郎 工務部長 三砂 季人
- 設計部長 中野吉之助 製作部長 元廣 要
- 研究部長(兼) 林 頼太郎
- 電氣營業部長(兼) 堀井 勝吉
- 主任技術者 齊戸 勝美
- 供給電燈數 三、〇〇六個

長崎

長崎電氣軌道株式會社

長崎市出來大工町四三 電話一五二〇番

- ◇資本 2,500,000圓
- ◇拂込 2,500,000圓
- ◇積立 2,500,000圓
- ◇收入 7,600,000圓
- ◇支出 5,800,000圓
- ◇配當 年八分
- ◇開業 大正三年八月
- ◇電壓 最大3,000V 供給50-100V
- ◇周波 50
- 社長 山田 廉治
- 事務 脇山 勘助
- 取締役 櫻木 亮三 澁谷辰三郎 藤野 光輔
- 監査役 山野邊實雄 服部卯三郎
- 主任技術者(電氣課長) 堀之内吉清
- 支配人 淺田 重夫 運輸課長 平田 竹松
- 電壓 最大3,000V 電車線50V
- 電車軌道 長崎市內
- 貨金 片道六錢 往復二錢(均一制)

五島電燈株式會社

本社 熊本縣球磨郡人吉町字五日町 電話六三三番

- ◇資本 200,000圓
- ◇拂込 200,000圓
- ◇積立 200,000圓
- ◇收入 3,000,000圓
- ◇支出 2,500,000圓
- ◇配當 年一割
- ◇開業 大正五年十一月
- ◇電壓 最大2,000V 供給100-100V
- ◇周波 50
- 社長 山田 廉治
- 事務 脇山 勘助
- 取締役 櫻木 亮三 澁谷辰三郎 藤野 光輔
- 監査役 山野邊實雄 服部卯三郎
- 主任技術者(電氣課長) 堀之内吉清
- 支配人 淺田 重夫 運輸課長 平田 竹松
- 電壓 最大3,000V 電車線50V
- 電車軌道 長崎市內
- 貨金 片道六錢 往復二錢(均一制)

西彼電氣株式會社

本社 長崎縣西彼杵郡瀬戸町 電話瀬戸二〇番

- ◇借入 500,000圓
- ◇積立 500,000圓
- ◇開業 大正二年四月
- ◇電壓 3,000V 供給50-100V
- ◇周波 50
- 社長 兒玉 正
- 取締役 近藤 眞一 小野 辰太 兒玉勝之助
- 增井千之助
- 監査役 勝間田二見 坂内 文治
- 主任技術者 滿田 盛藏
- 供給電燈數 一三、二四五個

壹岐電燈株式會社

長崎縣壹岐郡田河村 電話蘆邊三九番

- ◇資本 300,000圓
- ◇拂込 300,000圓
- ◇積立 300,000圓
- ◇收入 3,000,000圓
- ◇支出 2,500,000圓
- ◇配當 年三分
- ◇開業 大正五年一月
- ◇電壓 最大2,000V 供給100V
- ◇周波 50
- 社長 服部卯三郎
- 事務 山田 廉治
- 取締役 田崎 重郎 山田吉太郎
- 監査役 諸熊 武治 山田 博吉
- 主任技術者 武藤 近 營業課長 春明久二郎

野母電燈株式會社

長崎市本博多町四七 電話二五〇番

- ◇資本 40,000圓
- ◇拂込 40,000圓
- ◇積立 40,000圓
- ◇收入 3,000,000圓
- ◇支出 2,500,000圓
- ◇配當 年一割
- ◇開業 大正五年十一月
- ◇電壓 最大2,000V 供給100-100V
- ◇周波 50
- 社長 村木 信一
- 事務 村木 嘉作 長井 忠良
- 取締役 村木 嘉作
- 監査役 黒田 榮六
- 主任技術者 橋本勇太郎
- 供給電燈數 四、三二個

宇久電氣株式會社

長崎縣北松浦郡平村三〇三三

- ◇資本 100,000圓
- ◇拂込 100,000圓
- ◇積立 100,000圓
- ◇收入 1,500,000圓
- ◇支出 1,100,000圓
- ◇配當 年三分三厘
- ◇開業 大正九年三月
- ◇電壓 最大2,000V 供給100V
- ◇周波 50
- 社長 古川 虎作
- 事務 宮崎武三郎
- 取締役 小西友三郎 山田 民藏 高澤 八郎
- 監査役 戸田 梅重 月川綱次郎 山田 基平
- 西岡倉之助

奈良尾電氣株式會社

長崎縣南松浦郡奈良尾村

- ◇資本 20,000圓
- ◇拂込 20,000圓
- ◇積立 20,000圓
- ◇收入 2,000,000圓
- ◇支出 1,800,000圓
- ◇配當 年三分
- ◇開業 大正十二年六月
- ◇電壓 最大2,000V 供給100V
- ◇周波 50
- 社長 松山美右衛門
- 事務 江頭寅三郎、平山志馬吉、戸田 清
- 取締役 江頭寅三郎、平山志馬吉、戸田 清
- 監査役 津田小右衛門
- 主任技術者 櫻村丈太郎 高村松三郎 本村 一雄
- 供給電燈數 一、七五個

内海電氣株式會社

長崎縣西彼杵郡長浦村長浦郷

- ◇資本 300,000圓
- ◇拂込 300,000圓
- ◇積立 300,000圓
- ◇收入 3,000,000圓
- ◇支出 2,500,000圓
- ◇配當 年三分
- ◇開業 昭和三年五月
- ◇電壓 最大3,000V 供給100V
- ◇周波 50
- 社長 旗次郎(主任技術者)
- 事務 森 旗次郎
- 取締役 志田 清一 朝長 鶴市 田島 精一
- 監査役 堀 常一 溝口 競
- 朝長 乾造 青木 辰夫 石橋 直衛

對馬電氣株式會社

長崎縣上縣郡佐須奈村 電話一九番

- ◇資本 100,000圓
- ◇拂込 100,000圓
- ◇積立 100,000圓
- ◇收入 1,500,000圓
- ◇支出 1,100,000圓
- ◇配當 年三分
- ◇開業 大正十四年十一月
- ◇電壓 最大2,000V 供給100-100V
- ◇周波 50
- 社長 中川 慎一
- 事務 小茂田英治
- 取締役 早田 晴夫
- 監査役 小宮 五郎 畑島 治吉
- 主任技術者 岩崎 秀男
- 發電所主任 柳本 茂

電燈、力、鐵

九州 對馬電氣

野母電燈

宇久電氣

奈良尾電燈

内海電氣

九州

廣田 寅一
電燈 最大 三、三〇〇 供給 一〇〇 周波 六

崎戸町電氣部

長崎縣西彼杵郡崎戸町
電燈 最大 三、三〇〇 供給 一〇〇 周波 六

上波佐見町電氣部

長崎縣東彼杵郡上波佐見町役場内
電燈 最大 三、三〇〇 供給 一〇〇 周波 六

生月村電氣部

長崎縣北松浦郡生月村
電燈 最大 三、三〇〇 供給 一〇〇 周波 六

香焼村電氣部

長崎縣西彼杵郡香焼村役場内
電燈 最大 三、三〇〇 供給 一〇〇 周波 六

下波佐見村電氣部

長崎縣東彼杵郡下波佐見村役場
電燈 最大 三、三〇〇 供給 一〇〇 周波 六

奈留島村電氣部

長崎縣南松浦郡奈留島村
電燈 最大 三、三〇〇 供給 一〇〇 周波 六

熊本電氣軌道株式會社

本社 東京市駒町丸の内二ノ四
電話九ノ内一六五六番

熊本

熊本電氣軌道株式會社
本社 熊本市平島町一ノ番地

湯島電氣株式會社

本社 大分縣大野郡犬飼町大字大飼七
電話九ノ内一六五六番

北天草電氣株式會社

本社 熊本縣天草郡湯島村
電話九ノ内一六五六番

電燈、力、鐵

九州

九州
電燈、力、鐵
九州

電燈、力、鐵

電燈、力、鐵
九州

九州

旭ペンベルグ絹絲株式會社
大阪市北區宗是町一
電話土佐堀四九〇二番

資本金 3,000,000圓
借入 1,000,000圓
開業 昭和六年五月
社長 野口 進

別府大分電鐵

別府大分電鐵株式會社
大分市大字勢家一三三七番地
電話一〇七九・一一四二

資本金 2,000,000圓
借入 1,000,000圓
開業 昭和二年七月
社長 村上 巧兒

大分

支出 一七、六〇圓
利益 一八圓
開業 昭和五年五月
社長 山田 英三

資本金 3,000,000圓
借入 1,000,000圓
開業 大正九年九月
社長 野上秋太郎

大野水力電氣株式會社

大分縣大野郡大洞町七七
電話 五 番
資本金 100,000圓
借入 110,000圓

東豐電氣株式會社

大分縣東國東郡竹田津町
電話 八、五〇圓
資本金 100,000圓
借入 106,350圓

上井田水力電氣株式會社

大分縣大野郡上井田村下野四五一
電話 三 八二番
資本金 100,000圓
借入 119,000圓

田染水力電氣株式會社

大分縣西國東郡田染村
電話 二、四六個
資本金 100,000圓
借入 50,000圓

大入島電氣株式會社

大分縣佐伯市大字鶴望
電話 三、三三圓
資本金 30,000圓
借入 10,000圓

富士緒井路普通水利組合

大分縣大野郡小富士村
電話 六、三三圓
資本金 87,000圓
借入 62,320圓

電燈、力、鐵

九州
大野水力電氣
大入島電氣

九州

◇都城市電氣部
◇南那珂郡十六ヶ町村組合
◇鹿兒島市交通課
◇大徳水電
◇加治木電氣

宮崎

都城市電氣部

宮崎縣都城市姫城町
電話二二四八二

◇固定資産 七三、七六圓
◇積立 六、三六圓
◇開業 昭和二年八月
(球磨川電氣經營都城市内事業ヲ買收)

市長 財部 實秀

電氣部長 松山 德二

電氣主任技術者 橋口佐一郎

電壓 三、三〇V 二〇〇—100V

供給電燈數 四、七八個

南那珂郡十六ヶ町村組合

宮崎縣南那珂郡肥前町
電話四三・一五二

◇資本 八八、〇〇圓

◇收入 六六、八八圓

◇利益 二、六二圓

◇開業 大正八年六月

◇電壓 水力 周波 五〇

電壓 最大 三、三〇V 供給 100—100V

主任技術者 小村 俊一

供給電燈數 三、五三三個

出張所

(飯肥) 南那珂郡肥前町
(油津) 同 油津町
(南郷) 同 南郷町
(福島) 同 福島町

鹿兒島

鹿兒島市交通課

鹿兒島市下荒田町七三七
電話長四七九番

◇市債 四、六五、四五圓

◇支出 一、〇九、六二圓

◇開業 昭和三年七月
(大正元年十二月開業資本金五百萬圓鹿兒島電氣軌道株式會社ヲ買收)

交通課長 永吉 實文

工務係主任兼主任技術者 早川卯一郎

總務係主任 德永末吉 運輸係主任 磯邊隆吉

電壓 最大 三、三〇V 電車線 〇〇V 周波 〇

◇軌道 鹿兒島市内、鹿兒島市—鹿兒島郡谷山町間、鹿兒島市—鹿兒島郡伊敷村間

七四

◇貸金 市内六錢均一 區間制一區二錢ニシテ三區ニ分ツ

加治木電氣株式會社

鹿兒島縣始良郡加治木町反土
電話 一〇番

◇資本 七五、〇〇圓

◇積立 一、七六圓

◇開業 明治四十五年一月 配當年八分

◇電壓 水力 周波 五〇

電壓 最大 三、三〇V 供給 100—100V

社長 中島 爲善

取締役 國宗 晋 高木 茂則 桐野 城一

監査役 渡邊 喬

主任技術者 濱田 虎吉

供給電燈數 三、三二個

大徳水電株式會社

本社 東京市駒町區六番町十三
電話九段九七六番

◇資本 三〇、〇〇圓

◇借入 三、〇〇圓

◇開業 大正十二年九月

◇電壓 水力 周波 五〇

電壓 最大 三、三〇V 供給 100—100V

社長 淺松 啓良

取締役 淺松清太郎 福澤 滿保

北大島電氣株式會社

本社 岡山市桶屋町六六
電話六七四一番

◇資本 100,000圓

◇借入 100,000圓

◇收入 一八、七二圓

◇利益 一、九四圓

◇開業 五月、十一月

◇電壓 昭和七年四月 内燃力 水力

電壓 最大 三、三〇V 供給 100—100V

社長 池田房之進

取締役 村田 道雄 杉原 康夫 三宅 鹿藏

監査役 蜂谷 經一 福田 篤吉 伊地知福熊

供給電燈數 五、101個

頰娃村電氣部

鹿兒島縣揖宿郡頰娃村
電話 二一 一番

◇固定資本 三三、〇〇圓

◇村債 一、六六圓

◇開業 昭和四年

◇電壓 水力 周波 五〇

電壓 最大 三、三〇V 供給 100—100V

管理者 村長 山内 廣助

主任技術者 野尻 保人

供給電燈數 七、七三三個

監査役 酒井 正男

供給電燈數 三、三三三個

種子島水力電氣株式會社

本社 廣島市南竹屋町
營業所 熊毛郡西之表町西之表

◇資本 三〇〇,〇〇〇圓

◇借入 三三、〇〇〇圓

◇開業 大正二年三月

◇電壓 内燃力 水力 周波 五〇

電壓 最大 三、三〇V 供給 100—100V

社長 香川 正平

取締役 中村百太郎 渡部 貞夫

監査役 炭村 秀吉

主任技術者 加藤 實造

供給電燈數 三、四四三

薩摩電氣株式會社

個鹿兒島縣薩摩郡下飯村大字青嶺字松原

◇資本 110,000圓

◇開業 昭和五年十一月

◇電壓 内燃力 周波 五〇

電壓 最大 三、三〇V 供給 100—100V

社長 松 本進

取締役 水野 清三 水野正四郎

監査役 河井清之進 黒川 茂作

主任技術者 水野清三 工務課長 川戸 藤市

供給電燈數 三、三六個

電燈、力、鐵

九州

◇種子島水力電氣
◇薩摩電氣
◇頰娃村電氣部
◇古仁屋水電
◇屋久島水力電氣

七五

九州

吉田村電氣部 八重山電氣 名護電燈

吉田村電氣部

鹿兒島縣鹿兒島郡吉田村
資本 100,000圓
開業 昭和三年八月
電壓 最大 2,000V

知名村電氣部

鹿兒島縣大島郡知名村知名
資本 100,000圓
開業 昭和四年十二月
電壓 最大 2,000V

八重山電氣株式會社

沖繩縣八重山郡石垣町字登野城四
資本 100,000圓
開業 昭和二年五月
電壓 最大 2,000V

宮古電燈株式會社

沖繩縣宮古郡平良町字西里三三六
資本 50,000圓
開業 昭和二年五月
電壓 最大 2,000V

沖繩電氣株式會社

沖繩縣那霸市美榮橋町二ノ一五
資本 700,000圓
開業 昭和七年七月

四國地帯

愛媛

四國配電株式會社

本社 新居濱市金子甲六九五番地
資本 天、500,000圓
開業 昭和十七年四月

電燈、力、鐵 四國

名護電燈株式會社

沖繩縣國頭郡名護町二八四五
資本 100,000圓
開業 大正十二年三月
電壓 最大 2,000V

庶務課長 藤岡 志郎
經理部長(理事) 中村 正吉
會計課長 田島 彌助

支店長(理事)岩本勝彌
庶務課長 三好 晴光
業務課長 高垣 太郎

業務課長 大内 三郎
池田營業所 德島縣板野郡撫養町
日和佐營業所 德島縣海部郡日和佐町

支店長(理事)光田 信次
庶務課長 井澤 忠
業務課長 今井 良平

四國中央電力 喜多電氣 久萬町電氣部

伊豫鐵道電氣株式會社
(伊豫鐵道株式會社(出資解散豫定))
愛媛縣松山市湊町五ノ一三
電話一七〇〇番

資本 三〇〇,〇〇〇圓
決算 五月、十一月
開業 明治二十一年十月
(大正十四年十二月伊豫鐵道電氣、宇和水電兩社合併設立)

(八幡濱) 八幡濱市矢野町
支店長 岡崎 忠雄
(宇和島) 宇和島市鶴島町
支店長 高宮光太郎

四國中央電力株式會社
愛媛縣新居濱市金子一八四〇
資本 三〇〇,〇〇〇圓
借入 三〇〇,〇〇〇圓
決算 六月、十二月

資本 三〇〇,〇〇〇圓
開業 昭和五年七月
社長 栗田 種夫
取締役 栗田恒三郎 栗田 章子

久萬町電氣部
愛媛縣上浮穴郡久萬町八六六
資本 三〇〇,〇〇〇圓
借入 一〇〇,〇〇〇圓
開業 大正八年一月(大正七年十二月久萬水力電氣會社讓受)

德島

四國電力株式會社

總島市寺島町五三五番地
電話四五四五番
資本 一,〇〇〇,〇〇〇圓
借入 一,〇〇〇,〇〇〇圓
收入 三,一八八圓

美馬水力電氣株式會社

德島市富田濱一丁目一〇
電話二〇八八・二九七〇
資本 六〇〇,〇〇〇圓
借入 六〇〇,〇〇〇圓
收入 六,三六〇圓

電燈、力、鐵 四國

四國電力 美馬水力電氣 香北水力電氣

發電 水力

電壓 最大六,〇〇〇V
社長 坂本政五郎
取締役 山田 庄市 平野 吉朗

箸藏登山鐵道株式會社

德島縣三好郡箸藏村大字洲津
電話箸藏一一番
資本 二〇〇,〇〇〇圓
借入 一〇〇,〇〇〇圓
收入 一,七三三圓

發電 水力

電壓 最大三,〇〇〇V
社長 西本 健三
取締役 西本 健三 新井 清

貞光電力株式會社

東京市麹町區丸ノ内一ノ六ノ一
電話丸ノ内二四六一番
資本 六〇〇,〇〇〇圓
借入 六〇〇,〇〇〇圓

高知

吾北水力電氣株式會社

高知縣吾北郡池川町
電話 三,〇〇〇圓
資本 三〇〇,〇〇〇圓
借入 三〇〇,〇〇〇圓
收入 一〇六,三二〇圓

香川

琴平電氣 琴平急行電氣 屋島登山鐵道

香川

琴平電氣株式會社

香川縣高松市櫻町田中三三〇

電話二四一九・三六八三

資本 5,100,000圓
借入 2,800,000圓
積立 1,200,000圓
收入 1,200,000圓
支出 1,200,000圓
決算 四月、十月
開業 大正十五年十二月(栗林公園瀧宮開闢)
昭和二年三月(瀧宮、琴平開闢)
昭和一年四月(栗林公園、高松開闢)
買收會社 岡田電燈(昭和十三年五月)
社長 大西虎之介
專務 細溪宗次郎 常務 大西 貞夫
取締役 熊田 長造 川崎舍恒三 武田 謙
中村 實 武田亮太郎 合田 健吉
監査役 今井 傳太 中村新太郎 宮脇 長吉
相模役 藤田勝太郎 宮川 恒貞
電務課長(主任技術者) 景山 和夫
運轉課長 大西 正孝 工務課長 坂本 武一
電氣技師 中野榮次郎 變電所主任 關居正照
電壓 受電3,000V 配電3,000V 電車線1,500V
周波 50
供給電燈數 2,909個
電車軌道 高松市ヨリ琴平町間

琴平急行電氣株式會社

香川縣丸龜市津森一七〇番地

電話五一一番

資本 1,110,000圓
借入 1,110,000圓
積立 1,110,000圓
收入 1,110,000圓
支出 1,110,000圓
決算 五月、十一月
開業 大正十一年十月
代表取締役 白川 明吉
專務 龜井 榮造
取締役 鈴木仁十郎 安達 賢 鎌田 榮
合田 健吉
監査役 吉本 文吾 豐島 數造
主任技術者 小野 季雄(土木) 高崎 昌景
庶務課長 若山 好雄 經理課長 間宮 正義
運轉課長 神原茂治郎 保線課長 高崎 昌景
電氣課長 小野 季雄 車輛課長 阿野秀治郎
福利課長 香川 茂 自動車課長 片岡信直
電壓 最大3,000V 電車線3,000V 周波50
電車軌道 琴平-普通寺-坂出
(分岐) 普通寺-多度津
貨金 琴平坂出間言錢 琴平多度津間言錢
自動車線路 丸龜-琴平間 多度津-金藏寺間
丸龜-川西間 普通寺東口-普通寺大門間 金藏寺-觀音寺間 多度津-吉原間 丸龜-多度津

琴平急行電氣株式會社

香川縣歌郡坂出町三七四六

電話坂出三五五六

資本 1,000,000圓
借入 2,100,000圓
積立 1,000,000圓
收入 1,000,000圓
支出 1,000,000圓
決算 四月、十月
開業 昭和五年四月
取締役 鎌田 榮 安達 賢 島田 恭平
宇都宮次郎 龜井榮造
監査役 岩瀨 純一 鎌田 榮
支配人 大浦新次郎 主任技術者 梶 賢三
電壓 最大3,000V 周波50
電車軌道 自觀音寺坂出町至仲多度郡琴平町間

屋島登山鐵道株式會社

香川縣木田郡屋島町大字東海元二巴

資本 6,000,000圓
借入 5,400,000圓
積立 5,400,000圓
收入 5,400,000圓
支出 5,400,000圓
決算 九月
開業 昭和四年四月
社長 大西虎之介
常務 景山 卯吉

高松電氣軌道株式會社

香川縣高松市鹽上町九八九

電話二〇五二・二四三六

資本 3,000,000圓
借入 2,100,000圓
積立 1,100,000圓
收入 1,100,000圓
支出 1,100,000圓
配當 年八分
決算 三月、九月
開業 明治四十五年四月
社長 鎌野 藤太
取締役 木村 皓一 北村 賴吉 宮本和太郎
安田 榮 細川 清
監査役 鎌田 連 小竹 助次
總務部長 平塚 廣造 運轉部長 金崎恒三郎
電氣主任技術者 高橋 清
變電所主任 中村 正雄 電線路主任 井川清
電壓 最大3,000V 電車線3,000V 周波50
供給電燈數 1,565個
電車軌道 高松市-大川郡長尾町間
貨金一區五錢 全線(七區)三〇錢

八栗登山鐵道株式會社

香川縣木田郡牟禮村二三七五

電話三八番

資本 5,000圓
借入 2,000圓
積立 1,000圓
收入 2,000圓
支出 2,000圓
配當 無
決算 三月
開業 昭和六年二月
社長 入谷 哲平 常務 北村 賴吉
取締役 三木 將雄 大西虎之介 山内 勝造
鎌野 藤太 平塚 廣造
監査役 山田樸太郎 松田 友良 宇野 長之
主任技術者 井川 清
電壓 最大3,000V 周波50
軌道 香川縣木田郡牟禮村大字牟禮ヨリ同村牟禮八栗山上ニ至ル(鋼索鐵道)

島電氣株式會社

香川縣小豆郡草壁町

電話安田四〇番

資本 3,000圓
借入 2,000圓
積立 1,000圓
收入 2,000圓
支出 2,000圓
配當 無
決算 五月、十一月
開業 大正九年小豆電氣合併
(大正九年小豆電氣合併)
發電 內燃力 周波50
電壓 最大6,000V 供給100-300V
會長 中田 仙治

讚岐電氣株式會社

香川縣香川郡安原村

電話 30,000圓

資本 100,000圓
借入 100,000圓
積立 100,000圓
收入 100,000圓
支出 100,000圓
配當 年九分
決算 五月、十一月
開業 大正十二年五月
社長 鎌野 藤太
取締役 上原 準一 北村 賴吉 谷本 傳一
監査役 平塚 廣造 宇野 長之
主任技術者 入江 守
電壓 最大3,000V 供給100V 周波50
供給電燈數 2,700個

電燈、力、鐵

四國 高松電氣軌道 八栗登山鐵道 島電氣 讚岐電氣

東北地帯

宮城

東北配電株式會社

本社 仙臺市元柳町八八番地
電話、(四三番)三、六九番
〇資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓
〇社債 五、〇〇〇、〇〇〇圓
〇開業 昭和十七年四月
〇決算 三月、九月
(指定會社) 奥羽電燈株式會社、東北電燈株式會社
(出資事業) 青森縣電氣局、宮城縣電氣局、仙臺市新潟電力株式會社、北越水力電氣株式會社、中央電氣株式會社、大日本電力株式會社、山形電氣株式會社、岩田水力電氣株式會社、福島電燈株式會社、會津電力株式會社、新瀉縣、宮城縣、福島縣、岩手縣、青森縣、山形縣、秋田縣
社長 白勢 量作
副社長 橋本萬之介 平井出貞三
理事 秋田 忠藏 國友 末藏 桑原政次郎 齋藤維一郎 鈴木 清助 田村 順三 金田一光 中岡孫一郎 西形吉次郎 畑 時雄 山縣 鼎一

福島支店

支店長(理事)西形吉次郎 次長 丹波勝次郎
總務課長 阿部和一郎 經理課長 大宮正次郎
工務課長 大内 善藏 業務課長 手代木金之助
郡山營業所 所長 大越茂利人
平營業所 所長 平市字五ノ二〇
若松營業所 所長 佐々木 博
新瀉支店 新瀉市大川前通五番町八四番地
支店長(理事)山縣鼎一 次長 佐藤 又助
總務課長(事務取扱) 佐藤 又助
經理課長(心得) 加藤 源次
工務課長 近藤 俊雄 業務課長 岡田 盛信
長岡營業所 所長 堀 裕
高田營業所 所長 高田市大町二丁目字馬出七六
所長 尾崎 胖三
東京事務所 所長 尾崎 胖三
電話九ノ内三、六九番
所長 佐藤 保雄

仙臺市電氣水道事業部

仙臺市表小路一〇番地
電話(代表)二三〇二番
〇資本 一、一〇〇、〇〇〇圓
〇積立 一、〇〇〇、〇〇〇圓
〇市債 一、五〇〇、〇〇〇圓
〇收入 三、〇〇〇、〇〇〇圓

電燈、力、鐵

東北 〇東北配電

仙臺市電氣水道事業部

鬼首鎮業株式會社

宮城電氣鐵道株式會社

常任監事 小林 久治
監事 鈴木 文七 高瀬 八郎 松浦千代松 松田 弘俊

社長室

社長室勤務 桑原政次郎
秘書課長 增田代五郎
企畫課長 齋藤 恂一 振興課長 齋藤 東
考查課長 小野寺竹三郎

總務部

總務部長(理事) 平井出貞三
次長 齋藤 清雄 總務課長 松下 勝
人事課長(事務取扱) 齋藤 清雄
文書課長 渡邊 清吾 厚生課長 村田 秀雄

經理部

經理部長(理事) 中岡孫一郎
次長 宮村 義一
會計課長(心得) 渡部千佐賀
財務課長(事務取扱) 宮村 義一
調度課長 橋塚 徹

業務部

業務部長(理事) 畑 時雄 次長 安藤 惟親
業務課長 星田 房治 配電課長 河路 秀雄
工務部 工務部長(理事) 國友末藏 次長 中田 繁次
電氣課長 館内 三郎 給電課長 菅野 義三
土木課長(事務取扱) 中田 繁次

支店

宮城支店 仙臺市勾當臺通二八番地
電話代表二七四一番

支出

〇支出 一、三〇〇、〇〇〇圓
〇利益 一、六六六、〇〇〇圓
〇決算 三月
〇開業 明治四十四年七月
〇發電 水力 汽力
〇周波 五〇
〇電壓 最大六、〇〇〇V 供給二二〇V 電車六〇〇V
管理課市長 渡谷德三郎
助役 高橋 林造

給電課長

給電課長 神部 義夫 電力課長 榎原 章光
工作課長 追沼 秀彦 測定課長 三浦 寛
保線係長 小栗 保信 運轉係長 島田 清藏
電車事業所長 小山田正直
主任技術者 榎原 章光

電氣課長

電氣課長 仙臺驛一南町通本柳町北四番丁勾當臺
通光禪寺通仙臺驛前、東五番丁分岐清水小路一
長町、北四番丁分岐北仙臺驛前、南町分岐芭蕉辻
大學病院前分岐御前丁
〇資金 全線五錢

鬼首鎮業株式會社

宮城縣玉造郡鬼首村下鹽澤
電話鳴子六七番
〇資本 五〇〇、〇〇〇圓
〇積立 三、〇〇〇圓
〇決算 四月、十月
〇開業 昭和十二年四月
〇發電 水力
〇電壓 三、〇〇〇V
〇周波 五〇

社長

社長 內藤 圓治
取締役 白井 千尋 高橋清次郎
監査役 田中 武次 長崎 繁次

支店長

支店長(理事) 歌田忠藏 次長 大和田藤七
總務課長 綿貫德四郎 經理課長 藤原幸次郎
工務課長 佐々木俊太郎
業務課長(心得) 宮川喜代士
仙臺營業所 所長 榎原 章光
青森支店 青森市大野字長島一番地
電話代表三九七七番
支店長(理事) 齋藤維十郎 次長 猪股 博
總務課長 横山 文夫 經理課長 高橋 文雄
工務課長 水無瀬綱徳 業務課長 藤尾勘之助
岩手支店 盛岡市紺屋町一〇九番地
電話代表一四一〇番
支店長(理事) 金田一光 次長 及川 一雄
總務課長 駒木 武夫 經理課長 杉田 左一
工務課長 中黒 秀和 業務課長 内藤 貞三
水澤營業所 岩手縣水澤町字横町九六
所長(心得) 及川 覺美
秋田支店 秋田市中谷地町五六番地
電話代表三八三一番
支店長(理事) 田村 順三 次長 山際和三郎
總務課長 天野 明雄 經理課長 小島 三郎
工務課長 横江 吉省 業務課長 羽生 民義
増田營業所 秋田縣増田町字上町五八
所長 岡信 虎太
山形支店 山形市横町二〇五番地
電話代表一七七番
支店長(理事) 鈴木 清助 次長 寺木 榮藏
總務課長 渡邊 克巳 經理課長 塚田 正浩
工務課長 佐藤 猛 業務課長 濱村 博實

相談役 片倉 三平
主任技術者 佐藤胞次郎

宮城電氣鐵道株式會社

仙臺市裏五番丁一九番地
電話一五〇一・一三三・一七
〇資本 六、〇〇〇、〇〇〇圓
〇積立 一、五〇〇、〇〇〇圓
〇收入 九、八〇〇、〇〇〇圓
〇支出 三、〇〇〇、〇〇〇圓(償却 三三、〇〇〇圓)
〇利益 三、八〇〇、〇〇〇圓
〇決算 三月、九月
〇開業 大正十四年六月
〇譲受 昭和十四年九月松島電車
社長 山本 豊次
取締役 大宮司雅之輔 松良善照 遊佐 壽助
谷井 文藏 鈴木 源助 伊澤 平勝
佐藤惣之助 本間儀兵衛 笹氣 幸助
村井善之助 松岡重次郎
村井善之助 高城 明造 佐藤 鐵郎
中村 梅三
監査役 村井善之助 經理課長 主事 内藤 彦造
支配人 村井善之助 庶務課長 主事 關川重雄
運輸課長 主事 羽部周平
工務課長 技師長 松岡重次郎
電話 最大 三、〇〇〇V 電車線 一、五〇〇V
(本線) 仙臺市ヨリ鹽釜町一松島公園一石巻市間一五軒
(支線) 宮電山下一金間一軒入

東北 秋保電氣軌道 福島電氣鐵道 植田水力電氣

秋保電氣軌道株式會社

仙臺市長町字大道西九
電話 九〇二番
資本 100,000圓
借入 35,000圓
預立 3,000圓
利益 50,000圓
支拂手形 49,000圓
六月、十二月
六月、十二月
社長 小林軍太郎
取締役 針生 久助 谷井 文藏 佐藤勘三郎
監査役 伊澤 平勝 支配人 遠藤 久松
主任技術者 相原養治(電氣課長自動車部長兼務)
保線長 渡邊 賢治
電壓 最大 3,000V 電車線 600V 周波 50
電車軌道 仙臺市長町ヨリ秋保村湯元間
資金 一區(錢) 往復(全線)六區

福島

福島電氣鐵道株式會社

福島市字上町五〇番地
電話 五〇四番
資本 1,100,000圓
借入 2,100,000圓
預立 2,700圓

收入 5,000圓 利益 4,300圓
支出 3,000圓(内銷却 7,000圓)
配當 年九分
開業 大正十五年四月
合併會社 昭和二年九月 飯坂電車
社長 金子 與左
專務 坪井 萬藏
取締役 佐伯 宗義 西形吉次郎 菅野善三郎
岩澤岩次郎 佐藤善一郎 内池 隆
下田 與吉(支配人)
監査役 鈴木 文七 宮村 義一 大和田藤七
主任技術者 下田 與吉
電壓 最大 3,000V 電車線 600V 周波 50
電車軌道 福島市 飯坂温泉間 福島市 省線
伊達 飯坂 保原 築川 掛田
資金 一區四錢

植田水力電氣株式會社

福島縣石城郡植田町植田字木町
電話 一一二番
資本 5,000,000圓
借入 6,000,000圓
預立 3,000,000圓
六月、十二月
六月、十二月
開業 大正七年九月
合併 植田電燈、植田電氣工業、菊多電氣工業
四時川電氣
電壓 最大 5,000V 供給 100-1000V
社長 金成 通
取締役 西形吉次郎 鈴木 文七 太田秋之助

平電力株式會社

福島縣平市字田町六〇
電話 平二九七番
資本 1,100,000圓
借入 2,200圓
預立 7,000圓
利益 7,000圓
配當 年九分二厘
昭和六年五月
(昭和五年二月小玉川水電株式會社ヲ合併平電力株式會社ト改稱ス)
電壓 3,000V 周波 50
水力
社長 栗原欣次郎
取締役兼主任技術者 中村 敏一
取締役 馬目雄次郎 端山 正男 梁原 一郎
中村新太郎 野崎 滿藏 草野三千雄
監査役 酒井 驗次 佐藤庄太郎
相談役 横田 代介 木村清治

眞野川電氣株式會社

福島市仲間町二一八
電話 一〇七番
資本 100,000圓
借入 2,000圓
支出 2,000圓
利益 2,000圓

配當 年四分
開業 昭和十四年七月 決算 四月
發電 水力 電壓 3,000V
社長 風間善九郎
專務 金子 與左
取締役 中村新太郎 佐々木 謙(兼支配人)
監査役 志賀千代馬 永井田之助
主任技術者(兼) 佐々木 謙
供給電燈數 1,000個

町長 佐藤市太郎
主任技術者 武田 誠次
供給電燈數 3,700個
古河鑛業株式會社
本社 東京市麴町區丸ノ内二ノ八
電話丸ノ内二四二一 二四九
事業地 福島縣石城郡好間村
開始 昭和七年十二月
發電 火力 電壓 2,000V 周波 50
社長 古河 從純 副社長 吉村萬治郎
本社技師(電氣關係) 落合 洋
主任技術者 近江 善夫

八田電燈所
福島縣河沼郡日橋村大字八田
開業 大正八年八月
社長 八田 吉人 後見人 八田 貞吉
主任技術者 鳥居 俊一
電壓 最大 3,000V 供給 100V 周波 50
供給電燈數 3,000個

磐城炭礦株式會社
本社 東京市麴町區丸ノ内一ノ六
電話丸ノ内八三〇一 八三二
事業地 福島縣石城郡内郷村
資本 20,000,000圓 拂込 2,717,000圓
開業 昭和七年十二月 決算 五月、十一月
發電 火力
會長 淺野總一郎
社長 淺野 八郎 專務 鶴田 勝三
常務 倉田龜之助 齊藤 四郎
取締役 白石元治郎 淺野 良三 小坂 梅吉
齊藤 順三 菅原萬治郎
監査役 河合 深 渡邊 得男 遠山 元一
主任技術者 江川鋼太郎

日本硫黃株式會社
東京市麴町區丸ノ内(海上ビル新館)
固定資産 4,700,000圓
借入 1,500,000圓 配當 年一割
開始 昭和十七年十二月 決算 六月、十二月
發電 水力
電壓 最大 3,500V 周波 50
常務 富川七之助
主任技術者 齋藤 房男

須賀川町電氣部
福島縣岩瀬郡須賀川町字荒町坂
電話三八番、四六番
固定資産 六三、三〇圓 預立 一五、七〇圓
收入 三〇〇、八〇圓 利益 八、四九圓
支出 一八、四〇圓(内銷却 三、四〇圓)
決算 三月
開業 明治四十五年一月
發電 水力 周波 50
電壓 最大 3,000V 供給 100-1000V

會津製氷株式會社
會津若松市徒之町四六
電話 三三三番
資本 200,000圓 拂込 333,000圓
開業 昭和七年十二月
發電 水力 周波 50
社長 皆川 應助
主任技術者 松田 藤衛

電燈、力、鐵

八田電燈所 磐城炭礦 須賀川町電氣部 日本硫黃 會津製氷 古河鑛業

岩手

馬淵川電氣株式會社

岩手縣二戸郡福岡町字五日町二〇
電話一九番、二三番

- 資本 100,000圓
- 積立 48,500圓
- 支出 12,360圓
- 利益 6,650圓
- 開業 大正二年
- 發電 水力 周波 〇一〇
- 電壓 最大 3,000V 供給 300-100V
- 社長 國分 市郎
- 常務 國分 義助
- 取締役 丹野彌太郎 矢幅三次郎 三田 義一
- 監査役 村井權次郎
- 營業所 青森縣三戸郡三戸町 岩手縣二戸郡荒澤村

經米水力電氣株式會社

岩手縣九戸郡經米町一一八
電話 一〇番

- 資本 100,000圓
- 積立 12,500圓
- 收入 3,600圓
- 支出 1,200圓
- 利益 2,400圓
- 配當 年八分
- 決算 六月、十二月
- 開業 大正九年一月
- 發電 水力 周波 〇
- 電壓 最大 3,000V 供給 100-100V
- 社長 國分 市郎
- 常務 國分 義助
- 取締役 坂水 深 丹野彌太郎 盛田 文造
- 監査役 阿部 繁孝
- 主任技術者 吉田 五郎

陸奥電力株式會社

岩手縣二戸郡福岡町字橋場九番地イ號
電話 二六番

- 資本 1,000,000圓
- 積立 8,500圓
- 支出 2,700圓
- 利益 4,800圓
- 配當 年七分
- 開業 大正十二年九月
- 發電 水力 周波 〇
- 電壓 最大 3,000V 供給 300V
- 社長 國分 市郎
- 常務 國分 義助
- 取締役 坂水 深 丹野彌太郎 盛田 文造
- 監査役 阿部 繁孝
- 主任技術者 吉田 五郎

一ノ關町電氣作業所

岩手縣西磐井郡一ノ關町
電話六八番、一四六番

- 固定資産 80,000圓
- 決算 五月、十一月
- 開業 大正十二年十二月
- 合併 大正十五年十一月泊川電氣 昭和五年三月野邊地電氣
- 發電 水力 周波 〇一〇
- 電壓 最大 3,000V 供給 100-100V
- 社長 藏元 雄吾
- 取締役 吉野 周藏 川村 清藏 北山 一郎
- 監査役 高城 明造
- 支配人 川村 清藏 主任技術者 川村 一郎
- 供給電燈數 八七六個

葛卷町電氣部

岩手縣九戸郡葛卷町
電話 葛卷四番

- 積立 五月 5,100圓
- 發電 水力、火力 周波 〇
- 電壓 最大 11,000V 供給 200-100V
- 管理者町長 權本 元 助役 阿部 晴
- 副收入役 及川 朝郎 業務課長 佐藤 一郎
- 主任技術者技師 勝股 正一
- 供給電燈數 三、七八個
- 資本 48,700圓
- 收入 3,150圓
- 利益 3,750圓
- 開業 大正八年十二月
- 供給 300-100V 周波 〇
- 町長 勝 正一
- 主任技術者 勝 正一

花卷電氣鐵道株式會社

岩手縣神戶郡湯本村
電話花卷溫泉三番二〇番

- 資本 200,000圓
- 借入 100,000圓
- 收入 10,700圓
- 損失 11,000圓
- 決算 五月、十一月
- 開業 大正十四年八月
- 支配人 池上久藏 土木主任技術者 森榮太郎
- 電氣主任技術者 戶田敏雄 運輸課長 大内文七
- 電車鐵道 羽前高松驛—白岩—羽前宮内—海味—西海味—間澤
- 電壓 300V
- 資金 羽前高松間澤間 三五錢
- 營業 自動車業

高島鐵道株式會社

山形縣東置賜郡高畑町
電話高畑五五番

- 資本 200,000圓
- 積立 17,500圓
- 支出 11,120圓
- 配當 年二分
- 開業 大正十一年三月(電化昭和四年)
- 社長 長谷川平五郎
- 取締役 新藤 京太 增淵武兵衛 相田 廣吉
- 監査役 五十嵐重二 井上 庄七
- 電氣主任技術者 菅間 守好
- 運輸課長兼經理課長主任技術者 長島 多吉
- 電車鐵道 自東置賜郡藤原村福澤 至東置賜郡二井宿村宿

庄内電鐵株式會社

鶴岡市最上町丁一〇
電話 六三八番

- 資本 200,000圓
- 積立 17,500圓
- 收入 11,120圓
- 配當 年二分
- 開業 大正十一年三月(電化昭和四年)
- 社長 長谷川平五郎
- 取締役 新藤 京太 增淵武兵衛 相田 廣吉
- 監査役 五十嵐重二 井上 庄七
- 電氣主任技術者 菅間 守好
- 運輸課長兼經理課長主任技術者 長島 多吉
- 電車鐵道 自東置賜郡藤原村福澤 至東置賜郡二井宿村宿

山形

三山電氣鐵道株式會社

山形縣西村山郡西山村大字海味
電話 三番

- 資本 200,000圓
- 積立 12,000圓
- 開業 大正十五年十二月
- 社長 設樂規矩三郎
- 取締役 升川 勝作 鈴木 清助 塚田 正浩
- 荒木權兵衛
- 飯田甚右衛門 工藤三九郎
- 古津久右衛門
- 監査役 飯田甚右衛門 工藤三九郎
- 古津久右衛門

青森

上北電氣株式會社

青森縣上北郡野邊地町
電話 一三、二〇〇圓

- 資本 300,000圓
- 積立 12,000圓
- 支出 1,200圓
- 利益 1,000圓
- 配當 年八分
- 決算 六月、十二月
- 開業 大正九年一月
- 發電 水力 周波 〇
- 電壓 最大 3,000V 供給 300-100V
- 社長 國分 市郎
- 常務 國分 義助
- 取締役 丹野彌太郎 矢幅三次郎 三田 義一
- 監査役 村井權次郎
- 營業所 青森縣三戸郡三戸町 岩手縣二戸郡荒澤村

電燈、力、鐵

東北 上北電氣

- 三山電氣鐵道
- 高島鐵道
- 庄内電鐵

東北 ◆兩羽電氣 ◆鶴岡水力電氣 ◆酒田市電氣部 ◆新上山電氣

◆借入 八六、三〇〇圓
◆利益 一〇、九三〇圓
◆決算 三月、九月
◆開業 昭和四年十二月

社長 兼子孫一郎
常務 荒井 清藏 太田 文助
取締役 白勢 二期 五十嵐三郎右衛門
監査役 諏訪尙太郎 叶内長兵衛
主任技術者 奥山重次郎
電車 第一期線開業
鶴岡市湯之濱温泉間

兩羽電氣株式會社

山形縣北村山郡大石田町大石田
電話 五五五番

◆資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓
◆借入 一、〇〇〇、〇〇〇圓
◆收入 一、〇〇〇、〇〇〇圓
◆支出 一、〇〇〇、〇〇〇圓
◆配當 優先五分
◆開業 大正十一年六月
◆合併及讓受 銀山電氣昭和二年十一月讓受、真室川水力電氣昭和三年九月合併 第二兩羽電氣昭和四年十月合併 飽海電氣昭和十三年十一月
◆發電 水力 ◆周波 六〇
◆電壓 最大 三、〇〇〇V 供給 三、〇〇〇—三、〇〇〇—三、〇〇〇V
代表取締役 佐藤茂兵衛 田中一策 高桑喜之助
取締役兼理事 松岡清太郎
監査役 阿部祐次郎 岩井 常夫
主任技術者 仁木 誠

◆營業所 (楯岡) 北村山郡楯岡町 (眞室川) 最上郡眞室川町 (津谷) 最上郡戸澤村 (飽海) 飽海郡殿岡村

鶴岡水力電氣株式會社

山形縣鶴岡市一日市町甲三番地
電話 五〇番、四五四番

◆資本 五、〇〇〇、〇〇〇圓
◆配當 年八分
◆決算 三月、九月
◆開業 明治三十三年
◆合併 大正五年四月 湯海電燈株式會社讓受
◆發電 水力 ◆周波 六〇
◆電壓 最大 三、〇〇〇V 供給 三、〇〇〇—三、〇〇〇—三、〇〇〇V
社長 兼子孫一郎
常務 平田 吉郎
取締役 大屋 雄三 木村九兵衛 齋藤孝太郎
監査役 新徳 眞藏 中里治兵衛
支配人 阿部 叔郎
技術部長 齋藤 堅治 事務部長 平田 貢
會計課長 齋藤 策朗
主任技術者 電氣課長 松澤 清治
購買課長 小池長之助 庶務課長 恩田 長治
調査課長 桑原 健士 倉庫課長 莊司繁太郎
土木課長 阿達 謙三 集金課長 後藤直四郎
測定課長 宇野 茂三 ラジオ課長 齋藤芳彦

酒田市電氣部

山形縣酒田市四ノ十六
電話 二四九番、五五〇番

◆固定資産 九六、一六〇圓
◆收入 五九、九六〇圓
◆支出 一六、四六〇圓
◆利益 一八、五〇〇圓
◆開業 明治四十一年十一月
◆發電 水力
◆電壓 最大 三、〇〇〇V
市長 齋藤巳之吉
助役 武田庄太郎 收入役 木間 光三
電氣部長 楠瀬 亘
電氣部工務課長 技師 丸山 普
同 臨時代理 技師 佐藤 長吉
電氣部總務課長 心得 木間 三郎

新上山電氣株式會社

山形縣南村山郡上山町十日町
電話 二三八番

◆資本 一〇〇、〇〇〇圓
◆借入 一〇〇、〇〇〇圓
◆收入 一〇、〇〇〇圓
◆支出 三、五〇〇圓
◆配當 年三分九厘
◆開業 昭和八年八月
社長 高橋熊次郎
取締役 渡邊久八郎 鈴木 文七 山森佐太郎
監査役 大場庄太郎 濱田 忠喜

東田川郡電氣事業組合

山形縣東田川郡藤島町
電話 藤島二五番

主任技術者兼事務主任 野口 勇作
◆電壓 最大 三、〇〇〇V ◆周波 六〇
◆供給電燈數 五、七六個
◆固定資本 三、九五〇、〇〇〇圓
◆積立 二、四四、八〇〇圓
◆開業 大正四年三月
◆發電 水力 ◆周波 六〇
◆電壓 最大 三、〇〇〇V 供給 一〇〇—一〇〇V
組合長 奥山 良平 副組合長 高橋貞太郎
主任 成瀬 源治 出納史書記 萬年久作
主任技術者 進藤 陽吉
供給電燈數 一、〇〇〇個

東置賜郡總町村組合

山形縣東置賜郡高島町
電話 二九番

◆固定資本 三、八七六、〇〇〇圓
◆收入 四三、九三〇圓
◆利益 六、一七〇圓
◆開業 大正四年十一月
◆發電 水力 ◆周波 六〇
◆電壓 最大 三、〇〇〇V 供給 二〇〇—一〇〇V
組合長 高橋 辰二
理事 芦間 守好(主任技術者兼務)
供給電燈數 三、四三〇個

長井町電氣部

山形縣西置賜郡長井町
電話 九番、一五九番

◆固定資本 七、〇〇〇圓
◆開業 大正三年十一月
町長 桑島 忠一
主任技術者 濱田 寅藏
◆電壓 最大 三、〇〇〇V 供給 一〇〇V ◆周波 六〇
◆供給電燈數 九、三〇〇個
合資 飽海電燈所
酒田市本町四ノ一六
電話 二八四番

秋田

秋田市交通課

秋田市新大工町一〇番地
電話 二五四三番

◆公債 六〇〇、〇〇〇圓(電車バス市營)
◆收入 三三、五五〇圓
◆支出 三三、五五〇圓
◆開業 昭和十六年四月
(秋田電車株式會社買収)
秋田市長代理助役 小貫 太郎
秋田市交通課長 田鎖 才治
◆電壓 最大 三、〇〇〇V 電車線 六〇V
◆周波 六〇
◆電車軌道 秋田市新大工町—秋田市土崎港上酒田町間
◆資金 全線四區 一區五錢 全線二〇錢

雄勝鐵道株式會社

秋田縣雄勝郡西馬音内町

◆資本 五〇〇、〇〇〇圓
◆借入 一〇〇、〇〇〇圓
◆積立 三、三三〇圓
◆開業 昭和三年八月
◆拂込 五〇、〇〇〇圓
◆支拂手形 一五、〇〇〇圓
◆決算 一月、七月

電燈、力、鐵

東北

◆東田川郡電氣事業組合 ◆東置賜郡總町村組合 ◆長井町電氣部
◆飽海電燈所 ◆秋田市交通課 ◆雄勝鐵道

東北

社長 長谷川泰三 專務 中川 常誠
取締役 飯塚彦四郎 山脇慶太郎 佐藤 平治
阿部九兵衛
監査役 柴田 幾藏 利三郎兵衛
主任技術者 岡信 虎太

小坂鐵道株式會社

資本 1,000,000圓
積立 2,113,350圓
開業 明治四十二年五月
(電化 昭和三年一月)
常務 白根 竹介
取締役 永松 利熊 新山 敏介 水野源次郎
監査役 有倉淳次郎 主任技術者 西田 卓二
軌道 鹿角郡小坂町 北秋田郡長木村 同大館町 同花園町 同輝加内村
電化區間 鹿角郡小坂町(小坂驛)北秋田郡長木村(茂内驛)

船川電氣株式會社

資本 300,000圓
拂込 100,000圓
秋田縣南秋田郡船川港町
電話 四 番

仙道村電氣部

固定資産 11,000圓
設立 昭和十三年三月
電壓 2,200V
代表者 村上 忠治 主任技術者 渡邊 勝治

大曲西根耕地整理組合

固定資本 486,530圓
開始 大正十二年十二月
電壓 2,200V
組合長 小原六兵衛 副組合長 井上 金治
主任技術者 西村 藤雄

三菱鑛業株式會社尾去澤鑛山

開始 明治二十六年
發電 水力及內燃力
電壓 2,200V
所長 鍋島 朝俊
主任技術者 入野 末治

株式會社藤田組小坂鑛山

開始 昭和七年十二月
秋田縣鹿角郡小坂町

電燈、力、鐵

東北
仙道村電氣部
藤田組小坂鑛山
大曲西根耕地整理組合
新瀉電鐵
蒲原鐵道
佐渡電燈

南鹿電氣株式會社

秋田縣鹿角郡宮川村宮藤字小山
電話花輪一二二番
支店 鹿角郡曙村長井田
資本 50,000圓
積立 15,000圓
借入 1,500圓
開業 大正十一年九月
電壓 最大 2,200V 供給 100V
周波 50
社長 渡部 繁雄
取締役 阿部 貞吉 阿部 幸藏 阿部 清治
根本 ウメ
監査役 阿部 徹郎 佐藤 富治 阿部勤七郎
主任技術者 阿部 喜佐
供給電燈數 1,250個

仁賀保電氣組合

秋田縣由利郡院内村役場内
電話平澤四四番
電壓 3,000V
周波 50
代表者 有倉淳次郎 主任技術者 西田 卓二

新瀉電鐵株式會社

新潟市一番堀通町二
資本 11,000,000圓
積立 1,000,000圓
借入 3,300,000圓
開業 昭和八年八月
社長 白勢 量作
取締役 中野 孝次 山田 助作 田中 繁太
監査役 齋藤喜十郎 佐藤政太郎
主任技術者 西浦 章

蒲原鐵道株式會社

新潟縣中蒲原郡村松町甲一五番
電話村松一〇八一七三
資本 1,100,000圓
積立 5,150圓
支出 1,100,000圓
配當 優先年四分 普通年二分
開業 大正十二年十月
專務 茂野 誠衛
取締役 松尾 名平 笠原 正男
監査役 山崎 新治 岩淵 勇二 茂野 達衛
支配人 阿部 成治
電氣長 樋口 丑男 運輸課長 多田 實
主任技術者 本間 源三

佐渡電燈株式會社

新潟縣佐渡郡河原田町大字本町二五
電話河原田二二番
資本 93,000圓
積立 1,200圓
支出 1,200圓
配當 年八分
開業 大正三年十二月
買收 西三川電氣株式會社(昭和十二年十二月)

大葛村營電氣事業部

秋田縣北秋田郡大葛村字大葛家後
電話 大葛一番
固定資産 10,000圓
收入 5,100圓
支出 5,100圓
利益 30圓
開業 昭和六年二月
村長 荒谷 夷一
主任技術者 入野 末治
電壓 最大 2,200V
周波 50
供給電燈數 7,200個

田代村電氣部

秋田縣雄勝郡田代村田代
固定資産 8,800圓
收支共 8,200圓
開業 昭和十四年三月
發電 水力
電壓 2,200V
代表者 豐島 嘉助 主任技術者 伊川 正彦
供給電燈數 2,900個

大葛村營電氣事業部

資本 68,100圓
積立 1,900圓
支出 3,300圓
利益 10,100圓
開業 大正七年十一月
電壓 水力
組合長 三浦 權 組合副長 飯尾 春藏
主任技術者 村山 俊也
供給電燈數 6,200個

東北

青海水電

合併 前佐渡水電株式會社(昭和十三年十月)

佐渡水力電氣株式會社(昭和十四年十二月)

電力、火力

電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—三〇〇V

社長 渡邊金左衛門

取締役 推野 廣吉 中山德太郎 本間慶太郎

北條 欽 林 儀太郎 松岡 雪珠

岩間 盛光 野澤安太郎 石野 毅

渡邊 仁平

監査役(常任) 矢田龜藏 本間芳太郎 松榮俊三

塚本 房吉

支配人 松岡 進

技師長兼工務課長 林 與一

電力課長兼土木課長 林 久雄

庶務課長 近藤 正巳 會計課長 本間重太郎

出張所 佐渡郡相川町

佐渡郡赤泊村

兩津支社 佐渡郡西津町

供給電燈數 三、九四六個

青海水電株式會社

新潟縣西頸城郡青海町

電話 三番、四番

資本 一、五〇〇圓

積立 三、三〇〇圓

支出 三、三〇〇圓

配當 年一割

開業 大正六年十一月

合併 親不知水電、市振電氣(昭和十六年二月)

湯澤村電氣部

合併 西田 富藏

取締役 羽村 協輔 野村與曾市 渡邊 忠吉

熊澤 一郎

監査役 銀林 友吉 片岡藤太郎 杉本 角夫

支配人 藤岡 理作

主任技術者 川島 晉吉

供給電燈數 五、〇〇〇個

電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—三〇〇V

湯澤村電氣部

新潟縣南魚沼郡湯澤村

資本 二、〇〇〇圓(工事費)

開業 大正十四年八月

電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—三〇〇V

村長 樋口 永雄

主任技術者 高井賢一郎

書記 高橋 好政

供給電燈數 三、〇二二個

吉井村電氣部

新潟縣佐渡郡吉井村

電話 佐渡吉井一番

固定資本 三、五〇〇圓

開業 大正十五年一月

電力 水力

電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—三〇〇V

村長 迎町彌吉

主任技術者 武藤 健三

供給電燈數 一、五五五個

北海道地帯

北海道配電株式會社

本社 札幌市大通東一丁目二番地

電話 札幌二、六四〇番

資本 六、〇〇〇、〇〇〇圓

開業 昭和十七年四月

合併會社

(指定會社) ナシ

(出資會社) 大日本電力株式會社、北海水力株式會社、室蘭電燈株式會社、札幌送電株式會社

配電區域 北海道一圓

社長 萩原 丈夫

副社長 堀内 弟助

理事 奥村勇次郎 水野吉太郎 寺田 兵治

菅野 修藏 小田部 毅 一條 豐治

佐藤 滿 岡本 勉

監事 足立 庸三 加藤 德行 穴水 清彦

本社

社長室

秘書課長 澤口 義三

企畫課長 石丸 幸雄 考查課長 古田中芳雄

總務部長(理事) 奥村勇次郎 次長 藤森 賢三

電燈、力、鐵

北海道

北海道配電

北海道配電株式會社

總務課長 峰田 忠義 厚生課長 中山 隆三

株式課長 峰田 忠義 人事課長 藤森 賢三

經理部長(理事) 寺田兵治 次長 永倉清次郎

會計課長 杉本 佐市 調度課長 松尾 豐治

業務部長(理事) 水野吉太郎 次長 心得 壽江宗穂

營業課長 坂本 健吾 調整課長 篠田 正男

工務部

工務部長(理事) 小田部毅 次長 湯澤 喜重

工務課長 橋本篤四郎 電力課長 湯澤 喜重

給電課長 高橋 克則 配電課長 岡 修三

土木課長 田代 隆亮

支店

札幌支店

支店長(理事) 佐藤 滿

庶務課長 木村 慶七 營業課長 鈴木德三郎

工務課長 渡邊 喜平

小樽支店

支店長(理事) 藤野修藏

庶務課長 杉田勘次郎 營業課長 藤田 三男

工務課長 及川 一三

函館支店

支店長 一條 豐治

庶務課長 佐藤 義彌 營業課長 後藤喜平治

工務課長 小林 義雄

室蘭支店

支店長 渡邊 琢麻

次長 板倉 嘉藏

北海道配電株式會社

庶務課長 板倉 嘉藏 營業課長 岡田 良策

工務課長 宮川 儀八

岩見澤支店 空知郡岩見澤町六條西二ノ一ノ三

支店長 秋山 應司 營業課長 渡邊 政二

庶務課長 石塚清三郎

工務課長 關口 作平

旭川支店

支店長 岡本 勉 旭川市四條通十丁目右十號

庶務課長 藤原 義郎 營業課長 保坂 求馬

工務課長 山田 武一

名寄支店 上川郡名寄町西三條南四ノ一四

支店長 小松重次郎 營業課長 渡邊 芳衛

工務課長 塚原初太郎

北見支店 上川郡北見市五條通南二ノ八二〇

支店長 清野 一郎 營業課長 松尾 清文

庶務課長 姫野 亨

工務課長 沼田傳九郎

釧路支店

支店長 佐藤 龍藏 釧路市大町四ノ四

庶務課長 津野 貞德 營業課長 佐々木幸太郎

工務課長 入口 沖

帶廣支店

支店長 佐藤 孝吉 帶廣市西一條南六ノ一九

庶務課長 石井 保平 營業課長 成田 守二

工務課長 佐藤 孝吉

東京出張所

東京市京橋區銀座四ノ三ノ二